

〈話し合いのための聖書的话题〉

1. 証しの業	1	37. 年代	182
2. 贖い	6	38. バプテスマ	186
3. 悪、世の苦難	9	39. ハルマゲドン	189
4. 悪魔、悪霊	17	40. 反対、迫害	193
5. 安息	23	41. 復活	200
6. イエス	30	42. 奉仕者	204
7. 命	36	43. マリア崇拜	208
8. 祈り	42	44. 霊、心霊術	
9. いやし、異言	45		
10. 運命予定説	52		
11. エホバ、神	53		
12. エホバの証人	62		
13. 王国	64		
14. 終わりの日	71		
15. 記念式、ミサ	76		
16. 教会	80		
17. キリストの再来 ..	83		
18. 結婚	87		
19. 三位一体	97		
20. 死	106		
21. 地獄（ハデス、シェオル） ..	112		
22. 宗教	117		
23. 十字架	124		
24. 祝日，誕生日	127		
25. 信仰合同	129		
26. 救い	133		
27. 聖書	140		
28. 先祖崇拜	148		
29. 像	151		
30. 創造	154		
31. 魂	156		
32. 血	160		
33. 地	163		
34. 罪	169		
35. 天	177		
36. 偽預言者	180		

1. 証しの業

新世界訳

新改訳

英語

イ. クリスマンはすべて証しをし、良いたよりを伝えねばならないか？

是認を受けるためには人の前でイエスを認めなければならないか？

「それゆえ、人の前でわたしとの結びつきを告白する者はみな、わたしも天におられるわたしの父の前でその者との結びつきを告白します。」
(マタイ 10:32)

「ですから、わたしを人の前で認める者はみな、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。」
(マタイ 10:32)

“Therefore whoever confesses Me before men, him I will also confess before My Father who is heaven.”

(マタイ 10:32)

み言葉を行なう者となり、信仰を実証しなければならないか？

「しかし、み言葉を行なう者とならない。ただ聞くだけで、虚偽の推論によって自分を欺く者となつてはなりません。み言葉を聞いても行なわない人があるなら、その人は、鏡で自分の生まれつきの顔を見る人のようなものだからです。その人は自分を見はしますが、そこを離れると、自分がどのような者であるかをすぐに忘れてしまうのです。」
(ヤコブ 1:22-24)

「また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であつてはいけません。みことばを聞いても行なわない人があるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で見る人のようです。自分をながめてから立ち去ると、すぐにそれがどのような者であつたかを忘れてしまいます。」 (ヤコブ 1:22-24)

But be doers of the word, and not hearers only, deceiving yourselves. For if anyone is a hearer of the word and not a doer, he is like a man observing his natural face in a mirror; for he observes himself, goes away, and immediately forgets what kind of man he was. (ヤコブ 1:22-24)

「これで分かるように、人は業によって義と宣されるのであつて、ただ信仰だけによって〔義と宣せられ〕るではありません。」 (ヤコブ 2:24)

「人は行ないによって義と認められるのであつて、信仰だけによるのではないことがわかるでしょう。」
(ヤコブ 2:24)

You see then that a man is justified by works, and not by faith only.

(ヤコブ 2:24)

新しい人たちも教える者となるべきであるか？

「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子とし、父と子と聖霊との名において彼らにバプテスマを施し、わたしがあなた方に命令した事柄すべてを守り行なうように教えなさい。そして、見よ、わたしは事物の体制の集結の時までいつの日もあなた方と共にいるのです。」 (マタイ 28:19-20)

「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ、わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」 (マタイ 28:19-20)

“Go therefore and make disciples of all the nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, teaching them to observe all things that I have commanded you; and lo, I am with you always, even to the end of the age.”
Amen. (マタイ 28:19-20)

公の宣言によって救いがもたらされるか？

「人は、義のために心で信仰を働かせ、救いのために口で公の宣言をするからです。」 (ローマ 10:10)	「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」 (ローマ 10:10)	For with the heart one believes unto righteousness, and with the mouth confession is made unto salvation. (ローマ 10:10)
--	--	---

ロ．繰り返して訪ねて証しを続けることが必要か？

この世代のうちに起きる終わりを警告しなければならないか？

「そして、王国のこの良いよりは、あらゆる国民に対する証しのために、人の住む全地で宣べ伝えられるでしょう。それから終わりが来るのです。」 (マタイ 24:14)	「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」 (マタイ 24:14)	“And this gospel of the kingdom will be preached in all the world as a witness to all the nations, and then the end will come.”
--	---	---

(マタイ 24:14)

「あなた方に真実に言いますが、これらのすべての事が起こるまで、この世代は決して過ぎ去りません。」 (マタイ 24:34)	「まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代(民族)は過ぎ去りません。」 (マタイ 24:34)	“Assuredly, I say to you, this generation will by no means pass away till all these things take place.” (マタイ 24:34)
---	---	--

エレミヤはエルサレムの終わりについて多年宣明したか？

「ユダの王、アモンの子ヨシヤの第十三年から今日に至るまで、この二十三年間、エホバの言葉がわたしに臨んだので、わたしはあなたがたに語りつけ、早く起きては語ったのであるが、あなた方は聴かなかった。」 (エレミヤ 25:3)	「アモンの子、ユダの王ヨシヤの第十三年から今日まで、この二十三年間、私に主のことがあり、私はあなたがたに絶えず、しきりに語りかけたのに、あなたがたは聞かなかった。」 (エレミヤ 25:3)	“From the thieteenth year of Josiah the son of Amon, king of Judah, even to this day, this is the twenty-third year in which the word of the Lord has come to me; and I have spoken to you, rising early and speaking, but you have not listened.” (エレミヤ 25:3)
---	--	--

初期クリスチャンと同じくやめることはできないか？

「そうして彼らと呼ばひ、どこにおいてもイエスの名によって何か口にしたり教えたりすることはないように、と言ひ渡した。しかし、それに答えてペテロとヨハネは彼らに言った、『神よりもあなた方に聴き従うほうが、神から見て義にかなったことなのかどうか、あなた方自身で判断してください。しかし、わたしたちとしては、自分の見聞きした事柄について話すのをや	「そこで彼らと呼んで、いっさいイエスの名によって語ったり教えたりしてはならない、と命じた。ペテロとヨハネは彼らに答えて言った。『神に聞き従うより、あなたがたに聞き従うほうが、神の前に正しいかどうか、判断してください。私たちは、自分の見たこと、また聞いたことを、話さないわけにはいきません。』」 (使徒 4:18-20)	And they called them and commanded them not to speak at all nor teach in the name of Jesus. But Peter and John answered and said to them, “Whether it is right in the sight of God
---	--	--

めるわけにはいきません。』」

(使徒 4:18-20)

「言った、『この名によってもう教えるはならないと
きっぱり命じておいたのに、見よ、あなた方はエルサ
レムをあなた方の教で満たしてしまい、しかも、こ
の人の血をわたしたちにもたらそうと決めている。』
それに答えてペテロと〔ほかの〕使徒たちは言った、
『わたしたちは、〔自分たちの〕支配者として人間よ
り神に従わねばなりません。』」

(使徒 5:28-29)

「言った、『あの名によって教えるはならないときびしく
命じておいたのに、何ということだ。エルサレム中にあな
たがたの教を広めてしまい、そのうえ、あの人の血の責
任をわれわれに負わせようとしているではないか。』ペテ
ロをはじめ使徒たちは答えて言った。『人に従うより、神
に従うべきです。』」 (使徒 5:28-29)

to listen to you more than
to God, you judge. For we
cannot but speak the things
which we have seen and
heard.” (使徒 4:18-20)

saying, “Did we not strictly
command you not to teach
in this name? And look,
you have filled Jerusalem
with your doctrine, and
intend to bring this Man’s
blood on us!” But Peter
and the other apostles
answered and said: “We ought
to obey God rather than
men.” (使徒 5:28-29)

ハ. 血の罪を負わないために証しをしなければならないか？

近づき来る終わりについて警告しなければならないか？

「さて人の子よ、あなたに関してであるが、わたしは
あなたをイスラエルの家に対する見張りの者とした。
あなたは必ずわたしの口から言葉を聞き、わたしから
の警告を彼らに与えなければならない。」

(エゼキエル 33:7)

「人の子よ。わたしはあなたをイスラエルの家の見張り人
とした。あなたは、わたしの口からことばを聞くととき、わ
たしに代わって彼らに警告を与えよ。」

(エゼキエル 33:7)

“So you, son of man: I have
made you a watchman for
the house of Israel;
therefore you shall hear a
word from My mouth and warn
them for Me.” (エゼキエル 33:7)

「そして、王国のこの良いよりは、あらゆる国民に
対する証しのために、人の住む全地で宣べ伝えられる
でしょう。それから終わりが来るのです。」

(マタイ 24:14)

「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国
民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」

(マタイ 24:14)

“And this gospel of the
kingdom will be preached in
all the world as a witness
to all the nations, and
then the end will come.”

(マタイ 24:14)

それを怠れば血の罪を身に受けるか？

「わたしが邪悪な者に、『邪悪な者よ、あなたは必ず
死ぬ！』と言うのに、あなたがその邪悪な者に実際に
警告して、その道から〔離れる〕ようはつきり言わな
いなら、その者は邪悪な者として自分のとがのうちに
死ぬことになる。しかし、わたしはその血の返済をあ
なたの手に求める。しかしあなたに関しては、あなた
が邪悪な者にその道から立ち返るようそれについて実

「わたしが悪者に、『悪者よ、あなたは必ず死ぬ。』と言
うとき、もし、あなたがその悪者にその道から離れるよう
に語って警告しないなら、その悪者は自分の咎のために死
ぬ。そしてわたしは彼の血の責任をあなたに問う。あなた
が、悪者にその道から立ち返るよう警告しても、彼がその
道から立ち返らないなら、彼は自分の咎のために死なな
ければならない。しかし、あなたは自分のいのちを救うこと

“When I say to the wicked,
’O wicked man, you shall
surely die!’ and you do not
speak to warn the wicked
from his way, that wicked
man shall die in his
iniquity; but his blood I

際に警告したのに、その者が実際に自分の道から立ち
返らないなら、彼は自分のとがのうちに死ぬのであつ
て、あなた自身は必ず自分の魂を救い出すであろう。
」 (エゼキエル 33:8-9)

「わたしが邪悪な者に向かって、『あなたは必ず死ぬ
』と言うとき、あなたが彼を生きたままにさせるために
実際に彼に警告し、話し、邪悪な者をその邪悪な道か
ら離れるよう警告しないなら、その者は邪悪な者であ
るので、そのとがのうちに死ぬ。しかしわたしは彼の
血の返済をあなたの手を求めるであろう。一方、あな
たが邪悪な者に警告したのに、彼がその邪悪と邪悪な
道から実際に立ち返らないなら、彼はそのとがのため
に死ぬ。しかしあなたは、自分の魂を救い出したこと
になる。」 (エゼキエル 3:18-19)

になる。」 (エゼキエル 33:8-9)

「わたしが悪者に、『あなたは必ず死ぬ。』と言うとき、
もしあなたが彼に警告を与えず、悪者に悪の道から離れて
生きたままに語って、警告しないなら、その悪者は自
分の不義のために死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任を
あなたに問う。もしあなたが悪者に警告を与えても、彼が
その悪を悔い改めず、その悪の道から立ち返らないなら、
彼は自分の不義のために死ななければならない。しかしあ
なたは自分のいのちを救うことになる。」
(エゼキエル 3:18-19)

will require at your hand.
Nevertheless if you warn
the wicked to turn from his
way, he shall die in his
iniquity; but you have
delivered your soul.”

(エゼキエル 33:8-9)

“When I say to the wicked,
, ‘You shall surely die,’ and
you give him no warning,
nor speak to warn the wicked
from his wicked way, to
save his life, that same
wicked man shall die in his
iniquity; but his blood I
will require at your hand.
Yet, if you warn the wicked
, and he does not turn from
his wickedness, nor from
his wicked way, he shall
die in his iniquity; but
you have delivered your
soul. (エゼキエル 3:18-19)

パウロは血の罪を持たなかったか？ 余さず真理を語ったか？

「ですから、今日の日に、わたしがすべての人の血
について潔白であることに関して、あなた方に証人と
なってもらいます。わたしは何一つ差し控えることな
く、神のみ旨をことごとくあなた方に伝えたからです
。」 (使徒 20:26-27)

「わたしが良いたよりを宣明しているとしても、それ
がわたしの誇る理由ではないのです。わたしにはその
必要が課せられているからです。実際、もし良いたよ
りを宣明しなかったとすれば、わたしにとっては災い
となるのです！」 (Iコリント 9:16)

「ですから、私はきょうここで、あなたがたに宣言します
。私は、すべての人たちが受けるさばきについて責任があ
りません。私は、神のご計画の全体を、余すところなくあ
なたがたに知らせておいたからです。」
(使徒 20:26-27)

「というのは、私が福音を宣べ伝えても、それは私の誇り
にはなりません。そのことは、私がどうしても、しなけれ
ばならないことだからです。もし福音を宣べ伝えなかつた
ら、私はわざわざに会います。」
(Iコリント 9:16)

“Therefore I testify to you
this day that I am innocent
of the blood of all men.
For I have not shunned to
declare to you the whole
counsel of God.

(使徒 20:26-27)

For if I preach the gospel
, I have nothing to boast
of, for necessity is laid
upon me; yes, woe is me if
I do not preach the gospel!

(Iコリント 9:16)

証しする者とそれを聴く者の両方を救うか？

「自分自身と自分の教えとに絶えず注意を払いなさい。これらのことをずっと続けなさい。そうすることによって、あなたは、自分と自分[のことば]を聴く人たちを救うことになるのです。」
(Iテモテ 4:16)

「弱い人たちに対しては弱い者となりました。弱い人たちを勝ち得るためです。わたしはあらゆる人に対してあらゆるものとなりました。何とかして幾人かでも救うためです。」 (Iコリント 9:22)

「自分自身にも、教える事にも、よく気をつけなさい。あくまでそれを続けなさい。そうすれば、自分自身をも、またあなたの教えを聞く人たちをも救うことになります。」
(Iテモテ 4:16)

「弱い人々には、弱い者になりました。弱い人々を獲得するためです。すべての人に、すべてのものとなりました。それは、何とかして、幾人かでも救うためです。」
(Iコリント 9:22)

Take heed to yourself and to the doctrine. Continue in them, for in doing this you will save both yourself and those who hear you.

(Iテモテ 4:16)

to the weak I became as weak, that I might win the weak. I have become all things to all men, that I might by all means save some.

(Iコリント 9:22)

2. 贖い

新世界訳

新改訳

英語

イ. イエスの人間としての命は「すべての人のための贖い」としてささげられたか？

イエスは贖いとして自分の命を与えたか？

「ちょうど人の子が、仕えてもらうためではなく、むしろ仕え、自分の魂を、多くの人と引き換える贖いとして与えるために来たのと同じです。」

(マタイ 20:28)

「人の子が来たのが仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。」

(マタイ 20:28)

“just as the Son of Man did not come to be served, but to serve, and to give His life a ransom for many.”

(マタイ 20:28)

流された血の価値によって罪は赦されるか？

「まして、永遠の霊により、きずのないすがたで自分を神にささげたキリストの血は、わたしたちの良心を死んだ業から清めて、生ける神に神聖な奉仕をささげられるようにしてくださいさるのではないのでしょうか。」

(ヘブル 9:14)

「まして、キリストが傷のないご自身を、とこしえの御霊によって神におさげになったその血は、どんなにか私たちの良心をきよめて死んだ行ないから離れさせ、生ける神に仕える者とするでしょう。」

(ヘブル 9:14)

how much more shall the blood of Christ, who through the eternal Spirit offered Himself without spot to God, cleanse your conscience from dead works to serve the living God? (ヘブル 9:14)

「そうです、律法によれば、ほとんどすべてのものが血をもって清められ、血が注ぎ出されなければ、許しはなされないのです。」 (ヘブル 9:22)

「それで、律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる、と言ってよいでしょう。また、血を注ぎだすことがなければ、罪の赦しはないのです。」

(ヘブル 9:22)

And according to the law almost all things are purified with blood, and without shedding of blood there is no remission.

(ヘブル 9:22)

一たびささげられる犠牲で十分であったか？

「彼の遂げた死、それは罪に關してただ一度かぎり遂げた死であったからです。また [いま] 生きておられる [命]、これは神に關して生きておられる [命] なのです。」 (ローマ 6:10)

「なぜなら、キリストが死なれたのは、ただ一度罪に対して死なれたのであり、キリストが生きておられるのは、神に対して生きておられるのだからです。」

(ローマ 6:10)

“For the death that He died to sin once for all; but the life that He lives, He lives to God.” (ローマ 6:10)

「そうでなければ、世の基が置かれて以来何度も苦しみを受けなければならなかったでしょう。しかし今、ご自身の犠牲によって罪を取りのけるため、事物の諸体制の集結のときに、ただ一度かぎりご自身を現されたのです。」 (ヘブル 9:26)

「もしそうでなかったら、世の初めから幾度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかしキリストは、ただ一度、今の世の終わりに、ご自身をいけにえとして罪を取り除くために、来られたのです。」

(ヘブル 9:26)

He then would have had to suffer often since the foundation of the world; but now, once at the end of the ages, He has appeared to put away sin by the sacrifice of Himself.

(ヘブル 9:26)

益は自動的にとは与えられないか？ それを認めねばならないか？

「というのは、神は世を深く愛してご自分の独り子を

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世

“For God so loved the world

与え、だれでも彼に信仰を働かせる者が滅ばされない
で、永遠の命を持てるようにされたからです。」

(ヨハネ 3:16)

を愛された。それは御子を信じる者がみな、人の子にあつ
て永遠のいのちを持つためです。」

(ヨハネ 3:16)

that He gave His only
begotten Son, that whoever
believes in Him should not
perish but have everlasting
life.” (ヨハネ 3:16)

ロ. それは対応する代価であったか？

アダムは完全な者として創造されたか？

「岩なる方、そのみ業は完全、そのすべての道は公正
である。忠実の神、不正なところは少しもない。義で
あり、廉直であられる。」 (申命記 32:4)

「見よ、ただこのことをわたしは見いだした。[まこ
との]神は人間を廉直な者として造られたが、彼ら自
身が多くの計画を探り出したのである。」

(伝道 7:29)

「そのち神は自分の造ったすべてのものをご覧にな
ったが、見よ、[それは]非常に良かった。そして夕
となり、朝となった。第六日である。」

(創世記 1:31)

「主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正
しい。主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方
である。」 (申命記 32:4)

「私が見いだした次の事だけに目を留めよ。神は人を正し
い者に造られたが、人は多くの理屈を捜し求めたのだ。」

(伝道 7:29)

「そのようにして神はお造りになったすべてのものをご覧
になった。見よ、それは非常に良かった。こうして夕があ
り、朝があった。第六日。」 (創世記 1:31)

He is the Rock, His work
is perfect; For all His
ways are justice, A God of
truth and without injustice
; Righteous and upright is
He. (申命記 32:4)

“Truly, this only I have
found: That God made man
upright, But they have
sought out many schemes.”

(伝道 7:29)

Then God saw everything
that He had made, and indeed
it was very good. So the
evening and the morning were
the sixth day. (創世記 1:31)

罪によって自分と子孫の完全性を失ったか？

「それゆえ、一人の人を通して罪が世に入り、罪を通
して死が[入り]、こうして死が、すべて[の人]が
罪をおかしたがゆえにすべての人に広がったのと同じ

ように。」 (ローマ 5:12)

「こうして、一つの罪過を通してあらゆる人に及んだ
結果が有罪宣告であったのと同じように、一人[の方
]の従順を通して多くの者が義とされるのです。」

(ローマ 5:18)

「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界
にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に
広がったのと同様に、

それというのも全人類が罪

「そういうわけで、ちょうど一つの違反によってすべての
人が罪に定められたのと同様に、一つの義の行為によつて
すべての人が義と認められて、いのちを与えられるのです
。」 (ローマ 5:18)

Therefore, just as through
one man sin entered the
world, and thus death spread

to all men, because all
sinned (ローマ 5:12)

Therefore, as through one
man's offense judgment came
to all men, resulting in
condemnation, even so
through one Man's righteous
act the free gift came to
all men, resulting in
justification of life.

(ローマ 5:18)

子孫は無力。アダムと全く同等のものが必要であったか？

「だれひとりとして、兄弟をさえ決して請け戻すことはできない。また、彼のための贖いを神にささげることも[できない]。」（詩篇 49:7）

「人は自分の兄弟をも買い戻すことはできない。自分の身のしろ金を神に払うことはできない。」（詩篇 49:7）

None of them can by any means redeem his brother, Nor give to God a ransom for him (詩篇 49:7)
“Your eye shall not pity: life shall be for life, eye for eye, tooth for tooth, hand for hand, foot for foot.” (申命記 19:21)

「そして、あなたの目は哀れみ見てはいけない。魂には魂、目には目、歯には歯、手には手、足には足である。」（申命記 19:21）

「あわれみをかけてはならない。いのちにはいのち、目には目、歯には歯、手には手、足には足。」（申命記 19:21）

イエスの完全な人間としての命が贖いとなったか？

「神はただひとりであり、また神と人間との間の仲介者もただひとり、人間キリスト・イエスであって、この方は、すべての人のための対応する贖いとしてご自身を与えてくださったのです。 [このことは] そのために特に定められた時に証しされるのであり、」（1テモテ 2:5-6）

「神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。」（1テモテ 2:5-6）

For there is one God and one Mediator between God and men, the Man Christ Jesus, who gave Himself a ransom for all, to be testified in due time, (1テモテ 2:5-6)

「あなた方も知っているように、あなた方が父祖伝来のむなしい行状から救い出されたのは、朽ちるもの、つまり銀や金によるのではないからです。それは、きずも汚点もない子羊の[血]のような貴重な血、すなわちキリストの[血]によるのです。」（1ペテロ 1:18-19）

「ご承知のように、あなた方が先祖から伝わったむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはならず、傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血によったのです。」（1ペテロ 1:18-19）

knowing that you were not redeemed with corruptible things, like silver or gold, from your aimless conduct received by tradition from your fathers, but with the precious blood of Christ, as of a lamb without blemish and without spot. (1ペテロ 1:18-19)

3. 悪、世の苦難

新世界訳

新改訳

英語

イ. 世の苦難に責任を持つのはだれか？

悪い支配が今日の良くない状態の原因か？

「義なる者が多くなると、民は喜び、邪悪な者が支配を行なうと、民は嘆息する。」（箴言 29:2）

「正しい者がふえると、民は喜び、悪者が治めると、民は嘆く。」（箴言 29:2）

“When the righteous are in authority, the people rejoice; But when a wicked man rules, the people groan.”（箴言 29:2）

「邪悪な者たちが立ち上がると、人は身を覆い隠し、彼らが滅びうせると、義なる者たちが多くなる。」（箴言 28:28）

「悪者が起こると、人は身を隠し、彼らが滅びると、正しい人がふえる。」（箴言 28:28）

When the wicked arise, men hide themselves; But when they perish, the righteous increase.（箴言 28:28）

今の世の支配者は神の敵か？

「その人たちの間にあって、この事物の体制の神が不信者の思いをくらし、神の像であるキリストについての栄光ある良いよりの光明が輝きわたらないようにしているのです。」（Ⅱコリント 4:4）

「そのばあい、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。」（Ⅱコリント 4:4）

whose minds the god of this age has blinded, who do not believe, lest the light of the gospel of the glory of Christ, who is the image of God, should shine on them.（Ⅱコリント 4:4）

「[また、]わたしたちが神から出ており、全世界が邪悪な者[の配下]にあることを知っています。」（Ⅰヨハネ 5:19）

「私たちは神からの者であり、全世界は悪い者の支配下にあることを知っています。」（Ⅰヨハネ 5:19）

We know that we are of God, and the whole world lies under the sway of the wicked one.（Ⅰヨハネ 5:19）

「今、この世の裁きがなされています。今やこの世の支配者は追い出されるのです。」（ヨハネ 12:31）

「今がこの世のさばきです。今、この世を支配する者は追い出されるのです。」（ヨハネ 12:31）

“Now is the judgment of this world; now the ruler of this world will be cast out.（ヨハネ 12:31）

悪魔が災いをもたらしているのか？ その時は短いのか？

「こうして、大いなる龍、すなわち、初めからの蛇で、悪魔またサタンと呼ばれ、人の住む全地を惑わしている者は投げ落とされた。彼は地に投げ落とされ、その使いたちも共に投げ落とされた。」（黙示録 12:9）

「こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。彼は地上に投げ落とされ、彼の使いどもも彼とともに投げ落とされた。」（黙示録 12:9）

So the great dradon was cast out, that serpent of old, called the Devil and Satan, who deceives the whole world; he was cast to the earth, and his angels were cast out with him.（黙示録 12:9）

「このゆえに、天と[天]に住む者よ、喜べ！ 地と海にとっては災いである。悪魔が、自分の時の短いことを知り、大きな怒りを抱いてあなたの方のところに下ったからである。」（黙示録 12:12）

「それゆえ、天とその中に住む者たち。喜びなさい。しかし、地と海とは、わざわざ来る。悪魔が自分の時の短いことを知り、激しく怒って、そこに下ったからである。」（黙示録 12:12）

“Therefore rejoice, O heavens, and you who dwell in the! Woe to the inhabitants of the earth and the sea! For the devil has come down to you, having great wrath, because he knows that he has a short time.”（黙示録 12:12）

悪魔はつながれ、その後に輝かしい平和が訪れるか？

「それからわたしは、ひとりのみ使いが底知れぬ深みのかぎと大きな鎖を手にして天から下って来るのを見た。そして彼は、悪魔またサタンである龍、すなわち初めからの蛇を捕らえて、千年のあいだ縛った。そして彼を底知れぬ深みに投げ込み、[それを]閉じて彼の上から封印し、千年が終わるまでもはや諸国民を惑わすことができないようにした。これらのことの後、彼はしばらくのあいだ解放されるはずである。」（黙示録 20:1-3）

「また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手に持って、天から下って来るのを見た。彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕え、これを千年の間縛って、底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解放されなければならない。」（黙示録 20:1-3）

Then I saw an angel coming down from heaven, having the key to the bottomless pit and a great chain in his hand. He laid hold of the dragon, that serpent of old, who is the Devil and Satan, and bound him for a thousand years; and he cast him into the bottomless pit, and shut him up, and set a seal on him, so that he should deceive the nations no more till the thousand years were finished. But after these things he must be released for a little while.

（黙示録 20:1-3）

「それと共に、わたしはみ座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ！ 神の天幕が人と共にあり、[神は]彼らと共に住み、彼らはその民となるであろう。そして神みずから彼らと共におられるであろう。また[神]は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださり、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛もはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』」（黙示録 21:3-4）

「そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』」（黙示録 21:3-4）

And I heard a loud voice from heaven saying, “Behold, the tabernacle of God is with men, and He will dwell with them, and they shall be His people. God Himself will be with them and be their God. And God will wipe away every tear from their

		eyes; there shall be no more death, nor sorrow, nor crying. There shall be no more pain, for the former things have passed away.”	(黙示録 21:3-4)
--	--	---	--------------

ロ. なぜ悪は許されたか？

悪魔は神に対する被造物の忠節について挑戦したのか？

「『しかし逆に、どうか、あなたの手を出して、彼の持っているすべてのものに触れて、果して彼が、それもあなたの顔に向かってあなたをのろわないかどうかを[見てください]。』それゆえエホバはサタンに言われた、『見よ、彼の持っているものはみな、あなたの手中にある。ただ彼の身に対しては、あなたの手を出してはならない!』そこで、サタンはエホバのみ前から出て行った。」 (ヨブ 1:11-12)

「『しかし、あなたの手を伸べ、彼のすべての持ち物を打ってください。彼はさっと、あなたに向かってのろうに違いありません。』主はサタンに仰せられた。『では、彼のすべての持ち物をおまえの手に任せよう。ただ彼の身に手を延ばしてはならない。』そこで、サタンは主の前から出て行った。」 (ヨブ 1:11-12)

“But now, stretch out Your hand and touch all that he has, and he will surely curse You to Your face!” And the Lord said to Satan, “Behold, all that he has is in your power; only do not lay a hand on his person.” So Satan went out from the presence of the Lord.

(ヨブ 1:11-12)

忠節を実証する機会が忠実な者たちに与えられているか？

「聖書はファラオにこう言っているからです。『あなたに関連してわたしが自分の力を示すため、またわたしの名が全地で宣明されるため、まさにこのために、わたしはあなたを長らえさせたのである。』」 (ローマ 9:17)

「聖書はパロに、『わたしがあなたを立てたのは、あなたにおいてわたしの力を示し、わたしの名を全世界に告げ知らせるためである。』と言っています。」 (ローマ 9:17)

For the Scripture says to Pharaoh, “For this very perpose I have raised you up, that I may show My power in you, and that My name may be declared in all the earth.” (ローマ 9:17)

「我が子よ、賢くあって、わたしの心を歡ばせよ。わたしを嘲弄している者にわたしが返答するためで。」 (箴言 27:11)

「わが子よ。知恵を得よ。私の心を喜ばせよ。そうすれば、私をそしる者に、私は言い返すことができよう。」 (箴言 27:11)

My son, be wise, and make my heart glad, That I may answer him who reproaches me. (箴言 27:11)

悪魔は偽り者であることを証明されており、論争は決着するか？

「今、この世の裁きがなされています。今やこの世の支配者は追い出されるのです。」 (ヨハネ 12:31)

「今がこの世のさばきです。今、この世を支配する者は追い出されるのです。」 (ヨハネ 12:31)

“Now is the judgment of this world; now the ruler of this world will be cast out. (ヨハネ 12:31)

忠実な者は永遠の命の報いを得るか？

「そして、[神]は各々にその業に応じて報います。」

「神は、ひとりひとりに、その人の行ないに従って報いを

who “will render to each

良い業における忍耐によって栄光と誉れと不朽性とを求めている者には永遠の命です。」

(ローマ 2:6-7)

「それと共に、わたしはみ座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ！ 神の天幕が人と共にあり、〔神は〕彼らと共に住み、彼らはその民となるであろう。そして神みずから彼らと共におられるであろう。また〔神〕は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってください、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』そして、み座に座しておられる方がこう言われた。『見よ！ わたしはすべてのものを新しくする。』また、こう言われる。『書きなさい。これらの言葉は信頼できる真実なものだからである。』」

(黙示録 21:3-5)

お与えになります。忍耐をもって善を行ない、栄光と誉れと不滅のものとを求める者には、永遠のいのちを与え、」

(ローマ 2:6-7)

「そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってください。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』すると、御座に着いておられつ方が言われた。『見よ。わたしは、すべてを新しくする。』また言われた。『書きしるせ。これらのことばは、信すべきものであり、真実である。』」 (黙示録 21:3-5)

one according to his deeds":
eternal life to those who
by patient continuance in
doing good seek for glory,
honor, and immortality;

(ローマ 2:6-7)

And I heard a loud voice
from heaven saying, "Behold,
the tabernacle of God is
with men, and He will dwell
with them, and they shall
be His people. God Himself
will be with them and be
their God. And God will wipe
away every tear from their
eyes; there shall be no
more death, nor sorrow, nor
crying. There shall be no
more pain, for the former
things have passed away."
Then He who sat on the
throne said, "Behold, I make
all things new." And He
said to me, "Write, for these
words are true and faithful
." (黙示録 21:3-5)

ハ. 終わりの時が長くされたのはあわれみによるか？

ノアの日と同じく警告するには時を要するか？

「そして、王国のこの良いよりは、あらゆる国民に
対する証しのために、人の住む全地で宣べ伝えられる
でしょう。それから終わりが来るのです。」

(マタイ 24:14)

「人の子の臨在はちょうどノアの日のようなからです。
洪水前のそれらの日、ノアが箱船に入る日まで、人
々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていま
した。そして、洪水が来て彼らすべてを流し去るまで

「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国
民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」

(マタイ 24:14)

「人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようなからで
す。洪水前の日々は、ノアが箱船にはいるその日まで、人
々は、飲んだり、食べたり、めとったり、ついでたりして
いました。そして、洪水が来てすべての物をさらってしま

"And this gospel of the
kingdom will be preached in
all the world as a witness
to all the nations, and
then the end will come."

(マタイ 24:14)

"But as the days of Noah
were, so also will the
coming of the Son of Man be.
"For as in the days before

注意しませんでした、人の子の臨在[の時]もそのようになるのです。」

(マタイ 24:37-39)

うまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりです。」 (マタイ 24:37-39)

the flood, they were eating and drinking, marrying and giving in marriage, until the day that Noah entered the ark, and did not know until the flood came and took them all away, so also will the coming of the Son of Man be. (マタイ 24:37-39)

神は遅いのではなく、あわれみを示しておられるのか？

「エホバはご自分の約束に関し、ある人々が遅さについて考えるような意味で遅いではありません。むしろ、ひとりも減らされることなく、すべての者が悔い改めに至ることを望まれるので、あなた方に対して辛抱しておられるのです。」 (Ⅱペテロ 3:9)

「だれでも神から生まれた者は、罪のうちを歩みません。なぜなら、神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪のうちを歩むことができないのです。」 (Ⅱペテロ 3:9)

The Lord is not slack concerning His promise, as some count slackness, but is longsuffering toward us, not willing that any should perish but that all should come to repentance.

(Ⅱペテロ 3:9)

「そして、それゆえにエホバはあなた方に恵みを示そうと待ち望み、それゆえにあなた方に憐れみを示そうと立ち上がる。エホバは裁きの神だからである。この方を待ち望む者はみな幸いである。」

(イザヤ 30:18)

「それゆえ、主はあなたがたに恵もうと待っておられ、あなたがたをあわれもうと立ち上がられる。主は正義の神であるからだ。幸いなことよ。主を待ち望むすべての者は。」

(イザヤ 30:18)

Therefore the Lord will wait, that He may be gracious to you; And therefore He will be exalted, that He may have mercy on you. For the Lord is a God of justice; Blessed are all those who wait for Him. (イザヤ 30:18)

不意を打たれるのを避けるため聖書は助けとなるか？

「『それで、起きることが定まっているこれらのすべての事を逃れ、かつ人の子の前に立つことができるよう、常に祈願をしつつ、いつも目ざめていなさい。』」

(ルカ 21:36)

「『しかし、あなたがたは、やがて起ころうとしているこれらのすべてのことからのがれ、人の子の前に立つことができるように、いつも油断せずに祈っていなさい。』」

(ルカ 21:36)

“Watch therefore, and pray always that you may be counted worthy to escape all these things that will come to pass, and to stand before the Son of Man.”

(ルカ 21:36)

「しかし、兄弟たち、あなた方は闇にいたるものではありませんから、盗人たちに對するように、その日が不意にあなた方を襲うことはありません。」

(Ⅰテサロニケ 5:4)

「しかし、兄弟たち。あなたがたは暗やみの中にはいないのですから、その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。」 (Ⅰテサロニケ 5:4)

But you, brethren, are not in darkness, so that this Day should overtake you as a thief. (Ⅰテサロニケ 5:4)

保護のための神の備えを今求めなければいけないか？

「そして、末の日に、エホバの家の山はもろもろの山の頂より上に堅く据えられ、もろもろの丘より上に必ず高められ、すべての国の民は必ず流れのようにそこに向かう。そして多くの民は必ず行って、こう言う。『来なさい。エホバの山に、ヤコブの神の家に上ろう。〔神〕はご自分の道についてわたしたちに教え諭してください。わたしたちはその道筋を歩もう。』律法はシオンから、エホバの言葉はエルサレムから出るのである。そして、〔神〕は諸国民の中で必ず裁きを行ない、多くの民に関して事を正される。そして、彼らはその剣をすきの刃に、その櫓を刈り込みばさみに打ち変えなければならなくなる。国民は国民に向かって剣を上げず、彼らはもはや戦いを学ばない。」

(イザヤ 2:2-4)

「地の柔和な者たち、〔神〕の司法上の定めを守り行なってきたすべての者たちよ、エホバを求めよ。義を求め、柔和を求めよ。恐らくあなた方はエホバの怒りの日に隠されるであろう。」 (ゼパニヤ 2:3)

「終わりの日に、主の家の山は、山々の頂に堅く立ち、丘々よりもそびえ立ち、すべての国々がそこに流れて来る。多くの民が来て言う。『さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を、私たちに教えてくださる。私たちはその小道を歩もう。』それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。主は国々の間をさばき、多くの国々の民に、判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その櫓をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。」

(イザヤ 2:2-4)

「主の定めを行なうこの国のすべてのへりくだる者よ。主を尋ね求めよ。義を求めよ。柔和を求めよ。そうすれば、主の怒りの日にかくまわれるかもしれない。」

(ゼパニヤ 2:3)

Now it shall come to pass in the latter days That the mountain of the Lord's house Shall be established on the top of the mountains , And shall be exalted above the hills; And all nations shall flow to it. Many people shall come and say, "Come and let us go up the mountain of the Lord, To the house of the God of Jacob; He will teach us His ways, And we shall walk in His paths." For out of Zion shall go forth the law, And the word of the Lord Lord from Jerusalem. He shall judge between the nations, And rebuke many people; They shall beat their swords into plowshares , And their spears into pruning hooks; Nation shall not lift up sword against nation, Neither shall they learn war anymore.

(イザヤ 2:2-4)

Seek the Lord, all you meek of the earth, Who have upheld His justice. Seek righteousness, seek humility . It may be that you will be hidden In the day of the Lord's anger. (ゼパニヤ 2:3)

二. 人間は世の苦難を解決できないか？

人間は恐れおののき、困惑しているか？

「『また、太陽と月と星にしるしがあり、地上では、海のとどろきと〔その〕動揺のゆえに逃げ道を知らない諸国民の苦もんがあるでしょう。同時に人々は、ひとの住む地に臨もうとする事柄への恐れと予想から氣を失います。天のもろもろの力が揺り動かされるからです。』」（ルカ 21:25-26）

「しかし、このことを知っておきなさい。すなわち、終わりの日には、対処しにくい危機の時代が来ます。というのは、人々は自分を愛する者、金を愛する者、うぬぼれる者、ごう慢な者、冒とくする者、親に不従順な者、感謝しない者、忠節でない者、自然の情愛を持たない者、容易に合意しない者、中傷する者、自制心のない者、粗暴な者、善良さを愛さない者、裏切る者、片意地な者、〔誇りのために〕思い上がる者、神を愛するより快楽を愛する者、敬虔な専心という形を取りながらその力において実質のない者となるからです。こうした人々からは離れなさい。」

（Ⅱテモテ 3:1-5）

「そして、日と月と星には、前兆が現れ、地上では、諸国の民が、海と波が荒れどよめくために不安に陥って悩み、人々は、その住むすべての所を襲おうとしていることを予想して、恐ろしさのあまり氣を失います。天の万象が揺り動かされるからです。」（ルカ 21:25-26）

「終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり、情け知らずの者、和解しない者、そしめる者、節制のない者、粗暴な者、善を好まない者になり、裏切る者、向こう見ずな者、慢心する者、神よりも快楽を愛する者になり、見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。」

（Ⅱテモテ 3:1-5）

“And there will be signs in the sun, in the moon, and in the stars; and on the earth distress of nations, with perplexity, the sea and the waves roaring; men’s hearts failing them from fear and the expectation of those things which are coming on the earth, for the powers of heaven will be shaken. (ルカ 21:25-26) But know this, that in the last days perilous times will come: For men will be lovers of themselves, lovers of money, boasters, proud, blasphemers, disobedient to parents, unthankful, unholy, unloving, unforgiving, slanderers, without self-control, brutal despisers of good, traitors, headstrong, haughty, lovers of pleasure rather than lovers of God, having a form of godliness but denying its power. And from such people turn away!

（Ⅱテモテ 3:1-5）

人間ではなく、神の王国が成功するか？

「『そして、それらの王たちの日に、天の神は決して滅びることのないひとつの王国を立てられます。そして、その王国はほかのどんな民にも渡されることはありません。それはこれらのすべての王国を打ち砕いて終わらせ、それ自体は定めのない時に至るまで続きます。』」（ダニエル 2:44）

「この王たちの時代に、天の神は一つの国を起こされます。その国は永遠に滅ぼされることがなく、その国は他の民に渡されず、かえってこれらの国々をことごとく打ち砕いて、絶滅してしまいます。しかし、この国は永遠に立ち続けます。」（ダニエル 2:44）

“And in the days of these kings the God of heaven will set up a kingdom which shall never be destroyed; and the kingdom shall not be left to other people; it shall break in pieces

「あなたの王国が来ますように。あなたのご意志が天におけると同じように、地上においてもなされますように。」（マタイ 6:10）

生きるため、王との和を今求めなければいけないか？

「『あなたは鉄の笏をもって彼らを碎き、彼らを陶器師の器であるかのように粉々にする。』」

（詩篇 2:9）

「恐れを抱いてエホバに仕え、おののきつつ喜べ。子に口づけせよ。〔神〕がいきり立ち、あなた方が道から〕滅びうせないためである。その怒りは容易に燃え上がるからだ。すべて〔神〕のもとに非難する者たちは幸いだ。」（詩篇 2:11-12）

「御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。」（マタイ 6:10）

「『あなたは鉄の杖で彼らを打ち碎き、焼き物の器のように粉々にする。』」（詩篇 2:9）

「恐れつつ主に仕えよ。おののきつつ喜べ。御子に口づけせよ。主が怒り、おまえたちが道で滅びないために。怒りはいまにも燃えようとしている。幸いなことよ。すべて主に身を避ける人は。」（詩篇 2:11-12）

and consume all these kingdoms, and it shall stand forever. (ダニエル 2:44)
Your kingdom come. Your will be done On earth as it in heaven. (マタイ 6:10)

"You shall break them with a rod of iron; You shall dash them to pieces like a potter's vessel." "

（詩篇 2:9）

Serve the Lord with fear,
And rejoice with trembling
. Kiss the Son, lest He be angry, And you perish in the way, When His wrath is kindled but a little.
Blessed are all those who put their trust in Him.
(詩篇 2:11-12)

4. 悪魔、悪霊

新世界訳	新改訳	英語
イ. 悪魔は霊者か？		
人の内面にある悪のことではなく、霊者であるか？		
「そして彼らは、悪魔の意思に仕えるべくその者に生きながら捕らえられていたことを知り、そのわなから出て本心に立ち返るかもしれません。」 (Ⅱテモテ 2:26)	「それで悪魔に捕えられて思うままにされている人々でも、目ざめてそのわなをのがれることもあるでしょう。」 (Ⅱテモテ 2:26)	and that they may come to their senses and escape the snare of the devil, having been taken captive by him to do his will. (Ⅱテモテ 2:26)
悪魔はみ使いと同じように人格的な存在か？		
「それからイエスは、悪魔の誘惑を受けるため、霊によって荒野へ導かれた。」 (マタイ 4:1)	「さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。」 (マタイ 4:1)	Then Jesus was led up by the Spirit into the wilderness to be tempted by the devil. (マタイ 4:1)
「その時、悪魔は彼を離れた。すると、見よ、み使いたちが来て彼に仕えはじめた。」 (マタイ 4:11)	「すると悪魔はイエスを離れて行き、見よ、御使いたちが近づいて来て仕えた。」 (マタイ 4:11)	Then the devil left Him, and behold, angels came and ministered to Him. (マタイ 4:11)
「さて、[まことの] 神の子らが入って来てエホバの前に立つ日となった。サタンも彼らのただ中に入った。」 (ヨブ 1:6)	「ある日、神の子らが主の前に来て立ったとき、サタンも来てその中にいた。」 (ヨブ 1:6)	Now there was a day when the sons of God came to present themselves before the Lord, and Satan also came among them. (ヨブ 1:6)
悪い欲望のために自ら悪魔となったか？		
「試練に遭うとき、だれも、『わたしは神から試練を受けている』と言ってはなりません。悪い事柄で神が試練に遭うことはありえませんし、[そのようにして] ご自身がだれかに試練を与えることもないからです。むしろ、おのおの自分の欲望に引き出されて誘われることにより試練を受けるのです。次いで欲望は、はらんだときに、罪を産みます。そして罪は、遂げられたときに死を生み出すのです。」 (ヤコブ 1:13-15)	「だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言ってはけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません。人はそれぞれの自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。」 (ヤコブ 1:13-15)	Let no one say when he is tempted, "I am tempted by God"; for God cannot be tempted by evil, nor does He Himself tempt anyone. But each one is tempted when he is drawn away by his own desires and enticed. Then, when desire has conceived, it gives birth to sin; and sin, when it is full-grown, brings forth

		death. (ヤコブ 1:13-15)
ロ. 悪魔はこの世の見えない支配者か？		
世界は悪魔を神とし、その支配下にあるか？		
「その人たちの間にあって、この事物の体制の神が不信者の思いをくらまし、神の像であるキリストについての栄光ある良いよりの光明が輝きわたらないようにしているのです。」 (Ⅱコリント 4:4)	「そのばあい、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。」 (Ⅱコリント 4:4)	whose minds the god of this age has blinded, who do not believe, lest the light of the gospel of the glory of Christ, who is the image of God, should shine on them. (Ⅱコリント 4:4)
「[また、]わたしたちは、神から出ており、全世界が邪悪な者[の配下]にあることを知っています。」 (Ⅰヨハネ 5:19)	「私たちは神からの者であり、全世界は悪い者の支配下にあることを知っています。」 (Ⅰヨハネ 5:19)	We know that we are of God, and the whole world lies under the sway of the wicked one. (Ⅰヨハネ 5:19)
「こうして、大いなる龍、すなわち、初めからの蛇で、悪魔またサタンと呼ばれ、人の住む全地を惑わしている者は投げ落とされた。彼は地に投げ落とされ、その使いたちも共に投げ落とされた。」 (黙示録 12:9)	「こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。彼は地上に投げ落とされ、彼の使いどもも彼とともに投げ落とされた。」 (黙示録 12:9)	So the great dragon was cast out, that serpent of old, called the Devil and Satan, who deceives the whole world; he was cast to the earth, and his angels were cast out with him. (黙示録 12:9)
論争の決着まで存在を許されたか？		
「だが、実際には、この目的のためにあなたを存在させておいた。すなわち、あなたにわたしの力を見させるため、こうしてわたしの名を全地に宣明させるためである。」 (出エジプト 9:16)	「それにもかかわらず、わたしは、わたしの力をあなたに示すためにあなたを立てておく。また、わたしの名を全地に告げ知らせるためである。」 (出エジプト 9:16)	“But indeed for this purpose I have raised you up, that I may show My power in you, and that My name may be declared in all the earth.” (出エジプト 9:16)
「今、この世の裁きがなされています。今やこの世の支配者は追い出されるのです。」 (ヨハネ 12:31)	「今がこの世のさばきです。今、この世を支配する者は追い出されるのです。」 (ヨハネ 12:31)	“Now is the judgment of this world; now the ruler of this world will be cast out.” (ヨハネ 12:31)
底知れぬ深みに入れられ、次いで滅ぼされるか？		
「そして彼は、悪魔またサタンである龍、すなわち初めからの蛇を捕らえて、千年のあいだ縛った。そして彼を底知れぬ深みに投げ込み、[それを]閉じて彼の上から封印し、千年が終わるまでもはや諸国民を惑わ	「彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕え、これを千年の間縛って、底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国民の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあ	He laid hold of the dragon, that serpent of old, who is the Devil and Satan, and bound him for a thousand

することができないようにした。これらのことの後、彼はしばらくのあいだ解き放されるはずである。」
(黙示録 20:2-3)

とではばらくの間、解きはなたれなければならない。」
(黙示録 20:2-3)

years; and he cast him into the bottomless pit, and shut him up, and set a seal on him, so that he should deceive the nations no more till the thousand years were finished. But after these things he must be released for a little while.

(黙示録 20:2-3)

「そして、彼らを惑わしていた悪魔は火と硫黄との湖に投げ込まれた。そこは野獣と偽預言者の両方が[すでにいる]ところであった。そして彼らは昼も夜も限りなく永久に責め苦に遭うのである。」
(黙示録 20:10)

「そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。」 (黙示録 20:10)

The devil, who deceived them, was cast into the lake of fire and brimstone where the beast and the false prophet are. And they will be tormented day and night forever and ever.

(黙示録 20:10)

ハ．悪霊は反逆した御使いか？

洪水の前サタンに加わったか？

「さて、人が地の表に増え始め、彼らに娘たちが生まれると、そのとき[まことの]神の子らは人の娘たちを見、その器量の良いことに気付くようになった。そして彼らは自分たちのために妻を、すべて自分の選ぶところの者をめとっていった。」
(創世記 6:1-2)

「さて、人が地上にふえ始め、彼らに娘たちが生まれたとき、神の子らは、人の娘たちが、いかにも美しいのを見て、その中から好きな者を選んで、自分たちの妻とした。」
(創世記 6:1-2)

Now it came to pass, when men began to multiply on the face of the earth, and daughters were born to them, that the sons of God saw the daughters of men, that they were beautiful; and they took wives for themselves of all whom they chose. (創世記 6:1-2)

「この[状態]でまた、彼は獄にある霊たちのもとに行って宣べ伝えました。それは、かつてノアの日に神が辛抱して待っておられた時に不従順であった者たちであり、その間に箱船が建造され、その中にあって少数の人々、つまり八つの魂が無事に水を切り抜けました。」 (1ペテロ 3:19-20)

「その霊において、キリストは捕われの霊たちのところに行ってみことばを宣べられたのです。昔、ノアの時代に、箱船が造られていた間、神が忍耐して待っておられたときに、従わなかった霊たちのことです。わずかに八人の人々が、この箱船の中で、水を通して救われたのです。」
(1ペテロ 3:19-20)

by whom also He went and preached to the spirits in prison, who formerly were disobedient, when once the Divine longsuffering waited in the days of Noah, while the ark was being prepared, in which a few,

		that is, eight souls, were saved through water.	(1ペテロ 3:19-20)
卑しめられ、あらゆる啓発から切り断たれたか？			
「まさに神が、罪をおかしたみ使いたちを罰することを差し控えず、彼らをタルタロスに投げ込んで、裁きのために留め置かれた者として濃密な闇の坑に引き渡されたのであれば、」 (Ⅱペテロ 2:4)	「神は、罪を犯した御使いたちを、容赦せず、地獄に引渡、さばきの時まで暗やみの穴の中に閉じ込めてしまわれました。」 (Ⅱペテロ 2:4)	For if God did not spare the angels who sinned, but cast them down to hell and delivered them into chains of darkness, to be reserved for judgment; (Ⅱペテロ 2:4)	
「また、自分本来の立場を保たず、そのあるべき居所を捨てたみ使いたちを、大いなる日の裁きのために、とこしえのなわめをもって濃密な闇のもとに留め置いておられます。」 (ユダ 6)	「また、主は、自分の領域を守らず、自分のおるべき所を捨てた御使いたちを、大いなる日のさばきのために、永遠の束縛をもって、暗やみの下に閉じ込められました。」 (ユダ 6)	And the angels who did not keep their proper domain, but left their own abode, He has reserved in everlasting chains under darkness for the judgment of the great day; (ユダ 6)	
神に敵対し、人間を苦しめるか？			
「ところが、[イエス]が陸に上がると、その都市の者で、悪霊たちにつかれている男が彼に出会った。そしてこの男はかなり長いこと衣服を着たことがなく、家にはではなく、墓場に住みついていたのである。彼はイエスを見ると大声で叫び、その前にひれ伏して、大きな声でこう言った。『志高の神の子イエスよ、わたしはあなたと何のかかわりがあるのですか。お願いします、わたしを責め苦に遭わせないでください。』(というのは、その男から出て来るようにと、[イエス]がその汚れた霊に命じておられたからである。その[霊]は長いあいだ彼を堅くとらえてきたのであり、男は何度も監視のもとに置かれて鎖と足かせでつなげられたが、かせは断ち切り、悪霊によって寂しい場所へと追いやられるのであった。)」 (ルカ 8:27-29)	「イエスが陸に上がられると、この町の者で悪霊につかれている男がイエスに出会った。彼は、長い間着物も着けず、家には住まないで、墓場に住んでいた。彼はイエスを見ると、叫び声をあげ、御前にひれ伏して大声で言った。『いと高き神の子、イエスさま。いったい私に何をしようというのです。お願いです。どうか私を苦しめないでください。』それは、イエスが、汚れた霊に、この人から出て行け、と命じられたからである。汚れた霊が何回となくこの人を捕えたので、彼は鎖や足かせでつながれて監視されていたが、それでもそれらを断ち切っては悪霊によって荒野に追いやられていたのである。」 (ルカ 8:27-29)	And when He stepped out on the land, there met Him a certain man from the city who had demons for a long time. And he wore no clothes, nor did he live in a house but in the tombs. When he saw Jesus, he cried out, fell down before Him, and with a loud voice said, "What have I to do with You, Jesus, Son of the Most High God? I beg You, do not torment me!" For He had commanded the unclean spirit to come out of the man. For it had often seized him, and he was kept under guard, bound with chains and shackles; and he broke	

「そしてわたしは、かえるのように[見える]三つの汚れた 感の表現が、龍の口から、野獣の口から、偽預言者の口から出るのを見た。それらは実は悪霊の霊感による表現であってしるしを行ない、また人の住む全地の王たちのもとに出て行く。全能者なる神の大いなる日の戦争に彼らを集めるためである。」
(黙示録 16:13-14)

サタンと共に滅ぼされるか？

「ついで彼は自分の左にいる者たちにこう言います。『のろわれた者たちよ、わたしから離れ、悪魔とその使いたちのために備えられた永遠の火に入らないさい。』」 (マタイ 25:41)

「そして彼らは、去って底知れぬ深みに行けとはお命じにならないようにと、しきりに彼に懇願するのであった。」 (ルカ 8:31)

「そして彼は、悪魔またサタンである龍、すなわち初めからの蛇を捕らえて、千年のあいだ縛った。そして彼を底知れぬ深みに投げ込み、[それを]閉じて彼の上から封印し、千年が終わるまでもはや諸国民を惑わすことができないようにした。これらのことの後、彼はしばらくのあいだ解放されるはずである。」
(黙示録 20:2-3)

「そして、彼らを惑わしていた悪魔は火と硫黄との湖に投げ込まれた。そこは野獣と偽預言者の両方が[すでにいる]ところであった。そして彼らは昼も夜も限

「また、私は竜の口と、獣の口と、にせ預言者の口とから、かえるのような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。彼らはしるしを行なう悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。」
(黙示録 16:13-14)

「それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。『のろわれた者ども、わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火には入れ。』」
(マタイ 25:41)

「悪霊どもはイエスに、底知れぬ所に行け、とはお命じになりませんようにと願った。」 (ルカ 8:31)

「彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕え、これを千年の間縛って、底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解きはなたれなければならない。」
(黙示録 20:2-3)

「そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。」 (黙示録 20:10)

the bonds and was driven by the demon into the wilderness. (ルカ 8:27-29)
And I saw three unclean spirits like frogs coming out of the mouth of the dragon, out of the mouth of the beast, and out of the mouth of the false prophet. (黙示録 16:13-14)

“Then He will also say to those on the left hand, ‘Depart from Me, you cursed, into the everlasting fire prepared for the devil and his angels: (マタイ 25:41)

And they begged Him that He would not command them to go out into the abyss.

(ルカ 8:31)

He laid hold of the dragon, that serpent of old, who is the Devil and Satan, and bound him for a thousand years; and he cast him into the bottomless pit, and shut him up, and set a seal on him, so that he should deceive the nations no more till the thousand years were finished. But after these things he must be released for a little while. (黙示録 20:2-3)

The devil, who deceived them, was cast into the lake of fire and brimstone

りなく永久に責め苦に遭うのである。」

(黙示録 20:10)

where the beast and the
false prophet are. And they
will be tormented day and
night forever and ever.

(黙示録 20:10)

5. 安息

新世界訳

新改訳

英語

イ. 安息日はクリスチャンに課せられていないか？

律法はイエスの死に基づいて廃棄されたか？

「この方は自分の肉によって敵意を、すなわち[数々の]定めから成るおきての律法を廃棄されました。それは、二つの民をご自身との結びつきのもとに一人の新しい人に創造し、平和を作り出すためでした。」

(エペソ 2:15)

「ご自分の肉において、敵意を廃棄された方です。敵意とは、さまざまな規定から成り立っている。戒めの律法なのです。このことは、二つのものをご自身において新しいひとりの人に造り上げて、平和を実現するためであり、」

(エペソ 2:15)

having abolished in His flesh the enmity, that is, the law of commandments contained in ordinances, so as to create in Himself one new man from the two, thus making peace,

(エペソ 2:15)

安息はクリスチャンに課せられていないか？

「ですからあなた方は、食べることや飲むことで、また祭りや新月の習わしや安息日に関して、だれからも裁かれるべきではありません。それらの事は来たるべきものの影であって、その実体はキリストに属しているのです。」 (コロサイ 2:16-17)

「こういうわけですから、食べ物と飲み物について、あるいは、祭りや新月や安息日のことについて、だれにもあなたがたを批評させてはなりません。これらは、次に来るものの影であって、本体はキリストにあるのです。」

(コロサイ 2:16-17)

So let no one judge you in food or in drink, or regarding a festival or a new moon or sabbaths, which are a shadow of things to come, but the substance is of Christ. (コロサイ 2:16-17)

「ある人は、ある日がほかの日に勝ると判断し、別の人は、どの日もほかのすべての日と同じであると判断します。おのの自分の思いの中で得心していきなさい。」 (ローマ 14:5)

「ある日を、他の日に比べて、大事だと考える人もいますが、どの日も同じだと考える人もいます。それぞれ自分の心の中で確信を持ちなさい。」 (ローマ 14:5)

One person esteems one day above another; another esteems every day alike. Let each be fully convinced in his own mind.

(ローマ 14:5)

「それなのに、あなたはなぜ自分の兄弟を裁くのですか。また、なぜ自分の兄弟を見下げるのですか。わたしたちはみな、神の裁きの座の前に立つことになるのです。」 (ローマ 14:10)

「それなのに、なぜ、あなたは自分の兄弟をさばくのですか。また、自分の兄弟を侮めるのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つようになるのです。」

(ローマ 14:10)

But why do you judge your brother? Or why do you show contempt for your brother? For we shall all stand before the judgment seat of Christ. (ローマ 14:10)

安息日その他を守った人々は戒めを受けたか？

「それなのに、神を知るようになった今、いえむしろ、神に知られるようになった今、どうしてあなた方は、弱くて貧弱な基礎の事柄に逆戻りし、再びそれらのために奴隷になろうとしますのですか。あなた方は日や月や時節や年を細心に守っています。わたしは、自分

「ところが、今では神を知っているのに、いや、むしろ神に知られているのに、どうしてあの無力、無価値の幼稚な教えに逆戻りして、再び新たにその奴隷になろうとしますのですか。あなたがたは、各種の日と月と季節と年を守っています。あなたがたのために私の労したことは、むだだ

But now after you have known God, or rather are known by God, how is it that you turn again to the weak and beggarly elements to

があなた方に関して労苦したことが無駄になったのではないだろうか、あなた方のことが心配です。」

(ガラテヤ 4:9-11)

「わたしは、彼らが神に対する熱心さを抱いていることを証しするのです。しかし、それは正義な知識によるものではありません。彼らは神の義を知らないで、自分たち自身の〔義〕を確立しようと努めたために、神の義に服さなかったからです。キリストは律法の終わりであり、こうして、信仰を働かせる者はみな義を得るのです。」 (ローマ 10:2-4)

ったのではないか、と私はあなたがたのことを案じています。」 (ガラテヤ 4:9-11)

「私は、彼らが神に対して熱心であることをあかしします。しかし、その熱心は知識に基づくものではありません。というのは、彼らは神の義を知らず、自分自身の義を立てようとして、神の義に従わなかったからです。キリストが律法を終わらせられたので、信じる人はみな義と認められるのです。」 (ローマ 10:2-4)

which you desire again to be in bondage?

(ガラテヤ 4:9-11)

For I bear them witness that they have a zeal for God, but not according to knowledge. For they being ignorant of God's righteousness, and seeking to establish their own righteousness, have not submitted to the righteousness of God. For Christ is the end of the law for righteousness to everyone who believes.

(ローマ 10:2-4)

信仰と従順によって神の休みに入るか？

「それで、神の民のために安息の休みが残っています。〔神〕の休みに入った人は、神がご自分の〔業〕を〔休まれた〕と同じように、その人も自分の業を休んでいるからです。それゆえわたしたちは、その休みに入るために力を尽くし、だれも同じような不従順に陥ることがないようにしましょう。」

(ヘブル 4:9-11)

「したがって、安息日の休みは、神の民のためにまだ残っているのです。神の安息にはいった者ならば、神がご自分のわざを終えて休まれたように、自分のわざを終えて休んだはずです。ですから、私たちは、この安息にはいるよう、力を尽くして務め、あの不従順の例にならって落伍する者が、ひとりもないようにしようではありませんか。」

(ヘブル 4:9-11)

There remains therefore a rest for the people of God.

For he who has entered His rest has himself also ceased from his works as God did from His. Let us therefore be diligent to enter that rest, lest anyone fall according to the same example of disobedience.

(ヘブル 4:9-11)

ロ．安息を守ることは昔のイスラエルだけに要求されたか？

エジプトを出た後初めて安息を守ったか？

「『六日の間あなた方はそれを拾いますが、七日目は安息日です。その日には少しも生じません。』それにもかかわらず、七日目にも民の中のある者たちは〔それを〕拾おうとして出て行くのであった。しかし少しも見いだせなかった。」

(出エジプト 16:26-27)

「『六日の間はそれを集めることができます。しかし安息の七日目には、それは、ありません。』それなのに、民の中のある者は七日目に集めに出た。しかし、何も見つからなかった。」 (出エジプト 16:26-27)

"Six days you shall gather it, but on the seventh day, which is the Sabbath, there will be none." Now it happened that some of the people went out on the seventh day to gather,

「『エホバがあなた方に安息日を与えたことに注目せよ。そのゆえに六日目には二日分のパンを与えているのである。各々自分の所に座しているように。七日目にはだれも自分の場所から出てはいけない。』それで民は七日目に安息を守るようになった。」

(出エジプト 16:29-30)

「『主があなたがたに安息を与えられたことに、心せよ。それゆえ、六日目には、二日分のパンをあなたがたに与えている。七日目には、あなたがたはそれぞれ自分の場所にとどまれ。その所からだれも出てはならない。』それで、民は七日目に休んだ。」

(出エジプト 16:29-30)

but they found none.

(出エジプト 16:26-27)

“See! For the Lord has given you the Sabbath; therefore He gives you on the sixth day bread for two days. Let every man remain in his place; let no man go out of his place on the seventh day.” So the people rested on the seventh day.

(出エジプト 16:29-30)

肉のイスラエルだけが持ったしるしであったか？

「『ゆえにイスラエルの子らは安息日を守り、代々にわたって安息を実行しなければならない。これは定めのない時に至る契約である。それはわたしとイスラエルの子らとの間の定めのない時に至るしるしである。エホバは六日のうちに天と地を造り、七日目に休んで安息に入ったからである。』」

(出エジプト 31:16-17)

「『イスラエル人はこの安息を守り、永遠の契約として、代々にわたり、この安息を守らなければならない。これは、永遠に、わたしとイスラエル人との間のしるしである。それは主が六日間に天と地を造り、七日目に休み、いこわれたからである。』」

(出エジプト 31:16-17)

“Therefore the children of Israel shall keep the Sabbath, to observe the Sabbath throughout their generations as a perpetual covenant. It is a sign between Me and the children of Israel forever; for in six days the Lord made the heavens and the earth, and on the seventh day He rested and was refreshed.”

(出エジプト 31:16-17)

「[神] はみ言葉をヤコブに、その規定と司法上の定めをイスラエルに告げておられる。[神] はほかのどの国民にもそのようにはなさらなかった。[その] 司法上の定めについては、彼らはこれを知らなかった。あなた方はヤハを賛美せよ!」

(詩篇 147:19-20)

「主はヤコブには、みことばを、イスラエルには、おきてとさばきを告げられる。主は、どんな国々にも、このようには、なさらなかった。さばきについて彼らは知っていない。ハレルヤ。」 (詩篇 147:19-20)

He declares His word to Jacob, His statutes and His judgments to Israel. He has not dealt thus with any nation; And as for His judgments, they have not known them. Praise the Lord! (詩篇 147:19-20)

年の安息も律法下の規定であったか？

「『また、六年の間あなたの土地に種をまいてその産物を取り入れるように。しかし、七年目には、それを耕作しないでおく。それを休閑させておかなければな

「六年間は、地に種を蒔き、収穫をしなければならない。七年目には、その土地をそのままにしておき、休ませなければならない。民の貧しい人々に、食べさせ、その残りを

“Six years you shall sow your land and gather in its produce, but the seventh

らない。そして、あなたの民のうちの貧しい人々がそこから食べることになる。また、彼らの残したものは野の野獣が食べる。あなたのぶどう園やオリーブ畑についてもそのようにする。』」
(出エジプト 23:10-11)

「六年の間あなたは自分の畑に種をまき、六年の間自分のぶどう園の刈り込みを行なうべきである。こうしてあなたはその地の産物を取り集めるのである。しかし、七年目には、その地のために全き休みの安息、エホバに対する安息が設けられるべきである。あなたの畑に種をまいてはならない。あなたのぶどう園の刈り込みを行なってはならない。」
(レビ 25:3-4)

野の獣に食べさせなければならない。ぶどう畑も、オリーブ畑も、同様にしなければならない。」
(出エジプト 23:10-11)

「六年間あなたの畑に種を蒔き、六年間ぶどう畑の枝をおろして、収穫しなければならない。七年目は、地の全き休みの安息、すなわち主の安息となる。あなたの畑に種を蒔いたり、ぶどう畑の枝をおろしてはならない。」
(レビ 25:3-4)

year you shall let it rest and lie fallow, that the poor of your people may eat; and what they leave, the beasts of the field may eat. In like manner you shall do with your vineyard and your olive grove.
(出エジプト 23:10-11)

Six years you shall sow your field, and six years you shall prune your vineyard, and gather its fruit; but in the seventh year there shall be a sabbath of solemn rest for the land, a sabbath to the Lord. You shall neither sow your field nor ptune your vineyard. (レビ 25:3-4)

安息はクリスチャンにとって必要なものではないか？

「ある人は、ある日がほかの日に勝ると判断し、別の人は、どの日もほかのすべての日と同じであると判断します。おのおの自分の思いの中で得心していきなさい。」 (ローマ 14:5)

「それなのに、あなたはなぜ自分の兄弟を裁くのですか。また、なぜ自分の兄弟を見下げたりするのですか。わたしたちはみな、神の裁きの座の前に立つことになるのです。」 (ローマ 14:10)

「それなのに、神を知るようになった今、いえむしろ、神に知られるようになった今、どうしてあなた方は、弱くて貧弱な基礎の事柄に逆戻りし、再びそれらのために奴隷になろうとしますか。あなた方は日や月や時節や年を細心に守っています。わたしは、自分

「ある日を、他の日に比べて、大事だと考える人もいますが、どの日も同じだと考える人もいます。それぞれ自分の心の中で確信を持ちなさい。」 (ローマ 14:5)

「それなのに、なぜ、あなたは自分の兄弟をさばくのですか。また、自分の兄弟を侮めるのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つようになるのです。」
(ローマ 14:10)

「ところが、今では神を知っているのに、いや、むしろ神に知られているのに、どうしてあの無力、無価値の幼稚な教えに逆戻りして、再び新たにその奴隷になろうとするのですか。あなたがたは、各種の日と月と季節と年を守っています。あなたがたのために私の労したことは、むだだ

One person esteems one day above another; another esteems every day alike. Let each be fully convinced in his own mind.
(ローマ 14:5)

But why do you judge your brother? Or why do you show contempt for your brother? For we shall all stand before the judgment seat of Christ. (ローマ 14:10)
But now after you have known God, or rather are known by God, how is it that you turn again to the weak and beggarly elements, to

があなた方に関して苦労したことが無駄になったのではないだろうか、あなた方が心配です。」

(ガラテヤ 4:9-11)

ったのではないか、と私はあなたがたのことを案じています。」 (ガラテヤ 4:9-11)

which you desire again to be in bondage?

(ガラテヤ 4:9-11)

ハ. 神の安息の休みは？ (創造の「週」の第七日)

地上での創造の業が終わった時に始まったか？

「そして、七日目までに神はその行なわれた業を完了し、次いで七日目に、行なわれたすべての業を休めました。それから神は七日目を祝福してそれを神聖にされた。その「日」に、造るために神が創造を行なったすべての業を休んでおられるのである。」

(創世記 2:2-3)

「それで神は、第七日目に、なされていたわざの完成を告げられた。すなわち、第七日目に、なされていたすべてのわざを休めました。神はその第七日目を祝福し、この日を聖であるとされた。それは、その日に、神がなされていたすべての創造のわざを休まれたからである。」

(創世記 2:2-3)

And on the seventh day God ended His work which He had done, and He rested on the seventh day from all His work which He had done . Then God blessed the seventh day and sanctified it, because in it He rested from all His work which God had created and made.

(創世記 2:2-3)

「信仰を働かせたわたしたちはその休みに入るのです。『それでわたしは怒りのうちに誓った、『彼らにはわたしの休みに入らせない』』と言われたとおりです。しかもみ業は世の基が置かれた[時]以来終わっていたのです。ある箇所では七日目についてこう言っておられるからです。『そして神は七日目に自分のすべての業を休めました。』そして、さらにここで、『彼らにはわたしの休みに入らせない』』と言われました。」 (ヘブル 4:3-5)

「信じた私たちは安息にはいるのです。『わたしは、怒りをもって誓ったように、決して彼らをわたしの安息にはいらせない。』』と神が言われたとおりです。みわざは創世の初めから、もう終わっているのです。というのは、神は七日目について、ある箇所では、『そして、神は、すべてのみわざを終えて七日目に休まれた。』』と言われました。そして、ここでは、『決して彼らをわたしの安息にはいらせない。』』と言われたのです。」 (ヘブル 4:3-5)

For we who have believed do enter that rest, as He has said: "So I swore in My wrath, 'They shall not enter My rest,' "although the works were finished from the foundation of the world. For He has spoken in a certain place of the seventh day in this way: "And God rested on the seventh day from all His works"; and again in this place: "They shall not enter My rest." (ヘブル 4:3-5)

イエスが地上にいた時代を過ぎた後も続いたか？

「それゆえ、ある者たちがそれに入ることが残されているのであり、最初に良いよりを宣明された者たちが不従順のゆえに入らなかったで、[神]は、非常に長い時を経たのち、ダビデ[の詩]の中で『今日』と述べて、あらためてある日を定めておられるのです。先に述べたとおり、『今日、もしこの方の声を聴い

「こういうわけで、その安息にはいる人々がまだ残っており、前に福音を説き聞かされた人々は、不従順のゆえにはいれなかったのですから、神は再びある日を『きよう。』』と定めて、長い年月の後に、前に言われたと同じように、ダビデを通して、『きよう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにしてはならない。』』と語られたの

Since therefore it remains that some must enter it, and those to whom it was first preached did not enter because of disobedience, again He designates a

たら、あなた方は心をかたくなにしてはならない』と
[言われました]。ヨシュアが彼らを休みの場所に導
き入れていたのであれば、[神]は後にほかの日につ
いて言われるはずはなかったのです。」

(ヘブル 4:6-8)

「この方はわたしたちの神、わたしたちはその放牧地
の民、そのみ手の羊だからである。今日、もしあなた
方がその声を聴いたなら、メリバにおけるように、荒
野のマッサの日におけるように心をかたくなにしては
ならない。そのとき、あなた方の父祖たちはわたしを
試した。彼らはわたしを調べ、またわたしの働きを見
た。」 (詩篇 95:7-9)

「彼らに関して、わたしは怒りのうちに誓った、『彼
らにはわたしの休み場に入らせない』と。」

(詩篇 95:11)

クリスチャンは利己的な業を休むか？

「それで、神の民のために安息の休みが残っています
。[神]の休みに入った人は、神がご自分の[業]を
[休まれた]と同じように、その人も自分の業を休ん
でいるからです。」 (ヘブル 4:9-10)

王国が地に対する業を完了する時に終わるか

「次いで終わりとなります。その時、彼は王国を自分
の神また父に渡します。その時、彼はあらゆる政府、
またあらゆる権威と力を無に帰せしめています。」

(1コリント 15:24)

です。もしヨシュアが彼らに安息を与えたのであったら、
神はそのあとで別の日のことを話されることはなかったで
しょう。」 (ヘブル 4:6-8)

「主は、私たちの神。私たちは、その牧場の民、その御手
の羊である。きょう、もし御声を聞くなら、メリバでのと
きのように、荒野のマサでの日のように、あなたがたの心
をかたくなにしてはならない。あのとき、あなたがたの先
祖たちはすでにわたしのわざを見ておりながら、わたしを
試み、わたしをためした。」 (詩篇 95:7-9)

「それゆえ、わたしは怒って誓った。『確かに彼らは、わ
たしの安息に、はいれない。』と。」

(詩篇 95:11)

「したがって、安息日の休みは、神の民のためにまだ残っ
ているのです。神の安息にはいった者ならば、神がご自分
のわざを終えて休まれたように、自分のわざを終えて休ん
だはずです。」 (ヘブル 4:9-10)

「それから終わりが来ます。そのとき、キリストはあらゆる
支配と、あらゆる権威、権力を滅ぼし、国を父なる神に
お渡しになります。」 (1コリント 15:24)

certain day, saying in
David, "Today," after such
along time, as it has been
said: "Today, if you will
hear His voice, Do not
harden your hearts." For if
Joshua had given them rest,
then He would not afterward
have spoken of another day.

(ヘブル 4:6-8)

For He is our God, And we
are the people of His
pasture, And the sheep of
His hand. Today, if you will
hear His voice: "Do not
harden your hearts, as in
the rebellion, As in the day
of trial in the wilderness,
When your fathers tested
Me; They tried Me, though
they saw My work."

(詩篇 95:7-9)

"So I swore in My wrath,
'They shall not enter My
rest.'" (詩篇 95:11)

There remains therefore a
rest for the people of God.
For he who has entered
His rest has himself also
ceased from his works as
God did from His.

(ヘブル 4:9-10)

Then comes the end, when
He delivers the kingdom to
God the Father, when He
puts an end to all authority

「しかし、すべてのものが彼に服させられたその時には、み子自身も、すべてのものを自分に服させた方に自ら服し、こうして、神がだれに対してもすべてのものとなるようにするのです。」

(Iコリント 15:28)

「しかし、万物が御子に従うとき、御子自身も、ご自分に万物を従わせた方に従われます。これは、神がすべてにおいてすべてとなられるためです。」

(Iコリント 15:28)

and power. (Iコリント 15:24)

Now when all things are made subject to Him, then the Son Himself will also be subject to Him who put all things under Him, that God may be all in all.

(Iコリント 15:28)

6. イエス

新世界訳

新改訳

英語

イ. イエスは神のみ子で任命された王か？

神の初子であり、他のすべての物を創造したか？

「また、ラオデキヤにある会衆の使いにこう書き送きなさい。アーメンなる者、忠実で真実な証人、神による創造の初めである者がこうに言う。」

(黙示録 3:14)

「また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。『アーメンである方、忠実で、真実な証人、神に造られたものの根源である方がこう言われる。』」

(黙示録 3:14)

"And to the angel of the church of the Laodiceans write, 'These things says the Amen, the Faithful and True Witness, the Beginning of the creation of God: '"

(黙示録 3:14)

「彼は見えない神の像であって、全創造物の初子です。なぜなら、[他の]すべてのものは、天においても地においても、見えるものも見えないものも、王座であれ主権であれ政府であれ権威であれ、彼によって創造されたからです。[他の]すべてのものは彼を通して、また彼のために創造されているのです。また、彼は[他の]すべてのものより前からあり、[他の]すべてのものは彼によって存在するようになりました。」 (コロサイ 1:15-17)

「御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られ、御子のために造られたのです。御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。」 (コロサイ 1:15-17)

He is the image of the invisible God, the firstborn over all creation. For by Him all things were created that are in heaven and that are on earth, visible and invisible, whether thrones or dominions or principalities or powers. All things were created through Him and for Him. And He is before all things, and in Him all things consist. (コロサイ 1:15-17)

女から生まれて人となり、み使いより低い者とされたか？

「しかし、時の限りが満ちたとき、神はご自分のみ子を遣わし、その[み子]は女から出て律法のもとに置かれ、」 (ガラテヤ 4:4)

「しかし定めの時が来たので、神はご自分の御子を遣わし、この方を、女から生まれた者、また律法の下にある者となさいました。」 (ガラテヤ 4:4)

But when the fullness of the time had come, God sent forth His Son, born of a woman, born under the law,

(ガラテヤ 4:4)

「ただわたしたちは、み使いたちより少し低くされたイエスが、死の苦しみを忍んだゆえに栄光と誉れの冠を与えられたのを見えています。これは、神の過分のご親切のもとに、彼がすべての[人]のために死を味わうためでした。」 (ヘブル 2:9)

「ただ、御使いよりも、しばらくの間、低くされた方であるイエスのことは見えています。イエスは、死の苦しみのゆえに栄光と誉れの冠をお受けになりました。その死は、神の恵みによって、すべての人のために味わわれたものです。」 (ヘブル 2:9)

But we see Jesus, who was made a little lower than the angels, for the suffering of death crowned with glory and honor, that He, by the grace of God, might taste death for

神の霊によって子とされ、天に行く者となったか？

「バプテスマを受けたのち、イエスはすぐに水から上がられた。すると、見よ、天が開け、[イエス]は、神の霊がはとのように下って自分の上に来るのをご覧になった。見よ、さらに天からの声があつて、こう言った。『これはわたしの子、[わたしの]愛する者である。この者をわたしは是認した。』」

(マタイ 3:16-17)

「こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。また、天からこう告げる声が聞こえた。『これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。』」(マタイ 3:16-17)

everyone. (ヘブル 2:9)

When He had been baptized, Jesus came up immediately from the water; and behold, the heavens were opened to Him, and He saw the Spirit of God descending like a dove and alighting upon Him. And suddenly a voice came from heaven, saying, "This is My beloved Son, in whom I am well pleased."

(マタイ 3:16-17)

人間となる前よりも高められたか？

「まさにこのゆえにも、神は彼をさらに上の地位に高め、[他の]あらゆる名に勝る名を進んでお与えになったのです。それは、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてのひざがイエスの名によってかがみ、」(ピリピ 2:9-10)

「それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、」(ピリピ 2:9-10)

Therefore God also has highly exalted Him and given Him the name which is above every name, that at the name of Jesus every knee should bow, of those heaven, and of those on earth, and of those under the earth, (ピリピ 2:9-10)

ロ．イエス・キリストに対する信仰は救いに肝要か？

キリストは約束されたアブラハムの胤か？

「そして、あなたの胤によって地のすべての国の民は必ず自らを祝福するであらう。」

(創世記 22:18)

「あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたがわたしの声に従ったからである。」(創世記 22:18)

"In your seed all the nations of the earth shall be blessed, because you have obeyed My voice."

(創世記 22:18)

「さて、その約束はアブラハムとその胤に語られました。それが大勢いる場合のように、『また[多くの]胤に』とではなく、一人の場合のように、『またあなたの胤に』と述べてあり、それはキリストのことなのです。」(ガラテヤ 3:16)

「ところで、約束は、アブラハムとそのひとりの子孫に告げられました。神は『子孫たちに』と言って、多数をさすことはせず、ひとりをさして、『あなたの子孫に』と言っておられます。その方はキリストです。」

(ガラテヤ 3:16)

Now to Abraham and his Seed were the promises made. He does not say, "And to seeds," as of many, but as of one, "And to your Seed," who is Christ.

(ガラテヤ 3:16)

イエスは唯一の大祭司、また贖いか？

「わたしたちの子供らよ、わたしがこれらのことを書いているのは、あなた方が罪を犯すことのないためです。それでも、もしだれかが罪を犯すことがあっても、わたしたちには父のもとに助け手、すなわち義なる方イエス・キリストがおられます。そして彼はわたしたちの罪のためのなだめの犠牲です。ただし、わたしたちの[罪]のためだけではなく、全世界の[罪]のためでもあります。」 (1ヨハネ 2:1-2)

「それゆえ、彼は自分を通して神に近づく者たちを完全に救うこともできます。常に生きておられて彼らのために願い出てくださいるからです。このような大祭司、忠節で、偽りも汚れもなく、罪人から分けられ、もろもろの天よりも高くなられた方こそわたしたち[の必要]にかなっていたのです。」 (ヘブル 7:25-26)

「ちょうど人の子が、仕えてもらうためではなく、むしろ仕え、自分の魂を、多くの人と引き換える贖いとして与えるために来たと同じです。」 (マタイ 20:28)

命は神とキリストを知り、これに従うことにより得られるか？

「彼らが、唯一まことの神であるあなたと、あなたがお遣わしになったイエス・キリストについての知識を取り入れること、これが永遠の命を意味しています。」 (ヨハネ 17:3)

「さらに、ほかのだれにも救いはありません。人々の間に与えられ、わたしたちがそれによって救いを得る

「私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。もしだれかが罪を犯したなら、私たちは御父の御前で弁護して下さる方がいます。それは、義なるイエス・キリストです。この方こそ、私たちの罪のための、私たちの罪だけでなく全世界のための、なだめの供え物なのです。」 (1ヨハネ 2:1-2)

「したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことがおできになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。また、このようにきよく、悪も汚れもなく、罪人から離れ、また、天よりも高くされた大祭司こそ、私たちにとってまさに必要な方です。」 (ヘブル 7:25-26)

「人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。」 (マタイ 20:28)

「その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。」 (ヨハネ 17:3)

「この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名とし

My little children, these things I write to you, so that you may not sin. And if anyone sins, we have an Advocate with the Father, Jesus Christ the righteous

. And He Himself is the propitiation for our sins, and not for ours only but also for the whole world.

(1ヨハネ 2:1-2)

Therefore He is also able to save to the uttermost those who come to God through Him, since He always lives to make intercession for them. For such a High Priest was fitting for us, who is holy, harmless, undefiled, separate from sinners, and has become higher than the heavens;

(ヘブル 7:25-26)

“just as the Son of Man did not come to be served, but to serve, and to give His life a ransom for many.”

(マタイ 20:28)

“And this is eternal life that they may know You, the only true God, and Jesus Christ whom You have sent.”

(ヨハネ 17:3)

“Nor is there salvation in any other, for there is

べき名は、天の下にほかにないからです。」

(使徒 4:12)

ては、どのような名も、人間に与えられていないからです

。」 (使徒 4:12)

no other name under heaven
given among men by which
we must be saved.”

(使徒 4:12)

ハ. イエスを信じる以上のことが必要か？

信仰には業が伴わねばならないか？

「このように信仰も、業が伴っていないなら、それだけでは死んでいるのです。しかしながら、ある人はこう言うことでしょう。『あなたには信仰があり、わたしには業があります。業を別にしたあなたの信仰をわたしに見せてください。そうすれば、わたしは自分の信仰を自分の業によってあなたに見せてあげましょう。』あなたは、ただひとりの神がおられることを信じているというのです。なるほどそれはりっぱです。ですが、悪霊たちも信じておののいているのです。しかし、ああ、むなしい人よ、あなたは、業を別にした信仰が無活動であることを知りたいと思いませんか。わたしたちの父アブラハムは、自分の息子イサクを祭壇の上にささげた後に業によって義と宣せられたものではありませんでしたか。あなた方は、[彼の]信仰がその業と共に働き、[彼の]業によって[その]信仰が完全にされたのを見えています。そして、『アブラハムはエホバに信仰を置き、彼に対してそれは義とみなされた』と述べる成句が成就され、彼は『エホバの友』と呼ばれるようになりました。これで分かるように、人は業によって義と宣せられるのであって、ただ信仰だけによって[義と宣せられ]るものではありません。同じように、娼婦ラハブも、使者達を親切に迎え、彼らを別の道から送り出したのち、業によって義と宣せられたものではありませんでしたか。実際に、霊のない体が死んだものであるように、業のない信仰も死んだもののなのです。」 (ヤコブ 2:17-26)

「それと同じように、信仰も、もし行ないがなかったなら、それだけでは、死んだものです。さらに、こう言う人もあるでしょう。『あなたは信仰をもっているが、私は行ないを持っています。行ないのないあなたの信仰を、私に見せてください。私は、行ないによって、私の信仰をあなたに見せてあげます。』あなたは、神はおひとりだと信じています。りっぱなことです。ですが、悪霊どももそう信じて、身震いしています。ああ愚かな人よ。あなたは行ないのない信仰がむなしいことを知りたいと思いませんか。私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげたとき、行ないによって義と認められたではありませんか。あなたの見ておるとおり、彼の信仰は彼の行ないとともに働いたのであり、信仰は行ないによって全うされ、そして、『アブラハムは神を信じ、その信仰が彼の義とみなされた。』という聖書のことが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。人は行ないによって義と認められるのであって、信仰だけによるのではないことがわかるでしょう。同様に、遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したため、その行ないによって義と認められたではありませんか。たましいを離れたからだ、死んだものであるのと同様に、行ないのない信仰は、死んでいるのです。」

(ヤコブ 2:17-26)

Thus also faith by itself,
if it does not have works,
is dead. But someone will
say, “You have faith, and
I have works.” Show me your
faith without your works,
and I will show you my
faith by my works. You
believe that there is one
God. You do well. Even the
demons believe—and tremble!
But do you want to know,
O foolish man, that faith
without works is dead? Was
not Abraham our father
justified by works when he
offered Isaac his son on
the altar? Do you see that
faith was working together
with his works, and by
works faith was made
perfect? And the Scripture
was fulfilled which says,
“Abraham believed God, and
it was accounted to him for
righteousness.” And he was
called the friend of God.
You see then then that a
man is justified by works,
and not by faith only.
Likewise, was not Rahab the
harlot also justified by

「しかし、み言葉を行なう者となきなさい。ただ聞くだけで、虚偽の推論によって自分を欺く者となつてはなりません。み言葉を聞いても行なわない人があるなら、その人は、鏡で自分の生まれつきの顔を見る人のようなものだからです。その人は自分を見はしますが、そこを離れると、自分がどのような者であるかをすぐに忘れてしまうのです。しかし、自由に属する完全な律法の中を熟視し、[それ]を守り通す人、その人は、聞いてすぐに忘れる人ではなく、業を行なう人となっているので、[それを]行なうことによって幸福になります。」（ヤコブ 1:22-25）

「また、みことばを実行する人になきなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であつてはいけません。みことばを聞いても行なわない人があるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で見る人のようです。自分をながめてから立ち去ると、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行ないによって祝福されます。」（ヤコブ 1:22-25）

works when she received the messengers and sent them out another way? For as the body without the spirit is dead, so faith without works is dead also.

（ヤコブ 2:17-26）

But be doers of the word, and not hearers only, deceiving yourselves. For if anyone is a hearer of the word and not a doer, he is like a man observing his natural face in a mirror; for he observes himself, goes away, and immediately forgets what kind of man he was. But he who looks into the perfect law of liberty and continues in it, and is not a forgetful hearer but a doer of the work, this one will be blessed in what he does.

（ヤコブ 1:22-25）

命令に従い、イエスと同じ業を行なうか？

「きわめて真実にあなた方に言いますが、わたしに信仰を働かせる者は、その者もまたわたしの行なっている業をするでしょう。しかも、それより大きな業をするのです。わたしが父のもとに行くからです。」（ヨハネ 14:12）

「『もしわたしを愛するなら、あなた方はわたしのおきてを守り行なうでしょう。』」（ヨハネ 14:15）

「そして、わたしたちが彼のおきてを守り続けるなら、それによって、彼を知るようになったことが分かる

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます。わたしが父のもとに行くからです。」（ヨハネ 14:12）

「もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。」（ヨハネ 14:15）

「もし、私たちが神の命令を守らば、それによって、私たちは神を知っていることがわかります。」

“Most assuredly, I say to you, he who believes in Me, the works that I do he will do also; and greater works than these he will do, because I go to My Father.”（ヨハネ 14:12）

“If you love Me, keep My commandments.”（ヨハネ 14:15）

Now by this we know that we know Him, if we keep

のです。」 (Iヨハネ 2:3)

(Iヨハネ 2:3) His commandments.

(Iヨハネ 2:3)

主の名を使う者がみな王国に入るのではないか？

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の王国に入るのではなく、天におられるわたしの父のご意思を行なう者が[入る]のです。その日には、多くの者がわたしに向かって、『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊たちを追い出し、あなたの名において強力な業を数多く成し遂げなかったでしょうか』と言うでしょう。しかしその時、わたしは彼らにはっきり言います。わたしは決してあなた方を知らない、不法を働く者たちよ、わたしから離れ去れ、と。」

(マタイ 7:21-23)

「わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がいるのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』」

(マタイ 7:21-23)

“Not everyone who says to Me, ‘Lord, Lord,’ shall enter the kingdom of heaven, but he who does the will of My Father in heaven. Many will say to Me in that day, ‘Lord, Lord, have we not prophesied in Your name, cast out demons in Your name, and done many wonders in Your name?’ And then I will declare to them, ‘I never knew you; depart from Me, you who practice lawlessness!’”

(マタイ 7:21-23)

7. 命

新世界訳

新改訳

英語

イ. 永遠の命は従順な人類に確かに与えられるか？

偽ることのない神が命を約束されたか？

「[その敬虔な専心]ハ永遠の命の希望に基づいています。その[希望]は、偽ることのできない神が、久しく続いた時代の前に約束されたものですが、」
(テトス 1:2)

「それは、偽ることのない神が、永遠の昔から約束してくださった永遠のいのちの望みに基づくことです。」
(テトス 1:2)

in hope of eternal life
which God, who cannot lie,
promised before time began,
(テトス 1:2)

「わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに付いて来ます。そしてわたしは彼らに永遠の命を与え、彼らはいつでも決して滅ぼされることがなく、だれも彼らをわたしの手から奪い取る者はいません。」
(ヨハネ 10:27-28)

「わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは決して滅びることがなく、また、だれもわたしの手から彼らを奪い去るようなことはありません。」
(ヨハネ 10:27-28)

“My sheep hear My voice,
and I know them, and they
follow Me. ”And I give them
eternal life, and they
shall never perish; neither
shall anyone snatch them
out of My hand.
(ヨハネ 10:27-28)

信仰を働かせる者にとしえの命は保証されているか？

「イエスは彼女に言われた、『わたしは復活であり、命です。わたしに信仰を働かせる者は、たとえ死んでも、生き返るのです。そして、生きていてわたしに信仰を働かせる者はみな決して死ぬことはありません。あなたはこれを信じますか。』」
(ヨハネ 11:25-26)

「イエスは言われた、『わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。』」
(ヨハネ 11:25-26)

Jesus said to her, “I am
the resurrection and the
life. He who believes in Me,
though he may die, he shall
live. And whoever lives and
believes in Me shall never
die. Do you believe this?”
(ヨハネ 11:25-26)

死は滅ぼされるか？

「最後の敵として、死が無に帰せしめられます。」
(1コリント 15:26)

「最後の敵である死も滅ぼされます。」
(1コリント 15:26)

The last enemy that will
be destroyed is death.
(1コリント 15:26)

「また[神]は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってください、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』」
(黙示録 21:4)

「彼らの目の涙をすっかり ぬぐい取ってください。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』」
(黙示録 21:4)

“And God will wipe away
every tear from their eyes;
there shall be no more
death, nor sorrow, nor
crying. There shall be no
more pain, for the former
things have passed away.”
(黙示録 21:4)

「そして、死とハデスは火の湖に投げ込まれた。火の湖、これは第二の死を表わしている。」 (黙示録 20:14)	「それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。」 (黙示録 20:14)	Then Death and Hades were cast into the lake of fire. This is the second death. (黙示録 20:14)
「[神]は実際に死を永久に呑み込み、主権者なる主エホバはすべての顔から必ず涙をぬぐわれる。また、ご自分の民のそしりを全地から取り去られる。エホバ自身が[そう]語られたからである。」 (イザヤ 25:8)	「永久に死を滅ぼされる。神である主はすべての顔から涙をぬぐい、ご自分の民へのそしりを全地の上から除かれる。主が語られたのだ。」 (イザヤ 25:8)	He will swallow up death forever, And the Lord God will wipe away tears from all faces; The rebuke of His people He will take away from all the earth; For the Lord has spoken. (イザヤ 25:8)

ロ. 天の命はキリストの体となる人々にだけ与えられるか？

神はご意思のままに成員を選び取られるか？

「[イエス]は彼らに言われた、『確かにあなた方はわたしの杯を飲むでしょう。しかし、わたしの右または左に座することは、わたしの授けるのではなく、わたしの父によってそれが備えられている人たちのものです。』」 (マタイ 20:23)	「イエスは言われた。『あなたがたはわたしの杯を飲みます。しかし、わたしの右と左にすわることは、このわたしの許すことではなく、わたしの父によってそれに備えられた人々があるのです。』」 (マタイ 20:23)	So He said to them, “You will indeed drink My cup, and be baptized with the baptism that I am baptized with; but to sit on My right hand and on My left is not Mine to give, but it is for those for whom it is prepared by My Father.” (マタイ 20:23)
「しかし今、神は体に肢体を、その各々を、ご自分の望むままに置かれたのです。」 (1コリント 12:18)	「しかしこのとおり、神はみこころに従って、からだの中にそれぞれの器官を備えてくださったのです。」 (1コリント 12:18)	But now God has set the members, each one of them, in the body just as He pleased. (1コリント 12:18)

14万 4,000人だけが地から取られるか？

「またわたしが見ると、見よ、子羊がシオンの山に立っており、彼と共に、十四万四千人の者が、彼の名と彼の父の名をその額に書かれて[立っていた]。』」 (黙示録 14:1)	「また私は見た。見よ。小羊がシオンの山の上に立っていた。また小羊とともに十四万四千人の人たちがいて、その額には小羊の名と、小羊の父の名とがしるしてあった。」 (黙示録 14:1)	Then I looked, and behold, a Lamb standing on Mount Zion, and with Him one hundred and forty-four thousand, having His Father’s name written on their foreheads. (黙示録 14:1)
「これらは女によって自分を汚さなかった者である。」	「彼らは女によって汚されたことのない人々である。彼ら	These are the ones who were

事実、彼らは童貞である。これらは、子羊の行くところにはどこへでも従って行く者たちである。これらは、神と子羊に対する初穂として人類の中から買い取られたのであり、」 (黙示録 14:4)

「また、別の使いが日の昇る[方角]から、生ける神の証印を携えて上って行くのを見た。彼は、地と海を損なうことを許された四人の使いに大声で叫んでこう言った。『わたしたちが、わたしたちの神の奴隷たちの顔に証印を押してしまうまでは、地も海も木も損なってはならない。』そしてわたしは、証印を押された者たちの数を聞いたが、それは十四万四千であり、イスラエルの子らのすべての部族の者たちが証印を押された。」 (黙示録 7:2-4)

「そして彼らは新しい歌を歌って言う、『あなたは巻き物を受け取ってその封印を開くにふさわしい方です。あなたはほふられ、自分の血をもって、あらゆる部族と国民の中から神のために人々を買い取ったからです。そして、彼らをわたしたちの神に対して王国また祭司とし、彼らは地に対し王として支配するのです。』」 (黙示録 5:9-10)

は童貞なのである。彼らは、神および小羊にささげられる初穂として、人々の中から贖われたのである。」 (黙示録 14:4)

「また私は見た。もうひとりの御使いが、生ける神の印を持って、日の出るほうから上って来た。彼は、地をも海をもそこなう権威を与えられた四人の御使いたちに、大声で叫んで言った。『私たちが神のしもべたちの顔に印を押してしまうまで、地にも海にも木にも害を与えてはいけない。』それから私が、印を押された人々の数を聞くと、イスラエルの子孫のあらゆる部族の者が印を押されていて、十四万四千人であった。」 (黙示録 7:2-4)

「彼らは、新しい歌を歌って言った。『あなたは、巻き物を受け取って、その封印を解くにふさわしい方です。あなたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、言語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、私たちの神のために、この人々を王国とし、祭司とされました。彼らは地上を治めるのです。』」 (黙示録 5:9-10)

not defiled with women, for they are virgins. These are the ones who follow the Lamb wherever He goes. These were redeemed from among men, being firstfruits to God and to the lamb. (黙示録 14:4)

Then I saw another angel ascending from the east, having the seal of the living God. And he cried with a loud voice to the four angels to whom it was granted to harm the earth and the sea, saying, "Do not harm the earth, the sea, or the trees till we have sealed the servants of our God on their foreheads." And I heard the number of those who were sealed. One hundred and forty-four thousand of all the tribes of the children of Israel were sealed: (黙示録 7:2-4)

And they sang a new song, saying: "You are worthy to take the scroll, And to open its seals; For You were slain, And have redeemed us to God by Your blood Out of every tribe and tongue and people and nation, And have made us kings and priests to our God; And we shall reign on the earth."

(黙示録 5:9-10)

バプテストのヨハネでさえ天の王国に入らないか？

「あなた方に真実に言いますが、女から生まれた者の中でバプテストのヨハネより偉大な者は起こされていません。しかし、天の王国において小さいほうの者も彼よりは偉大です。」（マタイ 11:11）

「まことに、あなたがたに告げます。女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネよりすぐれた人は出ませんでした。しかも、天の御国が一番小さい者でも、彼より偉大です。」（マタイ 11:11）

“Assuredly, I say to you, among those born of women there has not risen one greater than John the Baptist; but he who is least in the kingdom of heaven is greater than he.”

（マタイ 11:11）

ハ. 地上の命を約束されている人、「ほかの羊」の数は限られていないか？

天でキリストと共にいる人の数は限られているか？

「またわたしが見ると、見よ、小羊がシオンの山に立っており、彼と共に、十四万四千人の者が、彼の名と彼の父の名をその額に書かれて[立っていた]。」（黙示録 14:1）

「また私は見た。見よ。小羊がシオンの山の上に立っていた。また小羊とともに十四万四千人の人たちがいて、その額には小羊の名と、小羊の父の名とがしるしてあった。」（黙示録 14:1）

Then I looked, and behold, a Lamb standing on Mount Zion, and with Him one hundred and forty-four thousand, having His Father's name written on their foreheads.

（黙示録 14:1）

「これらは女によって自分を汚さなかった者である。事実、彼らは童貞である。これらは、子羊の行くところにはどこへでも従って行く者たちである。これらは、神と子羊に対する初穂として人類の中から買い取られたのであり、」（黙示録 14:4）

「彼らは女によって汚されたことのない人々である。彼らは童貞なのである。彼らは、神および小羊にさげられる初穂として、人々の中から贖われたのである。」（黙示録 14:4）

These are the ones who were not defiled with women, for they are virgins. These are the ones who follow the Lamb wherever He goes. These were redeemed from among men, being firstfruits to God and to the lamb.（黙示録 14:4）

「また、別のみ使いが日の昇る[方角]から、生ける神の証印を携えて上って行くのを見た。彼は、地と海を損なうことを許された四人のみ使いに大声で叫んでこう言った。『わたしたちが、わたしたちの神の奴隷たちの額に証印を押してしまうまでは、地も海も木も損なってはならない。』そしてわたしは、証印を押された者たちの数を聞いたが、それは十四万四千であり、イスラエルの子孫のすべての部族の者たちが証印を押された。」（黙示録 7:2-4）

「また私は見た。もうひとりの御使いが、生ける神の印を持って、日の出るほうから上って来た。彼は、地をも海をもそこなう権威を与えられた四人の御使いたちに、大声で叫んで言った。『私たちが神のしもべたちの額に印を押してしまうまで、地にも海にも木にも害を与えてはいけません。』それから私が、印を押された人々の数を聞くと、イスラエルの子孫のあらゆる部族の者が印を押されていて、十四万四千人であった。」（黙示録 7:2-4）

Then I saw another angel ascending from the east, having the seal of the living God. And he cried with a loud voice to the four angels to whom it was granted to harm the earth and the sea, saying, “Do not harm the earth, the sea, or the trees till we have

		sealed the servants of our God on their foreheads.” And I heard the number of those who were sealed. One hundred and forty-four thousand of all the tribes of the children of Israel were sealed: (黙示録 7:2-4)
「ほかの羊」はキリストの兄弟たちではないか？		
「『また、わたしにはほかの羊がありますが、それらはこの囲いものではありません。それらもわたしは連れて来なければならず、彼らはわたしの声を聴き、一つの群れ、一人の羊飼いとなります。』」 (ヨハネ 10:16)	「わたしにはまた、この囲いに属さないほかの羊があります。わたしはそれをも導かなければなりません。彼らはわたしの声に聞き従い、一つの群れ、ひとりの牧者となるのです。」 (ヨハネ 10:16)	“And other sheep I have which are not of this fold; them also I must bring, and they will hear My voice; and there will be one flock and one shepherd.” (ヨハネ 10:16)
「そしてすべての国の民が彼の前に集められ、彼は、羊飼いが羊をやぎから分けるように、人をひとりひとり分けます。」 (マタイ 25:32)	「そして、すべての国々の民が、その御前に集められます。彼は、羊飼いが羊と山羊とを分けるように、彼らをより分け、」 (マタイ 25:32)	“All the nations will be gathered before Him, and He will separate them one from another, as a shepheed divides his sheep from the goats.” (マタイ 25:32)
「すると、王は答えて言うでしょう。『あなた方に真実に言いますが、これらわたしの兄弟のうち最も小さな者の一人にしたのは、それだけわたしに対してしたのです。』」 (マタイ 25:40)	「すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』」 (マタイ 25:40)	“And the King will answer and say to you, inasmuch as you did it to one of the least of these My brethren, you did it to Me.” (マタイ 25:40)
地上に残る大勢の人が今集められているか？		
「これらのことの後、わたしが見ると、見よ、すべての国民と部族と民と国語の中から来た、だれも数えつくすことのできない大群衆が、白くて長い衣を着て、み座の前と子羊の前に立っていた。彼らの手には、やしの枝があった。」 (黙示録 7:9)	「その後、私を見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手にとって、御座と小羊との前に立っていた。」 (黙示録 7:9)	After these things I looked, and behold, a great multitude which no one could number, of all nations, tribes, peoples, and tongues, standing before the throne and before the Lamb, clothed with white robes, with palm branches in

「『それゆえに神のみ座の前にいるのである。そして、その神殿で昼も夜も〔神〕に神聖な奉仕をささげている。また、み座に座っておられる方は彼らの上に自分の天幕を広げられるであろう。彼らはもはや飢えることも乾くこともなく、太陽が彼らの上に照りつけることも、どんな炎熱に〔冒されること〕もない。み座の真ん中におられる子羊が、彼らを救し、命の水の泉に彼らを導かれるからである。そして神は彼らの目からすべての涙をぬぐい去られるであろう。』」
(黙示録 7:15-17)

「『だから彼らは神の御座の前にいて、聖所で昼も夜も、神に仕えています。そして、御座に着いておられる方も、彼らの上に幕屋を張られるのです。彼らはもはや、飢えることもなく、乾くこともなく、太陽もどんな炎熱も彼らを打つことはありません。なぜなら、御座の正面におられる小羊が、彼らの牧者となり、いのちの水の泉に導いてくださるからです。また、神は彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださるのです。』」
(黙示録 7:15-17)

their hands, (黙示録 7:9)

“Therefore they are before the throne of God, and serve Him day and night in His temple. And He who sits on the throne will dwell among them. They shall neither hunger anymore nor thirst anymore; the sun shall not strike them, nor any heat; for the Lamb who is in the midst of the throne will shepherd them and lead them to living fountains of waters. And God will wipe away every tear from their eyes.”

(黙示録 7:15-17)

他の人々は地上の命によみがえるか？

「そしてわたしは、死んだ者たちが、大いなる者も小なる者も、そのみ座の前に立っているのを見た。そして、〔数々の〕巻き物が開かれた。しかし、別の巻き物が開かれた。それは命の巻き物である。そして、死んだ者たちはそれらの巻き物に書かれている事柄により、その行ないにしたがって裁かれた。」
(黙示録 20:12)

「また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行ないに応じてさばかれた。」 (黙示録 20:12)

And I saw the dead, small and great, standing before God, and books were opened. And another book was opened, which is the Book of Life. And the dead were judged according to their works, by the things which were written in the books.

(黙示録 20:12)

「『また〔神〕は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださり、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』」
(黙示録 21:4)

「『彼らの目の涙をすっかり ぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』」
(黙示録 21:4)

“And God will wipe away every tear from their eyes; there shall be no more death, nor sorrow, nor crying. There shall be no more pain, for the former things have passed away.”

(黙示録 21:4)

8. 祈り

新世界訳

新改訳

英語

イ. 神に聞かれる祈りは？

神は人間の祈りを聴かれるか？

「エホバは、ご自分呼び求めるすべてのもの、ご自分を真実に呼び求めるすべての者の近くにおられます。〔レーシュ〕」（詩篇 145:18）

「『エホバの目は義にかなった者たちの上にあり、その耳は彼らの祈願に向けられるからである。しかしエホバのみ顔は悪を行なう者たちに向かっている』とあるからです。」（1ペテロ 3:12）

「主を呼び求める者すべて、まことをもって主を呼び求める者すべてに主は近くあられる。」

（詩篇 145:18）

「『主の目は義人の上に注がれ、主の耳は彼らの祈りに傾けられる。しかし主の顔は、悪を行なう者に立ち向かう。』」（1ペテロ 3:12）

The Lord is near to all who call upon Him, To all who call upon Him in truth.

（詩篇 145:18）

“For the eyes of the Lord are on the righteous, And His ears are open to their prayers; But the face of the Lord is against those who do evil.”（1ペテロ 3:12）

不義の者は歩みを改めない限り聞かれぬか？

「『あなたがたなごころを伸べるとき、わたしはあなた方から目を隠す。たとえあなた方が多くの祈りをしようとも、わたしは聴いてはいない。あなた方のその手は流血で満ちている。身を洗い、身を清め、わたしの目の前からあなた方の行ないの悪を除け。悪を行なうことをやめよ。善を行なうことを学び、公正を求め、虐げる者を正し、父なしの子のために裁きを行ない、やもめの言い分を弁護せよ。』」（イザヤ 1:15-17）

（イザヤ 1:15-17）

「『あなたがたが手を差し伸べて祈っても、わたしはあなた方から目をそらす。どんなに祈りを増し加えても、聞くことはない。あなたがたの手は血まみれだ。洗え。身をきよめよ。わたしの前で、あなたがたの悪を取り除け。悪事を働くのをやめよ。善をなすことを習い、公正を求め、しいたげる者を正し、みなしごのために正しいさばきをなし、やもめのために弁護せよ。』」（イザヤ 1:15-17）

（イザヤ 1:15-17）

“When you spread out your hands, I will hide My eyes from you; Even though you make many prayers, I will not hear. Your hands are full of blood. Wash yourselves, make yourselves clean; Put away the evil of your doings from before My eyes. Cease to do evil, Learn to do good; Seek justice, Rebuke the oppressor; Defend the fatherless, Plead for the widow.”

（イザヤ 1:15-17）

イエスの名によって祈らねばならないか？

「また、あなた方がわたしの名によって求めることが何であっても、わたしはそれを行ないます。父が子との関連において栄光をお受けになるためです。あなた方がわたしの名によって何か求めるなら、わたしはそれを行ないます。」（ヨハネ 14:13-14）

「またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしましょう。」（ヨハネ 14:13-14）

“And whatever you ask in My name, that I will do, that the Father may be glorified in the Son. ”If you ask anything in My name in My name, I will do it.”

（ヨハネ 14:13-14）

「神の約束がどんなに多くても、それは彼によって、はい、となったからです。それゆえにも、わたしたちによる栄光のため、彼を通して、神に『アーメン』が[唱えられる]のです。」

(Ⅱコリント 1:20)

「神の約束はことごとく、この方において『しかり。』となりました。それで私たちは、この方によって『アーメン。』と言い、神に栄光を帰すのです。」

(Ⅱコリント 1:20)

For all the promises of God in Him are Yes, and in Him Amen, to the glory of God through us. (Ⅱコリント 1:20)

神のご意志に則して祈らねばならないか？

「そして、わたしたちは[神]に対してこのような確信を抱いています。すなわち、何であれわたしたちがそのご意志にしたがって求めることであれば、[神]は聞いてくださるということです。さらに、何であれ、わたしたちの求めているものについて[神]は聞いてくださるということを知っているなら、わたしたちは、[神]に求めたからには、求めたものは得られるはずだということも知ります。」

(Ⅰヨハネ 5:14-15)

「何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるということ、これこそ神に対する私たちの確信です。私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事は、すでにかなえられたと知ります。」

(Ⅰヨハネ 5:14-15)

Now this is the confidence that we have in Him, that if we ask anything according to His will, He hears us. And if we know that He hears us, whatever we ask, we know that we have the petitions that we have asked of Him.

(Ⅰヨハネ 5:14-15)

信仰が肝要か？

「しかし、信仰のうちに求めつづけるべきであり、疑うようなことがあってはなりません。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く海の波のようだからです。実際、その人は自分がエホバから何かをいただけるなどと思っ

てはなりません。その人は優柔不断であり、そのすべての道において不安定です。」

(ヤコブ 1:6-8)

「ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。そういう人は、主から何かをいただけると思っ

てはなりません。そういうのは、二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を欠いた人です。」

(ヤコブ 1:6-8)

But let him ask in faith, with no doubting, for he who doubts is like a wave of the sea driven and tossed by the wind. For let not that man suppose that he will receive anything from the Lord; he is a double-minded man, unstable in all his ways.

(ヤコブ 1:6-8)

ロ．空しく繰り返すこと、マリアまた“聖徒”に祈ることは正しくないか？

イエスの名によって神に祈ることが必要か？

「あなたがわたしの名によって何か求めるなら、わたしはそれを行います。」

(ヨハネ 14:14)

「あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしましょう。」

(ヨハネ 14:14)

“If you ask anything in My name, I will do it.”

(ヨハネ 14:14)

「またその日には、あなた方はわたしに何の質問もしないでしょう。きわめて真実にあなた方に言いますが、あなたが父に何かを求めるなら、[父]はそれをわたしの名によって与えてくださるのです。今この時まで、あなた方は何一つわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けます。あ

「その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わたしの名によってそれをあなたがたにお与えになります。あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたが

“And in that day you will ask Me nothing. Most assuredly, I say to you, whatever you ask the Father in My name He will give you. Until now you have asked

なた方の喜びが満ちるためです。」

(ヨハネ 16:23-24)

たの喜びが満ち満ちたものとなるためです。」

(ヨハネ 16:23-24)

nothing in My name. Ask,
and you will receive, that
your joy may be full.”

(ヨハネ 16:23-24)

言葉を繰り返しても聞かれないか？

「しかし、祈る際には、諸国の人々がするように同じ
ことを何度も繰り返し言っはなりません。彼らは言
葉を多くすれば聞かれると思っているのです。」

(マタイ 6:7)

「また、祈るとき、異邦人のように同じことばを、ただく
り返してはいけません。彼らはことば数が多ければ聞かれ
ると思っているのです。」 (マタイ 6:7)

”And when you pray, do not
use vain repetitions as
the heathen do. For they
think that they will be
heard for their many words.”

(マタイ 6:7)

9. いやし、異言

新世界訳

新改訳

英語

イ．霊的ないやしには永続する益があるか？

霊的な病氣は滅びを来たすか？

「罪深い国民、とがに重くまとわれた民、悪を行なう道、破滅を来たす子らは災いだ！ 彼らはエホバを捨て、イスラエルの聖なる方を不敬な仕方であれ、[その方]に背を向けた。あなた方はなおも反抗を増し加えることにより、この上ほかのどこを打たれようとするのか。頭は全体が病んでおり、心臓も全体が虚弱になっている。足の裏から頭に至るまで、そのうちに健全なところは全くない。傷と打ち傷と生々しいむちの跡 それらは絞り出されたことも、巻かれたこともなく、油で和らげられたこともない。」

(イザヤ 1:4-6)

「『この民の心を、受け入れる力のないものにし、その耳を鈍感にならせ、その目をのり付けせよ。彼らがその目で見ることのないため、その耳で聞くことのないため、また、その心が理解することのないため、彼らが、実際に立ち返って自分のためにいやしを得ることのないためである。』」 (イザヤ 6:10)

「わたしの民は必ず沈黙させられる。知識がないためである。知識をあなたが退けたゆえに、わたしもあなたを退けて、祭司としてわたしに仕えることをやめさせる。あなたが自分の神の律法をいつも忘れていく[ゆえに]、このわたしもあなたの子らを忘れるであろう。」 (ホセア 4:6)

「ああ。罪を犯す国、咎重き民、悪を行なう者どもの子孫、墮落した子ら。彼らは主を捨て、イスラエルの聖なる方を侮り、背を向けて離れ去った。あなたがたは、なおもどこを打たれようというのか。反逆に反逆を重ねて。頭に残すところなく病にかかり、心臓もすっかり弱り果てている。足の裏から頭まで、健全なところはなく、傷と、打ち傷と、打たれた生傷。絞り出してももらえず、包んでももらえず、油で和らげてももらえない。」

(イザヤ 1:4-6)

「『この民の心を肥え鈍らせ、その耳を遠くし、その目を堅く閉ざせ。自分の目で見、自分の耳で聞き、自分の心で悟り、立ち返って、いやされることのないために。』」

(イザヤ 6:10)

「わたしの民は知識がないので滅ぼされる。あなたが知識を退けたので、わたしはあなたを退けて、わたしの祭司としない。あなたは神のおしえを忘れたので、わたしもまた、あなたの子らを忘れよう。」 (ホセア 4:6)

Alas, sinful nation, A people laden with iniquity, A brood of evildoers, Children who are corrupters! They have forsaken the Lord, They have provoked to anger The Holy One of Israel, They have turned away backward. Why should you be stricken again? You will revolt more and more. The whole head is sick, And the whole heart faints. From the sole of the foot even to head, There is no soundness in it, But wounds and bruises and putrefying sores; They have not been closed or bound up, Or soothed with ointment.

(イザヤ 1:4-6)

“Make the heart of this people dull, And their ears heavy, And shut their eyes; Lest they see with their eyes, And hear with their ears, And understand with their heart, And return and be healed.” (イザヤ 6:10)

My people are destroyed for lack of knowledge. Because you have rejected knowledge, I also will reject you from being priest for Me; Because you have forgotten

おもな使命は霊的ないやしか？

「命を与えるものは霊です。肉は少しも役に立ちません。わたしがあなた方に話したことは霊であり、命です。」（ヨハネ 6:63）

「エホバの霊がわたしの上にある。貧しい者に良いたよりを宣明させるためわたしに油をそそぎ、捕われ人に釈放を、盲人に視力の回復を宣べ伝え、打ちひしがれた者を解き放して去らせ、」

（ルカ 4:18）

「いのちを与えるのは御霊です。肉は何の益ももたらしません。わたしがあなたに話したことは、霊であり、またいのちです。」（ヨハネ 6:63）

「『わたしの上に主の御霊がおられる。主が、貧しい人々に福音を伝えるようにと、わたしに油を注がれたのだから。主はわたしを遣わされた。捕われ人には赦免を、盲人には目の開かれることを告げるために。いたげられている人々を自由にし、」（ルカ 4:18）

the law of your God, I also will forget your children.

（ホセア 4:6）

“It is the Spirit who gives life; the flesh profits nothing. The words that I speak to you are spirit, and they are life.”

（ヨハネ 6:63）

“The Spirit of the Lord is upon Me, Because He has anointed Me To preach the gospel to the poor; He has sent Me to heal the broken-hearted, To proclaim liberty to the captives And recovery of sight to the blind, To set at liberty those who are oppressed;”

（ルカ 4:18）

罪を除き、幸福と命を与えるか？

「わたしの兄弟たち、もしあなたの方のなかのだれかが惑わされて真理からそれ、別の人がこれを立ち返らせるなら、罪人をその道の誤りから立ち返らせる人は、その人の魂を死から救い、多くの罪を贖う、ということを知りなさい。」

（ヤコブ 5:19-20）

「私の兄弟たち。あなたがたのうちに、真理から迷い出た者がいて、だれかがその人を連れ戻すようなことがあれば、罪人を迷いの道から引き戻す者は、罪人のたましいを死から救い出し、また、多くの罪をおおうのだということを、あなたがたは知っていないさい。」

（ヤコブ 5:19-20）

Brethren, if anyone among you wanders from the truth, and someone turns him back, let him know that he who turns a sinner from the error of his way will save a soul from death and cover a multitude of sins.

（ヤコブ 5:19-20）

「それでわたしはすぐ彼に言った、『わたしの主よ、あなたが知っておられます。』すると彼はわたしに言った、『これは大患難から出て来る者たちで、彼らは自分の長い衣を子羊の血で洗って白くした。それゆえに神のみ座の前にいるのである。そして、その神殿で昼も夜も「神」に神聖な奉仕をささげている。また、み座に座っておられる方は彼らの上にご自分の天幕を

「そこで、私は、『主よ。あなたこそ、ご存じです。』と言った。すると、彼は私にこう言った。『彼らは、大きな患難から抜けて出て来た者たちで、その衣を小羊の血で洗って、白くしたのです。だから、彼らは神の御座の前にいて、聖所で昼も夜も、神に仕えているのです。そして、御座に着いておられる方も、彼らの上に幕屋を張られるのです。彼らはもはや、飢えることもなく、乾くこともなく、

And I said to him, “Sir, you know.” So he said to me, “These are the ones who come out of the great tribulation, and washed their robes and made them white in the blood of the Lamb. Therefore

広げられるであろう。彼らはもはや飢えることも乾くこともなく、太陽が彼らの上に照りつけることも、どんな炎熱に「冒されること」もない。み座の真ん中におられる子羊が、彼らを牧し、命の水の泉に彼らを導かれるからである。そして神は彼らの目からすべての涙をぬぐい去られるであろう。』」
(黙示録 7:14-17)

太陽もどんな炎熱も彼らを打つことはありません。なぜなら、御座の正面におられる小羊が、彼らの牧者となり、いのちの水の泉に導いてくださるからです。また、神は彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださるのです。』」
(黙示録 7:14-17)

they are before the throne of God, and serve Him day and night in His temple. And He who sits on the throne will dwell among them . They shall neither hunger anymore nor thirst anymore; the sun shall not strike them, nor any heat; for the Lamb who is in the midst of the throne will shepherd them and lead them to living fountains of waters. And God will wipe away every tear from their eyes.”
(黙示録 7:14-17)

ロ．神の王国は永続する肉体のいやしをもたらすか？

イエスは病人をいやして王国の祝福を宣べ伝えたか？

「それから〔イエス〕はガリラヤの全土をあまねく巡り、諸会堂で教え、王国の良いたよりを宣べ伝え、民の中のあらゆる疾患とあらゆる病を治された。」
(マタイ 4:23)

「イエスはガリラヤ全土を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病氣、あらゆるわずらいを直された。」 (マタイ 4:23)

And Jesus went about all Galilee, teaching in their synagogues, preaching the gospel of the kingdom, and healing all kinds of sickness and all kinds of disease among the people.
(マタイ 4:23)

王国は永遠のいやしをもたらすと約束されているか？

「あなたの王国が来ますように。あなたのご意志が天におけると同じように、地上においてもなされますように。」 (マタイ 6:10)
「ダビデの王座とその王国の上にあつて、君としてのその豊かな支配と平和に終わりは無い。それは、今より定めのない時に至るまで、公正と義によってこれを堅く立て、支えるためである。実に万軍のエホバの熱心がこれを行なう。」 (イザヤ 9:7)

「御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。」 (マタイ 6:10)
「その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。今より、とこしえまで。万軍の主の熱心が、これを成し遂げる。」
(イザヤ 9:7)

Your kingdom come. Your will be done On earth as it is in heaven. (マタイ 6:10)
Of the increase of His government and peace There will be no end, Upon the throne of David and over His kingdom, To order it and establish it with judgment and justice From that time forward, even forever. The

		zeal of the Lord of hosts will perform this.	(イザヤ 9:7)
死さえも除き去られるか？ 「[神]がすべての敵を彼らの足の下に置くまで、彼は王として支配しなければならないです。最後の敵として、死が無に帰せしめられます。」 (Iコリント 15:25-26)	「キリストの支配は、すべての敵をその足の下に置くまで、と定められているからです。最後の敵である死も滅ぼされます。」 (Iコリント 15:25-26)	For He must reign till He has put all enemies under His feet. The last enemy that will be destroyed is death. (Iコリント 15:25-26)	
「『また[神]は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださり、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』」 (黙示録 21:4)	「『彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』」 (黙示録 21:4)	“And God will wipe away every tear from their eyes; there shall be no more death , nor sorrow, nor crying. There shall be no more pain, for the former things have passed away.” (黙示録 21:4)	
「そして、死とハデスは火の湖に投げ込まれた。火の湖、これは第二の死を表している。」 (黙示録 20:14)	「それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。」 (黙示録 20:14)	Then Death and Hades were cast into the lake of fire. This is the second death.	(黙示録 20:14)

ハ．現代の信仰治療には神の是認のしるしがないか？

弟子たちは奇跡で自分をいやす事はしなかったか？

「ただその啓示の過大さのために、わたしについて見るところ、あるいはわたしから聞くところを越えて、わたしのことを高く評価するようなことのないためです。それゆえ、高慢になることのないよう、わたしは肉体に一つのとげを与えられました。それはサタンの使いであって、わたしが高慢にならないよう、わたしに終始平手打ちを加えるためのものです。これについては、それがわたしから離れるよう、わたしは三度主に懇願しました。しかし[主]は、まさにこう言われました。『わたしの過分の親切はあなたに対してすでに十分である。[わたしの]力は弱さのうちに全うされるのである。』それゆえわたしは、自分の弱いところについてむしろ大いに喜んで誇り、こうしてキリストの力が天幕のごとく、わたしの上にとどまるようにします。」 (IIコリント 12:7-9)

「また、その啓示があまりにもすばらしいからです。そのために私は、高ぶることのないようにと、肉体に一つのとげを与えられました。それは私が高ぶることのないように、私を打つための、サタンの使いです。このことについては、これを私から去らせてくださるようにと、三度も主に願いました。しかし、主は、『わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである。』と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。」

(IIコリント 12:7-9)

And lest I should be exalted
above measure by the
abundance of the revelations
, a thorn in the flesh was
given to me, a messenger
of Satan to buffet me, lest
I be exalted above measure.
Concerning this thing I
pleaded with the Lord three
times that it might depart
from me. And He said to me,
“My grace is sufficient for
you, for My strength is
made perfect in weakness.”
Therefore most gladly I
will rather boast in my

「もう水を飲むのをやめて、胃のため、また度々かかる病氣のために、ぶどう酒を少し用いなさい。」

(Ⅰテモテ 5:23)

「これからは水ばかり飲まないで、胃のために、また、たびたび起こる病氣のためにも、少量のぶどう酒を用いなさい。」 (Ⅰテモテ 5:23)

infirmities, that the power of Christ may rest up on me. (Ⅱコリント 12:7-9)

No longer drink only water, but use a little wine for your stomach's sake and your frequent infirmities.

(Ⅰテモテ 5:23)

使徒たちの時代以降奇跡の賜物は終わったか？

「愛は決して絶えません。それに対し、預言[の賜物]があっても、それは廃され、異言があっても、それはやみ、知識があっても、それは廃されます。わたしたちの知識は部分的なものであり、預言も部分的なものだからです。全きものが到来すると、部分的なものは廃されるのです。わたしがみどりごであった時には、みどりごのように話し、みどりごのように考え、みどりごのように論じていました。しかし、大人となった今、みどりごの[時の]ことをやめたのです。」

(Ⅰコリント 13:8-11)

「愛は決して絶えることはありません。預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみまゐります。知識ならばすたれます。というのは、私たちの知っているところは一部分であり、預言することも一部分だからです。完全なものが現れたら、不完全なものはすたれます。私が子どもであったときには、子どもとして話し、子どもとして考え、子どもとして論じましたが、おとなになったときには、子どものことをやめました。」 (Ⅰコリント 13:8-11)

Love never fails. But whether there are prophecies, they will fail; whether there are tongues, they will fail; whether there are tongues, they will cease; whether there is knowledge, it will vanish away. For we know in part and we prophesy in part. But when that which is perfect has come, then that which is in part will be done away. When I was a child, I spoke as a child, I understood as a child, I thought as a child; but when I became a man, I put away childish things.

(Ⅰコリント 13:8-11)

いやしは神の恵みの確かな証拠ではないか？

「その日には、多くの者がわたしに向かって、『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊たちを追い出し、あなたの名において強力な業を数多く成し遂げなかったでしょうか』と言うでしょう。しかしその時、わたしは彼らにはっきり言います。わたしは決してあなた方を知らない、不法を働く者たちよ、わたしから離れ去れ、と。」

(マタイ 7:22-23)

「その日には、大ぜいの者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみことを行なう者がはいるのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇跡をたくさん行なったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしは

"Many will say to Me in that day, 'Lord, Lord, have we not prophesied in Your name, cast out demons in Your name, and done many wonders in Your name?' And then I will declare to them, 'I never knew you;

<p>「しかし、不法の者が存在するのはサタンの働きによるのであり、それはあらゆる強力な業と偽りのしるしと異兆を伴い、また、滅びゆく者たちに対するあらゆる不義の欺きを伴っています。彼らが[こうして滅びゆくのは]、真理への愛を受け入れず、救われようとしなかったことに対する応報としてなのです。そのゆえに神は、誤りの働きを彼らのもとに至らせて、彼らが偽りを信じるようにするのであり、」</p> <p>(Ⅱテサロニケ 2:9-11)</p>	<p>ら離れて行け。』」 (マタイ 7:22-23)</p> <p>「不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。」</p> <p>(Ⅱテサロニケ 2:9-11)</p>	<p>depart from Me, you who practice lawlessness!’</p> <p>(マタイ 7:22-23)</p> <p>The coming of the lawless one is according to the working of Satan, with all power, signs, and lying wonders, and with all unrighteous deception among those who perish, because they did not receive the love of truth, that they might be saved. And for this reason God will send them strong delusion, that they should be lieve the lie, (Ⅱテサロニケ 2:9-11)</p>
--	--	---

二. 異言を語ることは一時的な賜物にすぎないか？

しるしであったか？ より大きな賜物を求めるべきだったか？

<p>「それゆえ、異言はしるしのためです。それも、信者に対してではなく、不信者に対してです。一方、預言は不信者のためでなく、信者のためです。」</p> <p>(Ⅰコリント 14:22)</p>	<p>「それで、異言は信者のためのしるしではなく、不信者のためのしるしです。けれども、預言は不信者でなく、信者のためのしるしです。」 (Ⅰコリント 14:22)</p> <p>「みながいやしの賜物を持っているでしょうか。みなが異言を語るでしょうか。みなが解き明かしをするでしょうか。あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。また私は、さらにまざる道を示してあげましょう。」</p> <p>(Ⅰコリント 12:30-31)</p>	<p>Therefore tongues are for a sign, not to those who believe but to unbelievers; but prophesying is not for unbelievers but for those who believe.</p> <p>(Ⅰコリント 14:22)</p> <p>Do all have gifts of healings? Do all speak with tongues? Do all interpret? But earnestly desire the best gifts. And yet I show you a more excellent way.</p> <p>(Ⅰコリント 12:30-31)</p>
--	--	---

霊による奇跡の賜物は過ぎ去ると予告されたか？

<p>「愛は決して絶えません。それに対し、預言[の賜物]があっても、それは廃され、異言があっても、それはやみ、知識があっても、それは廃されます。わたしたちの知識は部分的なものであり、預言も部分的なも</p>	<p>「愛は決して絶えることはありません。預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみます。知識ならばすたれます。というのは、私たちの知っているところは一部分であり、預言することも一部分だからです。完全なものが現れた</p>	<p>Love never fails. But whether there are prophecies, they will fail; whether there are tongues, they will</p>
---	---	---

のだからです。全きものが到来すると、部分的なものは廃されるのです。」
(1コリント 13:8-10)

ら、不完全なものはすたれます。」
(1コリント 13:8-10)

fail; whether there are tongues, they will cease; whether there is knowledge, it will vanish away. For we know in part and we prophesy in part. But when that which is perfect has come, then that which is in part will be done away. (1コリント 13:8-10)

不思議な業は神の恵みの確かな証拠ではないか？

「その日には、多くの者がわたしに向かって、『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊たちを追い出し、あなたの名において強力な業を数多く成し遂げなかったでしょうか』と言うでしょう。しかしその時、わたしは彼らにはっきり言います。わたしは決してあなた方を知らない、不法を働く者たちよ、わたしから離れ去れ、と。」
(マタイ 7:22-23)

「その日には、大ぜいの者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がはいるのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ、私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇跡をたくさん行なったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども、わたしから離れて行け。』」 (マタイ 7:22-23)

"Many will say to Me in that day, 'Lord, Lord, have we not prophesied in Your name, cast out demons in Your name, and done many wonders in Your name?' And then I will declare to them, 'I never knew you; depart from Me, you who practice lawlessness!'"

(マタイ 7:22-23)

「偽キリストや偽預言者が起こり、できれば選ばれた者たちをさえ惑わそうとして、大きなしるしや不思議を行なうからです。」 (マタイ 24:24)

「にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをし見せます。」 (マタイ 24:24)

"For false christs and false prophets will rise and show great signs and wonders to deceive, if possible, even the elect. (マタイ 24:24)

10. 運命予定説

新世界訳

新改訳

英語

Ⅰ. 人間は運命を予定されているのではないか？

神の目的は確実に果たされるか？

「おーい、乾いているすべての者よ！ 水の[ある]ところに来い。そして、金のない者たちよ！ 来て、買って、食べよ。そうだ、来て、金も払わずに、代価も払わずに、ぶどう酒と乳を買え。」

(イザヤ 55:1)

「さらに、神は彼らを祝福し、神は彼らに言われた、『子を生んで多くなり、地に満ちて、それを従わせよ。そして、海の魚と天の飛ぶ生き物と地の上を動くあらゆる生き物を服従させよ。』」

(創世記 1:28)

「ああ、乾いている者はみな、水を求めて出て来い。金のない者も。さあ、穀物を買って食べよ。さあ、金を払わないで、穀物を買ひ、代価を払わないで、ぶどう酒と乳を買え。」 (イザヤ 55:1)

「神はまた、彼らを祝福し、このように神は彼らに仰せられた。『生めよ。ふえよ。地をばうすべての生き物を支配せよ。』」 (創世記 1:28)

So shall My word be that goes forth from My mouth; It shall not return to Me void, But it shall accomplish what I please, And it shall prosper in the thing for which I sent it.

(イザヤ 55:1)

Then God blessed them, and God said to them, "Be fruitful and multiply; fill the earth and subdue it; have dominion over the fish of the sea, over the birds of the air, and over every living thing that moves on the earth." (創世記 1:28)

神に仕えるかどうかは各自が選ぶか？

「『というのは、神の世を深く愛してご自分の独り子を与え、だれでも彼に信仰を働かせる者が滅ぼされないうで、永遠の命を持てるようにされたからです。』」

(ヨハネ 3:16)

「したがって、わたしの愛する者たちよ、あなた方は常に従ってきましたが、つまり、わたしのいる時だけでなく、わたしのいない今いよいよ進んで[従って]いますが、そのようにして、恐れとおののきをもって自分の救いを達成してゆきなさい。」

(ピリピ 2:12)

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

(ヨハネ 3:16)

「そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であつたように。私がいるときだけでなく、私のいない今はなおさら、恐れおののいて自分の救いを達成してください。」 (ピリピ 2:12)

"For God so loved the world that He gave His only begotten Son, that whoever believes in Him should not perish but have everlasting life. (ヨハネ 3:16)

Therefore, my beloved, as you have always obeyed, not as in my presence only, but now much more in my absence, work out your own salvation with fear and trembling;

(ピリピ 2:12)

11. エホバ、神

新世界訳

新改訳

英語

イ. 神のみ名は？

「神」は不明確な語か？ 私たちの主はご自分の名を持たれるか？

「多くの『神』や多くの『主』がいるとおり、天にであれ地にであれ『神』と呼ばれる者たちがいるとしても、わたしたちには父なるただひとりの神がおられ、この方からすべてのものが出ており、わたしたちはこの方のためにあるのです。また、ひとりの主、イエス・キリストがおられ、この方を通してすべてのものがあり、わたしたちもこの方を通してあるのです。」

(1コリント 8:5-6)

「なるほど、多くの神や、多くの主があるので、神々と呼ばれるものならば、天にも地にもありますが、私たちには、父なる唯一の神がおられるだけで、すべてのものはこの神から出ており、私たちもこの神のために存在しているのです。また、唯一の主なるイエス・キリストがおられるだけで、すべてのものはこの主によって存在し、私たちもこの主によって存在するのです。」

(1コリント 8:5-6)

For even if there are so-called gods, whether in heaven or on earth (as there are many gods and many lords), yet for us there is one God, the Father, of whom are all things, and we for Him; and one Lord Jesus Christ, through whom are all things, and through whom we live. (1コリント 8:5-6)

私たちは神の名が神聖にされることを祈るか？

「そこで、あなた方はこのように祈らなければなりません。『天におられるわたしたちの父よ、あなたのお名前が神聖なものとされますように。あなたの王国が来ますように。あなたのご意志が天におけると同じように、地上においてもなされますように。』」

(マタイ 6:9-10)

「だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。御国があがめられますように。御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように。地でも行なわれますように。』」

(マタイ 6:9-10)

“In this manner, therefore, pray: Our Father in heaven, Hallowed be Your name. Your kingdom come. Your will be done On earth as it is in heaven. (マタイ 6:9-10)

神のみ名はエホバか？

「それは、人々が、その名をエホバというあなたが、ただあなただけが全地を治める志高者であることを知るためです。」 (詩篇 83:18)

「そして神はモーセにさらに話してこう言われた。『わたしはエホバである。そしてわたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに対し常に全能の神として現われたが、わたしの名エホバに関しては自分を彼らに知らせなかった。』」 (出エジプト 6:2-3)

「そのうち神はもう一度モーセに言われた、『あなたはイスラエルの子らにこう言うように。『あなた方の父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神エホバがわたしをあなた方のもとに遣わされた。』こ

「こうして彼らが知りますように。その名、主であるあなただけが、全地の上にいますいと高き方であることを。」

(詩篇 83:18)

「神はモーセに告げて仰せられた。『わたしは主である。わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに、全能の神として現われたが、主という名では、わたしを彼らに知らせなかった。』」 (出エジプト 6:2-3)

「神はさらにモーセに仰せられた。『イスラエル人に言え。あなたがたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、主が、私をあなたがたのところに遣わされた、と言え。これが永遠にわたしの名、これが世々にわたつ

That they may know that You, whose name alone is the Lord, Are the Most High over all the earth. (詩篇 83:18)
And God spoke to Moses and said to him: “I am the Lord. I appeared to Abraham, to Isaac, and to Jacob, as God Almighty, but by My name Lord I was not known to them.” (出エジプト 6:2-3)
Moreover God said to Moses, “Thus you shall say to the children of Israel: ‘The Lord God of your fathers,

<p>れは定めのない時に至る私の名、世々にわたるわたしの記念である。』」（出エジプト 3:15）</p>	<p>てわたしの呼び名である。』」（出エジプト 3:15）</p>	<p>the God of Abraham, the God of Isaac, and the God of Jacob, has sent me to you. This is My name forever, and this is My memorial to all generations.’ ”</p> <p>（出エジプト 3:15）</p>
<p>「『わたしはエホバである。それがわたしの名である。わたしはわたしの栄光をほかのだれにも与えず、わたしの賛美を彫像に[与える]事もしない。』」（イザヤ 42:8）</p>	<p>「わたしは主、これがわたしの名。わたしの栄光を刻んだ像どもに与えはしない。」（イザヤ 42:8）</p>	<p>I am the Lord, that is My name; And My glory I will not give to another, Nor My praise to carved images.</p> <p>（イザヤ 42:8）</p>
<p>出エジプト 6:3にあるみ名は？</p>		
<p>「それは、人々が、その名をエホバというあなたが、ただあなただけが全地を治める志高者であることを知るためです。」（詩篇 83:18）</p>	<p>「こうして彼らが知りますように。その名、主であるあなただけが、全地の上にありますいと高き方であることを。」（詩篇 83:18）</p>	<p>That they may know that You, whose name alone is the Lord, Are the Most High over all the earth. （詩篇 83:18）</p>
<p>「『見よ、神はわたしの救い。わたしは信頼し、怖れない。ヤハ、エホバはわたしの力、[わたしの]威力であり、わたしの救いとなってくださったからである。』」（イザヤ 12:2）</p>	<p>「見よ。神は私の救い。私は信頼して恐れることはない。ヤハ、主は、私の力、私のほめ歌、私のために救いとなられた。」（イザヤ 12:2）</p>	<p>Behold, God is my salvation, I will trust and not be afraid; For Yah, the Lord, is my strength and song; He also has become my salvation.’ （イザヤ 12:2）</p>
<p>「あなた方はいつまでもエホバに依り頼め。ヤハ、エホバに、定めのない時に至る岩があるからだ。」（イザヤ 26:4）</p>	<p>「いつまでも主に信頼せよ。ヤハ、主は、とこしえの岩だから。」（イザヤ 26:4）</p>	<p>Trust in the Lord forever, For in Yah, the Lord, is everlasting strength.</p> <p>（イザヤ 26:4）</p>
<p>イエスはみ名を知らせたか？</p>		
<p>「『わたしは、あなたが世から与えてくださった人々にみ名を明らかにしました。彼らはあなたのものですが、わたしに与えてくださったのであり、彼らはあなたのものですが、わたしに与えてくださったのであり、彼らはあなたのみ言葉を守り行ないました。』」（ヨハネ 17:16）</p>	<p>「わたしは、あなたが世から取り出してわたしに下さった人々に、あなたの御名を明らかにしました。彼らはあなたのものであって、あなたは彼らをわたしに下さいました。彼らはあなたのみことばを守りました。」（ヨハネ 17:16）</p>	<p>“I have manifested Your name to the men whom You have given Me out of the world. They were Yours, You gave them to Me, and they have kept Your word.”</p> <p>（ヨハネ 17:16）</p>
<p>「『そしてわたしはみ名を彼らに知らせました。また[これから]知らせます。それはわたしを愛してくださった愛が彼らのうちにあり、わたしが彼らと結び</p>	<p>「『そして、わたしは彼らにあなたの御名を知らせました。また、これから知らせます。それは、あなたがわたしを愛してくださったその愛が彼らの中にあり、またわたし</p>	<p>“And I have declared to them Your name, and will declare it, that the love</p>

ついているためです。』」（ヨハネ 17:26）

「わたしが父の名において来ているのに、あなた方はわたしを迎えません。だれかほかの者が自らの名において到来すれば、あなた方はその者を迎えるでしょう。」（ヨハネ 5:43）

「次の日、祭りに来ていた大群衆は、イエスがエルサレムに来られることを聞くと、やしの木の枝を取って彼を迎えに出て行った。そして、大声でこう叫びはじめた。『救いたまえ！ エホバのみ名によって来たる者、イスラエルの王こそ祝福された者！』」（ヨハネ 12:12-13）

「『父よ、み名の栄光をお示ください。』すると、天から声があった、『わたしはすでに[その]栄光を示し、さらにまた[その]栄光を示す。』」（ヨハネ 12:28）

が彼らの中にいるためです。』」（ヨハネ 17:26）

「わたしはわたしの父の名によって来ましたが、あなたがたはわたしを受け入れません。ほかの人がその人自身の名において来れば、あなたがたはその人を受け入れるのです。」（ヨハネ 5:43）

「その翌日、祭りに来ていた大ぜいのひとの群衆は、イエスがエルサレムに来ようとしておられると聞いて、しゅろの木の枝を取って、出迎えのために出て行った。そして大声で叫んだ。『ホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。イスラエルの王に。』」（ヨハネ 12:12-13）

「『父よ、御名の栄光を現わしてください。』そのとき、天から声が聞こえた。『わたしは栄光をすでに現わしたし、またもう一度栄光を現わそう。』」（ヨハネ 12:28）

with which You loved Me may be in them, and I in them.”（ヨハネ 17:26）

“I have come in My Father’s name, and you do not receive Me; if another comes in his own name, him you will receive. (ヨハネ 5:43)
The next day a great multitude that had come to the feast, when they heard that Jesus was coming to Jerusalem, took branches of palm trees and went out to meet Him, and cried out: “Hosanna! Blessed is He who comes in the name of the Lord! The King of Israel!”（ヨハネ 12:12-13）

“Father, glorify Your name.” Then a voice came from heaven, saying, “I have both glorified it and will glorify it again.”（ヨハネ 12:28）

ロ．神の存在は？

神を見て生きることは不可能か？

「また、加えてこう言われた。『あなたはわたしの顔を見ることはできない人はわたしを見てなお生きていることはできないからである。』」（出エジプト 33:20）

「いまだ神を見た人はいない。父に対してその懐[の位置]にいる独り子の神こそ、彼について説明したのである。」（ヨハネ 1:18）

「いまだれも神を見たことはありません。わたしたちがこれからも互いに愛し合ってゆくなら、神はわた

また仰せられた。『あなたはわたしの顔を見ることはできない。人はわたしを見て、なお生きていることはできないからである。』」（出エジプト 33:20）

「いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。」（ヨハネ 1:18）

「いまだかつて、だれも神を見た者はありません。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにおられ、

But He said, “You cannot see My face; for no man shall see Me, and live.”（出エジプト 33:20）

No one has seen God at any time. The only begotten Son, who is in the bosom of the Father, He has declared Him. (ヨハネ 1:18)

No one has seen God at any time. If we love one

<p>私たちのうちにとどまってくださり、その愛はわたしたちのうちに全うされるのです。」</p> <p>(Iヨハネ 4:12)</p>	<p>神の愛が私たちのうちに全うされるのです。」</p> <p>(Iヨハネ 4:12)</p>	<p>another, God abides in us, and His love has been perfected in us.</p> <p>(Iヨハネ 4:12)</p>
<p>信じるために神を見る必要はないか？</p>		
<p>「信仰とは、望んでいる事柄に対する保証された期待であり、見えない実体についての明白な論証です。」</p> <p>(ヘブル 11:1)</p>	<p>「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」 (ヘブル 11:1)</p>	<p>Now faith is the substance of things hoped for, the evidence of things not seen.</p> <p>(ヘブル 11:1)</p>
<p>「それだけではありません。初穂としての霊を持つ私たち自身も、そうです、わたしたち自身が自らの内でうめきつつ、養子縁組を、すなわち、贖いによって自分の体から解き放されることを切に待っているのです。わたしたちは[この]希望のもとに救われたからです。しかし、見えている希望は希望ではありません。というのは、その事柄が見えるとき、人はそれに対して希望を抱くでしょうか。」</p> <p>(ローマ 8:23-24)</p>	<p>「そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にさせていただくこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。私たちは、この望みによって救われているのです。目に見える望みは、望みではありません。だれでも目で見ていることを、どうしてさらに望みましょう。」</p> <p>(ローマ 8:23-24)</p>	<p>For we were saved in this hope, but hope that is seen is not hope; for why dose one still hope for what he sees? But if we hope for what we do not see, we eagerly wait for it with perseverance.</p> <p>(ローマ 8:23-24)</p>
<p>「ですから、信仰は聞く事柄から生じるのです。一方、聞く事柄はキリストについての言葉によるのです。」</p> <p>(ローマ 10:17)</p>	<p>「そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」</p> <p>(ローマ 10:17)</p>	<p>So then faith comes by hearing, and hearing by the word of God. (ローマ 10:17)</p>
<p>見える業によって神を知ることができるか？</p>		
<p>「というのは、[神]の見えない[特質]、すなわち、そのとこしえの力と神性とは、造られた物を通して認められるので、世界の創造以来明らかに見えるからであり、それゆえに彼らは言い訳ができません。」</p> <p>(ローマ 1:20)</p>	<p>「神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁明の余地はないのです。」 (ローマ 1:20)</p>	<p>For since the creation of the world His invisible attributes are clearly seen, being understood by the things that are made, even His eternal power and God head, so that they are without excuse, (ローマ 1:20)</p>
<p>「天は神の栄光を告げ知らせ、大空はみ手の業を語り告げている。日は日に繼いで言語をほとばしらせ、夜は夜に繼いで知識を表わし示す。」</p> <p>(詩篇 19:1-2)</p>	<p>「天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。昼は昼へ、話を伝え、夜は夜へ、知識を示す。」</p> <p>(詩篇 19:1-2)</p>	<p>The heavens declare the glory of God;And the firma firmament shows His handiwork. Day unto day utters speech,And night unto night reveals knowledge.</p> <p>(詩篇 19:1-2)</p>
<p>預言の成就も神の存在を証明するか？</p>		

「『このことを思い出せ。あなた方が勇気を奮い起こすためである。違反をおかす者たちよ、それを心に留めよ。昔の最初のことを思い出せ。わたしは神たる者であり、ほかに神もわたしのようないないことを。終わりのことを初めから、また、まだ行なわれていなかったことを昔から告げる者。『わたしの計り事は立ち、わたしは自分の喜びとすることをみな行なう。』』と言う者。猛きんを日の昇る方から、わたしの計り事を遂行する人を遠い地から呼ぶ者。わたしは[それを]話したのである。わたしはまた、それをもたらすであろう。わたしは[それを]形造ったのであり、また、それを行なうであろう。」

(イザヤ 46:8-11)

「このことを思い出し、しっかりせよ。そむく者らよ。心に思い返せ。遠い大昔の事を思い出せ。わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望事をすべてなし遂げる。』』と言う。わたしは、東から猛禽を、遠い地から、わたしのはかりごとを行なう者を呼ぶ。わたしが語ると、すぐそれを行な。わたしが計ると、すぐそれをする。」 (イザヤ 46:8-11)

“Remember this, and show yourselves men; Recall to mind, O you transgressors. Remember the former things of old, For I am God, and there is no other; I am God, and there is none like Me, Declaring the end from the beginning, And from ancient times things that are not yet done, Saying, ‘My counsel shall stand, And I will do all My pleasure,’ Calling a bird of prey from the east, The man who executes My counsel, from a far country. Indeed I have spoken it; I will also bring it to pass. I have purposed it; I will also do it.” (イザヤ 46:8-11)

ハ. 神の属性は？

神は愛であるか？

「愛さない者は神を知るようになっていません。神は愛だからです。」 (1ヨハネ 4:8)

「それでわたしたち自身、神がわたしたちの場合に抱いて愛を知るようになり、[それを]信じたのです。神は愛であり、愛にとどまっている者はずっと結びついており、神はその者とずっと結びついておられます。」 (1ヨハネ 4:16)

「そしてエホバは彼の顔の前を過ぎ行きつつ、こう宣明された。『エホバ、エホバ、憐れみと慈しみに富み、怒ることに遅く、愛ある親切と真実に満ちる神、』」 (出エジプト 34:6)

「終わりに、兄弟たち、引き続き歎び、さらに調整を

「愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。」 (1ヨハネ 4:8)

「私たちは、私たちに對する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。」

(1ヨハネ 4:16)

「主は彼の前を通り過ぎるとき、宣明された。『主、主は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み、』」 (出エジプト 34:6)

「終わりに、兄弟たち。喜びなさい。完全な者になりな

He who does not love does not know God, for God is love. (1ヨハネ 4:8)

And we have known and believed the love that God has for us. God is love, abides in God, and God in him. (1ヨハネ 4:16)

And the Lord passed before him and proclaimed, “The Lord, the Lord God, merciful and gracious, longsuffering, and abounding in goodness and truth, (出エジプト 34:6)

Finally, brethren, farewell.

<p>加えられ、慰めを受け、同じ考えを持ち、平和に生活してゆきなさい。そうすれば、愛と平和の神があなた方と共にいてくださるでしょう。」 (Ⅱコリント 13:11)</p> <p>「だれかあなたのような神がいるでしょうか。ご自分の相続財産である[民の]残りの者のためにそのとがを赦し、違犯を見過ごしておられるのです。永久にその怒りを保たれるようなことはありません。愛ある親切を喜びとされるからです。」 (ミカ 7:18)</p>	<p>い。慰めを受けなさい。一つ心になりなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。」 (Ⅱコリント 13:11)</p> <p>「あなたのような神が、ほかにあるでしょうか。あなたは、咎を赦し、ご自分のものである残りの者のために、そむきの罪を見過ごされ、怒りをいつまでも持ちつづけず、いつくしみを喜ばれるからです。」 (ミカ 7:18)</p>	<p>Become complete. Be of good comfort, be of one mind, live in peace; and the God of love and peace will be with you. (Ⅱコリント 13:11)</p> <p>Who is a God like You, Pardoning iniquity And passing over the transgression of the remnant of His heritage? He does not retain His anger forever, Because He delights in mercy. (ミカ 7:18)</p>
<p>比類のない知恵を持たれるか？</p> <p>「知恵と力強さは、[神]と共にあり、助言と理解力も[神]にある。」 (ヨブ 12:13)</p> <p>「ああ、神の富と知恵と知識の深さよ。その裁きは何と探りがたく、その道は[何と]たどりたいものなのでしょう。」 (ローマ 11:33)</p> <p>「わたしたちが語るのは、神聖な奥義の中の知恵、画された知恵です。それは、わたしたちの栄光のため、事物の諸体制の前に神があらかじめ定めたものです。」 (Ⅰコリント 2:7)</p>	<p>「知恵と力とは神とともにあり、思慮と英知も神のものだ。」 (ヨブ 12:13)</p> <p>「ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょう。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りたいことでしょう。」 (ローマ 11:33)</p> <p>「私たちの語るのは、隠された奥義としての神の知恵であって、それは、神が、私たちの栄光のために、世界の始まる前から、あらかじめ定められたものです。」 (Ⅰコリント 2:7)</p>	<p>“With Him are wisdom and strength, He has counsel and understanding.” (ヨブ 12:13)</p> <p>Oh, the depth of the riches both of the wisdom and knowledge of God! How unsearchable are His judgments and His ways past finding out! (ローマ 11:33)</p> <p>But we speak the wisdom of God in a mystery, the hidden wisdom which God ordained before the ages for our glory, (Ⅰコリント 2:7)</p>
<p>公正で、正義を行なわれるか？</p> <p>「岩なる方、そのみ業は完全、そのすべての道は公正である。忠実の神、不正なところは少しもない。義であり、廉直であられる。」 (申命記 32:4)</p> <p>「エホバは公正を愛される方であり、その忠節な者たちを捨てられないからである。彼らは定めのない時に</p>	<p>「主は岩。主のみわざは完全、まことに、主の道はみな正しい。主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。」 (申命記 32:4)</p> <p>「まことに、主は公義を愛し、ご自身の聖徒を見捨てられない。彼らは永遠に保たれるが、悪者どもの子孫は断ち切</p>	<p>He is the Rock, His work is perfect; For all His ways are justice, A God of truth and without injustice; Righteous and upright is He. (申命記 32:4)</p> <p>For the Lord loves justice, And does not forsake His</p>

至るまで必ず守られる。しかし邪悪な者たちの子孫は、まさしく断ち滅ぼされるであろう。」 (詩篇 37:28)	られる。」 (詩篇 37:28)	saints;They are preserved forever,But the descendants of the wicked shall be cut off. (詩篇 37:28)
--	------------------	--

全能で、あらゆる力を持たれるか？

「全能者については、わたしたちはこれを見いださなかった。[神]は力において高められている。そして、公正と義の豊かさを軽視なさることはない。」 (ヨブ 37:23)	「私たちが見つけることのできない全能者は、力とさばきにすぐれた方。義に富み、苦しめることをしない。」 (ヨブ 37:23)	As for the Almighty, we cannot find Him;He is excellent in power,In judgment and abundant justice; He dose not oppress . (ヨブ 37:23)
「こう言った。『アーメン！ 祝福と栄光と知識と感謝と誉れと力と強さが、わたしたちの神に限りなく永久に[ありますように]。アーメン。』」 (黙示録 7:12)	「言った。『アーメン。賛美と栄光と知識と感謝と誉れと勢いが、永遠に私たちの神にあるように。アーメン。』」 (黙示録 7:12)	saying: “Amen! Blessing and wisdom,Thanksgiving and honor and power and might, Be to our God forever and ever.Amen.” (黙示録 7:12)
「『エホバ、わたしたちの神よ、あなたは栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方です。あなたはすべてのものを創造し、あなたのご意思によって[すべてのものは存在し、創造されたからです。』」 (黙示録 4:11)	「『主よ、われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。』」 (黙示録 4:11)	“You are worthy, O Lord,To receive glory and honor and power;For You created all things,And by Your will they exist and were created .” (黙示録 4:11)

二. すべての人がこの神に仕えているのではないか？

良いと見える道が必ず正しいわけではないか？

「人の前には廉直な道であっても、後にその終わりが死の道となるものがある。」 (箴言 16:25)	「人の目にはまっすぐに見える道がある。その道の終わりは死の道である。」 (箴言 16:25)	There is a way that seems right to a man,But its end is the way of death. (箴言 16:25)
「『わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の王国に入るのではなく、天におられるわたしの父のご意思を行なう者が[入る]のです。」 (マタイ 7:21)	「わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がはいるのです。」 (マタイ 7:21)	“Not everyone who says to Me, 'Lord, Lord,' shall enter the kingdom of heaven, but he who does the will of My Father in heaven.” (マタイ 7:21)

二つの道があり、その一方だけが命に至るか？

「『狭い門を通して入りなさい。滅びに至る道は広くて大きく、それを通して入って行く人は多いからです。一方、命に至る門は狭く、その道は狭められており	「狭い門からは入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからは入って行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それ	“Enter by the narrow gate; for wide is the gate and broad is the way that leads
--	--	---

<p>、それを見いだす人は少ないのです。」 (マタイ 7:13-14)</p> <p>「わたしは今日、天と地をあなた方に対する証人として立て、あなたの前に命と死、祝福と呪いを置いた。あなたは命を選び、あなたもあなたの子孫も共に生きつづけるようにしなければならない。」 (申命記 30:19)</p>	<p>を見いだす者はまれです。」 (マタイ 7:13-14)</p> <p>「私は、きょう、あなたがたに対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、」 (申命記 30:19)</p>	<p>to destruction, and there are many who go in by it. Because narrow is the gate and difficult is the way which leads to life, and there are few who find it. (マタイ 7:13-14)</p> <p>“I call heaven and earth as witnesses today against you, that I have set before you life and death, blessing and cursing; therefore choose life, that both you and your descendants may live; (申命記 30:19)</p>
---	---	---

多くの神があるか？ 真の神はただ一人だけか？

<p>「多くの『神』や多くの『主』がいるとおり、天にであれ地にであれ『神』と呼ばれる者たちがいるとしても、わたしたちには父なるただひとりの神がおられ、この方からすべてのものが出ており、わたしたちはこの方のためにあるのです。、また、ひとりの主、イエス・キリストがおられ、この方を通してすべてのものがあり、わたしたちもこの方を通してあるのです。」 (1コリント 8:5-6)</p> <p>「神は神たる者の集会において立場を取っておられる。[神]は神々の真ん中で裁きを行なわれる。」 (詩篇 82:1)</p>	<p>「なるほど、多くの神や、多くの主があるので、神々と呼ばれるものならば、天にも地にもありますが、私たちには、父なる唯一の神がおられるだけで、すべてのものはこの神から出ており、私たちもこの神のために存在しているのです。また、唯一の主なるイエス・キリストがおられるだけで、すべてのものはこの主によって存在し、私たちもこの主によって存在するのです。」 (1コリント 8:5-6)</p> <p>「神は神の会衆の中に立つ。神は神々の真中で、さばきを下す。」 (詩篇 82:1)</p>	<p>For even if there are so-called gods, whether in heaven or on earth (as there are many gods and many lords), yet for us there is one God, the Father, of whom are all things, and we for Him; and one Lord Jesus Christ. through whom we live. (1コリント 8:5-6)</p> <p>God stands in the congregation of the mighty; He judges among the gods. (詩篇 82:1)</p>
---	--	--

真の神を知ることが命のために絶対に必要か？

<p>「キリストが苦しみを受け、そして死人の中からよみがえることが必要であったことを説明したり、関連した事柄を挙げて証明したりして、『わたしがあなた方に広めているこのイエス、この方がキリストです。』と[言った]。」 (ヨハネ 17:3)</p> <p>「しかしわたしたちは、神のみ子が来て、真実な方に</p>	<p>「その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。」 (ヨハネ 17:3)</p> <p>「しかし、神の御子が来て、真実な方を知る理解力を私た</p>	<p>“And this is eternal life, that they may know You, the only true God, and Jesus Christ whom You have sent.” (ヨハネ 17:3)</p> <p>And we know that the Son</p>
--	--	---

ついて知ることができるよう、わたしたちに知的な能力を与えてくださったことを知っています。そしてわたしたちは、み子イエス・キリストによって、真実な方と結ばれています。この方こそまことの神であり、永遠の命です。」（Iヨハネ 5:20）

ちに与えてくださったことを知っています。それで私たちは、真実な方のうちに、すなわち御子イエス・キリストのうちにいるのです。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。」（Iヨハネ 5:20）

of God has come and has given us an understanding, that we may know Him who is true; and we are in Him who is true, in His Son Jesus Christ. This is the true God and eternal life.
(Iヨハネ 5:20)

イ. エホバの証人の起源は？

エホバはご自分の証人を明らかにされるか？

「『あなた方はわたしの証人である』と、エホバはお告げになる。『すなわち、わたしが選んだわたしの僕である。それはあなた方が知って、わたしに信仰を抱くためであり、わたしが同じ者であることを理解するためである。わたしの前に形造られた神はなく、わたしの後にもやはりいなかった。わたしが —— わたしがエホバであり、わたしのほかに救う者はいない。』『あなた方のうちにほかの〔神〕がいなかったときに、わたし自ら告げ知らせ、救いを施し、〔それを〕聞かせた。それで、あなた方はわたしの証人である』と、エホバはお告げになる。『そして、わたしは神である。』」 (イザヤ 43:10-12)

「あなたがたはわたしの証人、—— 主の御告げ。—— わたしが選んだわたしのしもべである。これは、あなたがたが知って、わたしを信じ、わたしがその者であることを悟るためだ。わたしより先に造られた神はなく、わたしより後にもない。わたし、このわたしが、主であって、わたしのほかに救い主はいない。このわたしが、告げ、救い、聞かせたのだ。あなたがたのうちに、異なる神はなかった。だから、あなたがたはわたしの証人。—— 主の御告げ。—— わたしは神だ。」

(イザヤ 43:10-12)

"You are My witnesses," says the Lord, "And My servant whom I have chosen, That you may know and believe Me, And understand that I am He. Before Me there was no God formed, Nor shall there be after Me. I, even I, am the Lord, And besides Me there is no savior. I have declared and saved, I have proclaimed, And there was no foreign god among you; Therefore you are My witnesses, "Says the Lord, " that I am God.

(イザヤ 43:10-12)

「あなたの言葉が見いだされたので、わたしはそれを食べはじめました。わたしにとってあなたの言葉はわたしの心の歡喜となり、歡びとなります。万軍の神エホバよ、わたしはあなたのみ名をもってとなえられたからです。」 (エレミヤ 15:16)

「私はあなたのみことばを見つけ出し、それを食べました。あなたのみことばは、私にとって楽しみとなり、心の喜びとなりました。万軍の神、主よ。私にはあなたの名がつけられているからです。」 (エレミヤ 15:16)

Your words were found, and I ate them, And Your word was to me the joy and rejoicing of my heart; For I am called by Your name, O Lord God of hosts.

(エレミヤ 15:16)

忠実な証人の系列はアベルから始まったか？

「信仰によって、アベルはカインよりさらに価値のある犠牲を神にささげ、その〔信仰〕によって義なる者と証しされました。神が彼の供え物について証しされたのです。またそれによって、彼は死んだとはいえなお語っているのです。」 (ヘブル 11:4)

「信仰によって、アベルはカインよりもすぐれたいけにえを神にささげ、そのいけにえによって彼が義人であることの証明を得ました。神が、彼のささげ物を良いささげ物だとあかししてくださったからです。彼は死にましたが、その信仰によって、今なお語っています。」

(ヘブル 11:4)

By faith Abel offered to God a more excellent sacrifice than Cain, through which he obtained witness that he was righteous, God testifying of his gifts; and through it he being dead still speaks.

(ヘブル 11:4)

「しかしなお、これらの人々は皆、その信仰によって証しされながらも、約束〔の成就〕にあずかりません

「この人々はみな、その信仰によってあかしされましたが、約束されたものは得ませんでした。」

And all these, having obtained a good testimony

でした。」（ヘブル 11:39）

「こうして、これほど大勢の、雲のような証人たちに
囲まれているのですから、わたしたちも、あらゆる重
荷と容易に絡みつく罪とを捨て、自分たちの前に置か
れた競争を忍耐して走ろうではありませんか。」

（ヘブル 12:1）

（ヘブル 11:39）

「こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のよ
うに私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっ
さいの重荷ととまりつく罪とを捨て、私たちの前に置
かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませ
んか。」（ヘブル 12:1）

through faith, did not
receive the promise,

（ヘブル 11:39）

Therefore we also, since
we are surrounded by so
great a cloud of witnesses,
let us lay aside every
weight, and the sin which so
easily ensnares us, and let
us run with endurance the
race that is set before us,

（ヘブル 12:1）

イエスは忠実で真実な証人であったか？

「それでピラトは彼に言った、『それでは、あなたは
王なのだな。』イエスは答えられた、『あなた自身が
、わたしが王であると言っています。真理について証
しすること、このためにわたしは生まれ、このために
わたしは世に来ました。真理の側にいる者はみなわた
しの声を聴きます。』」（ヨハネ 18:37）

「そこでピラトはイエスに言った。『それでは、あなたは
王のですか。』イエスは答えられた。『わたしが王であ
ることは、あなたが言うとおりです。わたしは、真理のあ
かしをするために生まれ、このことのために世に来たので
す。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。
』」（ヨハネ 18:37）

Pilate therefore said to
Him, “Are You a king then?”

Jesus answered, “You say
rightly that I am a king.
For this cause I was born,
and for this cause I have
come into the world, that
I should bear witness to
the truth. Everyone who is
of the truth hears My
voice.”（ヨハネ 18:37）

「そして、『忠実な証人』、『死人の中からの初子』
、『地の王たちの支配者』であるイエス・キリストか
らの過分のご親切と平和がありますように。わたした
ちを愛しておられ、ご自身の血によってわたしたちを
罪から解いてくださった方」

（黙示録 1:5）

「また、忠実な証人、死者の中から最初によみがえられた
方、地上の王たちの支配者であるイエス・キリストから、
恵みと平安が、あなたがたにあるように。イエス・キリス
トは私たちを愛して、その血によって私たちを罪から解き
放ち、」（黙示録 1:5）

and from Jesus Christ, the
faithful witness, the
firstborn from the dead, and
the ruler over the kings
of the earth. To Him who
loved us and washed us
from our sins in His own
blood,（黙示録 1:5）

「『また、ラオデキヤにある会衆の使いにこう書き送
りなさい。アーメンなる者、忠実で真実な証人、神に
よる創造の初めである者がこのように言う。』」

（黙示録 3:14）

「また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。『ア
ーメンである方、忠実で、真実な証人、神に造られたもの
の根源である方がこう言われる。』」

（黙示録 3:14）

“And to the angel of the
church of the Laodiceans
write, ‘These things says
the Amen, the Faithful and
True Witness, the Beginning
of the creation of God:’”

（黙示録 3:14）

13. 王国

新世界訳

新改訳

英語

イ. 神の王国は人類のために何を行なうか？

神のご意思を遂行することか？

「『そこで、あなた方はこのように祈らなければなりません。『天におられるわたしたちの父よ、あなたのお名前が神聖なものとされますように。あなたの王国が来ますように。あなたのご意思が天におけると同じように、地上においてもなされますように。』』」

(マタイ 6:9-10)

「神は定めのない時に至るまで、まさに永久にあなたの王座。あなたの王権の笏は廉直の笏。」

(詩篇 45:6)

「『エホバ、わたしたちの神よ、あなたは栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方です。あなたはすべてのものを創造し、あなたのご意思によって[すべてのもの]は存在し、創造されたからです。』」

(黙示録 4:11)

「だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。』」 (マタイ 6:9-10)

「神よ。あなたの王座は世々限りなく、あなたの王国の杖は公正の杖。」 (詩篇 45:6)

「『主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。』」 (黙示録 4:11)

“In this manner, therefore, pray:Our Father in heaven, Hallowed be Your name. Your kingdom come.Your will be done On earth as it is in heaven. (マタイ 6:9-10)

Your throne, O God, is forever and ever;A scepter of righteousness is the scepter of Your kingdom.

(詩篇 45:6)

“You are worthy, O Lord,To receive glory and honor and power;For You created all things,And by Your will they exist and were created .” (黙示録 4:11)

王と律法を持つ政府か？

「わたしたちのためにひとりの子供が生まれ、わたしたちにひとり男子が与えられたからである。君としての支配がその肩に置かれる。そして彼の名は“くすしい助言者”、“力ある神”、“とこしえの父”、“平和の君”と呼ばれるであろう。ダビデの王座とその王国の上にあつて、君としてのその豊かな支配と平和に終わりは無い。それは、今より定めのない時に至るまで、公正と義とによってこれを堅く立て、支えるためである。実に万軍のエホバの熱心がこれを行なう。」 (イザヤ 9:6-7)

「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとり男子の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は『不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君』と呼ばれる。その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。今より、とこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。」

(イザヤ 9:6-7)

For unto us a Child is born, Unto us a Son is given; And the government will be upon His shoulder.And His name will be called Wonderful, Counselor, Mighty God, Everlasting Father, Prince of Peace. Of the increase of His government and peace There will be no end, Upon the throne of David and over His kingdom, To order it and establish it with judgment and justice From that time forward, even forever.The zeal of the Lord of hosts will perform this.

「そして多くの民は必ず行って、こう言う。『来なさい。エホバの山に、ヤコブの神の家に上ろう。[神]はご自分の道についてわたしたちに教え論してください。わたしたちはその道筋を歩もう。』律法はシオンから、エホバの言葉はエルサレムから出るのである。」 (イザヤ 2:3)

「神よ、王にあなたの司法上の定めを、王の子にあなたの義を与えてください。」 (詩篇 72:1)

「そして、彼は海から海に至るまで、川から地のはてに至るまで臣民を持つことになります。」 (詩篇 72:8)

「多くの民が来て言う。『さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を、私たちに教えてくださる。私たちはその小道を歩もう。』それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。」 (イザヤ 2:3)

「神よ。あなたの公正を王に、あなたの義を王の子に授けてください。」 (詩篇 72:1)

「彼は海から海に至るまで、また、川から地の果て果てに至るまで統べ治めますように。」 (詩篇 72:8)

Many people shall come and say, "Come, and let us go up to the mountain of the Lord, To the house of the God of Jacob; He will teach us His ways, And we shall walk in His paths." For out of Zion shall go forth the law, And the word of the Lord from Jerusalem. (イザヤ 2:3)

Give the king Your judgments, O God, And Your righteousness to the king's Son. (詩篇 72:1)

He shall have dominion also from sea to sea, And from the River to the ends of the earth. (詩篇 72:8)

悪を滅ぼして全地を支配するか？

「『そして、それらの王たちの日に、天の神は決して滅びることのないひとつの王国を立てられます。そして、その王国はほかのどんな民にも渡されることはありません。それはこれらのすべての王国を打ち砕いて終わらせ、それ自体は定めのない時に至るまで続きます。』」 (ダニエル 2:44)

「そして、彼は海から海に至るまで、川から地のはてに至るまで臣民を持つことになります。」 (詩篇 72:8)

「この王たちの時代に、天の神は一つの国を起こされます。その国は永遠に滅ぼされることがなく、その国は他の民に渡されず、かえってこれらの国々をことごとく打ち砕いて、絶滅してしまいます。しかし、この国は永遠に立ち続けます。」 (ダニエル 2:44)

「彼は海から海に至るまで、また、川から地の果て果てに至るまで統べ治めますように。」 (詩篇 72:8)

"And in the days of these kings the God of heaven will set up a kingdom which shall never be destroyed; and the kingdom shall not be left to other people; it shall break in pieces and consume all these kingdoms, and it shall stand forever. (ダニエル 2:44)

He shall have dominion also from sea to sea, And from the River to the ends of the earth. (詩篇 72:8)

1,000 年の支配によって人類を完全な状態に戻し、樂園を復興するか？

「また、聖なる都市、新しいエルサレムが、天から、神のもとから下って来るのを、そして自分の夫のために飾った花嫁のように支度を整えたのを見た。それと共に、わたしはみ座から出る大きな声がこう言うのを

「私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ。神の幕屋が人とと

Then I, John, saw the holy city, New Jerusalem, coming down out of heaven from God, prepared as a bride

聞いた。『見よ！ 神の天幕が人と共にあり、[神]は彼らと共に住み、彼らはその民となるであろう。そして神みずから彼らと共におられるであろう。また[神]は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださり、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』」
(黙示録 21:2-4)

にもある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』」
(黙示録 21:2-4)

adorned for her husband. And I heard a loud voice from heaven saying, "Behold, the tabernacle of God is with men, and He will dwell with them, and they shall be His people. God Himself will be with them and be their God. And God will wipe away every tear from their eyes there shall be no more death, nor sorrow, nor crying. There shall be no more pain, for the former things have passed away."

(黙示録 21:2-4)

「第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。これらの者に対して第二の死は何の権威も持たず、彼らは神およびキリストの祭司となり、千年のあいだ彼と共に王として支配する。」
(黙示録 20:6)

「この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。」 (黙示録 20:6)

Blessed and holy is he who has part in the first resurrection. Over such the second death has no power, but they shall be priests of God and of Christ, and shall reign with Him a thousand years. (黙示録 20:6)

ロ．キリストの敵がまだ活動している時に運営を始めるか？

キリストは復活してから長い間待ったか？

「わたしの主に対するエホバのお告げはこうです。『わたしがあなたの敵をあなたの足台として置くまでは、わたしの右に座していよ。』」
(詩篇 110:1)

「主は、私の主に仰せられる。『わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右の座に着いていよ。』」 (詩篇 110:1)

The Lord said to my Lord, "Sit at My right hand, Till I make Your enemies Your footstool." (詩篇 110:1)

「しかしこの[方]は、罪のために一つの犠牲を永久にささげて神の右に座し、それ以来、自分の敵たちが自分の足の台として置かれるまで待っておられます。」 (ヘブル 10:12-13)

「しかし、キリストは、罪のために一つの永遠のいけにえをささげて後、神の右の座に着き、それから、その敵がご自分の足台となるのを待っておられるのです。」
(ヘブル 10:12-13)

But this Man, after He had offered one sacrifice for sins forever, sat down at the right hand of God, from that time waiting till His enemies are made His footstool. (ヘブル 10:12-13)

権を執り、サタンに対して戦うか？

「あなたの方の杖を、エホバはシオンから送り出して

「主は、あなたの力強い杖をシオンから伸ばされる。『あ

The Lord shall send the rod

、[こう言われます。]『あなたの敵のただ中で従え
てゆけ。』」（詩篇 110:2）

「また、天で戦争が起こった。ミカエルとその使いた
ちが龍と戦った。龍とその使いたちも戦ったが、優勢
になれず、彼らのための場所もはや天に見いだされ
なかった。こうして、大なる龍、すなわち、初めか
らの蛇で、悪魔またサタンと呼ばれ、人の住む全地を
惑わしている者は投げ落とされた。彼は地に投げ落と
され、その使いたちも共に投げ落とされた。」

（黙示録 12:7-9）

「すると[イエス]は彼らに言われた、『わたしには
、サタンがすでに稲妻のように天から落ちたのが見え
るようになりました。』」（ルカ 10:18）

王国はその時に設立され、その後地には災いが臨むか？

「そして、わたしは大きな声が天でこう言うのを聞い
た。『今や、救いと力とわたしたちの神の王国とその
キリストの権威とが実現した！ わたしたちねお兄弟
を訴える者、日夜彼らをわたしたちの神の前で訴える
者は投げ落とされたからである。』」

（黙示録 12:10）

「『このゆえに、天と[天]に住む者よ、喜べ！ 地
と海にとっては災いである。悪魔が、自分の時の短い
ことを知り、大きな怒りを抱いてあなた方のところに
下ったからである。』」（黙示録 12:12）

なたの敵の真中で治めよ。』」（詩篇 110:2）

「さて、天に戦いが起こって、ミカエルと彼の使いたちは
、竜と戦った。それで、竜とその使いたちは応戦したが、
勝つことができず、天にはもはや彼らのいる場所がなくな
った。こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サ
タンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落
とされた。彼は地上に投げ落とされ、彼の使いどもも彼と
ともに投げ落とされた。」（黙示録 12:7-9）

「イエスは言われた。『わたしが見ていると、サタンが、
いなずまのように天から落ちました。』」（ルカ 10:18）

「そのとき私は、天で大きな声が、こう言うのを聞いた。
『今や、私たちの神の救いと力と国と、また、神のキリス
トの権威が現われた。私たちの兄弟たちの告発者、日夜彼
らを私たちの神の御前で訴えている者が投げ落とされたか
らである。』」（黙示録 12:10）

「『それゆえ、天とその中に住む者たち。喜びなさい。し
かし、地と海とには、わざわいが来る。悪魔が自分の時の
短いことを知り、激しく怒って、そこに下ったからである
。』」（黙示録 12:12）

of Your strength out of
Zion. Rule in the midst of
Your enemies! （詩篇 110:2）
And war broke out in heaven:
Michael and his angels
fought with the dragon;
and the dragon and his
angels fought, but they did
not prevail, nor was a place
found for them in heaven
any longer. So the great
dragon was cast out, that
serpent of old, called the
Devil and Satan, who
deceives the whole world; he
was cast to the earth,
angels were cast out with
him. （黙示録 12:7-9）

And He said to them, "I s-
aw Satan fall like lightn-
ing from heaven."

（ルカ 10:18）

Then I heard a loud voice
saying in heaven, "Now
salvation, and strength, and
the kingdom of our God, and
the power of His Christ
have come, for the accuser
of our brethren, who
accused them before our God
day and night, has been
cast down." （黙示録 12:10）
"Therefore rejoice, O
heavens, and you who dwell
in them! Woe to the
inhabitants of the earth and
the sea! For the devil has
come down to you, having

今の災いは王国の側に立つべき時の来たことを意味するか？

「また、第七のみ使いがラッパを吹いた。すると、大きな声が天で起きてこう言った。『世の王国はわたしたちの主とそのキリストの王国となった。彼は限りなく永久に王として支配するであろう。』すると、神の前で自分の座に座っている二十四人の長老がひれ伏し、神を崇拜してこう言った。『今おられ、かつておられた方、全能者なるエホバ神、わたしたちはあなたに感謝します。あなたご自分の大いなる力を執り、王として支配を始められたからです。しかし、諸国民は憤り、あなたご自身の憤りも到来しました。また、死んだ者たちを裁き、預言者なるあなたの奴隷たちと聖なる者たちに、そして、あなたのみ名を恐れる者たち、小なる者にも大なる者にも[その]報いを与え、地を破滅させている者たちを破滅に至らせる定められた時が[到来しました]。』」

(黙示録 11:15-18)

「第七の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、天に大きな声々が起こって言った。『この世の国は私たちの主およびそのキリストのものとなった。主は永遠に支配される。』それから、神の御前で自分たちの座に座している二十四人の長老たちも、地にひれ伏し、神を礼拝して、言った。『万物の支配者、常にいまし、昔います神である主。あなたが、その偉大な力を働かせて、王となられたことを感謝します。諸国の民は怒りました。しかし、あなたの御怒りの日が来ました。死者のさばかれる時、あなたのしもべである預言者たち、聖徒たち、また小さい者も大きい者もすべてあなたの御名を恐れかしこむ者たちに報いの与えられる時、地を滅ぼす者どもの滅ぼされる時です。』」

(黙示録 11:15-18)

great wrath, because he knows that he has a short time.” (黙示録 12:12)

Then the seventh angel sounded: And there were loud voices in heaven, saying, “The kingdoms of this world have become the kingdoms of our Lord and of His Christ, and He shall reign forever and ever!” And the twenty-four elders who sat before God on their thrones fell on their faces and worshiped God, saying: “We give You thanks, O Lord God Almighty, The One who is and who was and who is to come, Because You have taken Your great power and reigned. The nations were angry, and Your wrath has come, And the time of the dead, that they should be judged, And that You should reward Your servants the prophets and the saints, And those who fear Your name, small and great, And should destroy those who destroy the earth.” (黙示録 11:15-18)

ハ. 『心の中』にあるのではなく、人間の努力によって到来するのでもないか？
王国は地ではなく天にあるか？

「主はわたしをあらゆる邪悪な業から救い出し、ご自分の天の王国のために救ってください。この方に栄光が限りなく永久にありますように。アーメン。」 (Ⅱテモテ 4:18)

「主は私を、すべての悪のわざから助け出し、天の御国に救い入れてくださいます。主に、御栄えがとこしえにありますように。アーメン。」 (Ⅱテモテ 4:18)

And the Lord will deliver me from every evil work and preserve me for His heavenly kingdom. To Him be glory forever and ever.

「また、兄弟たち、わたしはこのことを言います。肉と血は神の王国を受け継ぐことができず、朽ちるものが朽ちないものを受け継ぐことはありません。」
(1コリント 15:50)

「エホバはその聖なる神殿におられる。エホバは——その王座は天にある。その目が見、その輝く目が人の子らを調べる。」 (詩篇11:4)

「兄弟たちよ。私はこのことを言っておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。」 (1コリント 15:50)

「主は、その聖座が宮にあり、主は、その王座が天にある。その目は見通し、そのまぶたは、人の子らを調べる。」 (詩篇11:4)

Amen! (Ⅱテモテ 4:18)

Now this I say, brethren, that flesh and blood cannot inherit the kingdom of God; nor does corruption inherit incorruption.

(1コリント 15:50)

The Lord is in His holy temple, The Lord's throne is in heaven; His eyes behold, His eyelids test the sons of men. (詩篇11:4)

『心の中』にあるのではないか？ イエスはパリサイ人に語っていたか？

「ところで、神の王国がいつ来るのかをパリサイ人たちに尋ねられた時、[イエス]は彼らに答えて言われた、『神の王国は際立って目につくさまで来るのではなく、また人々が『ここを見よ!』とか『そこを!』とか言うものでもありません。見よ、神の王国はあなた方のただ中にあるのです。』」
(ルカ 17:20-21)

「さて、神の国はいつ来るのか、とパリサイ人たちに尋ねられたとき、イエスは答えて言われた。『神の国は、人の目で認められるようにして来るものではありません。『そら、ここにある。』とか、『あそこにある。』とか言えるようなものではありません。いいですか。神の国は、あなたがたのただ中にあるのです。』」
(ルカ 17:20-21)

Now when He was asked by the Pharisees when the kingdom of God would come, He answered them and said, "The kingdom of God does not come with observation; nor will they say, 'See here!' or 'See there!'" For indeed, the kingdom of God is within you."

(ルカ 17:20-21)

この世の部分ではないか？

「イエスは答えられた、『わたしの王国はこの世のものではありません。わたしの王国がこの世のものであったなら、わたしに付き添う者たちは、わたしをユダヤ人たちに渡さないようにと戦ったことでしょう。しかし実際のところ、わたしの王国はそのようなところからのものではありません。』」
(ヨハネ 18:36)

「イエスは答えられた。『わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったなら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように、戦ったことでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません。』」 (ヨハネ 18:36)

Jesus answered, "My kingdom is not of this world. If My kingdom were of this world, My servants would fight, so that I should not be delivered to the Jews; but now My kingdom is not from here."

(ヨハネ 18:36)

「それで彼は[イエス]を連れて上り、またたく間に人の住む地のすべての王国を見せた。そして悪魔は言った、『この権威すべてとこれらの栄光をあなたに上げましょう。それはわたしに渡されているからです。だれでもわたしの望む者に、わたしはそれを与えるの

「また、悪魔はイエスを連れて行き、またたく間に世界の国々を全部見せて、こう言った。『この、国々のいっさいの権力と栄光とをあなたに差し上げましょう。それは私に任されているので、私がこれと思う人に差し上げるのです。ですから、もしあなたが私を拝むなら、すべてをあなた

Then the devil, taking Him up on a high mountain, showed Him all the kingdoms of the world in a moment of time. And the devil said

です。それで、あなたが、わたしの前で崇拜の行為をするなら、それは皆あなたのものになるのです。』イエスは答えて言われた、『『あなたの神エホバをあなたは崇拜しなければならず、この方だけに神聖な奉仕をささげなければならない』と書いてあります。』」
(ルカ 4:5-8)

「『そして、それらの王たちの日に、天の神は決して滅びることのないひとつの王国を立てられます。そして、その王国はほかのどんな民にも渡されることはありません。それはこれらのすべての王国を打ち砕いて終わらせ、それ自体は定めのない時に至るまで続きます。』」 (ダニエル 2:44)

政府や世の標準は新たなものと入れ替わるか？

「『そして、それらの王たちの日に、天の神は決して滅びることのないひとつの王国を立てられます。そして、その王国はほかのどんな民にも渡されることはありません。それはこれらのすべての王国を打ち砕いて終わらせ、それ自体は定めのない時に至るまで続きます。』」 (ダニエル 2:44)

のものとしましょう。』イエスは答えて言われた、『『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えなさい。』と書いてある。』」 (ルカ 4:5-8)

「この王たちの時代に、天の神は一つの国を起こされます。その国は永遠に滅ぼされることがなく、その国は他の民に渡されず、かえってこれらの国々をことごとく打ち砕いて、絶滅してしまいます。しかし、この国は永遠に立ち続けます。」 (ダニエル 2:44)

「この王たちの時代に、天の神は一つの国を起こされます。その国は永遠に滅ぼされることがなく、その国は他の民に渡されず、かえってこれらの国々をことごとく打ち砕いて、絶滅してしまいます。しかし、この国は永遠に立ち続けます。」 (ダニエル 2:44)

to Him, "All this authority I will give You, and their glory; for this has been delivered to me, and I give it to whomever I wish. Therefore, if You will worship before me, all will be Yours. And Jesus answered and said to him, "Get behind Me, Satan! For it is written, 'You shall worship the Lord your God, and Him only you shall serve.' " (ルカ 4:5-8)

"And in the days of these kings the God of heaven will set up a kingdom which shall never be destroyed; and the kingdom shall not be left to other people; it shall break in pieces and consume all these kingdoms, and it shall stand forever. (ダニエル 2:44)

"And in the days of these kings the God of heaven will set up a kingdom which shall never be destroyed; and the kingdom shall not be left to other people; it shall break in pieces and consume all these kingdoms, and it shall stand forever. (ダニエル 2:44)

14. 終わりの日

新世界訳

新改訳

英語

イ. 「世の終わり」は何を意味するか？

この事物の体制の終結か？

「[イエス]がオリーブ山の上で座っておられたところ、弟子たちが自分たちだけで近づいて来て、こう言った。『わたしたちにお話してください。そのようなことはいつあるのでしょうか。そして、あなたの臨在と事物の体制の終結のしるしには何がありますか。』」
(マタイ 24:3)

「それは、彼らの望みのままに、このことが見過ごされているからです。つまり、神の言葉によって、昔から天があり、地は水の中からそして水の中に引き締まったかたちで立っていました。そして、それによってその時の世は、大洪水に覆われた時に滅びを被ったのです。しかし、その同じ言葉によって、今ある天と地は火のために蓄え置かれており、不敬虔な人々の裁きと滅びの日まで留め置かれているのです。」
(Ⅱペテロ 3:5-7)

「『わたしたちにお話してください。そのようなことはいつあるのでしょうか。そして、これらのすべてのものが終結に至るように定まった時のしるしには何がありますか。』」 (マルコ 13:4)

地球の終わりではなく、悪の体制の終わりか？

「さらに、世は過ぎ去りつつあり、その欲望も同じです。しかし、神のご意思を行なう者は永久にとどまります。」 (Ⅰヨハネ 2:17)

「イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。『お話してください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。』」
(マタイ 24:3)

「こう言い張る彼らは、次のことを見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって自ら出て、水によって成ったのであって、当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びの日まで、保たれているのです。」 (Ⅱペテロ 3:5-7)

「『お話してください。いつ、そういうことが起こるのでしょうか。また、それがみな実現するようなときには、どんな前兆があるのでしょうか。』」 (マルコ 13:4)

「世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行なう者は、いつまでもながらえます。」
(Ⅰヨハネ 2:17)

Now as He sat on the Mount of Olives, the disciples came to Him privately, saying, "Tell us, when will these things be? And what will be the sign of Your coming, and of the end of the age?" (マタイ 24:3)

For this they willfully forget: that by the word of God the heavens were of old, and the earth standing out of water and in the water, by which the world that then existed perished, being flooded with water. But the heavens and the earth which are now reserved by the same word, are reserved for fire until the day of judgment and perdition of ungodly men.

(Ⅱペテロ 3:5-7)

"Tell us, when will these things be? And what will be the sign when all these things will be fulfilled?"

(マルコ 13:4)

And the world is passing away, and the lust of it; but he who does the will of God abides forever.

(Ⅰヨハネ 2:17)

終わりの時の後に滅びが来るか？

「そして、王国のこの良いよりは、あらゆる国民に
対する証しのために、人の住む全地で宣べ伝えられる
でしょう。それから終わりが来るのです。」
(マタイ 24:14)

「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国
民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」
(マタイ 24:14)

“And this gospel of the
kingdom will be preached in
all the world as a witness
to all the nations, and
then the end will come.”

(マタイ 24:14)

「あなた方に真実に言いますが、これらのすべての子
とが起こるまで、この時代は決して過ぎ去りません。
」 (マタイ 24:34)

「まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部
起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。」
(マタイ 24:34)

“Assuredly, I say to you,
this generation will by no
means pass away till all
these things take place.”

(マタイ 24:34)

義なる者には逃れの道があるか？ 新秩序がその後に続くか？

「当然エホバは、敬虔な専心を保つ人々をどのように
試練から救い出すか、一方、不義の人々、わけても、
肉を汚そうとの欲望を抱いてそれに従い、主たる者の
地位を見下す者を、切り断つ目的で裁きの日のために
どのように留め置くかを知っておられるのです。向こ
う見ずで片意地な彼らは、栄光ある者たちにおのか
ず、かえってあしざまに言います。」
(Ⅱペテロ 2:9-10)

「これらのことでわかるように、主は、敬虔な者たちを誘
惑から救い出し、不義な者どもをさばきの日まで、懲罰の
もとに置くことを心得ておられるのです。汚れた情欲を燃
やし、肉に従って歩み、権威を侮る者たちに対しては、特
にそうなのです。彼らは、大胆不敵な、尊大な者たちで、
栄誉ある人たちをそして、恐れるところがありません。
」 (Ⅱペテロ 2:9-10)

then the Lord knows how to
deliver the godly out of
temptations and to reserve
the unjust under punishment
for the day of judgment,
and especially those who
walk according to the flesh
in the lust of uncleanness
and despise authority. They
are presumptuous, self-
willed. They are not afraid
to speak evil of
dignitaries, (Ⅱペテロ 2:9-10)

「それでわたしはすぐ彼に言った、『わたしの主よ、
あなたが知っておられます。』すると彼はわたしに言
った、『これは大患難から出て来る者たちで、彼らは
自分の長い衣を子羊の血で洗って白くした。それゆえ
に神のみ座の前にいるのである。そして、その神殿で
昼も夜も〔神〕に神聖な奉仕をささげている。また、
み座に座っておられる方は彼らの上にご自分の天幕を
広げられるであろう。彼らはもはや飢えることも乾く
こともなく、太陽が彼らの上に照りつけることも、ど
んな炎熱に〔冒されること〕もない。み座の真ん中に
おられる子羊が、彼らを牧し、命の水野泉に彼らを導
かれるからである。そして神は彼らの目からすべての

「そこで、私は、『主よ。あなたこそ、ご存じです。』と
言った。すると、彼は私にこう言った。『彼らは、大きな
患難から抜け出て来た者たちで、その衣を小羊の血で洗っ
て、白くしたのです。だから彼らは神の御座の前にいて、
聖所で昼も夜も、神に仕えているのです。そして、御座に
着いておられる方も、彼らの上に幕屋を張られるのです。
彼らはもはや、飢えることもなく、乾くこともなく、太陽
もどんな炎熱も彼らを打つことはありません。なぜなら、
御座の正面におられる小羊が、彼らの牧者となり、いのち
の水野泉に導いてくださるからです。また、神は彼らの目
の涙をすっかりぬぐい取ってくださるのです。』」
(黙示録 7:14-17)

And I said to him, “Sir, you
know.” So he said to me,
“These are the ones who come
out of the great
tribulation, and washed
their robes and made them
white in the blood of the
Lamb. Therefore they are
before the throne of God,
and serve Him day and night
in His temple. And He who
sits on the throne will

涙をぬぐい去られるであろう。』」

(黙示録 7:14-17)

dwelt among them. They shall neither hunger anymore nor thirst anymore; the sun shall not strike them, nor any heat; for the Lamb who is in the midst of the throne will shepherd them and lead them to living fountains of waters. And God will wipe away every tear from their eyes."

(黙示録 7:14-17)

ロ．終わりの日のしるしに目覚めることが必要か？

私たちの導きのためのしるしが神から与えられたか？

「しかし、このことを知っておきなさい。すなわち、終わりの日には、対処しにくい危機の時代が来ます。というのは、人々は自分愛する者、金愛する者、うぬぼれる者、ごう慢な者、冒とくする者、親に不従順な者、感謝しない者、忠節でない者、自然の情愛を持たない者、容易に合意しない者、中傷する者、自制心のない者、粗暴な者、善良さを愛さない者、裏切る者、片意地な者、[誇りのために]思い上がる者、神を愛するより快楽を愛する者、敬虔な専心という形を取りながらその力において実質のない者となるからです。こうした人々からは離れなさい。」

(Ⅱテモテ 3:1-5)

「終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり、情け知らずの者、和解しない者、そしる者、節制のない者、粗暴な者、善を木の間内者になり、裏切る者、向こう見ずな者、慢心する者、神よりも快楽を愛する者になり、見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。」

(Ⅱテモテ 3:1-5)

But know this, that in the last days perilous times will come: For men will be lovers of themselves, lovers of money, boasters, proud, blasphemers, disobedient to parents, unthankful, unholy, unloving, unforgiving, slanderers, without self-control, brutal, despisers of good, traitors, headstrong, haughty, lovers of pleasure rather than lovers of God, having a form of godliness but denying its power. And from such people turn away!

(Ⅱテモテ 3:1-5)

「さて、兄弟たち、時と時期については、あなた方は何も書き送ってもらう必要がありません。エホバの日がまさに夜の盗人のように来ることを、あなた方自身がよく知っているからです。人々が、『平和だ、安全だ』と言っているその時、突然の滅びが、ちょうど妊娠している女に苦しい劇痛が臨むように、彼らに突

「兄弟たち。それらがいつなのか、またどういう時かについては、あなたがたは私たちに書いてもらう必要がありません。主の日が夜中の盗人のように来るということは、あなたがた自身がよく承知しているからです。人々が『平和だ、安全だ。』と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど産婦に産みの苦

But concerning the times and the seasons, brethren, you have no need that I should write to you. For you yourselves know perfectly that the day of the Lord

如として臨みます。彼らは決して逃れられません。しかし、兄弟たち、あなた方は闇にいたるではありません。盗人たちに對するよう、その日が不意にあなた方を襲うことはありません。あなた方はみな光の子であり、昼の子なのです。わたしたちは夜にも闇にも属していません。」

(Iテサロニケ 5:1-4)

しみが臨むようなもので、それをのがれることは決してできません。しかし、兄弟たち、あなたがたは暗やみの中にはいないのですから、その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもだからです。私たちは、夜や暗やみの者ではありません。」 (Iテサロニケ 5:1-4)

so comes as a thief in the night. For when they say, "Peace and safety!" then sudden destruction comes upon them, as labor pains upon a pregnant woman. And they shall no escape. But you, brethren, are not in darkness, so that this Day should overtake you as a thief. (Iテサロニケ 5:1-4)

世はその重大さを悟らないか？

「というのは、あなた方はまずこのことを知っているからです。つまり、終わりの日にはあざける者たちがあざけりを抱いてやって来るからです。その者たちは自分の欲望のままに進み、『この約束された彼の臨在はどうなっているのか。わたしたちの父祖が〔死の〕眠りについた日から、すべてのものは創造の初め以来と全く同じ状態を保っているではないか』と言うでしょう。」 (IIペテロ 3:3-4)

「まず第一に、次のことを知っておきなさい。終わりの日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、次のように言うでしょう。『キリストの来臨の約束はどこにあるのか。先祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか。』」

(IIペテロ 3:3-4)

knowing this first: that scoffers will come in the last days, walking according to their own lusts, and saying, "Where is the promise of His coming? For since the fathers fell asleep, all things continue as they were from the beginning of creation."

(IIペテロ 3:3-4)

「しかし、その同じ言葉によって、今ある天と地は火のために蓄え置かれており、不敬虔な人々の裁きと滅びの日まで留め置かれているのです。」

(IIペテロ 3:7)

「しかし、今の天と地は、同じことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びの日まで、保たれているのです。」

(IIペテロ 3:7)

But the heavens and the earth which are now preserved by the same word, are reserved for fire until the day of judgment and perdition of ungodly men.

(IIペテロ 3:7)

「そして、洪水が来て彼らすべてを流し去るまで注意しませんでした。が、人の子の臨在〔の時〕もそのようになるのです。」 (マタイ 24:39)

「そして、洪水が来てすべての者をさらってしまうまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりです。」 (マタイ 24:39)

"and did not know until the flood came and took them all away, so also will the coming of the Son of Man be. (マタイ 24:39)

神は遅いのではなく、警告を与えておられるのか？

「エホバはご自分の約束に関し、ある人々が遅さについて考えるような意味で遅いではありません。むしろ

「主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるではありません。かえって

The Lord is not slack concerning His promise, as

ろ、ひとりも減はされることなくすべての者が悔い改めに至ることを望まれるので、あなた方に対して辛抱しておられるのです。」（Ⅱペテロ 3:9）

、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも減ひることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」（Ⅱペテロ 3:9）

some count slackness, but is longsuffering toward us, not willing that any should perish but that all should come to repentance.

（Ⅱペテロ 3:9）

関心を払い、目覚めていることの報いは？

「『しかし、食べ過ぎや飲み過ぎまた生活上の思い煩いなどのためにあなた方の心が押しひしがれ、その日が突然、わなのように急にあなた方に臨むことがないよう、自分自身に注意を払いなさい。それは、全地の表に住むすべての者に臨むからです。それで、起きることが定まっているこれらのすべての事を逃れ、かつ人の子の前に立つことができるよう、常に祈願をしつつ、いつも目ざめていなさい。』」

（ルカ 21:34-36）

「『あなたがたの心が、放蕩や深酒やこの世の煩いのために沈み込んでいるところに、突然あなたがたに臨むことのないように、よく気をつけていなさい。その日は、全地の表に住むすべての人に臨むからです。しかし、あなたがたは、やがて起ころうとしているこれらすべてのことからのがれ、人の子の前に立つことができるように、いつも油断をせずに祈っていなさい。』」

（ルカ 21:34-36）

“But take heed to yourselves, lest your hearts be weighed down with carousing, drunkenness, and cares of this life, and that Day come on you unexpectedly. For it will come as a snare on all those who dwell on the face of the whole earth. Watch therefore, and pray always that you may be counted worthy to escape all these things that will come to pass, and to stand before the Son of Man.”

（ルカ 21:34-36）

15. 記念式、ミサ

新世界訳

新改訳

英語

イ. 記念としての主の夕食？

毎年一回、過ぎ越しの日に行なわれるか？

「さて、無酵パンの祭り、いわゆる過ぎ越しが近づいていた。」（ルカ 22:1）

「それから杯を受け取り、感謝をささげてからこう言われた。『これを取り、あなたの方で順に回しなさい。あなた方に言いますが、今からのち、神の王国が到来するまで、わたしはぶどうの木の産物を二度と飲まないのです。』また、[イエス]はパンを取り、感謝をささげてそれを割き、それを彼らに与えて、こう言われた。『これは、あなた方のために与えられるわたしの体を表わしています。わたしの記念としてこれを行ないつづけなさい。』また、晩さんがすんでから、杯をも同じようにして、こう言われた。『この杯は、わたしの血による新しい契約を表わしています。それはあなた方のために注ぎ出されることになっています。』」（ルカ 22:17-20）

「『そして、この日はあなた方のための記念となり、あなた方はエホバに対する祭りとしてこれを代々祝わなければならない。定めのない時に至る法令としてこれを祝うように。』」（出エジプト 12:14）

「さて、過越の祭りといわれる、種なしパンの祝いが近づいていた。」（ルカ 22:1）

「そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。『これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時までには、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。』それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。『これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行ないなさい。』食事の後、杯も同じようにして言われた。『この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。』」（ルカ 22:17-20）

「この日は、あなたがたにとって記念すべき日となる。あなたがたはこれを主への祭りとして祝い、代々守るべき永遠のおきてとしてこれを祝わなければならない。」

（出エジプト 12:14）

Now the Feast of Unleavened Bread drew near, which is called Passover. (ルカ 22:1)

Then He took the cup, and gave thanks, and said, "Take this and divide it among yourselves; for I say to you, I will not drink of the fruit of the vine until the kingdom of God comes." And He took bread, gave thanks and broke it, and gave it to them, saying, "This is My body which is given for you; do this in remembrance of Me." Likewise He also took the cup after supper, saying, "This cup is the new covenant in My blood, which is shed for you.

(ルカ 22:17-20)

'So this day shall be to you a memorial; and you shall keep it as a feast to the Lord throughout your generations. You shall keep it as a feast by an everlasting ordinance.

(出エジプト 12:14)

キリストの犠牲の死を記念するか？

「このパンを食べ、この杯を飲むたびに、あなた方は主の死をふれ告げてゆくのであり、それは彼が到来する時にまで及ぶのです。」

(1コリント 11:26)

「ですから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。」（1コリント 11:26）

For as often as you eat this bread and drink this cup, you proclaim the Lord's death till He comes.

「これはわたしの『契約の血』を表わしており、それは、罪の許しのため、多くの人のために注ぎ出されることになっているのです。」

(マタイ 26:28)

「これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです。」

(マタイ 26:28)

“For this is My blood of the new covenant, which is shed for many for the remission of sins.” (マタイ 26:28)

天の希望を持つ者があずかるか？

「それでわたしは、ちょうどわたしの父がわたしと契約を結ばれたように、あなた方と王国のための契約を結び、あなた方がわたしの王国でわたしの食卓について食べたり飲んだりし、また座に着いてイスラエルの十二部族を裁くようにします。」

(ルカ 22:29-30)

「わたしの父がわたしに王権を与えてくださったように、わたしもあなたがたに王権を与えます。それであなたがたは、わたしの国でわたしの食卓に着いて食事をし、王座に着いて、イスラエルの十二部族をさばくのです。」

(ルカ 22:29-30)

“And I bestow upon you a kingdom, just as My Father bestowed one upon Me, that you may eat and drink at My table in My kingdom, and sit on thrones judging the twelve tribes of Israel.”

(ルカ 22:29-30)

「『恐れることはありません。小さな群れよ。あなた方の父は、あなた方に王国を与えることをよしとされたからです。』」 (ルカ 12:32)

「小さな群れよ。恐れることはありません。あなたがたの父である神は、喜んであなたがたに御国をお与えになるからです。」 (ルカ 12:32)

“Do not fear, little flock, for it is your Father’s good pleasure to give you the kingdom.” (ルカ 12:32)

「主人が到着したときに、見張っているところを見られるそれらの奴隷は幸いです！ あなた方に真実に言いますが、[主人]は帯を締め、彼らを食卓の前に横にならせ、そばに来て奉仕してくれるでしょう。」

(ルカ 12:37)

「帰って来た主人に、目をさましているところを見られるしもべたちは幸いです。まことに、あなたがたに告げます。主人のほうか帯を締め、そのしもべたちを食卓に着かせ、そばにいて給士をしてくれます。」

(ルカ 12:37)

“Blessed are those servants whom the master, when he comes, will find watching. Assuredly, I say to you that he will gird himself and have them sit down to eat, and will come and serve them.” (ルカ 12:37)

人は自分にその希望があることをどのように知るか？

「あなた方は、再び恐れを生じさせる奴隷身分の霊を受けたのではなく、養子縁組の霊を受けたのであり、わたしたちはその霊によって、『アバ、父よ!』と叫ぶのです。霊そのものが、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供であることを証しています。さて、子供であるならば、相続人でもあります。実に、神の相続人であり、キリストと共同の相続人なのです。ただし、共に栄光を受けるため、共に苦しむならばです。」 (ローマ 8:15-17)

(黙示録 7:14-17)

「あなたがたは、人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。私たちは御霊によって、『アバ、父。』と呼びます。私たちが神の子どもであることは、御霊ご自身が、私たちの霊とともに、あかししてくださいます。もし子どもであるなら、相続人でもあります。私たちがキリストと、栄光をと共に受けるために苦難をと共にしているなら、私たちは神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。」 (ローマ 8:15-17)

For you did not receive the spirit of bondage again to fear, but you received the Spirit of adoption by whom we cry out, “Abba, Father.” The Spirit Himself bears witness with our spirit that we are children of God, and if children, then heirs—heirs of God and joint heirs with Christ, if indeed we

		suffer with Him, that we may also be glorified together. (ローマ 8:15-17)
ロ. ミサは非聖書的か？		
罪の許しを得るには血を流すことが必要か？		
「そうです、律法によれば、ほとんどすべてのものが血をもって清められ、血が注ぎ出さなければ、許しはなされないのです。」 (ヘブル 9:22)	「それで、律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる、と言ってよいでしょう。また、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。」 (ヘブル 9:22)	And according to the law almost all things are purified with blood, and without shedding of blood there is no remission. (ヘブル 9:22)
キリストは新しい契約の唯一の仲介者か？		
「神はただひとりであり、また神と人間との間の仲介者もただひとり、人間キリスト・イエスであって、この方は、すべての人のための対応する贖いとしてご自身を与えてくださったのです。 [このことは] そのために特に定められた時に証しされるのであり、」 (1テモテ 2:5-6)	「神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。」 (1テモテ 2:5-6)	For there is one God and one Mediator between God and men, the Man Christ Jesus, who gave Himself a ransom for all, to be testified in due time, (1テモテ 2:5-6)
「イエスは彼に言われた、『わたしは道であり、真理であり、命です。わたしを通してでなければ、だれひとり父のもとに来ることはありません。』」 (ヨハネ 14:6)	「イエスは彼に言われた、『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』」 (ヨハネ 14:6)	Jesus said to him, "I am the way, the truth, and the life. No one comes to the Father except through Me." (ヨハネ 14:6)
キリストは天におられるか？ 司祭によって引き下ろされないか？		
「あなた方のために任命されたキリスト・イエスを遣わしていただけるようにするためです。まさに、天はこの方を、神が昔のご自分の聖なる預言者たちの口を通して語られたすべての事柄の回復の時まで、その内にとどめておかねばなりません。」 (使徒 3:20-21)	「それは、主の御前から回復の時に来て、あなたがたのためにメシヤと定められたイエスを、主が遣わしてくださるためなのです。このイエスは、神が昔から、聖なる預言者たちの口を通してたびたび語られた、あの万物の改まる時まで、天にとどまっていなければなりません。」 (使徒 3:20-21)	"and that He may send Jesus Christ, who was preached to you before, "whom heaven must receive until the times of restoration of all things, which God has spoken by the mouth of all His holy prophets since the world began. (使徒 3:20-21)
キリストの犠牲を繰り返す必要は全くないか？		
「キリストは、実態の写しである。手で造った聖なる場所ではなく、天そのものに入られたのであり、今やわたしたちのために神ご自身の前に出てくださるの	「キリストは、本物の模型にすぎない、手で造った聖所にはいられたのではなく、天そのものにはいられたのです。そして、今、私たちのために神の御前に現われてくださる	For Christ has not entered the holy places made with hands, which are copies of

です。それはまた、大祭司が自分のではない血を携えて年ごとに聖なる場所へ入るように、何度もご自身をささげるためでもありません。そうでなければ、世の基が置かれて以来何度も苦しみを受けなければならなかったでしょう。しかし今、ご自分の犠牲によって罪を取りのけるため、事物の諸体制の終結のときに、ただ一度かざりご自身を現わされたのです。」
(ヘブル 9:24-26)

「また、祭司はみな、公の奉仕を行なうため、また同じ犠牲を何度もささげるために、日ごとに自分の持ち場につきます。そうした【犠牲】が罪を完全に取り去ることは決してできないからです。しかしこの【方】は、罪のために一つの犠牲を永久にささげて神の右に座し、それ以来、自分の敵たちが自分の足の台として置かれるまで待つておられます。彼が、神聖にされつつある者たちを永久に完全にしたのは、一つの【犠牲の】捧げ物によるのです。」
(ヘブル 10:11-14)

のです。それも、年ごとに自分の血でない血を携えて聖所にはいる大祭司とは違って、キリストは、ご自身を幾度もささげることはなしません。もしそうでなかったら、世の初めから幾度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかしキリストは、ただ一度、今の世の終わりに、ご自身をいけにえとして罪を取り除くために、来られたのです。」 (ヘブル 9:24-26)

「また、すべて祭司は毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえをくり返しささげますが、それらは決して罪を除き去ることができません。しかし、キリストは、罪のために一つの永遠のいけにえをささげて後、神の右の座に月、それから、その敵がご自分の足台となるのを待つておられるのです。キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって永遠に全うされたのです。」
(ヘブル 10:11-14)

the true, but into heaven
itself, now to appear in
the presence of God for us;
not that He should offer
Himself often, as the high
high priest enters the Most
Holy Place every year with
blood of another- He then
would have had to suffer
often since the foundation
of the world; but now, once
at the end of the ages, He
has appeared to put away
sin by the sacrifice of
Himself. (ヘブル 9:24-26)

And every priest stands
ministering daily and
offering repeatedly the same
sacrifices, which can never
take away sins. But this
Man, after He had offered
one sacrifice for sins
forever, sat down at the
right hand of God, from
that time waiting till His
enemies are made His
footstool. For by one
offering He has perfected
forever those who are being
sanctified. (ヘブル 10:11-14)

16. 教会

新世界訳

新改訳

英語

イ. 教会は霊的なもので、キリストの上に建てられるか？

神は人間の作った神殿に住まないか？

「世界とその中のすべてのものを造られた神、この方は実に天地の主であり、手で作った神殿などには住まず、また、何か必要でもあるかのように、人間の手によって世話を受けるわけでもありません。ご自身がすべて[の人]に命と息とすべての物を与えておられるからです。」（使徒 17:24-25）

「この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。また、何かに不自由なこともあるかのように、人の手によって仕えられる必要はありません。神は、すべての人に、いのちと息と万物とをお与えになった方だからです。」（使徒 17:24-25）

“God, who made the world and everything in it, since He is Lord of heaven and earth, does not dwell in temples made with hands. Nor is He worshiped with men’s hands, as though He needed anything, since He gives to all life, breath, and all things.”

（使徒 17:24-25）

「ですが、至高者は手で造られた家などに住まれるものではありません。預言者が述べているとおりです。」

（使徒 7:48）

「しかし、いと高き方は、手で造った家にはお住みになりません。預言者が語っているとおりです。」

（使徒 7:48）

“However, the Most High does not dwell in temples made with hands, as the prophet says:（使徒 7:48）

真の教会は生ける石から成る霊的な神殿か？

「自らもまた生ける石となって聖なる祭司職のための霊的な家に築き上げられてゆくのです。それは、神に受け入れられる霊的な犠牲をイエス・キリストを通してささげるためのものです。というのは、聖書にこうあるからです。『見よ、わたしはシオンにひとつの石を据える。選ばれた[石]、土台の隅石、貴重な[石]である。これに信仰を働かせる者は決して失望に至ることがない。』」（1ペテロ 2:5-6）

「あなたがたも生ける石として、霊の家に築き上げられなさい。そして、聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい。なぜなら、聖書にこうあるからです。『見よ、わたしはシオンに、選ばれた石、尊い礎石を置く。彼に信頼する者は、決して失望させられることがない。』」

（1ペテロ 2:5-6）

you also, as living stones, are being built up a spiritual house, a holy priesthood, to offer up spiritual sacrifices acceptable to God through Jesus Christ. Therefore it is also contained in the Scripture, “Behold, I lay in Zion A chief cornerstone, elect, precious, And he who believes on Him will by no means be put to shame.”

（1ペテロ 2:5-6）

キリストは隅石で、使徒たちは副次的な土台か？

「そしてあなた方は使徒や預言者たちの土台の上に築き上げられているのであり、キリスト・イエスご自身は土台の隅石です。」（エペソ 2:20）

「あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその礎石です。」

（エペソ 2:20）

having been built on the foundation of the apostles and prophets, Jesus Christ

		Himself being the chief cornerstone, (エペソ 2:20)
霊と真理をもって神を礼拝すべきか？		
「『神は霊であられるので、[神]を崇拜する者も霊と真理をもって崇拜しなければなりません。』」 (ヨハネ 4:24)	「『神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによつて礼拝しなければなりません。』」 (ヨハネ 4:24)	“God is Spirit, and those who worship Him must worship in spirit and truth.” (ヨハネ 4:24)
ロ．教会はペテロの上に建てられるのではないか？ ペテロの上に教会を建てるとイエスは言わなかったか？		
「また、あなたに言いますが、あなたはペテロであり、この岩塊の上にわたしは自分の会衆を建てます。ハデスの門はそれに打ち勝たないでしょう。」 (マタイ 16:18)	「ではわたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。」 (マタイ 16:18)	“And I also say to you that you are Peter, and on this rock I will build My church, and the gates of Hades shall not prevail against it. (マタイ 16:18)
「岩塊」はキリストであると示されているか？		
「みな同じ霊的な飲み物を飲みました。彼らはいつも、自分たちに付いて来た霊的な岩塊から飲んだのです。その岩塊はキリストを表わしていました。」 (1コリント 10:4)	「みな同じ御霊の飲み物を飲みました。というのは、彼らについて来た御霊の岩から飲んだからです。その岩とはキリストです。」 (1コリント 10:4)	and all drank the same spiritual drink. For they drank of that spiritual Rock that followed them, and that Rock was Christ. (1コリント 10:4)
ペテロはイエスを土台と認めたか？		
「確かに彼は人には退けられましたが、神にとっては選ばれた貴重な[石]であり、あなた方は、生ける石に対するように彼のもつて来て、」 (1ペテロ 2:4)	「主のもとに來なさい。主は、人には捨てられたが、神の目には、選ばれた、尊い、生ける石です。」 (1ペテロ 2:4)	Coming to Him as to a living stone, rejected indeed by men, but chosen by God and precious, (1ペテロ 2:4)
「というのは、聖書にこうあるからです。『見よ、わたしはシオンにひとつの石を据える。選ばれた[石]、土台の隅石、貴重な[石]である。これに信仰を働かせる者は決して失望に至ることがない。』したがって、彼が貴重なのはあなた方にとってであり、それはあなた方が信じる者となっているからです。しかし、信じていない者たちにとっては、『建築者たちの退けたその石が隅の頭となった』、また『つまづきの石、とがのもととなる岩塊』です。こうした人々はみ言葉に不従順なためにつまづいているのです。彼らはまさにそうした結末に定められていました。」	「なぜなら、聖書にこうあるからです。『見よ、わたしはシオンに、選ばれた石、尊い礎石を置く。彼に信頼する者は、決して失望させられることがない。』したがって、より頼んでいるあなたがたには尊いものですが、より頼んでいない人々にとっては、『家を建てる者たちが捨てた石、それが礎の石となった。』のであって、『つまづきの石、妨げの岩。』なのです。彼らがつまづくのは、みことばに従わないからです。またそうなるように定められていたのです。」 (1ペテロ 2:6-8)	Therefore it is also contained in the Scripture, “Behold, I lay in Zion A chief cornerstone, elect, precious” And he who believes on Him will by no means be put to shame. therefore you who believe, He is precious; but to those who are disobedient, “The stone which the builders

(1ペテロ 2:6-8)

「その時ペテロは、聖霊に満たされて彼らにこう言った。『民の支配者と年長者の方々、もしわたしたちが今日、病気の人に対する善行のために、だれによってこの人がよくなったかについて調べを受けているのでしたら、あなた方のすべてとイスラエルの民のすべては知ってください。ナザレ人イエス・キリスト、つまりあなた方が杭につけた方、しかし神が死人の中からよみがえらせた方の名によって、この人がここ、あなた方の前に健やかな姿で立っているのだということを。この方こそ、『あなた方建築者たちにより取るに足らないものとして扱われたのに隅の頭となった石』です。さらに、ほかのだれにも救いはありません。人々の間に与えられ、わたしたちがそれによって救いを得るべき名は、天の下にほかにないからです。』」

(使徒 4:8-12)

「そのとき、ペテロは聖霊に満たされて、彼らに言った。『民の指導者たち、ならびに長老の方々。わたしたちがきょう取り調べられているのが、病人に行なった良いわざについてであり、その人が何によっていやされたか、ということのためであるなら、皆さんも、またイスラエルのすべての人々も、よく知ってください。この人が直って、あなたがたの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけ、神が死者の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのです。『あなたがた家を建てる者たちに捨てられた石が、礎の石となった。』』というのはこの方のことです。この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。』」 (使徒 4:8-12)

rejected Has become the chief cornerstone,” and “A stone of stumbling And a rock of offense.” They stumble, being disobedient to word, to which they also were appointed.

(1ペテロ 2:6-8)

Then Peter, filled with the Holy Spirit, said to them, “Rulers of the people and elders of Israel: If we this day are judged for a good deed done to a helpless man, by what means he has been made well, let it be known to you all, and to all the people of Israel, that by the name of Jesus Christ of Nazareth, whom you crucified, whom God raised from the dead, by Him this man stands here before you whole. This is the ‘stone which was rejected by you builders, which has become the chief cornerstone.’ Nor is there salvation in any other, for there is no other name under heaven given among men by which we must be saved.”

(使徒 4:8-12)

17. キリストの再来

新世界訳

新改訳

英語

イ. 再来は目に見えないか？

世は再び私を見ないとイエスは弟子たちに告げたか？

「あとしばらくすれば、世はもはやわたしを見ないでしょう。しかしあなた方はわたしを見ます。わたしは生きており、あなた方も生きるからです。」

(ヨハネ 14:19)

「いましばらくで世はもうわたしを見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生きるので、あなたがたも生きるからです。」

(ヨハネ 14:19)

“A little while longer and the world will see Me no more, but you will see Me. Because I live, you will live also.” (ヨハネ 14:19)

弟子たちだけが昇天を見たか？ 再来も同様か？

「さて、集合したときに、彼らは〔イエス〕に尋ねはじめた、『主よ、あなたは今の時に、イスラエルに王国を回復されるのですか。』」 (使徒 1:6)

「そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。『主よ、今こそ、イスラエルのために国を再興して下さるのですか。』」 (使徒 1:6)

Therefore, when they had come together, they asked Him, saying, “Lord, will You at this time restore the kingdom to Israel?”

(使徒 1:6)

「そして、〔イエス〕が進んで行く間、彼らが空を見つめていると、さらに、見よ、白い衣を着た二人の人が彼らのそばに立って、こう言った。『ガリラヤの人たちよ、なぜ空を眺めて立っているのですか。あなた方のもとからそらへ迎え上げられたこのイエスは、こうして、空に入って行くのをあなた方が見たのと同じ有り様で来られるでしょう。』」

(使徒 1:10-11)

「イエスが上って行かれるとき、弟子たちは天を見つめていた。すると、見よ、白い衣を着た人がふたり、彼らのそばに立っていた。そして、こう言った。『ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。』」 (使徒 1:10-11)

And while they looked steadfastly toward heaven as He went up, behold, two men stood by them in white apparel, who also said, “Men of Galilee, why do you stand gazing up into heaven? This same Jesus, who was taken up from you into heaven, will so come in like manner as you saw Him go into heaven.”

(使徒 1:10-11)

天におられ、目に見ることのできない霊者か？

「わたしたちの主イエス・キリストの顕現の時まで、汚点のないまたとめられるところのない仕方でおきてを守り行ないなさい。その〔顕現〕は、幸福唯一の大能者がその定めの際に示されるのです。〔その方は〕王として支配する者たちの王、主として支配する者たちの主であり、ただひとり不滅性を持ち、近づき難い光の中に住み、人はだれも見ることがなく、また見ることのできない方です。この方に永遠の誉れと偉

「私たちの主イエス・キリストの現われの時まで、あなたは命令を守り、傷のない非難されるところのない者でありなさい。その現われを、神はご自分の良しとする時に示してください。神は祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、ただひとり死のない方であり、近づくこともできない光の中に住まれ、人間がだれひとり見たことのない、また見ることのできない方です。誉れと、とこしえの主権は神のものです。アーメン。」

that you keep this commandment with out spot, blameless until our Lord Jesus Christ’s appearing, which He will manifest in His own time, He who is the blessed and only Potentate, the King of kings and Lord

力とがありますように。アーメン。」
(1テモテ 6:14-16)

「彼は〔神〕の栄光の反映、またその存在そのものの
厳密な抽出であり、その力の言葉によってすべてのも
のを支えておられます。そして、わたしたちの罪のた
めの浄めを行なった後、高大な所におられる威光の右
に座られました。」 (ヘブル 1:3)

天の王国の力をもって再び来るか？

「『わたしが夜の幻の中でずっと見ていると、見よ、
天の雲と共に人の子のような者が来るのであった。そ
の者は日を経た方に近づき、彼らはこれをその方のす
ぐ前に連れて来た。そして、その者には、支配権と尊
厳と王国とが与えられた。もろもろの民、国たみ、も
ろもろの言語の者が皆これに仕えるためであった。そ
の支配権は、過ぎ行くことのない、定めなく続く支配
権、その王国は滅びに至ることのないものである。』
」 (ダニエル 7:13-14)

「『人の子がその栄光のうちに到来し、またすべての
み使いが彼と共に〔到来する〕と、そのとき彼は自分
の栄光の座に座ります。』」
(マタイ 25:31)

(1テモテ 6:14-16)

「御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現われで
あり、その力あるみことばによって万物を保っておられま
す。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の大
能者の右の座に着かれました。」 (ヘブル 1:3)

「私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、人の子のような
方が天の雲に乗って来られ、年を経た方のもとに進み、そ
の前に導かれた。この方に、主権と栄光と国が与えられ、
諸民、諸国、諸言語の者たちがことごとく、彼に仕えるこ
とになった。その主権は永遠の主権で、過ぎ去ることがな
く、その国は滅びることがない。」

(ダニエル 7:13-14)

「人の子が、その栄光を帯びて、すべての御使いたちを伴
って来るとき、人の子はその栄光の位に着きます。」
(マタイ 25:31)

of lords, who alone has
immortality, dwelling in
unapproachable light, whom
no man has seen or can see,
to whom be honor and
everlasting power. Amen.

(1テモテ 6:14-16)

who being the brightness
of His glory and the express
image of His person, and
upholding all things by the
word of His power, when He
had by Himself purged our
sins, sat down at the right
hand of the Majesty on
high,
(ヘブル 1:3)

“I was watching in the night
visions, And behold, One
like the Son of Man, Coming
with the clouds of heaven!
He came to the Ancient of
Days, And they brought Him
near before Him. Then to
Him was given dominion and
ous, glory and a kingdom,
That all peoples, nations,
and languages should serve
His dominion is an
everlasting dominion, Which
shall not pass away, And
His kingdom the one Which
shall not be destroyed.

(ダニエル 7:13-14)

“When the Son of Man comes
in His glory, and all the
holy angels with Him, then
He will sit on the throne

of His glory.”

(マタイ 25:31)

ロ．実際の事実によって認められるか？

弟子たちは臨在のしるしを求めたか？

「[イエス]がオリーブ山の上で座っておられたところ、弟子たちが自分たちだけで近づいて来て、こう言った。『わたしたちにお話してください。そのようなことはいつあるのでしょうか。そして、あなたの臨在と事物の体制の終結のしるしには何がありますか?』」
(マタイ 24:3)

「イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。『お話してください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。』」
(マタイ 24:3)

Now as He sat on the Mount of Olives, the disciples came to Him privately, saying, “Tell us, when will these things be? And what will be the sign of Your coming, and of the end of the age?” (マタイ 24:3)

クリスチャンは理解を得ることによって臨在を「見る」のか？

「[また、]あなたの方の心が啓発されて、[神]があなた方を召してくださったその希望は何か、聖なる者たちのための相続財産として[神]が擁しておられる栄光ある富は何か、」 (エペソ 1:18)

「また、あなたがたの、心の目ははっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、」 (エペソ 1:18)

the eyes of your understanding being enlightened; that you may know what is the hope of His calling, what are the riches of the glory of His inheritance in the saints,
(エペソ 1:18)

臨在の証拠は多くの出来事から成るか？

「それから[イエス]はさらにこう言われた。『国民は国民に、王国は王国に敵対して立ち上がるでしょう。そして、大きな地震があり、そこからここへと疫病や食料不足があります。また、恐ろしい光景や天からの大いなるしるしがあるでしょう。』」
(ルカ 21:10-11)

「それから、イエスは彼らに言われた。『民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、大地震があり、方々に疫病やきさんが起こり、恐ろしいことや天からのすさまじい前兆が現われます。』」 (ルカ 21:10-11)

Then He said to them, “Nation will rise against nation, and kingdom against kingdom. And there will be great earthquakes in various places, and famines and pestilences; and there will be fearful sights and great signs from heaven.

(ルカ 21:10-11)

「『また、太陽と月と星にしるしがあり、地上では、海のとどろきと[その]動揺のゆえに逃げ道を知らない諸国民の苦悶があるでしょう。同時に人々は、人の住む地に臨もうとする事柄への恐れと予想から気を失います。天のもろもろの力が揺り動かされるからです。そのとき彼らは、人の子が力と大いなる栄光を伴い、雲のうちにあって来るのを見るでしょう。しかし

「『そして、日と月と星には、前兆が現われ、地上では、諸国の民が、海と波が荒れどよめくために不安に陥って悩み、人々は、その住むすべての所を襲おうとしていることを予想して、恐ろしさのあまり気を失います。天の万障が揺り動かされるからです。そのとき、人々は、人の子が力と輝かしい栄光を帯びて雲に乗って来るのを見るのです。これらのことが起こり始めたなら、からだをまっすぐにし

“And there will be signs in the sun, in the moon, and in the stars; and on the earth distress of nations, with perplexity, the sea and the waves roaring; men’s hearts

、これらの事が起こり始めたら、あなた方は身をまっすぐに起こし、頭を上げなさい。あなた方の救出が近づいているからです。』そして〔イエス〕は彼らにひとつの例えを話された。『いちじくの木やほかのすべての木をよく見なさい。それらが既に芽ぐんでいれば、あなた方はそれを観察して、もう夏の近いことを自分で知ります。このように、あなた方はまた、これらの事が起きているのを見たなら、神の王国の近いことを知らなさい。あなた方に真実に言いますが、すべての事が起こるまで、この世代は決して過ぎ去りません。』」（ルカ 21:25-32）

、頭を上を上げなさい。贖いが近づいたのです。』それからイエスは、人々にたとえを話された。『いちじくの木や、すべての木を見なさい。木の芽が出ると、それを見て夏の近いことがわかります。そのように、これらの事が起こるのを見たら、神の国は近いと知らなさい。まことに、あなたがたに告げます。すべての事が起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。』」（ルカ 21:25-32）

（ルカ 21:25-32）

failing them from fear and the expectation of those things which are coming on the earth, for the powers of heaven will be shaken. Then they will see the Son of Man coming in a cloud with power and great glory. Now when these things begin to happen, look up and lift up your heads, because your redemption draws near.” Then He spoke to them a parable: “Look at the fig tree, and all the trees. When they are already budding, you see and know for yourselves that summer is now near. So you also, when you see these things happening, know that the kingdom of God is near. Assuredly, I say to you, this generation will by no means pass away till all things take place.

（ルカ 21:25-32）

敵は滅びの臨む時に「見る」のか？

「見よ、彼は雲と共に来る。そして、すべての目は彼を見るであろう。彼を刺し通した者たちも〔見る〕。また、地のすべての部族は彼のゆえに悲嘆して身を打ちたたくであろう。しかし、アーメン。」

（黙示録 1:7）

「見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかし、アーメン。」

（黙示録 1:7）

Behold, He is coming with clouds, and every eye will see Him, even they who pierced Him. And all the tribes of the earth will mourn because of Him. Even so, Amen. （黙示録 1:7）

18. 糸吉女昏

新世界訳

新改訳

英語

イ. 結婚のきずなは尊ばなければならないか？

キリストと花婿に例えられているか？

「妻は主に対するように自分の夫に服しなさい。夫は妻の頭だからですそれは、キリストが会衆の頭であり、[この]体の救い主であられるのと同じです。」
(エペソ 5:22-23)

「妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。なぜなら、キリストは教会のかしらであって、ご自身がそのからだの救い主であられるように、夫は妻のかしらであるからです。」
(エペソ 5:22-23)

Wives, submit to your own husbands, as to the Lord. For the husband is head of the wife, as also Christ is head of the church; and He is the Savior of the body. (エペソ 5:22-23)

結婚の床を汚してはならないか？

「結婚はすべての人の間で誉れあるものとされるべきです。また結婚の床は汚れないものとすべきです。神は淫行の者や姦淫を行なう者を裁かれるからです。」
(ヘブル 13:4)

「結婚がすべての人に尊ばれるようにしなさい。寝床を汚してはいけません。なぜなら、神は不品行な者と姦淫を行なう者とをさばられるからです。」
(ヘブル 13:4)

Marriage is honorable among all, and the bed undefiled; but fornicators and adulterers God will judge.

(ヘブル 13:4)

夫婦は別れないようにと勧められているか？

「結婚している人たちにわたしは指示を与えます。といても、わたしではなく、主が[与えるの]ですが、妻は夫から離れるべきではありません。しかし、もしも離れるようなことがあるなら、結婚しないか、さもなければ夫と和解しなさい。夫も妻を去るべきではありません。しかし、他の人たちにわたしは言います。そうです、主ではなく、わたしが[言い]ます。ある兄弟に信者でない妻がいて、彼女が[夫]と共に住むことを快く思っているなら、その人は[妻]を去ってはなりません。また、信者でない夫のいる女は、彼が[妻]と共に住むことを快く思っているなら、彼女は夫を去ってはなりません。信者でない夫は妻との関係で神聖なものとされているからです。そうでなければ、あなたの方の子供は実際には清くないことになります。でも今、彼らは聖なる者なのです。しかし、信者でない人が離れて行くなら、その離れるにまかせなさい。兄弟にせよ姉妹にせよ、そうした事情のもとでは隷属の身ではありません。神はあなた方を平和へと召されたのです。というのは、妻よ、あなたは夫

「次に、すでに結婚した人々に命じます。命じるのは、私ではなく主です。妻は夫と別れてはいけません。もし別れたのだったら、結婚せずにいるか、それとも夫と和解するか、どちらかにしなさい。 また夫は妻を離別してはいけません。次に、そのほかの人々に言いますが、これを言うのは主ではなく、私です。信者の男子に信者でない妻があり、その妻がいつしよにいることを承知しているばあいは、離婚してはいけません。なぜなら、信者でない夫を持つ女は、夫がいつしよにいることを承知しているばあいは、離婚してはいけません。なぜなら、信者でない夫は妻によって聖められており、また、信者でない妻も信者の夫によって聖められているからです。そうでなかったら、あなたがたの子どもは汚れているわけです。ところが、現に聖いのです。しかし、もし信者でないほうの者が離れて行くのであれば、離れて行かせなさい。そのようなばあいには、信者である夫あるいは妻は、縛られることはありません。神は、平和を得させようとしてあなたがたを召されたのです。なぜなら、妻よ、あなたが夫を救えるかどうか、どうしてわかりますか。また、夫よ、あなた

Now to the married I command, yet not I but the Lord: A wife is not to depart from her husband. But even if she does depart, let her remain unmarried or be reconciled to her husband. And a husband is not to divorce his wife. But to the rest I, not the Lord, say: If any brother has a wife who does not believe, and she is willing to live with him, let him not divorce her. And a woman who has a husband who dose not believe, if he willing to live with her, let her not divorce him, For the

を救えないとどうして分かるのですか。また、夫よ、
あなたは妻を救えないとどうして分かるのですか」
(1コリント 7:10-16)

が妻を救えるかどうか、どうしてわかりますか。」
(1コリント 7:10-16)

unbelieving husband is
sanctified by the wife, and
the unbelieving wife is
sanctified by the husband;
other wise your children
would be unclean, but now
they are holy. But if the
unbeliever departs, let him
depart; a brother or a
sister is not under bondage
in such cases. But God has
called us to peace. For how
do you know, O wife,
whether you will save your
husband? Or how do you know
, O husband, whether you
will save your wife?
(1コリント 7:10-16)

離婚の許される唯一の聖書的根拠はポルネイアか？

「『あなた方に言いますが、だれでも、淫行以外の理
由で妻を離婚して別の女と結婚する者は、姦淫を犯す
のです。』」 (マタイ 19:9)

「『まことに、あなたがたに告げます。だれでも、不貞の
ためでなくて、その妻を離別し、別の女を妻にする者は姦
淫を犯すのです。』」 (マタイ 19:9)

“And I say to you, whoever
divorces his wife, except
for sexual immorality, and
marries another, commits
adultery; and whoever
marries her who is divorced
commits adultery.”
(マタイ 19:9)

ロ．クリスチャンは頭の原則を尊重しなければならないか？

頭である夫は家庭を愛し、その世話をするか？

「夫は妻の頭だからですそれは、キリストが会衆の頭
であり、[この]体の救い主であられるのと同じであ
られるのと同じです。そうです、会衆がキリストに服
しているように、妻もすべての事において夫に[服従
し]なさい。夫たちよ、妻を愛し続けなさい。キリス
トが会衆を愛し、そのためにご自分を引き渡されたの
と同じようにです。それは、[会衆]を神聖なものと
し、み言葉による水の洗いををもってそれを清めるため
、そして、輝かしいばかりの会衆をご自身のもとに立

「なぜなら、キリストは教会のかしらであって、ご自身が
そのからだの救い主であられるように、夫は妻のかしらで
あるからです。教会がキリストに従うように、妻も、すべ
てのことに、夫に従うべきです。夫たちよ。キリス
トが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたよう
に、あなたがたも自分の妻を愛しなさい。キリストがそう
されたのは、みことばにより、水の洗いをもち、教会を
聖なるものとすつためであり、ご自身で、しみや、しわや
、そのようなものの一つない、聖く傷のないものとなった

For the husband is head of
the wife, as also Christ
is head of the church; and
He is the Savior of the body
. Therefore, just as the
church is subject to Christ,
so let the wives be to
their own husbands in
everything. Husbands, love

たせ、こうしてそれが、汚点やしわ、またそうしたものの何もない、神聖できずのないものとなるためでした。このように、夫は自分の体のように妻を愛すべきです。妻を愛する人は自分自身を愛しているのです。自分の身を憎んだ者はかつていないからです。むしろ人は、それを養い、また大切にします。キリストが会衆に対してするのと同じです。わたしたちは彼の体の肢体であるからです。『このゆえに人はその父と母を離れて自分の妻に堅く付き、二人は一体となる。』とあります。」（エペソ 5:23-31）

栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。そのように、夫も自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は自分を愛しているのです。だれも自分の身を憎んだ者はいません。かえって、これを養い育てます。それはキリストが教会をそうされたのと同じです。私たちはキリストのからだの部分だからです『それゆえ、人はその父と母を離れ、妻と結ばれ、ふたりは一心同体となる。』」（エペソ 5:23-31）

your wives, just as Christ also loved the church and gave Himself for her, that He might sanctify and cleanse her with the washing of water by the word, that He might present her to Himself a glorious church, not having spot or wrinkle or any such thing, but that she should be holy and without blemish. So husbands ought to love their own wives as their own bodies; he who loves his wife loves himself. For no one ever hated his own flesh, but nourishes and cherishes it, just as the Lord does the church. For we are members of His body, of His flesh and of His bones. "For this reason a man shall leave his father and mother and be joined to his wife, and the two shall become one flesh."（エペソ 5:23-31）

妻は夫を愛し、夫に従順を示すのか？

「同じように、妻たちよ。自分の夫に服しなさい。それは、み言葉に従順でない者がいるとしても、言葉によらず、妻の行状によって、つまり、深い敬意のこもったあなた方の貞潔な行状を実際に見て引き寄せられるためです。そして、あなた方の飾りは、髪を編んだり、金の装飾を身に着けたり、外衣を着たりする外面のものであってはなりません。むしろ、もの静かで温和な霊という朽ちない「装い」をした、心の中の秘められた人を「飾り」としなさい。それは神の目に大いに価値のあるものです。神に望みを置いた聖なる女た

「同じように、妻たちよ。自分の夫に服しなさい。たとい、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふりまによって、神のものとされるようになるためです。それは、あなたがたの、神を恐れかしこむ清い生き方を彼らが見るからです。あなたがたは、髪を編んだり、金の飾りをつけたり、着物を着飾るような外面的なものでなく、むしろ、柔和で穏やかな霊という朽ちることのないものを持つ、心の中の隠れた人がらを飾りにしなさい。これこそ、神の御前に価値あるものです。むかし神に望みを置いた敬虔な婦人たちも、このように自分を飾って、夫に従ったので

Wives, likewise, be submissive to your own husbands, that even if some do not obey the word, they, without a word, may be won by the conduct of their wife, when they observe your chaste conduct accompanied by fear. Do not let your adornment be merely outward-

ちも、先にはそのようにして身を飾り、自分の夫に服していたからです。サラがアブラハムを『主』と呼んでこれに従っていたとおりです。そしてあなた方は彼女の子供となったのです。もともとそれは、あなた方がいつも善を行ない、どんな怖ろしい事をも恐れずにいるならばのことです。夫たちよ、同じように、知識にしたがって〔妻〕と共に住み、弱い器である女性としてこれに誉れを配しなさい。あなた方は、過去の恵みとしての命を〔妻〕と共に受け継ぐ者でもあるからです。〔そうするのは、〕あなた方の祈りが妨げられないためです。」（1ペテロ 3:1-7）

「妻は主に対するように自分の夫に服しなさい。」
(エペソ 5:22)

子供は従順でなければならないか？

「子供たちよ、主と結ばれたあなた方の親に従順でありなさい。これは義にかなったことなのです。『あなたの父と母を敬いなさい。』とあり、これは約束を伴った最初の命令です。すなわち、『それはあなたにとって物事が良く運び、あなたが地上で生き永らえるためである。』」（エペソ 6:1-3）

す。たとえばサラも、アブラハムを主と呼んで、彼に従いました。あなたがたも、どんなことをとも恐れないうで善を行なえば、サラの子となるのです。同じように、夫たちよ。妻が女性であつて、自分よりも弱い器だということをわきまえて妻とともに生活し、いのちの恵みをともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。それは、あなたがたの祈りが妨げられないためです。」（1ペテロ 3:1-7）

「妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。」（エペソ 5:22）

「子どもたちよ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。『あなたの父と母を敬え。』これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。すなわち、『そうしたら、あなたはしあわせになり地上で長生きする。』という約束です。」（エペソ 6:1-3）

arranging the hair, wearing gold, or putting on fine apparel- rather let it be the hidden person of the heart, with the incorruptible beauty of a gentle and quiet spirit, which is very precious in the sight of God. For in this manner, in former times, the holy women who trusted in God also adorned themselves, being submissive to their own husbands, as Sarah obeyed Abraham, calalling him lord, whose daughters you are if you do good and are not afraid with any terror. Husbands, likewise, dwell with them with understanding, giving honor to the wife, as to the weaker vessel, and as being heirs together of the grace of life, that your prayers may not be hindered.

(1ペテロ 3:1-7)

Wives, submit to your own husbands, as to the Lord.

(エペソ 5:22)

Children, obey your parents in the Lord, for this is right. "Honor your father and mother," which is the first commandment with promise: "that it may be well with you and you may

<p>「子供たちよ、すべての事において親に従順でありなさい。これは主にあって大いに喜ばれることなのです。」（コロサイ 3:20）</p>	<p>「子供たちよ。すべてのことについて、両親に従いなさい。それは主に喜ばれることだからです。」（コロサイ 3:20）</p>	<p>live long on the earth.” (エペソ 6:1-3) Children, obey your parents in all things, for this is well pleasing to the Lord. (コロサイ 3:20)</p>
--	---	--

ハ．子供に対するクリスチャンの親の責任は？

時間をかけ、注意を払って愛を示さねばならないか？

「それは、彼女たちが若い婦人たちに、夫を愛し、子供を愛し、」（テトス 2:4）

「そうすれば、彼女たちは、若い婦人たちに向かって、夫を愛し、子供を愛し、」（テトス 2:4）

that they admonish the young women to love their husbands, to love their children, (テトス 2:4)

いらだたせてはならないか？

「父たちよ、あなた方の子供をいらだたせて気落ちさせることのないようにしなさい。」（コロサイ 3:21）

「父たちよ。子どもをおこらせてはいけません。彼らを気落ちさせないためです。」（コロサイ 3:21）

Fathers, do not provoke your children, lest they become discouraged. (コロサイ 3:21)

養育する？ 霊的なことも含まれるか？

「ご覧なさい、わたしがあなたの方のところに行く用意をしたのはこれで三度目です。それでもわたしは重荷とならないようにします。わたしは、あなた方の所有物ではなく、あなた方自身を求めているのです。子供が親のためではなく、親が子供のために蓄えておくべきなのです。」（Ⅱコリント 12:14）

「今、私はあなたがたのところに行こうとして、三度目の用意ができています。しかし、あなたがたに負担はかけません。私が求めているのは、あなたがたの持ち物ではなく、あなたがた自身だからです。子供は親のためにたくわえる必要はなく、親が子のためにたくわえるべきです。」（Ⅱコリント 12:14）

Now for the third time I am ready to come to you. And I will not be burdensome to you; for I do not seek yours, but you. For the children ought not to lay up for the parents, but the parents for the children.

(Ⅱコリント 12:14)

「当然のことですが、自分に属する人々、ことに自分の家の者に必要な物を備えない人がいるなら、その人は信仰を否認していることになり、信仰のない人より悪いのです。」（Ⅰテモテ 5:8）

「もしも親族、ことに自分の家族を顧みない人がいるなら、その人は信仰を捨てているのであって、不信者よりも悪いのです。」（Ⅰテモテ 5:8）

But if anyone does not provide for his own, and especially for those of his household, he has denied the faith and is worse than an unbeliever. (Ⅰテモテ 5:8)

命のための訓練を与えるか？

「また、父たちよ、あなた方の子供をいらだたせることなく、エホバの懲らしめと精神の規整をもって育ててゆきなさい。」（エペソ 6:4）

「父たちよ。あなたがたも、子供をおこらせてはいけません。かえって、主の教育と訓戒によって育てなさい。」（エペソ 6:4）

And you, fathers, do not provoke your children to wrath, but bring them up in the training and admonition of the Lord. (エペソ 6:4)

「少年をその行くべき道にしたがって育て上げよ。彼は年老いても、それから離れないであろう。」 (箴言 22:6)	「若者をその行く道にふさわしく教育せよ。奏すれば、年老いても、それから離れない。」 (箴言 22:6)	Train up a child in the way he should go, And when he is old he will not depart from it. (箴言 22:6)
「愚かさが少年の心につながれている。懲らしめのむち棒がそれを彼から遠くに引き離す。」 (箴言 22:15)	「愚かさは子どもの心につながれている。懲らしめの杖がこれを断ち切る。」 (箴言 22:15)	Foolishness is bound up in the heart of a child; The rod of correction will drive it far from him. (箴言 22:15)
「ほんの少年から懲らしめを差し控えてはならない。あなたがむち棒でこれを打ちたたくな、彼は死なないであろう。あなた自身がむち棒でこれを打ちたたくなべきである。その魂をシェオルから救い出すためである。」 (箴言 23:13-14)	「子供を懲らすことを差し控えてはならない。むちで打つても、彼は死ぬことはない。あなたがむちで彼を打つなら、彼のいのちをよみから救うことができる。」 (箴言 23:13-14)	Do not withhold correction from a child, For if you beat him with a rod, he will not die. You shall beat him with a rod, And deliver his soul from hell. (箴言 23:13-14)

二. クリスマンはクリスマンとのみ結婚すべきであるか？

「主にある者」とのみ結婚しなければいけないか？

「妻は夫が生きている間はずっとつながれています。しかし、もし夫が[死の]眠りにつくことがあれば、彼女は自分の望者と自由に結婚できます。ただし主にある[者]とだけです。」 (1コリント 7:39)	「妻は夫が生きている間は夫に縛られています。しかし、もし夫が死んだなら、自分の願う人と結婚する自由があります。ただ主にあつてのみ、そうなのです。」 (1コリント 7:39)	A wife is bound by law as long as her husband lives; but if her husband dies, she is at liberty to be married to whom she wishes, only in the Lord. (1コリント 7:39)
「また、彼らと姻戚関係を結んではならない。あなたの娘を彼の息子に与えてはならず、彼の娘をあなたの息子のためにめとつてもならない。彼はあなたの息子をそらしてわたしに従うことから離れさせ、彼らは必ずほかの神々に仕えるようになるからである。そしてエホバの怒りはまさにあなたの方に対して燃え、必ずあなたを速やかに滅ぼし尽くされるであろう。」 (申命記 7:3-4)	「また、彼らと互いに縁を結んではならない。あなたの娘を彼の息子に与えてはならない。彼の娘をあなたの息子にめとつてはならない。彼はあなたの息子を私から引き離すであろう。彼らがほかの神々に仕えるなら、主の怒りがあなたがたに向かって燃え上がり、主はあなたをたちどころに根絶やしにしてしまわれる。」 (申命記 7:3-4)	“Nor shall you make marriages with them. You shall not give your daughter to their son, nor take their daughter for your son. For they will turn your sons away from following Me, to serve other gods; so the anger of the Lord will be aroused against you and destroy you suddenly.” (申命記 7:3-4)
「イスラエルの王ソロモンが罪をおかしたのは、これらのことのためではありませんでしたか。しかも、多	「イスラエルの王ソロモンは、このことによって罪を犯したのではないか。多くの国々のうちで彼のような王はいなか	“Did not Solomon king of Israel sin by these things?

くの国々の民の中に彼のような王はいませんでした。彼はその神に愛されていたので、神は彼を全イスラエルの王とされました。その彼にさえ、異国の妻たちは罪をおかされたのです。」

(ネヘミヤ 13:26)

った。彼は神に愛され、神は彼をイスラエル全土を治める王としたのに、外国の女たちが彼に罪を犯させてしまった。」 (ネヘミヤ 13:26)

Yet among many nations there was no king like him, who was beloved of his God; and God; and God made him king over all Israel. Nevertheless pagan women caused even him to sin.”

(ネヘミヤ 13:26)

ホ. 一夫多妻は聖書的でないか？

初め男はただ一人だけの妻を持つことになっていたか？

「次いでエホバ神は言われた、『人が独りのままでいるのは良くない。わたしは彼のために、彼を補うものとなる助け手を造ろう。』」 (創世記 2:18)

「その後、神である主は仰せられた。『人が、ひとりであるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を造ろう。』」 (創世記 2:18)

And the Lord God said, “It is not good that man should be alone; I will make him a helper comparable to him.”

(創世記 2:18)

「それからエホバ神は、人から取ったあばら骨を女に造り上げ、それを人のところに連れて来られた。すると人は言った、『これこそわたし骨の骨、わたしの肉の肉。これは“女”と呼ばれよう。男から取られたのだから。』それゆえに、男はその父と母を離れて自分の妻に堅く付き、ふたりは一体となるのである。そしてそのふたりは、すなわち人その妻と共に裸のままであったが、それでも恥ずかしいは思わなかった。」 (創世記 2:22-25)

「こうして神である主は、人から造ったあばら骨を、ひとりの女に造り上げ、その女を人のところに連れて来られた。すると人は言った。『これこそ、今や、私の骨からの骨、私の肉からの肉。これを女と名づけよう。これは男から取られたのだから。』それゆえ、男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。そのとき、人とその妻は、ふたりとも裸であったが、互いに恥ずかしいと思わなかった。」 (創世記 2:22-25)

Then the rib which the Lord God had taken from man He made into a woman, and He brought her to the man. And Adam said: “This is now bone of my bones And flesh of my flesh; She shall be called Woman, Because she was taken out of Man.” Therefore a man shall leave his father and mother and be joined to his wife, and they shall become one flesh. And they were both naked, the man and his wife, and were not ashamed. (創世記 2:22-25)

イエスはクリスチャンのためにその標準を回復したか？

「すると、パリサイ人たちがそのもとにやって来て、何とか誘惑しようとして、こう言った。『人が自分の妻を離婚することは、どんな根拠による場合でも許されるのですか。』[イエス]は答えて言われた、『あなた方は読まなかったのですか。人を創造された方は、これを初めから男性と女性に造り、『このゆえに、

「パリサイ人たちがみなもとにやって来て、イエスを試みて、こう言った。『何か理由があれば、妻を離別することは律法になっているでしょうか。』イエスは答えて言われた。『創造者は、初めから人を男と女に造って、『それゆえ、人はその父と母を離れて、その妻と結ばれ、ふたりの者が一心同体になるのだ。』と言われたのです。それを

The Pharisees also came to Him, testing Him, and saying to Him, “Is it lawful for a man to divorce his wife for just any reason?” And He answered and said to

人は父と母を離れて自分の妻に堅く付き、二人は一体となる』と言われたのです。したがって、彼らはもはや二つではなく、一体です。それゆえ、神がくびきで結ばれたものを、人が離してはなりません。』彼らは言った、『では、なぜモーセは、離婚証書を与えて〔妻を〕離婚することを規定したのですか。』〔イエス〕は彼らに言われた、『モーセは、あなた方の心のかたくなさを考え、妻を離婚することであなた方に譲歩したのであり、初めからそうなっていたわけではありません。あなた方に言いますが、だれでも、淫行以外の理由で妻を離別して別の女と結婚する者は、姦淫を犯すのです。』」（マタイ 19:9）

、あなたがたは読んだことがないのですか。それで、もはやふたりではなく、ひとりなのです。こういうわけで、人は、神が結び合わせたものを引き離してはなりません。』彼らはイエスに言われた。『では、モーセはなぜ、離婚状を渡して妻を離別せよ、と命じたのですか。』イエスは彼らに言われた。『モーセは、あなたがたの心がかたくななので、その妻を離別することをあなたがたに許したのです。しかし、初めからそうだったわけではありません。まことに、あなたがたに告げます。だれでも 不貞のためではなくて、その妻を離別し、別の女を妻にする者は姦淫を犯すのです。』」（マタイ 19:9）

them, "Have you not read that He who made them at the beginning 'made them male and female,' "and said, 'For this reason a man shall leave his father and mother and be joined to his wife, and the two shall become one flesh'? "So then, they are no longer two but one flesh. Therefore what God has jointed together, let not man separate." They said to Him, "Why then did Moses command to give a certificate of divorce, and to put her away?" He said to them, "Moses, because of the hardness of your hearts, permitted you to divorce your wives, but from the beginning it was not so. And I say to you, whoever divorces his wife, except for sexual immorality, and marries another, commits adultery ; and whoever marries her who is divorced commits adultery." (マタイ 19:9)

初期クリスチャンは一夫多妻を行なわなかったか？

「しかし、淫行がはびこっていますから、男はおおの自分の妻を持ち、女はおのおの自分の夫を持ちなさい。」（1コリント 7:2）

「しかし、不品行を避けるため、男はそれぞれ自分の妻を持ち、女もそれぞれ自分の夫を持ちなさい。」（1コリント 7:2）

Nevertheless, because of sexual immorality, let each man have his own wife, and let each woman have her own husband. (1コリント 7:2)

「しかし、他の人たちにわたしは言います。そうです、主ではなく、わたしが【言い】ます。ある兄弟に信

「次に、そのほかの人々に言いますが、これを言うのは主ではなく、私です。信者の男子に信者でない妻があり、そ

But to the rest I, not the Lord, say: If any brother

者でない妻がいて、彼女が[夫]と共に住むことを快く思っているなら、その人は[妻]を去ってはなりません。また、信者でない夫のいる女は、彼が[妻]と共に住むことを快く思っているなら、彼女は夫を去ってはなりません。信者でない夫は妻との関係で神聖なものとされているからです。そうでなければ、あなた方は子供は実際には清くないことになります。でも今、彼らは聖なる者なのです。しかし、信者でない人が離れて行くなら、その離れるにまかせなさい。兄弟にせよ姉妹にせよ、そうした事情のもとでは隷属の身ではありません。神はあなた方を平和へと召されたのです。というのは、妻よ、あなたは夫を救えないとどうして分かるのですか。また、夫よ、あなたは妻を救えないとどうして分かるのですか。」

(1コリント 7:12-16)

「このように、夫は自分の体のように妻を愛すべきです。妻を愛する人は自分自身を愛しているのです。自分の身を憎んだ者はかつていないからです。むしろ人は、それを養い、また大切にします。キリストが会衆に対してするのと同じです。わたしたちは彼の体の肢体であるからです。『このゆえに人はその父と母を離れて自分の妻に堅く付き、二人は一体となる。』とあります。」 (エペソ 5:23-31)

の妻がいっしょにいることを承知しているばあいは、離婚してはいけません。なぜなら、信者でない夫は妻によって聖められており、また、信者でない妻も信者の夫によって聖められているからです。そうでなかったら、あなたがたの子どもは汚れているわけです。ところが、現に聖いのです。しかし、もし信者でないほうの者が離れて行くのであれば、離れて行かせなさい。そのようなばあいには、信者である夫あるいは妻は、縛られることはありません。神は、平和を得させようとしてあなたがたを召されたのです。なぜなら、妻よ、あなたが夫を救えるかどうか、どうしてわかりますか。また、夫よ、あなたが妻を救えるかどうか、どうしてわかりますか。」

(1コリント 7:12-16)

「そのように、夫も自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は自分を愛しているのです。だれも自分の身を憎んだ者はいません。かえって、これを養い育てます。それはキリストが教会をそうされたのと同じです。私たちはキリストのからだの部分だからです『それゆえ、人はその父と母を離れ、妻と結ばれ、ふたりは一心同体となる。』」

(エペソ 5:23-31)

has a wife who does not believe, and she is willing to live with him, let him not divorce her. And a woman who has a husband who does not believe, if he is willing to live with her, let her not divorce him. For the unbelieving husband is sanctified by the wife, and the unbelieving wife is sanctified by the husband; otherwise your children would be unclean, but now they are holy. But if the unbeliever departs, let him depart; a brother or a sister is not under bondage in such cases. But God has called us to peace. For how do you know, O wife, whether you will save your husband? Or how do you know, O husband, whether you will save your wife?

(1コリント 7:12-16)

So husbands ought to love their own wives as their own bodies; he who loves his wife loves himself. For no one ever hated his own flesh, but nourishes and cherishes it, just as the Lord does the church. For we are members of His body, of His flesh and of His bones. "For this reason a man shall leave his father and mother

and be joined to his wife,
and the two shall become
one flesh." (Ἐϥ 5:23-31)

19. 三位一体

新世界訳

新改訳

英語

イ. ただ一人の父である神、宇宙で最も偉大か？

神は三位ではないか？

「『イスラエルよ、聴きなさい。わたしたちの神エホバはただひとりエホバである。』」

(申命記 6:4)

「『わたしたちすべては、一人の父を有しているのではないか。わたしたちを創造されたのは、一人の神ではないか。わたしたちが互いに対して不実な振る舞いをし、父祖たちの契約を汚しているのはどうか。』」 (マラキ 2:10)

「イエスは彼に言われた、『なぜわたしのことを善いと呼ぶのですか。ただひとり、神以外には、だれも善い者はいません。』」 (マルコ 10:18)

「それとも、この方はユダヤ人だけの神なのですか。諸国の人たちの〔神〕なのでもありませんか。そうです、諸国の人たちの〔神〕でもあります。もし神がほんとうにただひとりならばです。〔神〕は、割礼を受けた人々を信仰の結果義と宣し、無割礼の人々をもその信仰によって〔義と宣する〕のです。」

(ローマ 3:29-30)

「聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。」 (申命記 6:4)

「私たちはみな、ただひとりの父を持っているではないか。ただひとりの神が、私たちを創造したではないか。なぜ私たちは、互いに裏切り合い、私たちの先祖の契約を汚すのか。」 (マラキ 2:10)

「イエスは彼に言われた、『なぜ、わたしを『善い』と言うのですか。尊い方は、神おひとりのほかには、だれもありません。』」 (マルコ 10:18)

「それとも、神はユダヤ人だけの神でしょうか。異邦人にとっても神ではないのでしょうか。確かに神は、異邦人にとっても、神です。神が唯一ならばそうです。この神は、割礼のある者を信仰によって義と認めてくださるとともに、割礼のない者をも、信仰によって義と認めてくださるのです。」 (ローマ 3:29-30)

"Hear, O Israel: The Lord our God, the Lord is one!"

(申命記 6:4)

Have we not all one Father? Has not one God created us? Why do we deal treacherously with one another By profaning the covenant of the fathers? (マラキ 2:10)

So Jesus said to him, "Why do you call Me good? No one is good but One, that is, God. (マルコ 10:18)

Or is He the God of the Jews only? Is He not also the God of the Gentiles? Yes, of the Gentiles also, since there is one God who will justify the circumcised by faith and the uncircumcised through faith.

(ローマ 3:29-30)

み子は創造されたか。それ以前は神お一人か？

「『また、ラオデキヤにある会衆の使いにこう書き送ります。アーメンなる者、忠実で真実な証人、神による創造の初めである者がこう言う。』」

(黙示録 3:14)

「彼は見えない神の像であって、全創造物の初子です。」 (コロサイ 1:15)

「また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。『アーメンである方、忠実で、真実な証人、神に造られたものの根源である方がこう言われる。』」

(黙示録 3:14)

「御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。」

(コロサイ 1:15)

"And to the angel of the church of the Laodiceans write, 'These things says the Amen, the Faithful and True Witness, the Beginning of the creation of God:"

(黙示録 3:14)

He is the image of the invisible God, the firstborn over all creation.

(コロサイ 1:15)

「『イスラエルの王、これを買ひ戻す方、万軍のエホバ、エホバはこうに言われた。『わたしは最初であり、わたしは最後であり、わたしのほかに神はいない。』』」（イザヤ 44:6）

「イスラエルの王である主、これを贖う方、万軍の主はこう仰せられる。『わたしは初めであり、わたしは終わりである。わたしのほかに神はない。』」（イザヤ 44:6）

“Thus says the Lord, the King of Israel, And his Redeemer, the Lord of hosts: 'I am the First and I am the Last; Besides Me there is no God.' ”（イザヤ 44:6）

神は常に宇宙の支配者か？

「キリスト・イエスにあったこの精神態度をあなた方のうちにも保ちなさい。彼は神の形で存在していましたが、強いて取ること、つまり、自分が神と同等であるようにということなどは考えませんでした。」（ピリピ 2:5-6）

「あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、」（ピリピ 2:5-6）

Let this mind be in you which was also in Christ Jesus, who, being in the form of God, did not consider it robbery to be equal with God,

(ピリピ 2:5-6)

「そして、地に住むすべての者は無き者のようにみなされており、この方は天軍の中でも地に住む者たち〔の中〕でもご意思のままに事を行なっておられる。その手をとどめる者、『あなたは何をしてくたのか？』と言ひ得る者はいない。」（ダニエル 4:35）

「地に住むもの みな、無きものとみなされる。彼は、天の軍勢も、地に住むものも、みこころのままにあしらう。御手を差し押えて、『あなたは何を一されるのか。』と言う者もない。」（ダニエル 4:35）

All the inhabitants of the earth are reputed as nothing; He does according to His will in the army of heaven And among the inhabitants of the earth. No one can restrain His hand Or say to Him, “What have You done?”（ダニエル 4:35）

神はすべての者の上に高められる方か？

「それは、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてのひざがイエスの名によってかがみ、すべての舌が、イエス・キリストは主であると公に認めて、父なる神に栄光を帰すためでした。」（ピリピ 2:10-11）

「それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、すべての口が『イエス・キリストは主である。』と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。」（ピリピ 2:10-11）

that at the name of Jesus every knee should bow, of those in heaven, and of those on earth, and of those under the earth, and that every tongue should confess that Jesus Christ is Lord, to the glory of God the Father.（ピリピ 2:10-11）

ロ．み子は地に来る前もその後もみ父より低いのか？

天でみ子は従順、み父によって遣わされたか？

「イエスは彼らに言われた、『もし神があなたの方の父であるならば、あなた方はわたしを愛するはずですが。わたしは神のもとから出てここにいるからです。そし

「イエスは言われた。『神がもしあなたがたの父であるなら、あなたがたはわたしを愛するはずですが。なぜなら、わたしは神から出て来てここにいるからです。わたしは自分

Jesus said to them, “If God were your Father, you would love Me, for I proceeded

<p>でわたしは決して自分の考えで来ているのではありません。その方がわたしを遣わされたのです。』」</p> <p>(ヨハネ 8:42)</p> <p>「わたしは自分の衝動で話したのではなく、わたしを遣わした父ご自身が、何を告げ何を話すべきかについて、わたしにおきてをお与えになったからです。」</p> <p>(ヨハネ 12:49)</p>	<p>で来たのではなく、神がわたしを遣わしたのです。』」</p> <p>(ヨハネ 8:42)</p> <p>「わたしは、自分から話したではありません。わたしを遣わした父ご自身が、わたしが何を言い、何を話すべきかをお命じになりました。」 (ヨハネ 12:49)</p>	<p>forth and came from God; nor have I come of Myself, but He sent Me.” (ヨハネ 8:42)</p> <p>“He has blinded their eyes and hardened their hearts, Lest they should see with their eyes, Lest they should understand with their hearts and turn, So that I should heal them.”</p> <p>(ヨハネ 12:49)</p>
---	---	---

地上で従順、み父の方が偉大か？

<p>「わたしは去って行き、そしてまたあなたの方のもとに[戻って]来る、とわたしが言ったのをあなた方は聞きました。もしわたしを愛するなら、わたしが父のもとに行こうとしていることを歡ぶはずです。父はわたしより偉大な方だからです。」</p> <p>(ヨハネ 14:28)</p>	<p>「『わたしは去って行き、また、あなたがたのところに来る。』とわたしが言ったのを、あなたがたは聞きました。あなたがたは、もしわたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くことを喜ぶはずです。父はわたしよりも偉大な方だからです。」 (ヨハネ 14:28)</p>	<p>“You have heard Me say to you, ’ I am going away and coming back to you.’ If you loved Me, you would rejoice because I said, ’ I am going to the Father,’ for My Father is greater than I.”</p> <p>(ヨハネ 14:28)</p>
<p>「それゆえ、それに答えてイエスは彼にさらにこう言われた。『きわめて真実にあなた方に言いますが、子は、自分からは何一つ行なうことができず、ただ父がしておられて、自分が目にする事柄を[行なえる]にすぎません。何であれ、その方のなさること、それを子もまた同じように行なうのです。』」</p> <p>(ヨハネ 5:19)</p>	<p>「そこで、イエスは彼らに答えて言われた。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行なうことができません。父がなさることは何でも、子も同様に行なうのです。』」</p> <p>(ヨハネ 5:19)</p>	<p>Then Jesus answered and said to them, “Most assuredly, I say to you, the Son can do nothing of Himself, but what He sees the Father do; for whatever He does, the Son also does in like manner.” (ヨハネ 5:19)</p> <p>though He was a Son, yet He learned obedience by the things which He suffered.</p> <p>(ヘブル 5:8)</p>
<p>「彼はみ子であったにもかかわらず、苦しんだ事柄から従順を学ばれました。」 (ヘブル 5:8)</p>	<p>「キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、」 (ヘブル 5:8)</p>	

天に高められた、それでも従うか？

<p>「まさにこのゆえにも、神は彼をさらに上の地位に高め、[他の]あらゆる名に勝る名を進んでお与えになったのです。」 (ピリピ 2:9)</p>	<p>「『それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。』」</p> <p>(ピリピ 2:9)</p>	<p>Therefore God also has highly exalted Him and given Him the name which is above every name, (ピリピ 2:9)</p>
<p>「しかし、すべてのものが彼に服させられたその時に</p>	<p>「しかし、万物が御子に従うとき、御子自身も、ご自分に</p>	<p>Now when all things are made</p>

<p>は、み子自身も、すべてのものを自分に服させた方に自ら服し、こうして、神がだれに対してもすべてのものとなるようにするのです。」</p> <p>(1コリント 15:28)</p> <p>「[イエス]は彼らに言われた、『確かにあなた方はわたしの杯を飲むでしょう。しかし、わたしの右または左に座することは、わたしの授けるのではなく、わたしの父によってそれが備えられている人たちのものです。』」 (マタイ 20:23)</p>	<p>万物を従わせた方に従われます。これは、神が、すべてにおいてすべてとなられるためです。」</p> <p>(1コリント 15:28)</p> <p>「イエスは言われた、『あなたがたはわたしの杯を飲みはします。しかし、わたしの右と左にすわることは、このわたしの許すことではなく、わたしの父によってそれに備えられた人々があるのです。』」 (マタイ 20:23)</p>	<p>subject to Him, then the Son Himself will also be subject to Him who put all things under Him, that God may be all in all.</p> <p>(1コリント 15:28)</p> <p>So He said to them, “You will indeed drink My cup, and be baptized with the baptism that I am baptized with; but to sit on My right hand and on My left is not Mine to give, but it is for those for whom it is prepared by My Father.”</p> <p>(マタイ 20:23)</p>
<p>エホバはキリストの頭であり、神であるか？</p> <p>「しかし、あなた方に次のことを知って欲しいと思います。すべての男の頭はキリストであり、女の頭は男であり、キリストの頭は神です。」</p> <p>(・コリント 11:3)</p> <p>「イエスは彼女に言われた、『わたしにすがり付くのはやめなさい。わたしはまだ父のもとへ上っていないからです。しかし、わたしの兄弟たちのところに行つて、『わたしは、わたしの父、またあなたの方の父のもとへ、わたしの神またあなたの方の神のもとへ上る』と言いなさい。』」 (ヨハネ 20:17)</p> <p>「そしてこの方はわたしたちを、ご自分の神また父に<u>対して王国とし、祭司としてくださったのである</u>」</p> <p>実にこの方にこそ、栄光と威力が永久にありますように。アーメン。」 (黙示録 1:6)</p>	<p>「しかし、あなたがたに次のことを知っていただきたいのです。すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。」</p> <p>(・コリント 11:3)</p> <p>「イエスは彼女に言われた、『わたしにすがりついてはいけません。わたしはまだ父のもとに上っていないからです。わたしの兄弟たちのところに行つて、彼らに『わたしは、わたしの父、またあなたがたの父、わたしの神またあなたがたの神のもとに上る。』と告げなさい。』」</p> <p>(ヨハネ 20:17)</p> <p>「また、私たちが王国とし、ご自分の父である神のために祭司としてくださった方である。キリストに栄光と力が、とこしえにあるように。アーメン。」</p> <p>(黙示録 1:6)</p>	<p>But I want you to know that the head of every man is Christ, the head of woman is man, and the head of Christ is God. (・コリント 11:3)</p> <p>Jesus said to her, “Do not cling to Me, for I have not yet ascended to My Father; but go to My brethren and say to them, ‘I am ascending to My Father and your Father, and to My God and your God,’ ” (ヨハネ 20:17)</p> <p>and has made us kings and priests to His God and Father, to Him be glory and dominion forever and ever. Amen. (黙示録 1:6)</p>

ハ. 神とキリストが一つであることの意味は？

常に完全な一致か？

「それゆえイエスは言われた、『ひとたび人の子を挙	「イエスは言われた、『あなたがたが人の子を上げてしま	Then Jesus said to them,
--------------------------	----------------------------	--------------------------

げてしまうと、そのときあなた方は、わたしが[その者]であり、わたしが何事も自分の考えで行なっているのではないことを知るでしょう。わたしはこれらのことを、ちょうど父が教えてくださったとおりに話しているのです。そして、わたしを遣わした方は共にいてくださいます。わたしを独りだけにして見捨てたりはされませんでした。わたしは常に、その方の喜ばれることを行なうからです。』」
(ヨハネ 8:28-29)

「わたしが父と結びついており、父がわたしと結びついておられることを、あなたは信じていないのですか。わたしがあなた方に言う事柄は、独自の考えで話しているではありません。わたしとずっと結びついておられる父が、ご自分の業を行なっておられるのです。」 (ヨハネ 14:10)

夫と妻のように一つであるか？

「『わたしと父とは一つです。』」
(ヨハネ 10:30)

「[イエス]は答えて言われた、『あなた方は読まなかったのですか。人を創造された方は、これを初めから男性と女性に造り、『このゆえに、人は父と母を離れて自分の妻に堅く付き、二人は一体となる』と言われたのです。したがって、彼らはもはや二つではなく、一体です。それゆえ、神がくびきで結ばれたものを、人が離してはなりません。』」
(マタイ 19:4-6)

うと、その時、あなたがたは、わたしが何であるか、また、わたしがわたし自身からは何事もせず、ただ父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していることを、知ようになります。わたしを遣わした方はわたしとともにおられます。わたしをひとり残されることはありません。わたしがいつも、そのみこころにかなうことを行なうからです。』」 (ヨハネ 8:28-29)

「わたしが父にあり、父がわたしにおられることを、あなたは信じていないのですか。わたしがあなたがたに言うことは、わたしが自分から話しているものではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざをしておられるのです。」 (ヨハネ 14:10)

「『わたしと父とは一つです。』」
(ヨハネ 10:30)

「イエスは答えて言われた、『創造者は、初めから人を男と女に造って、『それゆえ、人はその父と母を離れて、その妻と結ばれ、ふたりの者が一心同体になるのだ。』』と言われたのです。それを、あなたがたは読んだことがないのですか。それで、もはやふたりではなく、ひとりなのです。こういうわけで、人は、神が結び合わせたものを引き離してはなりません。』」 (マタイ 19:4-6)

すべて信じる者は同じように一つであるべきか？

“When you lift up the Son of Man, then you will know that I am He, and that I do nothing of Myself; but as My Father taught Me, I speak these things. And He who sent Me is with Me. The Father has not left Me alone, for I always do those things that please Him.”
(ヨハネ 8:28-29)

“Do you not believe that I am in the Father, and the Father in Me? The words that I speak to you I do not speak on My own authority; but the Father who dwells in Me does the works.”

(ヨハネ 14:10)

“I and My Father are one.”
(ヨハネ 10:30)

And He answered and said to them, “Have you not read that He who made them at the beginning ’made them male and female,’ ”and said, ’For this reason a man shall leave his father and mother and be joined to his wife, and the two shall be come one flesh’? “So then, they are no longer two but one flesh. Therefore what God has joined together, let not man separate.”

(マタイ 19:4-6)

「『わたしは、これらの者だけでなく、彼らの言葉によってわたしに信仰を持つ者たちについてもお願いいたします。それは、彼らがみな一つになり、父よ、あなたがわたしと結びついておられ、わたしがあなたと結びついているように、彼らもまたわたしと結びついていて、あなたが私をお遣わしになったことを世が信じるためです。またわたしは、わたしに与えてくださった栄光を彼らに与えました。わたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためです。』」

(ヨハネ 17:20-22)

「わたしは、ただこの人々のためだけでなく、彼らのことばによってわたしを信じる人々のためにもお願いします。それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。またわたしは、あなたがわたしに下さった栄光を彼らに与えました。それは、わたしたちが一つであるように、彼らも一つであるためです。」

(ヨハネ 17:20-22)

"I do not pray for these alone, but also for those who will believe in Me through their word; that they all may be one, as You, Father, are in Me, and I in You; that they also may be one in Us, that the world may believe that You sent Me. And the glory which You gave Me I have given them, that they may be one just as We are one: "

(ヨハネ 17:20-22)

「さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなた方に勧めます。あなた方すべての語るところは一致しているべきです。あなた方の間に分裂があつてはなりません。かえって、同じ思い、また考え方でしっかりと結ばれていないさい。」

(1コリント 1:10)

「さて、兄弟たち。私は、私たちの主イエス・キリストの御名によって、あなたがたにお願いします。どうか、みな一致して、仲間割れすることなく、同じ心、同じ判断を完全に保ってください。」 (1コリント 1:10)

Now I plead with you, brethren, by the name of our Lord Jesus Christ, that you all speak the same thing, and that there be no divisions among you, but that you be perfectly joined together in the same mind and in the same judgment.

(1コリント 1:10)

キリストを通してエホバにささげられるただ一つの崇拝は永遠か？

「『とはいえ、真の崇拝者が霊と真理をもって父を崇拝する時が来ようとしています。それは今なのです。実際、父は、ご自分をそのように崇拝する者たちを求めておられるのです。神は霊であられるので、[神]を崇拝する者も霊と真理をもって崇拝しなければなりません。』」 (ヨハネ 4:23-24)

「『しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。』」 (ヨハネ 4:23-24)

"But the hour is coming, and now is, when the true worshipers will worship the Father in spirit and truth; for the Father is seeking such to worship Him. God is Spirit, and those who worship Him must worship in spirit and truth."

(ヨハネ 4:23-24)

二. 神の聖霊は神の活動力か？

力であつて人格的なものではないか？

「バプテスマを受けたのち、イエスはすぐに水から上

「こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から

When He had been baptized,

がられた。すると、見よ、天が開け、[イエス]は、
神の霊がはとのように下って自分の上に来るのをご覧
になった。」（マタイ 3:16）

上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下
って、自分の上に来られるのをご覧になった。」
（マタイ 3:16）

Jesus came up immediately
from the water; and behold,
the heavens were opened to
Him, and He saw the Spirit
of God descending like a
dove and alighting upon Him.

（マタイ 3:16）

「そしてこう言われたあとで、彼らに[息を]吹きか
けて言われた、『聖霊を受けなさい。』」
（ヨハネ 20:22）

「そして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて言われ
た。『聖霊を受けなさい。』」（ヨハネ 20:22）

And when He had said this,
He breathed on them, and
said to them, “Receive the
Holy Spirit.”（ヨハネ 20:22）

「彼らはみな聖霊に満たされ、霊が語らせるままに異
なった国語で話し始めたのである。」
（使徒 2:4）

「すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださ
るとおりに、他国のことばで話しました。」
（使徒 2:4）

And they were all filled
with the Holy Spirit and
began to speak with other
tongues, as the Spirit gave
them utterance.（使徒 2:4）

「『神は言われる、『そして終わりの日に、わたしは
自分の霊の幾らかをあらゆるたぐいの肉なる者の上に
注ぎ出し、あなた方の息子や娘たちは預言し、あなた
方の若者たちは幻を見、老人たちは夢を見るであろう
。』」（使徒 2:17）

「『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての
人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年
は幻を見、老人は夢を見る。』」（使徒 2:17）

’And it shall come to pass
in the last days, says God,
That I will pour out of My
Spirit on all flesh;Your
sons and your daughters
shall prophesy,Your young
men shall see visions, Your
old men shall dream dreams.
’（使徒 2:17）

「それで、この方は神の右に高められ、約束の聖霊を
父から受けたので、この、あなた方の見聞きするもの
を注ぎ出されたのです。」（使徒 2:33）

「ですから、神の右に上げられたイエスが、御父から約束
された聖霊を受けて、今あなた方が見聞きしているこの聖
霊をお注ぎになったのです。」（使徒 2:33）

“Therefore being exalted to
the right hand of God, and
having received from the
Father the promise of the
Holy Spirit, He poured out
this which you now see and
hear.”（使徒 2:33）

天で神やキリストと共にいる神格ではないか？

「しかし彼は聖霊に満ち、天を見つめて、神の栄光お
よびイエスが神の右に立っておられるのを目にし、こ
う言った。『ご覧なさい、天が開けて、人の子が神の
右に立っているのが見えます。』」
（使徒 7:55-56）

「しかし、聖霊に満たされていたステパノは、天を見つめ
、神の栄光と、神の右にたっておられるイエスとを見て、
こう言った。『見なさい。天が開けて、人の子が神の右に
立っておられるのが見えます。』」
（使徒 7:55-56）

But he, being full of the
Holy Spirit, gazed into
heaven and saw the glory of
God, and Jesus standing at
the right hand of God, and

「そして大声でこう叫びつづける。『救いは、み座に座っておられるわたしたちの神と、子羊とに[よりま]す。』」 (黙示録 7:10)

「彼らは、大声で叫んで言った。『救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある。』」 (黙示録 7:10)

said, "Look! I see the heavens opened and the Son of Man standing at the right hand of God!"

(使徒 7:55-56)

and crying out with a loud voice, saying, "Salvation belongs to our God who sits on the throne, and to the Lamb!" (黙示録 7:10)

神の意のままに用いられて神のお目的を果たすか？

「あなたがご自分の霊を送り出されるなら、彼らは創造されます。あなたは地の面を新たにされるのです。」 (詩篇 104:30)

「あなたが御霊を送られると、彼らは造られます。また、あなたは地の面を新しくされます。」 (詩篇 104:30)

You send forth Your Spirit, they are created; And You renew the face of the earth . (詩篇 104:30)

「さて、賜物はさまざまですが、霊は同じです。奉仕の務めはさまざまでも、主は同じです。働きはさまざまでも、すべての人の中であらゆる働きをされる神は同じです。しかし、霊の顕現は、有益な事柄を目的として各々に与えられます。たとえば、ある人には霊によって知恵のことば、ある人には同じ霊にしたがって知識のことば、ある人には同じ霊によって信仰、ある人にはその一つの霊によっていよしの賜物、さらにある人には強力な業の働き、ある人には預言すること、ある人には靈感のことばを識別する力、ある人には種々の異言、そしてある人には異言を解釈する力が与えられています。しかし、これらのすべての働きを同一の霊が行なうのであり、その欲するとおりに各々に分配するのです。」 (1コリント 12:4-11)

「さて、御霊の賜物にはいろいろの種類がありますが、御霊は同じ御霊です。奉仕にはいろいろの種類がありますが、主は同じ主です。働きにはいろいろの種類がありますが、神はすべての人の中ですべての働きをなさる同じ神です。しかし、みな益となるために、おのおのに御霊の現われが与えられているのです。ある人には御霊によって知恵のことばが与えられ、ほかの人には同じ御霊によって、いよしの賜物が与えられ、ある人には奇蹟を行なう力、ある人には預言、ある人には霊を見分ける力、ある人には異言、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。」 (1コリント 12:4-11)

There are diversities of gifts, but the same Spirit. There are differences of ministries, but the same Lord. And there are diversities of activities, but it is the same God who works all in all. But the manifestation of the Spirit is given to each one for the profit of all: for to one is given the word of wisdom through the Spirit, to another the word of knowledge through the same Spirit, to another faith by the she same Spirit, to another gifts of healings by the same Spirit, to another the working of miracles, to another prophecy, to another discerning of spirits, to another different kinds of

		<p>tongues, to another the interpretation of tongues. But one and the same Spirit works all these things, distributing to each one individually as He wills.</p> <p>(1コリント 12:4-11)</p>
<p>神に奉仕する者は聖霊を受け、それに導かれるか？</p> <p>「そこで、わたしたちが受けたのは、世の霊ではなく、神からの霊です。それは、そのご親切によって神から与えられている物事をわたしたちがよく知るようになるためです。わたしたちはそれらの事も、人間の知恵に教えられた言葉ではなく、霊に教えられた〔言葉〕で話します。わたしたちは霊的な〔こと〕に霊的な〔言葉〕を結び合わせるのです。」</p> <p>(1コリント 2:12-13)</p>	<p>「ところで、私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜ったものを、私たちが知るためです。この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。」</p> <p>(1コリント 2:12-13)</p>	<p>Now we have received, not the spirit of the world, but the Spirit who is from God, that we might know the things that have been freely given to us by God. These things we also speak, not in words which man's wisdom teaches but which the Holy Spirit teaches, comparing spiritual things with spiritual. (1コリント 2:12-13)</p> <p>I say then: Walk in the Spirit, and you shall not fulfill the lust of the flesh. (ガラテヤ 5:16)</p>
<p>「むしろわたしは言います。霊によって歩んでゆきなさい。そうすれば、肉の欲望を遂げることは決してありません。」 (ガラテヤ 5:16)</p>	<p>「私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。」</p> <p>(ガラテヤ 5:16)</p>	

イ. 死の原因は？

人間は初めは完全であり、限らない命の見込みがあったか？

「さらに、神は彼らを祝福し、神は彼らに言われた、『子を生んで多くなり、地に満ちて、それを従わせよ。そして、海の魚と天の飛ぶ生き物と地の上を動くあらゆる生き物を服従させよ。』」

(創世記 1:28)

「そのち神は自分の造ったすべてのものをご覧になったが、見よ、[それは]非常に良かった。そして夕となり、朝となった。六日目である。」

(マルコ 10:18)

「神はまた、彼らを祝福し、このように神は彼らに仰せられた。『生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。』」

(創世記 1:28)

「そのようにして神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ、それは非常に良かった。こうして夕があり、朝があった。第六日。」 (マルコ 10:18)

Then God blessed them, and God said to them, "Be fruitful and multiply; fill the earth and subdue it; have dominion over the fish of the sea, over the birds of the air, and over every living thing that moves on the earth." (創世記 1:28)

Then God saw everything that He had made, and indeed it was very good. So the evening and the morning were the sixth day.

(マルコ 10:18)

不従順は死の宣告をもたらしたか？

「また、エホバ神は人に命令を与えてこう言われた。『園のすべての木から、あなたは満ち足りるまで食べてよい。しかし、善悪の知識の木については、あなたはそれから食べてはならない。それから食べる日にあなたは必ず死ぬからである。』」

(創世記 2:16-17)

「また、アダムに対してこう言われた。『あなたが妻の聲に従い、わたしが命じて、『それから食べてはならない』と言っておいたその木から食べるようになったため、地面はあなたのゆえにのろわれた。あなたは、命の日のかぎり、その産物を苦痛のうちに食べるであらう。』」 (創世記 3:17)

「神である主は、人に命じて仰せられた。『あなたは、国のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。』」

(創世記 2:16-17)

「また、アダムに仰せられた。『あなたが、妻の聲に従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえにのろわれてしまった。あなたは、一生、苦しんで食を得なければならない。』」

(創世記 3:17)

And the Lord God commanded the man, saying, "Of every tree of the garden you may freely eat; but of the tree of the knowledge of good and evil you shall not eat, for in the day that you eat of it you shall surely die." (創世記 2:16-17)

Then to Adam He said, "Because you have heeded the voice of your wife, and have eaten from the tree of which I commanded you, saying, 'You shall not eat of it': Cursed is the ground for your sake; In toil you shall eat of it All the days

「『あなたは顔に汗してパンを食べ、ついには地面に帰る。あなたはそこから取られたからである。あなたは塵だから塵に帰る。』」（創世記 3:19）

「『あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついには、あなたは土に帰る。あなたはそこから取られたのだから。あなたはちりだから、ちりに帰らなければならない。』」

（創世記 3:19）

of your life.”（創世記 3:17）
“In the sweat of your face
you shall eat breadTill you
return to the ground, For
out of it you were taken;
For dust you are,And to dust
you shall return.”

（創世記 3:19）

罪と死はアダムの子孫すべてに伝わったか？

「それゆえ、一人の人を通して罪が世に入り、罪を通して死が[入り]、こうして死が、すべて[の人]が罪をおかしたがゆえにすべての人に広がったのと同じように。」（ローマ 5:12）

「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、それというのも全人類が罪を犯したからです。」（ローマ 5:12）

Therefore, just as through
one man sin entered the
world, and death through
sin, and thus death spread
to all men, because all
sinned-（ローマ 5:12）

ロ．死者の状態は？

アダムは魂として造られたか？ 魂を与えられたのではないか？

「それからエホバ神は地面の塵で人を形造り、その鼻孔に命の息を吹き入れられた。すると人は生きた魂になった。」（創世記 2:7）

「その後、神である主は、土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。」（創世記 2:7）

And the Lord God formed man
of the dust of the ground,
and breathed into his
nostrils the breath of life
; and man became a living
being.（創世記 2:7）

「まさにそう書かれています。『最初の人アダムは生きた魂になった。』最後のアダムは命を与える霊になったのです。」（1コリント 15:45）

「聖書に『最初の人アダムは生きた者となった。』と書いてありますが、最後のアダムは、生かす御霊となりました。」（1コリント 15:45）

And so it is written, “The
first man Adam became a
living being.” The last Adam
became a life-giving spirit
.（1コリント 15:45）

死ぬのは人すなわち魂そのものであるか？

「見よ、すべての魂 それはわたしのものである。父の魂がそうであるように、子の魂も同様に

それらはわたしのものである。罪を犯している魂

それが死ぬのである。」（エゼキエル 18:4）

「見よ。すべてのいのちはわたしのもの。父のいのちも、子のいのちもわたしのもの。罪を犯した者は、その者が死ぬ。」（エゼキエル 18:4）

“Behold, all souls are Mine;
The soul of the father As
well as the soul of the son
is Mine;The soul who sins
shall die.（エゼキエル 18:4）

「それゆえに、わたしは多くの者の中で彼に受け分を与え、彼は力ある者たちと共に分捕り者を分け与えるであろう。それは彼が自分の魂を死に至るまでも注ぎ出したためであり、彼は違反者と共に数えられた。彼

「それゆえ、わたしは、多くの人々を彼に分け与え、彼は強者たちを分捕り者としてわかちとる。彼が自分のいのちを死に明け渡し、そむいた人たちとともに数えられたからである。彼は多くの人の罪を負い、そむいた人たちのため

Therefore I will divide Him
a portion with the great,
And He shall divide the
spoil with the strong,

は多くの人々の罪を自ら担い、違反をおかす者たちのために仲裁に入ったのである。」
(イザヤ 53:12)

「そして、邪悪な者たちの目が衰え、逃げ場は必ず彼らから消えうせその望みは魂の息絶えるに等しくなろう。」 (ヨブ 11:20)

にとりなしをする。」 (イザヤ 53:12)

「しかし悪者どもの目は衰え果て、彼らは逃げ場を失う。彼らの望みは、あえぐ息に等しい。」
(ヨブ 11:20)

Because He poured out His soul unto death, And He was numbered with the transgressors, And He bore the sin of many, And made intercession for the transgressors. (イザヤ 53:12)
“But the eyes of the wicked will fail, And they shall not escape, And their hopeless of life!”

(ヨブ 11:20)

死者は無意識で何も知らないか？

「生きている者は自分が死ぬことを知っている。しかし、死んだ者には何の意識もなく、彼らはもはや報いを受けることもない。なぜなら、彼らの記憶は忘れ去られたからである。」 (伝道者の書 9:5)

「あなたの手のなし得るすべてのことを力の限りを尽くして行なえ。シェオル、すなわちあなたの行こうとしている場所には、業も企ても知識も知恵もないからである。」 (伝道者の書 9:10)

「高貴な者にも、地の人の子にも信頼を置いてはならない。彼らに救いはない。その霊は出て行き、彼は自分の地面に帰る。その日に彼の考えは滅びうせる。」
(詩篇 146:3-4)

「生きている者は自分が死ぬことを知っているが、死んだ者は何も知らない。彼らにはもはや何の報いもなく、彼らの呼び名も忘れられる。」 (伝道者の書 9:5)

「あなたの手もとにあるなすべきことはみな、自分の力でしなさい。あなたが行こうとしているよみには、働きも企ても知識も知恵もないからだ。」
(伝道者の書 9:10)

「君主たちにたよってはならない。救いのない人間の子に。その息が絶えると、その者はおのれの土に帰り、その日のうちに彼のもろもろの計画は滅びうせる。」
(詩篇 146:3-4)

For the living know that they will die; But the dead know nothing, And they have no more reward, For the memory of them is forgotten.

(伝道者の書 9:5)

Whatever your hand finds to do, do it with your might; for there is no work or device or knowledge or wisdom in the grave where you are going.

(伝道者の書 9:10)

Do not put your trust in princes, Nor, in a son of man, in whom there is no help. His spirit departs, he returns to his earth; In that very day his plans perish.

(詩篇 146:3-4)

死者は復活の時を待って眠っているか？

「[イエス]はこれらのことを言われたが、そのち彼らにこう言われた。『わたしたちの友ラザロは休んでいます、わたしは彼を眠りから覚ましにそこへ行きます。』それゆえ弟子たちは言った、『主よ、もし

「イエスは、このように語られ、それから、弟子たちに言われた。『わたしたちの友ラザロは眠っています。しかし、わたしは彼を眠りからさましに行くのです。』そこで弟子たちはイエスに言った。『主よ、眠っているのなら、彼

These things He said, and after that He said to them, “Our friend Lazarus sleeps, but I go that I may wake

休んでいるでしたら、彼はよくなるでしょう。』しかし、イエスは彼の死について話されたのであった。それでも彼らは、眠って休息することについて話しておられるものと思った。それで、その時イエスは彼らにはっきり言われた、『ラザロは死んだのです。』」
(ヨハネ 11:11-14)

「イエスは彼女に言われた、『あなたの兄弟はよみがえります。』マルタは言った、『彼が終わりの日の復活の際によみがえることは知っております。』イエスは彼女に言われた、『わたしは復活であり、命です。わたしに信仰を働かせる者は、たとえ死んでも、生き返るのです。そして、生きていてわたしに信仰を働かせる者はみな決して死ぬことはありません。あなたはこれを信じますか。』」
(ヨハネ 11:23-26)

「それから彼はひざをかがめ、強い声で、『エホバよ、この罪を彼らに負わせなさい』と叫んだ。そして、そう言うってから、[死の]眠りについた。」
(使徒 7:60)

は助かるでしょう。』しかし、イエスは、ラザロの死のことを言われたのである。だが、彼らは眠った状態のことを言われたものと思った。そこで、イエスはそのとき、はっきりと彼らに言われた。『ラザロは死んだのです。』」
(ヨハネ 11:11-14)

「イエスは彼女に言われた、『あなたの兄弟はよみがえります。』マルタはイエスに言った、『私は、終わりの日のよみがえりの時に、彼がよみがえることを知っております。』イエスは言われた、『わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるので。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。』」
(ヨハネ 11:23-26)

「そして、ひざまずいて、大声でこう叫んだ。『主よ。この罪を彼らに負わせなさい。』こう言って、眠りについた。」 (使徒 7:60)

him up.” Then His disciples said, “Lord, if he sleeps he will get well.” However, Jesus spoke of his death, but they thought that He was speaking about taking rest in sleep. Then Jesus said to them plainly, “Lazarus is dead.” (ヨハネ 11:11-14) Jesus said to her, “Your brother will rise again.” Martha said to Him, “I know that he will rise again in the resurrection at the last day.” Jesus said to her, “I am the resurrection and the life. He who believes in Me, though he may die, he shall live. And whoever lives and believes in Me shall never die. Do you believe this?”

(ヨハネ 11:23-26)

Then he knelt down and cried out with a loud voice, “Lord, do not charge them with this sin.” And when he had said this, he fell asleep. (使徒 7:60)

ハ. 死者と話すことはできないか？

死人は霊者となって神と共に生きているのではないか？

「死者はヤハを賛美しない。また、沈黙へ下って行く者もだれひとりそうしない。」
(詩篇 115:17)

「あなたをたたえることができるのはシェオルではないからです。死があなたを賛美することはできません。坑に下って行く者はあなたの真実さを望み見ることはできません。」 (イザヤ 38:18)

「死人は主をほめたたえることがない。沈黙へ下る者もそうだ。」 (詩篇 115:17)

「よみはあなたをほめたたえず、死はあなたを賛美せず、穴に下る者たちは、あなたのまことを待ち望みません。」
(イザヤ 38:18)

The dead do not praise the Lord, Nor any who go down into silence. (詩篇 115:17) For Sheol cannot thank You, Death cannot praise You; Those who go do wn to the pit cannot hope for Your

死者と話そうとしてはいけないと警告されたか？

「そして、もし人々があなた方に、『霊媒に、または、さえずったり低い声でものを言ったりする予言の霊を持つ者たちに問い合わせよ。』と言うのであれば、どの民もその神に問い合わせるべきではないか。生きている者たちのために死者に[問い合わせる]ことがあってよいだろうか。』」（イザヤ 8:19）

「『あなたは霊媒に身を寄せてはいけない。出来事の職業的予告者に相談してはいけない。それらによって汚れることのないためである。わたしはあなた方のエホバである。』」（レビ 19:31）

「人々があなたがたに、『霊媒や、さえずり、ささやく口寄せに尋ねよ。』と言うとき、民は自分の神に尋ねなければならない。生きている者のために、死人に伺いを建てなければならないのか。』（イザヤ 8:19）

「あなたがたは霊媒や口寄せに心を移してはならない。彼らを求めて、彼らに汚されてはならない。わたしはあなたがたの神、主である。』（レビ 19:31）

truth. (イザヤ 38:18)

And when they say to you,
“Seek those who are mediums
and wizards, who whisper
and mutter,” should not a
people seek their God?
Should they seek the dead on
behalf of the living?

(イザヤ 8:19)

’Give no regard to mediums
and familiar spirits; do
not seek after them, to be
defiled by them: I am the
Lord your God.’ (レビ 19:31)

霊媒、占い師は罪に定められたか？

「あなたの中に、自分の息子や娘に日の中を通らせる者、占いに頼る者、魔術を行なう者、[吉凶の]兆しを求める者、呪術を行なう者、また、まじないで他の人を縛る者、霊媒に相談する者、出来事の職業的予告者、死者問い尋ねる者などがいてはいけない。すべてこうした事を行なう者はエホバにとって忌むべきものであり、これら忌むべき事柄のゆえにあなたの神エホバは彼らをあなたの前から打ち払われるのである。』」（申命記 18:10-12）

「あなたのうちに自分の息子、娘に火の中を通らせる者があつてはならない。いをする者、卜者、まじない師、呪術者、呪文を唱える者、霊媒をする者、口寄せ、死人に伺いを立てる者があつてはならない。これらのことを行なう者はみな、主が忌みきらわれるからである。これらの忌みきらうべきことのために、あなたの神、主は、あなたの前から、彼らを追い払われる。』」（申命記 18:10-12）

“There shall not be found
among you anyone who makes
his son or his daughter
pass through the fire, or
one who practices witchcraft
, or a soothsayer, or one
who interprets omens, or a
sorcerer, or one who
conjures spells, or a
medium, or a spiritist, or
one who calls up the dead.
For all who do these things
are an abomination to the
Lord, and because of these
abominations the Lord your
God drives them out from
before you.”

(申命記 18:10-12)

「さて、肉の業は明らかです。それは、淫行、汚れ、みだらな行ない、偶像礼拝、心霊術の行ない、敵意、闘争、ねたみ、激発的な怒り、口論、分裂、分派、そねみ、酔酒、浮かれ騒ぎ、およびこれに類する事柄で

「肉の行ないは明白であつて、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂分派、ねたみ、酩酊、遊興、そういう類のものです。前にもあらかじめ言ったように、私は

Now the works of the flesh
are evident, which are:
adultery, fornication,
uncleanness, lewdness, ido

す。こうした事柄についてわたしはあなた方にあらかじめ警告しましたが、なおまた警告しておきます。そのような事柄を習わしにする者が神の王国を受け継ぐことはありません。」

(ガラテヤ 5:19-21)

今もあなたがたにあらためて言っておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。」 (ガラテヤ 5:19-21)

idolatry, sorcery, hatred, contentions, jealousies, outbursts of wrath, selfish ambitions, dissensions, heresies, envy, murders, drunkenness, revelries, and the like; of which I tell you be forehand, just as I also told you in time past, that those who practice such things will not inherit the kingdom of God.

(ガラテヤ 5:19-21)

21. 地獄（ハデス、シェオル）

新世界訳

新改訳

英語

イ. 火の苦しみを受ける文字通りの場所ではないと言えるか？

苦しんでいたヨブはそこへ行けるよう祈ったか？

「ああ、あなたが私をシェオルに隠し、あなたの怒りが元に戻るまで、私を秘めておき、私のために時の限りを立て、私を覚えてくださればよいのに。」
(ヨブ 14:13)

「ああ、あなたが私をよみに隠し、あなたの怒りが過ぎ去るまで、私を潜ませ、私のために時を定め、私を覚えてくださればよいのに。」 (ヨブ 14:13)

“Oh, that You would hide me in the grave, That You would conceal me until Your wrath is past, That You would appoint me a set time, and remember me! (ヨブ 14:13)

無活動の場所か？

「死にあっては、あなたのことを語り告げる[人]はいないからです。シェオルにあっては、だれがあなたをたたえるでしょうか。」 (詩篇 6:5)

「死にあっては、あなたを覚えることはありません。よみにあっては、だれが、あなたをほめたたえるでしょう。」
(詩篇 6:5)

For in death there is no remembrance of You; In the grave who will give You thanks? (詩篇 6:5)

「あなたの手のなし得るすべてのことを力の限りを尽くして行なえ。シェオル、すなわちあなたの行こうとしている場所には、業も企ても知識も知恵もないからである。」 (伝道者の書 9:10)

「あなたの手もとにあるなすべきことはみな、自分の力でしなさい。あなたが行こうとしているよみには、働きも企ても知識も知恵もないからだ。」
(伝道者の書 9:10)

Whatever your hand finds to do, do it with your might; for there is no work or device or knowledge or wisdom in the grave where you are going.

(伝道者の書 9:10)

「あなたをたたえることができるのはシェオルではないからです。死があなたを賛美することはできません。坑に下って行く者はあなたの真実さを望み見ることはできません。生きている者、生きている者こそあなたをたたえることができます。私がこの日に[そうすることが]できるように。父があなたの真実さに関する知識をその子らに与えることができます。」
(イザヤ 38:18-19)

「よみはあなたをほめたたえず、死はあなたを賛美せず、穴に下る者たちは、あなたのまことを待ち望みません。生きている者、ただ生きている者だけが今日の私のように、あなたをほめたたえるのです。父は子らにあなたのまことについて知らせます。」 (イザヤ 38:18-19)

For Sheol cannot thank You, Death cannot praise You; Those who go down to the pit cannot hope for Your truth. The living, the living man, he shall praise You, As I do this day; The father shall make known Your truth to the children.

(イザヤ 38:18-19)

イエスは墓である地獄（陰府、文）からよみがえらされたか？

「あなたはわたしの魂をハデスに捨て置かれず、あなたの忠節な者が腐れを見ることもお許しにならないからである。」 (使徒 2:27)

「あなたは私のたましいをハデスに捨てて置かず、あなたの聖者が朽ち果てるのをお許しにならないからである。」
(使徒 2:27)

For You will not leave my soul in Hades, Nor will You allow Your Holy One to see corruption. (使徒 2:27)

「キリストの復活を見し、それについて、彼がハデ

「それで後のことを予見して、キリストの復活について、

“he, foreseeing this, spoke

<p>スに見捨てられず、その肉体が腐れを見ることもないと語ったのです。このイエスを神は復活させたのであり、わたしたちは皆そのことの証人です。」</p> <p>(使徒 2:31-32)</p>	<p>『彼は、ハデスに捨てて置かれず、その肉体は朽ち果てない。』と語ったのです。神はこのイエスをよみがえらせた。私たちはみな、そのことの証人です。」</p> <p>(使徒 2:31-32)</p>	<p>concerning the resurrection of the Christ, that His soul was not left in Hades, nor did His flesh see corruption. "This Jesus God has raised up, of which we are all witnesses.</p> <p>(使徒 2:31-32)</p>
<p>「なぜなら、あなたはわたしの魂をシェオルに捨て置かれたいからです。あなたはご自分の忠節な者が坑を見ることを許されません。」 (詩篇 16:10)</p>	<p>「まことに、あなたは私のたましいをよみに捨ておかず、あなたの聖徒に墓の穴をお見せにはなりません。」</p> <p>(詩篇 16:10)</p>	<p>For You will not leave my soul in Sheol, Nor will You allow Your Holy One to see corruption. (詩篇 16:10)</p>

地獄は他の死人を出し、滅ぼされるか？

<p>「そして、海はその中の死者を出し、彼らはそれぞれ自分の行ないにしたがって裁かれた。そして、死とハデスは火の湖に投げ込まれた。火の湖、これは第二の死を表わしている。」</p> <p>(黙示録 20:13-14)</p>	<p>「海はその中にいる使者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのの自分の行ないに応じてさばかれた。それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。」</p> <p>(黙示録 20:13-14)</p>	<p>The sea gave up the dead who were in it, and Death and Hades delivered up the dead who were in them. And they were judged, each one according to his works. Then Death and Hades were cast into the lake of fire. This is the second death.</p> <p>(黙示録 20:13-14)</p>
---	---	--

ロ．火は完全な滅びの象徴か？

死の切断を受けることは火によって象徴されているか？

<p>「『ついで彼は自分の左にいる者たちにこう言います。『のろわれた者たちよ、わたしから離れ、悪魔とその使いたちのために備えられた永遠の火に入りなさい。』』 (マタイ 25:41)</p>	<p>「それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。『のろわれた者ども、わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火にはいれ。』』」</p> <p>(マタイ 25:41)</p>	<p>"Then He will also say to those on the left hand, 'Depart from Me, you cursed, into the everlasting fire prepared for the devil and his angels:'" (マタイ 25:41)</p>
<p>「そして、これらの者は去って永遠の切断に入り、義なる者たちは永遠の命に入ります。」</p> <p>(マタイ 25:46)</p>	<p>「こうして、この人たちは永遠の刑罰にはいり、正しい人は永遠のいのちにはいるのです。」</p> <p>(マタイ 25:46)</p>	<p>"And these will go away into everlasting punishment, but the righteous into eternal life." (マタイ 25:46)</p>
<p>「『収穫まで両方とも一緒に成長させておきなさい。収穫の季節になったら、わたしは刈り取る者たちに、まず雑草を集め、焼いてしまうためにそれを縛って束</p>	<p>「『だから、収穫まで、両方とも言つままにしておきなさい。収穫の時期になったら、私は刈る人たちに、まず、毒麦を集め、焼くために束にしなさい。麦のほうは、集めて</p>	<p>" 'Let both grow together until the harvest, and at the time of harvest I will</p>

にし、それから、小麦をわたしの倉に集めることに掛かりなさい、と言おう。』」 (マタイ 13:30)	私の倉に納めなさい、と言いましょ。』」 (マタイ 13:30)	say to the reapers, "First gather together the tares and bind them in bundles to burn them, but gather the wheat into my barn." ' '
--	--	---

(マタイ 13:30)

悔い改めない悪人は火によるようにして永遠に滅ぼされるか？

「というのは、真理の正確な知識を受けた後、故意に罪を習わしにするなら、罪のための犠牲はもはや何も残されておらず、むしろ、裁きに対するある種の恐ろしい予期と、逆らう者たちを焼き尽くそうとする火のようになねたみとがあるからです。」 (ヘブル 10:26-27)	「もし私たちが、真理の知識を受けて後、ことさらに罪を犯し続けるならば、罪のためのいけにえは、もはや残されていません。ただ、さばきと、逆らう人たちを焼き尽くす激しい火とを、恐れながら待つよりほかはないのです。」 (ヘブル 10:26-27)	For if we sin willfully after we have received the knowledge of the truth, there no longer remains a sacrifice for sins, but a certain fearful expectation of judgment and fiery indignation which will devour the adversaries.
---	--	---

(ヘブル 10:26-27)

サタンが受ける火の「責め苦」は永遠の死か？

「そして、彼らを惑わしていた悪魔は火と硫黄との湖に投げ込まれた。そこは野獣と偽預言者の両方が[すでにいる]ところであった。そして彼らは昼も夜も限りなく永久に責め苦に遭うのである。」 (黙示録 20:10)	「そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。」 (黙示録 20:10)	The devil, who deceived them, was cast into the lake of fire and brimstone where the beast and the false prophet are. And they will be tormented day and night forever and ever.
---	--	--

(黙示録 20:10)

「そして、死とハデスは火の湖に投げ込まれた。火の湖、これは第二の死を表わしている。また、だれでも、命の書に書かれていない者は、火の湖に投げ込まれた。」 (黙示録 20:14-15)	「それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。」 (黙示録 20:14-15)	Then Death and Hades were cast into the lake of fire. This is the second death. And anyone not found written in the Book of Life was cast into the lake of fire. (黙示録 20:14-15)
--	---	---

ハ、富んだ人とラザロの話はとこしえの責め苦を証明しないと言えるか？

アブラハムのふところと同じく、火も文字通りの意味ではないと言えるか？

「さて、やがてこじきは死に、み使いたちによってアブラハムの懐[の位置]に運ばれました。『また、富んだ人も死んで葬られました。そして、ハデスの中で	「さて、この貧乏人は死んで、御使いたちによってアブラハムのふところに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。その金持ちは、ハデスで苦しみながら目を上げると、	"So it was that the beggar died, and was carried by the angels to Abraham's
--	--	---

目を上げると、自分は責め苦のうちにありましたが、はるか離れた所にアブラハムがおり、ラザロがその懐 [の位置] にいるのが見えました。それで彼は呼びかけて言いました、『父アブラハムよ、わたしに憐れみをおかけになり、ラザロを遣わして、その指の先を水に浸してわたしの舌を冷やすようにさせてください。わたしはこの燃えさかる火の中で苦悶しているからです。』』 (ルカ 16:22-24)

アブラハムが、はるかかたに見えた。しかも、そのふところにラザロが見えた。彼は叫んで言った。『父アブラハムさま。私をあわれんでください。ラザロが指先を水に浸して私の舌を冷やすように、ラザロをよこしてください。私はこの炎の中で、苦しくてたまりません。』』
(ルカ 16:22-24)

bosom. The rich man also died and was buried. And being in torments in Hades, he lifted up his eyes and saw Abraham afar off, and Lazarus in his bosom. Then he cried and said, 'Father Abraham, have mercy on me, and send Lazarus that he may dip the tip of his finger in water and cool my tongue; for I am tormented in this flame.' ”

(ルカ 16:22-24)

アブラハムの恵みはまた暗やみとも対照されているか？

「『しかしあなた方に言いますが、東のほうや西のほうからの大勢の人が来て、天の王国でアブラハム、イサク、ヤコブと共に食卓について横になるでしょう。一方、王国の子らは外の闇に投げ込まれるのです。そこで[彼らは]泣き悲しんだり歯ざしりしたりするでしょう。』」 (マタイ 8:11-12)

「『あなたがたに言いますがわたさんの人が東からも西からも来て、天の御国で、アブラハム、イサク、ヤコブといっしょに食卓に着きます。しかし、御国の子らは外の暗やみに放り出され、そこで泣いて歯ざしりするのです。』」 (マタイ 8:11-12)

“And I say to you that many will come from east and west, and sit down with Abraham, Isaac, and Jacob in the kingdom of heaven. But the sons of the kingdom will be cast out into outer darkness. There will be weeping and gnashing of teeth.” (マタイ 8:11-12)

バビロンの滅亡は火の責め苦と呼ばれているか？

「そのために、彼女の厄災は一日のうちに来る。それは死と嘆きと飢えであって、彼女は火で焼き尽くされるであろう。彼女を裁いたエホバ神は強い方だからである。『そして、彼女の焼かれる煙を見る時、彼女と淫行を犯し、恥知らずのおごりのうちに暮らした地の王たちは、彼女のことで泣き、悲嘆して身を打ちたたくであろう。また、彼女の受ける責め苦を恐れるあまり、遠く離れたところに立って、こう言うであろう。『気の毒だ、気の毒なことだ、大いなる都市よ強力な都市ともあろうバビロンよ、あなたの裁きが一時のうちに到来したとは!』』」

(黙示録 18:8-10)

「それゆえ一日のうちに、さまざまな災害、すなわち死病、悲しみ、飢えが彼女を襲い、彼女は火で焼き尽くされます。彼女をさばく神である主は力の強い方からです。彼女と不品行を行ない、好色にふけた地上の王たちは、彼女が火で焼かれる煙を見ると、彼女のことで泣き、悲しみます。彼らは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、こう言います。『わざわいが来た。わざわいが来た。大きな都よ。力強い都、バビロンよ。あなたのさばきは、一瞬のうちに来た。』」

(黙示録 18:8-10)

“Therefore her plagues will come in one day—death and mournin and famine. And she will be utterly burned with fire, for strong is the Lord God who judges her. The kings of the earth who committed fornication and lived luxuriously with her will weep and lament for her, when they see the smoke of her burning, standing at

「また、ひとりの強い御使いが、大きな石臼のような石を持ち上げ、それを海に投げ込んで、こう言った。『大いなる都市バビロンはこうに、速い勢いで投げ落とされ、二度と見いだされることはない。』」
(黙示録 18:21)

「また、ひとりの強い御使いが、大きい、ひき臼のような石を取り上げ、海に投げ入れて言った。『大きな都市バビロンは、このように激しく打ち倒されて、もはやなくなって消えうせてしまう。』」 (黙示録 18:21)

a distance for fear of her
torment, saying, 'Alas,
alas, that great city
Babylon, that mighty city!
For in one hour your
judgment has come.' ”

(黙示録 18:8-10)

Then a mighty angel took
up a stone like a great
millstone and threw it into
the sea, saying, “Thus
with violence the great
city the great city Babylon
shall be thrown down, and
shall not be found anymore.

(黙示録 18:21)

22. 宗教

新世界訳	新改訳	英語
イ. 唯一の真の宗教は？		
一つの希望、一つの信仰、一つのパプテスマ？		
「主は一つ、信仰は一つ、パプテスマは一つです。」 (エペソ 4:5)	「主は一つ、信仰は一つ、パプテスマは一つです。」 (エペソ 4:5)	one Lord, one faith, one baptism; (エペソ 4:5)
「ついにわたしたちは皆、信仰と神の子についての正確な知識との一致に達し、十分に成長した大人、キリストの満ち満ちたさまに属する丈の高さに[達する]のです。」 (エペソ 4:13)	「ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。」 (エペソ 4:13)	till we all come to the unity of the faith and of the knowledge of the Son of God, to a perfect man, to the measure of the stature of the fullness of Christ; (エペソ 4:13)
人々を弟子にする使命を与えられたか？		
「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子とし、父と子と聖霊との名において彼らにパプテスマを施し、」 (マタイ 28:19)	「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってパプテスマを授け、」 (マタイ 28:19)	“Go therefore and make disciples of all the nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit,” (マタイ 28:19)
「しかし、神の王国とイエス・キリストの名についての良いよりを宣明していたフィリポ[のことば]を信じた時、彼らはいずれ、男も女もパプテスマを受けた。」 (使徒 8:12)	「しかし、ピリポが神の国とイエス・キリストの御名について宣べるのを信じた彼らは、男も女もパプテスマを受けた。」 (使徒 8:12)	But when they believed Philip as he preached the things concerning the kingdom of God and the name of Jesus Christ, both men and women were baptized. (使徒 8:12)
「そして、その都市に良いよりを宣明してかなり大勢の弟子を作った後、彼らはルステラ、イコニオム、さらにアンティオキアに帰り、」 (使徒 14:21)	「彼らはその町で福音を宣べ、多くの人を弟子としてから、ルステラとイコニオムとアンテオケとに引き返して、」 (使徒 14:21)	And when they had preached the gospel to that city and made many disciples, they returned to Lystra, Iconium, and Antioch, (使徒 14:21)
その実によって見分けられる？		
「りっぱな実を生み出していない木はみな切り倒されて火の中に投げ込まれます。それでほんとうに、あなた方はその実によってそれら[の人々]を見分けるのです。」 (マタイ 7:19-20)	「良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。」 (マタイ 7:19-20)	“Every tree that does not bear good fruit is cut down and thrown into the fire. Therefore by their fruits you will know them.”

(マタイ 7:19-20)

「『りっぱな木で腐った実を生み出しているものはなく、腐った木でりっぱな実を生み出しているものもないです。木はそれぞれその実によって知られるからです。たとえば、人はいばからいちじくを集めず、また、いばらの茂みからぶどうを切り取ることもありません。』 (ルカ 6:43-44)

「悪い実を結ぶ良い木はないし、良い実を結ぶ悪い木もありません。木はどれでも、その実によってわかるものです。いばからいちじくは取れず、野ばらからぶどうを集めることはできません。」 (ルカ 6:43-44)

“For a good tree does not bear bad fruit, nor does a bad tree bear good fruit. For every tree is known by its own fruit. For men do not gather figs from thorns, nor do they gather grapes from a bramble bush.”

(ルカ 6:43-44)

「あなたが多くの実を結びつけてわたしの弟子であることを示すこと、これによってわたしの父は栄光をお受けになるのです。」 (ヨハネ 15:8)

「あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。」 (ヨハネ 15:8)

“By this My Father is glorified, that you bear much fruit; so you will be My disciples.” (ヨハネ 15:8)

互いの間に見られる愛と一致？

「『あなた方の間に愛があれば、それによってすべての人は、あなたがわたしの弟子であることを知ることができます。』」 (ヨハネ 13:35)

「『もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。』」 (ヨハネ 13:35)

“By this all will know that you are My disciples, if you have love for one another.” (ヨハネ 13:35)

「さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなた方に勧めます。あなた方すべての語るところは一致しているべきです。あなた方の間に分裂があつてはなりません。かえって、同じ思い、また同じ考え方でしっかりと結ばれていないさい。」 (1コリント 1:10)

「さて、兄弟たち。私は、私たちの主イエス・キリストの御名によって、あなたがたにお願いします。どうか、みな一致して、仲間割れすることなく、同じ心、同じ判断を完全に保ってください。」 (1コリント 1:10)

Now I plead with you, brethren, by the name of our Lord Jesus Christ, that you all speak the same thing, and that there be no divisions among you, but that you be perfectly joined together in the same mind and in the same judgment.

(1コリント 1:10)

「『わたしは神を愛する』と言いながら自分の兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。自分がすでに見ている兄弟を愛さない者は、見たことのない神を愛することはできないからです。」 (1ヨハネ 4:20)

「神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。」 (1ヨハネ 4:20)

If someone says, “I love God,” and hates his brother, he is a liar; for he who dose not love his brother whom he has seen, how can he love God whom he has not seen? (1ヨハネ 4:20)

ロ. 間違った教えを非難することは正しいか？
イエスは間違った教えを非難したか？

「『偽善者なる書士とパリサイ人たち、あなた方は災
いです！ あなた方は一人の改宗者を作るために海と
陸を行き巡り、それができると、これを、自分に倍し
てゲヘナに行くべき者とするからです。』

(マタイ 23:15)

「『偽善者なる書士とパリサイ人たち、あなた方は災
いです！ あなた方は、はっか・いのんど・クミンの
十分の一を納めながら、律法のより重大な事柄、すね
わち公正と憐れみと忠実を無視しているからです。こ
れらこそ行なうべきことだったのです。もっとも、そ
れら他方の事柄も無視すべきではありません。盲目の
案内人、ぶよは糞し取りながら、らくだを呑み込む者
たちよ！ 』 (マタイ 23:23-24)

「『たとえ、神は、『あなたの父と母を敬いなさい
』、そして、『父や母をのしる者は死に至らせなさい
』と言われました。ところがあなた方は、『自分の
父や母に向かって、『わたしの持つものであなたがわ
たしから益をお受けになるものがあるかもしれません
が、それはみな神に献納された供え物なのです』と言
うのがだれであっても、その者は自分の父を少しも敬
ってはならない』と言います。こうしてあなた方は、
自分たちの伝統のゆえに神の言葉を無にしています。
偽善者よ、イザヤはあなた方について適切に預言して
言いました。『この民は唇でわたしを敬うが、その心
はわたしから遠く離れている。彼らがわたしを崇拜し
つつけるのは無駄なことである。人間の命令を教理と
して教えるからである。』』」

(マタイ 15:4-9)

「忌まわしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。
改宗者をひとりつくるのに、海と陸とを飛び回り、改宗者
ができると、その人を自分より倍も悪いゲヘナの子にする
からです。」 (マタイ 23:15)

「忌まわしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あ
なたがたは、はっか、いのんど、クミンなどの十分の一を
納めているが、律法の中ではかに重要なもの、すなわち
、正義もあわれみも誠実もおろそかにしているのです。こ
れこそしなければならぬことです。ただし、他のほうも
おろそかにしてははいけません。目の見えぬ手引きど
も。あなたがたは、ぶよは、こして除くが、らくだはのみ
こんでいます。」 (マタイ 23:23-24)

「『神は『あなたの父と母を敬え。』また『父や母をの
しる者は、死刑に処せられる。』と言われたのです。それ
なのに、あなたがたは、『だれでも、父や母に向かって、
私からあなたのために差し上げられる物は供え物になりま
したと言う者は、その物をもって父や母を尊んではならな
い。』』と言っています。こうしてあなたがたは、自分たち
の言い伝えのために、神の言葉を無にしました。
偽善者たち。イザヤはあなたがたについて預言している
が、まさにそのとおりです。『この民は、口先ではわたし
を敬うが、その心は、わたしから遠く離れている。彼らが
、わたしを拝んでも、むだなことである。人間の教えを、
教えとして教えるだけだから。』』」

(マタイ 15:4-9)

“Woe to you, scribes and
Pharisee, hypocrites! For
you travel land and sea
to win one proselyte, and
when he is won, you make him
twice as much a son of hell
as yourselves. ”

(マタイ 23:15)

“Woe to you, scribes and
Pharisees, hypocrites! For
you pay tithe of mint and
anise and cummin, and have
neglected the weightier
matters of the law: justice
and mercy and faith. These
you ought to have done,
without leaving the others
undone. Blind guides, who
strain out a gnat and
swallow a camel!

(マタイ 23:23-24)

“For God commanded, sayig,
'Honor your father and your
mother'; and, 'He who
curses father or mother, let
him be put to death.' But
you say, 'Whoever says to
his father or mother,
“Whatever profit you might
have received from me is a
gift to God”— then he need
not honor his father or
mother.' Thus you have made
the commandment of God of
no effect by your tradition
. “Hypocrites! Well did
Isaiah prophesy about you,
saying: 'These people draw

		<p>near to Me with their mouth ,And honor Me with their lips,But their heart is far from Me. And in vain they worship Me,Teaching as doctrines the commandments of men.’ ” ” (マタイ 15:4-9)</p>
<p>盲目にされた人々を保護するためにそうしたか？</p> <p>「『彼らのことはほっておきなさい。彼らは盲人の案内人なのです。それで、盲人が盲人を案内するなら、二人とも穴に落ち込むのです。』」</p> <p>(マタイ 15:14)</p>	<p>「彼らのことはほっておきなさい。彼らは盲人を手引きする盲人です。もし、盲人が盲人を手引きするなら、ふたりとも穴に落ち込むのです。」 (マタイ 15:14)</p>	<p>“Let them alone. They are blind leaders of the blind. And if the blind leads the blind, both will fall into a ditch.” (マタイ 15:14)</p>
<p>彼らは真理によって自由になり、イエスの弟子となったか？</p> <p>「そこでイエスは、自分を信じたユダヤ人たちにさらにこう言われた。『わたしの言葉のうちにとどまっているなら、あなた方はほんとうにわたしの弟子であり、また、真理を知り、真理はあなた方を自由にするでしょう。』」 (ヨハネ 8:31-32)</p>	<p>「そこでイエスは、その信じたユダヤ人たちに言われた。『もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。』」 (ヨハネ 8:31-32)</p>	<p>Then Jesus said to those Jews who believed Him, “If you abide in My word, you are My disciples indeed. And you shall know the truth, and the truth shall make you free.”</p> <p>(ヨハネ 8:31-32)</p>
<p>ハ. 間違いが証明されたら、自分の宗教を変えることはぜひ必要か？</p> <p>真理は人を自由にし、多くのものの間違いを明らかにするか？</p>		
<p>「そこでイエスは、自分を信じたユダヤ人たちにさらにこう言われた。『わたしの言葉のうちにとどまっているなら、あなた方はほんとうにわたしの弟子であり、また、真理を知り、真理はあなた方を自由にするでしょう。』」 (ヨハネ 8:31-32)</p>	<p>「そこでイエスは、その信じたユダヤ人たちに言われた。『もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。』」 (ヨハネ 8:31-32)</p>	<p>Then Jesus said to those Jews who believed Him, “If you abide in My word, you are My disciples indeed. And you shall know the truth, and the truth shall make you free.”</p> <p>(ヨハネ 8:31-32)</p>
<p>イスラエル人も他の人々も以前の崇拜を離れたか？</p> <p>「しかし、もしエホバに仕えることがあなたの方目から見てよくない事とされるなら、川の向こうにいたあなたの方の父祖たちが仕えた神々であれ、あなた方がいま住んでいる地のアモリ人の神々であれ、あなた方が仕える者を今日自分で選びなさい。しかし、わたしと</p>	<p>「『もしも主に仕えることがあなたがたの気に入らないなら、川の向こうにいたあなたがたの先祖たちが仕えた神々でも、今あなたがたが住んでいる地のエモリ人の神々でも、あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、きょう選ぶがよい。私と私の家とは、主に仕える。』」</p>	<p>“And if it seems evil to you to serve the Lord, choose for yourselves this day whom you will serve, whether the gods which your</p>

わたしの家の者とはエホバに仕えます。』」
(ヨシュア 24:15)

「ついにナアマンは言った、『もし、だめでしたら、どうか、幾らかの土を、一対のらばの荷ほど、この僕に下しますように。この僕はもはや、エホバのほか、他のどんな神々にも焼燔の捧げ物や犠牲をささげることは致しませんから。』」
(Ⅱ列王記 5:17)

(ヨシュア 24:15)

「そこでナアマンは言った。『だめでしたら、どうか二頭の驢馬に乗せるだけの土をしもべに与えてください。しもべはこれからもう、ほかの神々に全焼のいけにえや、その他のいけにえをささげず、ただ主にのみささげますから。』」 (Ⅱ列王記 5:17)

fathers served that were on the other side of the River , or the gods of the Amorites, in whose land you dwell. But as for me and my house, we will serve the Lord.” (ヨシュア 24:15)
So Naaman said, “Then, if not, please let your servant be given two mule-loads of earth; for your servant will no longer offer either burnt offering or sacrifice to other gods, but to the Lord. ” (Ⅱ列王記 5:17)

初期クリスチャンは考えを変えたか？

「もとよりあなた方は、以前ユダヤ教に入っていたころのわたしの行状について聞きました。つまり、わたしは甚だしいまでに神の会衆を迫害したり荒らしたりし、自分の民族の同年輩の多くの者に勝ってユダヤ教に進んでいました。自分の父たちの伝統に対してはるかに熱心であったからです。」
(ガラテヤ 1:13-14)

「さて、兄弟たち、わたしはあなた方が、あなた方の支配者たちもそうであったように、無知によって行動したことを知っています。」 (使徒 3:17)

「『ですから、あなた方の罪を塗り消していただくために、悔い改めて身を転じなさい。さわやかにする時期がエホバのみもとから到来し、』」
(使徒 3:19)

「以前ユダヤ教徒であったころの私の行動派、あなたがたがすでに聞いているところです。私は激しく神の教会を迫害し、これを滅ぼそうとしました。また私は、自分と同属で同年輩の多くの者たちに比べ、はるかにユダヤ教に進んでおり、先祖からの伝承に人一倍熱心でした。」
(ガラテヤ 1:13-14)

「ですから、兄弟たち。私は知っています。あなたがたは、自分たちの指導者たちと同様に、無知のためにあのような行ないをしたのです。」 (使徒 3:17)

「そういうわけですから、あなたがたの罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。」
(使徒 3:19)

For you have heard of my former conduct in Judaism, how I persecuted the church of God beyond measure and tried to destroy it. And I advanced in Judaism beyond many of my contemporaries in my own nation, being more exceedingly zealous for the traditions of my fathers. (ガラテヤ 1:13-14)
“Yet now, brethren, I know that you did it in ignorance, as did also your rulers.” (使徒 3:17)
“Repent therefore and be converted, that your sins may be blotted out, so that times of refreshing may come from the presence of the Lord,” (使徒 3:19)

全世界は欺かれているか？ 思いを作り直すことが必要か？

「こうして、大いなる龍、すなわち、初めからの蛇で、悪魔またサタンと呼ばれ、人の住む全地を惑わしている者は投げ落とされた。彼は地に投げ落とされ、その使いたちも共に投げ落とされた。」

(黙示録 12:9)

「こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。彼は地上に投げ落とされ、彼の使いたちも彼とともに投げ落とされた。」 (黙示録 12:9)

So the great dragon was cast out, that serpent of old, called the Devil and Satan, who deceives the whole world; he was cast to the earth, and his angels were cast out with him.

(黙示録 12:9)

「そして、この事物の体制に合わせて形作られるのをやめなさい。むしろ、思いを作り直すことによって自分を変革しなさい。それは、神の善にして受け入れられる完全なご意志を自らわきまえるためです。」

(ローマ 12:2)

「この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえるために、心の一新によって自分を変えなさい。」

(ローマ 12:2)

And do not be conformed to this world, but be transformed by the renewing of your mind, that you may prove what is that good and acceptable and perfect will of God. (ローマ 12:2)

二. 「どの宗教にも良いところがある」ようでもそれは神の恵みの保証ではないか？

神は崇拜の基準を定めておられるか？

「『とはいえ、真の崇拜者が霊と真理をもって父を崇拜する時が来ようとしています。それは今なのです。実際、父はご自分をそのように崇拜する者たちを求めておられるのです。神は霊であられるので、[神]を崇拜する者も霊と真理をもって崇拜しなければなりません。』」 (ヨハネ 4:23-24)

「『しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。』」 (ヨハネ 4:23-24)

"But the hour is coming, and now is, when the true worshipers will worship the Father in spirit and truth; for the Father is seeking such to worship Him. God is Spirit, and those who worship Him must worship in spirit and truth."

(ヨハネ 4:23-24)

「わたしたちの神また父から見て清く、汚れのない崇拜の方式はこうです。すなわち、孤児ややもめをその患難のときに世話すること、また自分を世から汚点のない状態に保つことです。」 (ヤコブ 1:27)

「父なる神の御前できよく汚れのない宗教は孤児や、やもめたちが困っているときに世話をし、この世から自分をきよく守ることです。」 (ヤコブ 1:27)

Pure and undefiled religion before God and the Father is this: to visit orphans and widows in their trouble, and to keep oneself unspotted from the world.

(ヤコブ 1:27)

神のご意志に従っていないければ良いものではないか？

「わたしは、彼らが神に対する熱心さを抱いていることを証しするのです。しかし、それは正確な知識によるものではありません。彼らは神の義を知らないで、

「私は、彼らが神に対して熱心であることをあかしします。しかし、その熱心は知識に基づくものではありません。というのは、彼らは神の義を知らず、自分自身の義を立て

For I bear them witness that they have a zeal for God, but not according to

自分たち自身の〔義〕を確立しようと努めたために、
神の義に服さなかったからです。」
(ローマ 10:2-3)

ようとして、神の義に従わなかったからです。」
(ローマ 10:2-3)

knowledge. For they being
ignorant of God's
righteousness, and seeking
to establish their own
righteousness, have not
submitted to the
righteousness God.

(ローマ 10:2-3)

「良い業」でさえ退けられることがあるか？

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみ
な天の王国に入るのではなく、天におられるわたしの
父のご意志を行なう者が〔入る〕のです。その日には
、多くの者がわたしに向かって、『主よ、主よ、わた
したちはあなたの名において預言し、あなたの名にお
いて悪霊たちを追い出し、あなたの名において強力な
業を数多く成し遂げなかったでしょうか』と言うでし
ょう。しかしその時、わたしは彼らにはっきり言いま
す。わたしは決してあなた方を知らない、不法を働く
者たちよ、わたしから離れ去れ、と。」
(マタイ 7:21-23)

「わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天
の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみ
こころを行なう者がはいるのです。その日には、大ぜいの
者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあな
たの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い
出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではあ
りませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告
します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をな
す者ども。わたしから離れて行け。』」
(マタイ 7:21-23)

“Not everyone who says to
Me, 'Lord, Lord,' shall
enter the kingdom of heaven
but, he who does the will
of My Father in heaven. ”
Many will say to Me in that
day, 'Lord, Lord, have
we not prophesied in Your
name, cast out demons in
Your name, and done many
wonders in Your name?' “And
then I will declare to
them, 'I never knew you;
depart from Me, you who p-
ractice lawlessness!’ ”

(マタイ 7:21-23)

実によって見分けられるか？

「それでほんとうに、あなた方はその実によってそれ
ら〔の人々〕を見分けるのです。」
(マタイ 7:20)

「こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分
けることができます。」 (マタイ 7:20)

“Therefore by their fruits
you will know them.”

(マタイ 7:20)

23. 十字架

新世界訳

新改訳

英語

イ. イエスはさらし者として処刑の杭にかけられたか？

イエスは杭すなわち木にかけられたか？

「わたしたちの父祖の神はイエスを、あなた方が杭に掛けて殺したその方をよみがえらしました。」

(使徒 5:30)

「そしてわたしたちは、[イエス]がユダヤ人の土地で、またエルサレムで行なったすべての事柄の証人です。しかし彼らはまた、杭に掛けてこの方を除き去ったのです。」 (使徒 10:39)

「キリストはわたしたちの代わりにのろわれたものとなり、こうしてわたしたちを律法ののろいから買い取って解放してくださったのです。『杭に掛けられる者は皆のろわれた者である』と書かれているからです。」 (ガラテヤ 3:13)

「私たちの先祖の神は、あなたがたが十字架にかけて殺したイエスを、よみがえらせたのです。」

(使徒 5:30)

「私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムとで行なわれたすべてのことの証人です。人々はこの方を木にかけて殺しました。」 (使徒 10:39)

「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてのろわれたものである。』と書いてあるからです。」

(ガラテヤ 3:13)

“The God of our fathers raised up Jesus whom you murdered by hanging on a tree. (使徒 5:30)

“And we are witnesses of all things which He did both in the land of the Jews and in Jerusalem, whom they killed by hanging on a tree.” (使徒 10:39)

Christ has redeemed us from the curse of the law, having become a curse for us (for it is written, “Cursed is everyone who hangs on a tree”),

(ガラテヤ 3:13)

クリスチャンは身に受ける苦しみとして杭を負うべきか？

「そして、だれでも自分の苦しみの杭を受け入れてわたしのあとに従わない者は、わたしにふさわしくありません。」 (マタイ 10:38)

「それから、すべての者にさらにこう言われた。『だれでもわたしに付いて来たいと思うなら、その人は自分を捨て、日々自分の苦しみの杭を取り上げて、絶えず、わたしのあとに従いなさい。』」

(ルカ 9:23)

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。」

(マタイ 10:38)

「イエスは、みな者に言われた。『だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。』」

(ルカ 9:23)

“And he who does not take his cross and follow after Me is not worthy of Me.”

(マタイ 10:38)

Then He said to them all, “If anyone desires to come after Me, let him deny himself, and take up his cross daily, and follow Me.” (ルカ 9:23)

ロ. 崇拝すべきものではないか？

イエスの杭を見せものにすることは恥辱か？

「なおも離れ落ちた者たちについては、そうした者たちを再び悔い改めに戻すことは不可能なのです。なぜなら、彼らは神の子を自分であらためて杭につけ、公の恥にさらしているからです。」

「しかも墮落してしまうならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、恥辱を与える人たちだからです。」 (ヘブル 6:6)

if they fall away, to renew them again to repentance, since they crucify again for themselves the Son of

(ヘブル 6:6)

「同じように祭司長たちも、書士や年長者たちと一緒に彼を愚弄しはじめてこう言った。『ほかの者は救ったが、自分は救えないだ！ 彼はイスラエルの王だ。今、苦しみの杭から下りて来てもらおうではないか。そうしたら我々も彼を信じよう。』」

(マタイ 27:41-42)

「同じように、祭司長たちも律法学者、長老たちといっしょになって、イエスをあざけて言った。『彼は、他人を救ったが、自分は救えない。イスラエルの王さまなら、今、十字架から降りてもらおうか。そうしたら、われわれは信じるから。』」 (マタイ 27:41-42)

God, and put Him to an open shame. (ヘブル 6:6)

Likewise the chief priests also, mocking with the scribes and elders, said, "He saved others; Himself He cannot save. If He is the King of Israel, let Him now come down from the cross, and we will believe Him." (マタイ 27:41-42)

崇拝に十字架を用いることは偶像礼拝か？

「あなたは自分のために、上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水の中にあるものに似せたいかなる彫刻像や形も作ってはならない。それに身がかがめてはならず、さそわれてそれに仕えてもならない。あなたの神であるわたしエホバは全き専心を要求する神であり、わたしを憎む者については父のところがに対する処罰を子にもたらして三代、四代に及ぼし、」

(出エジプト 20:4-5)

「あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造ってはならない。それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、」

(出エジプト 20:4-5)

"You shall not make for yourself a carved image, or any likeness of anything that is in heaven above, or that is in the earth beneath, or that is in the water under the earth; you shall not bow down to them nor serve them. For I, the Lord your God, am a jealous God, visiting the iniquity of the fathers on the children to the third and fourth generations of those who hate Me,

(出エジプト 20:4-5)

「『もろもろの民の習わしは単なる呼気にすぎないからである。それは人が切り倒した森林の一本の木、かぎなたによって職人の手が作ったものにすぎない。人は銀や金でそれを美しくする。彼らはくぎやつちでそれらを打ちつけ、どれもふらつくことのないようにする。それらはきゅうり畑のかかしのようにであり、話すことができない。それらは必ず運ばれる。一歩も歩けないからである。それらのゆえに恐れるな。それらは災いとなるどんなことをもなしえず、しかも、良いことを行なうことはそれらと共にはないからである。』」

「『国々の民のならわしはむなしいからだ。それは、林から切り出された木、木工が、なたで造った物にすぎない。それは、銀と金で飾られ、釘や、槌で、動かないように打ちつけられる。それは、きゅうり畑のかかしのように、ものも言えず、歩けないので、いちいち運んでやらなければならない。そんな物を恐れるな。わざわざいも下せないからだ。』」 (エレミヤ 10:3-5)

"For the customs of the peoples are futile; For one cuts a tree from the forest, The work of the hands of the workman, with the ax. They decorate it with silver and gold; They fasten it with nails and hammers So that it will not topple. They are upright, like a

」 (エレミヤ 10:3-5)

palm tree, And they cannot
speak; They must be carried,
Because they cannot go by
themselves. Do not be afraid
of them, For they cannot do
evil, Nor can they do any
good.” (エレミヤ 10:3-5)

イエスは霊者、もう杭の上にはいないか？

「明らかなことですが、この敬虔な専心に関する神聖な奥義はまことに偉大です。すなわち、『彼は肉において明らかにされ、霊において義と宣せられ、み使いたちに現われ、諸国民の中で宣べ伝えられ、世で信じられ、栄光のうちに迎え上げられた』のです。」

(1テモテ 3:16)

「確かに偉大なのはこの敬虔の奥義です。『キリストは肉において義と宣言され、御使いたちに見られ、諸国民の間に宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。』」 (1テモテ 3:16)

And without controversy
great is the mystery of
godliness: God was manifested
in the flesh, Justified in
the Spirit, Seen by angels,
Preached among the Gentiles,
Believed on in the world,
Received up in glory.

(1テモテ 3:16)

「キリストでさえ、罪に関して一度かぎり死なれました。義なる方が不義の者たちのためにです。それはあなた方を神に導くためでした。彼は肉において死に渡され、霊において生かされたのです。」

(1ペテロ 3:18)

「キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、私たちを神のみもとに導くためでした。」 (1ペテロ 3:18)

For Christ also suffered
once for sins, the just for
the unjust, that He might
bring us to God, being
put to death in the flesh
but made alive by the
Spirit, (1ペテロ 3:18)

24. 祝日，誕生日

新世界訳

新改訳

英語

Ⅰ. 初期クリスチャンは誕生日やクリスマスを祝わなかったか？

真の崇拝者でない人々が祝ったか？

「さて、三日目はファラオの誕生日であった。それで彼は自分のすべての僕たちのために宴を催し、その僕たちの見の中で献酌人の長の頭とパン焼き人の長の頭を上げさせた。」（創世記 40:20）

「三日目はパロの誕生日であった。それで彼は、自分のすべての家臣たちのために祝宴を張り、献酌官長と調理官長とをその家臣たちの中に呼び出した。」（創世記 40:20）

Now it came to pass on the third day, which was Pharaoh's birthday, that he made a feast for all his servants; and he lifted up the head of the chief butler and of the chief baker among his servants.

（創世記 40:20）

「ところが、ヘロデの誕生日が祝われていた時、ヘロデアの娘がその席で踊りを見せてヘロデをたいそう喜ばせた。」（マタイ 14:6）

「たまたまヘロデの誕生日祝いがあって、ヘロデアの娘がみなの前で踊りを踊ってヘロデを喜ばせた。」（マタイ 14:6）

But when Herod's birthday was celebrated, the daughter of Herodias danced before them and pleased Herod.

（マタイ 14:6）

イエスの死の日を記念すべきであるか？

「また、[イエス]はパンを取り、感謝をささげてそれを割き、それを彼らに与えて、こう言われた。『これは、あなた方のために与えられるわたしの体を表わしています。わたしの記念としてこれを行ないつけないさい。』また、晩さんがすんでから、杯をも同じようにしてこう言われた。『この杯は、わたしの血による新しい契約を表わしています。それはあなた方のために注ぎ出されることになっています。』」（ルカ 22:19-20）

「それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。『これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行ないなさい。』食事の後、杯も同じようにして言われた。『この杯は、あなたがたのために、流されるわたしの血による新しい契約です。』」（ルカ 22:19-20）

And He took bread, gave thanks and broke it, and gave it to them, saying, "This is My body which is given for you; do this in remembrance of Me." Likewise He also took the cup after supper, saying, "This cup is the new covenant in My blood, which is shed for you. (ルカ 22:19-20)

「晩さんをすませた後、杯についても同じようにして、こう言われました。『この杯はわたしの血による新しい契約を表わしています。それを飲むたびに、わたしの記念としてこれを行なってゆきなさい。』このパンを食べ、この杯を飲むたびに、あなた方は主の死をふれ告げてゆくのであり、それは彼が到来する時にまで及ぶのです。」

「夕食の後、杯をも同じようにして言われました。『この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行ないなさい。』ですから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。」

In the same manner He also took the cup after supper, saying, "This cup is the new covenant in My blood. This do, as often as you as often as you drink it, in remembrance of Me." For as often as you eat this bread

（1コリント 11:25-26）

（1コリント 11:25-26）

		and drink this cup, you proclaim the Lord's death till He comes. (Iコリント 11:25-26)
祝いの浮かれ騒ぎは正しくないか？		
「浮かれ騒ぎや酔酒、不義の関係やみだらな行ない、 また闘争やねたみのうちを[歩むの]ではなく、昼間 のように正しく歩みましょう。」 (ローマ13:13)	「遊興、酩酊、淫乱、好色、争い、ねたみの生活ではなく 、昼間らしい、正しい生き方をしようではありませんか。 」 (ローマ13:13)	Let us walk properly, as in the day, not in revelry and drunkenness, not in lewdness and lust, not in strife and envy. (ローマ13:13)
「そねみ、酔酒、浮かれ騒ぎ、およびこれに類する事 柄です。こうした事柄についてわたしはあなた方にあ らかじめ警告しましたが、なおまた警告しておきます 。そのような事柄を習わしにする者が神の王国を受け 継ぐことはありません。」 (ガラテヤ 5:21)	「ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです。前にも あらかじめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじ め言っておきます。こんなことをしている者たちが神の国 を相続することはありません。」 (ガラテヤ 5:21)	envy, murders, drunkenness, revelries, and the like; of which I tell you be fo- rehand, just as I also told you in time past, that those who practice such things will not inherit the kingdom of God. (ガラテヤ 5:21)
「というのは、過ぎ去った時の間、あなた方は、みだ らな行ない、欲情、過度の飲酒、浮かれ騒ぎ、飲みく らべ、無法な偶像礼拝に傾いていましたが、諸国民の 欲するところを行なうのは[それで]十分だからです 。」 (Iペテロ 4:3)	「あなたがたは、異邦人たちがしたいと思っていることを 行ない、好色、情欲、酔酒、遊興、宴会騒ぎ、忌むべき偶 像礼拝などにふけたものですが、それは過ぎ去った時で 、もう十分です。」 (Iペテロ 4:3)	For we have spent enough of our past lifetime in doing the will of the Gentiles-when we walked in ledness, lusts, drunkenness, revelries, drinking parties, and abominable idolatries. (Iペテロ 4:3)

25. 信仰合同

新世界訳

新改訳

英語

イ. 他の宗教と結合することは神の道ではないか？

唯一の道、狭くてこれを見いだす者は少ないか？

「体は一つ、霊は一つです。それは、あなた方が自分たちの召されたその一つの希望のうちに召されたのと同じです。主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つです。すべての者の神また父は一つであり、すべての上に、すべてを通し、すべての中におられるのです。」
」（エペソ 4:4-6）

「からだは一つ、御霊は一つです。あなたがたが召されたとき、召しのもたらした望みが一つであったのと同じです。主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つです。すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父なる神は一つです。」
」（エペソ 4:4-6）

There is one body and one Spirit, just as you were called in one hope of your calling; one Lord, one faith, one baptism; one God and Father of all, who is above all, and through all, and in you all.

(エペソ 4:4-6)

「『狭い門を通して入りなさい。滅びに至る道は広くて大きく、それを通して入って行く人は多いからです。一方、命に至る門は狭く、その道は狭められており、それを見いだす人は少ないのです。』」

(マタイ 7:13-14)

「狭い門からは入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからはいって行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。」

(マタイ 7:13-14)

“Enter by the narrow gate; for wide is the gate and is the gate and broad is the way that leads to destruction, and there are many who go in by it. Because narrow is the gate and difficult is the way which leads to life, and there are few who find it.”

(マタイ 7:13-14)

間違った教えは良いものを損なうと警告されているか？

「イエスは彼らに言われた、『じっと見張っていて、パリサイ人とサドカイ人のパン種に気を付けなさい。』」
」（マタイ 16:6）

「イエスは彼らに言われた。『パリサイ人やサドカイ人たちのパン種には注意して気をつけなさい。』」

(マタイ 16:6)

Then Jesus said to them, “Take heed and beware of the leaven of the Pharisees and the Sadducees.”

(マタイ 16:6)

「その時、彼らは、パンのパン種ではなく、パリサイ人とサドカイ人の教えに気を付けよと言われたのだ、ということを得た。」
」（マタイ 16:12）

「彼らはようやく、イエスが気をつけよと言われたのは、パン種のことでなくて、パリサイ人やサドカイ人たちの教えのことであることを悟った。」

(マタイ 16:12)

Then they understood that He did not tell them to beware of the leaven of bread, but of the doctrine of the Pharisees and Sadducees. (マタイ 16:12)

「少しのパン種が固まり全体を発酵させます。」

(ガラテヤ 5:9)

「わずかのパン種が、こねた粉の全体を発酵させるのです。」
」（ガラテヤ 5:9）

A little leaven leavens the whole lump. (ガラテヤ 5:9)

離れることを命じられたか？

「敬虔な専心という形を取りながらその力において実質のない者となるからです。こうした人々からは離れなさい。」（Ⅱテモテ 3:5）

「不釣り合いにも不信者とくびきを共にしてはなりません。義と不法に何の交友があるでしょうか。また、光が闇と何を分け合うのでしょうか。さらに、キリストとベリアルにどんな調和があるでしょうか。また、忠実な人が不信者とどんな分を持つのでしょうか。そして、神の神殿と偶像にどんな一致があるでしょうか。わたしたちは生ける神の神殿なのです。神が言われたとおりです。『わたしは彼らの中に住み、[彼らの]中を歩くであろう。そしてわたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。』『それゆえ、彼らの中から出て、離れよ』と、エホバは言われる。『そして汚れた物に触れるのをやめよ。』『そうすればわたしはあなた方を迎えよう。』」

（Ⅱコリント 6:14-17）

「また、わたしは天から出る別の声がこう言うのを聞いた。『わたしの民よ、彼女の罪にあずかることを望まず、彼女の災厄と共に受けることを望まないなら、彼女から出なさい。』（黙示録 18:4）

「見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。」

（Ⅱテモテ 3:5）

「不信者と、つり合わぬくびきをいっしょにつけてはいけません。正義と不法とに、どんなつながりがあるでしょう。光と暗やみとに、どんな交わりがあるでしょう。キリストとベリアルとに、何の調和があるでしょう。信者と不信者とに、何のかかわりがあるでしょう。神の宮と偶像とに、何の一致があるでしょう。私たちは生ける神の宮なのです。神はこう言われました。『わたしは彼らの間に住み、また歩む。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。汚れたものに触れないようにせよ。そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れ、』」

（Ⅱコリント 6:14-17）

「それから、私は、天からのもう一つの声がこう言うのを聞いた。『わが民よ、この女から離れなさい。その罪にあずからないため、また、その災害を受けないためです。』（黙示録 18:4）

having a form of godliness but denying its power. And from such people turn away!

（Ⅱテモテ 3:5）

Do not be unequally yoked together with unbelievers. For what fellowship has righteousness with lawlessness? And what communion has light with darkness? And what accord has Christ with Belial? Or what part has a believer with an unbeliever? And what agreement has the temple of God with idols? For you are the temple of the living God. As God has said: "I will dwell in them And walk among them. I will be their God, And they shall be My people." Therefore "Come out from among them And be separate," says the Lord. Do not touch what is unclean, And I will receive you."

（Ⅱコリント 6:14-17）

And I heard another voice from heaven saying, "Come out of her, my people, lest you share in her sins and lest you receive of her plagues."（黙示録 18:4）

ロ。「すべての宗教に良いものがある」というのは真実でないか？

熱心でも神と一致しないものがあるか？

「わたしは、彼らが神に対する熱心さを抱いていることを証しするのです。しかし、それは正確な知識によ

「私は、彼らが神に対して熱心であることをあかしします。しかし、その熱心は知識に基づくものではありません。

For I bear them witness that they have a zeal for

るものではありません。彼らは神の義を知らないで、自分たち自身の〔義〕を確立しようと努めたために、神の義に服さなかったからです。」
(ローマ 10:2-3)

というのは、彼らは神の義を知らず、自分自身の義を立てようとして、神の義に従わなかったからです。」
(ローマ 10:2-3)

God, but not according to knowledge. For they being ignorant of God's righteousness, and seeking to establish their own righteousness, have not submitted to the righteousness of God.

(ローマ 10:2-3)

他に良い点があっても悪はそれを損なうか？

「あなたが誇りにしている事柄は良くありません。あなたは、少しのパン種が固まり全体を発酵させることを知らないのですか。」
(1コリント 5:6)

「あなたがたの傲慢は、よくないことです。あなたがたは、ほんのわずかのパン種が、粉のかたまり全体をふくらませることを知らないのですか。」
(1コリント 5:6)

Your glorying is not good. Do you not know that a little leaven leavens the whole lump? (1コリント 5:6)
“Beware of false prophets, who come to you in sheep's clothing, but inwardly they are ravenous wolves. You will know them by their fruits. Do men gather grapes from thornbushes or figs from thistles? Even so, every good tree bears good fruit, but a bad tree bears bad fruit.”

(マタイ 7:15-17)

「『羊の覆いを付けてあなたの方のもとに来る偽預言者たちに警戒していなさい。内側では、彼らはむさぼり食うおおかみです。あなたは、その実によって彼らを見分けるでしょう。いばらからぶどうを、あざみからいちじくを集めることなどないではありませんか。同じように、良い木はみなりっぱな実を生み出し、腐った木はみな無価値な実を生み出すのです。』」
(マタイ 7:15-17)

「にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。ぶどうは、いばらからは取れないし、いちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。同様に、良い木はみな良い実を結ぶが、悪い木は悪い実を結びます。」
(マタイ 7:15-17)

偽教師は滅びをもたらすか？

「しかしながら、民の間には偽預言者も現われました。あなたの方の間に偽教師が現われるのもそれと同じです。実にこれらの人々は、破壊的な分派をひそかに持ち込み、自分たちを買い取ってくださった所有者のことをさえ否認し、自らに速やかな滅びをもたらすのです。」 (Ⅱペテロ 2:1)

「しかし、イスラエルの中には、にせ預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも、にせ教師が現われるようになります。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込み、自分たちを買い取ってくださった主を否定するようなことさえして、自分たちの身にすみやかな滅びを招いています。」 (Ⅱペテロ 2:1)

But there were also false prophets among the people, even as there will be false teachers among you, who will secretly bring in destructive heresies, even denying the Lord who bought them, and bring on themselves swift destruction. (Ⅱペテロ 2:1)

「わたしの側にいない者はわたしに適しており、わた

「わたしの味方でない者はわたしに逆らう者であり、わた

“He who is not with Me is

しと共に集めない者は散らすのです。」 (マタイ 12:30)	しとともんうい集めない者は散らす者です。」 (マタイ 12:30)	against Me, and he who does not gather with Me scatters abroad.” (マタイ 12:30)
「『彼らのことはほっておきなさい。彼らは盲目の案内人なのです。それで、盲人が盲人を案内するなら、二人とも穴に落ち込むのです。』」 (マタイ 15:14)	「『彼らのことは放っておきなさい。彼らは盲人を手引きする盲人です。もし、盲人が盲人を手引きするなら、ふたりとも穴に落ち込むのです。』」 (マタイ 15:14)	“Let them alone. They are blind leaders of the blind. And if the blind leads the blind, both will fall into a ditch.” (マタイ 15:14)
清い崇拜は全き専心を要求するか？		
「ゆえにあなたは、心をつくし、魂をつくし、活力をつくしてあなたの神エホバを愛さねばならない。」 (申命記 6:5)	「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」 (申命記 6:5)	“You shall love the Lord your God with all your heart, with all your soul, and with all your strength.” (申命記 6:5)
「あなた方はほかの神々に、すなわち周囲の民のどんな神々にも従ってはならない。(あなたのうちにおられるあなたの神エホバは全き専心を要求される神なのである。) あなたの神エホバの怒りがあなたに向かって燃え、あなたを地の面から滅ぼし尽くすようにならないためである。」 (申命記 6:14-15)	「ほかの神々、あなたがたの回りにいる国々の民の神に従ってはならない。あなたのうちにおられるあなたの神、主は、ねたむ神であるから、あなたの神、主の怒りがあなたに向かって燃え上がり、主があなたを地の面から根絶やしにされないようにしなさい。」 (申命記 6:14-15)	“You shall not go after other gods, the gods of the peoples who are all around you ’ (for the Lord your God is a jealous God among you), lest the anger of the Lord your God be aroused against you and destroy you from the face of the earth.” (申命記 6:14-15)

26. 救い、

新世界訳	新改訳	英語
イ. 救いはイエスの贖いの犠牲を通して神から来るか？		
命はみ子を通して与えられる神の賜物か？		
「わたしたちの場合、これによって神の愛が明らかにされました。すなわち、神はご自分の独り子を世に遣わし、彼によってわたしたちが命を得られるようにしてくださったからです。」 (1ヨハネ 4:9)	「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。」 (1ヨハネ 4:9)	In this the love of God was manifested toward us, that God has sent His only begotten Son into the world, that we might live through Him. (1ヨハネ 4:9)
「加えて、わたしたち自身、父がご自分のみ子を世の救い主として遣わされたことを見、[それ]について証しをしています。」 (1ヨハネ 4:14)	「私たちは、御父が御子を世の救い主として遣わされたのを見て、今そのあかしをしています。」 (1ヨハネ 4:14)	And we have seen and testify that the Father has sent the Son as Savior of the world. (1ヨハネ 4:14)
「罪の報いは死ですが、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命だからです。」 (ローマ 6:23)	「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」 (ローマ 6:23)	For the wages of sin is death, but the gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord. (ローマ 6:23)
救いはイエスの犠牲によってのみ可能か？		
「『さらに、ほかのだれにも救いはありません。人々の間に与えられ、わたしたちがそれによって救いを得るべき名は、天の下にほかにないからです。』」 (使徒 4:12)	「『この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。』」 (使徒 4:12)	“Nor is there salvation in any other, for there is no other name under heaven given among men by which we must be saved.” (使徒 4:12)
「臨終の悔い改め」の場合、業をすることは不可能か？		
「わたしの、兄弟たち、ある人が、自分には信仰があると言いつながら、業が伴っていないなら、それは何の益になるでしょうか。その信仰はその人を救うことができないではありませんか。」 (ヤコブ 2:14)	「私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行ないがないなら、何の役にたちましよう。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。」 (ヤコブ 2:14)	What does it profit, my brethren, if someone says he has faith but does not have works? Can faith save him? (ヤコブ 2:14)
「実際に、霊のない体が死んだものであるように、業のない信仰も死んだもののなのです。」 (ヤコブ 2:26)	「たましいを離れたからだは、死んだものであるのと同様に、行ないのない信仰は、死んでいるのです。」 (ヤコブ 2:26)	For as the body without the spirit is dead, so faith without works is dead also. (ヤコブ 2:26)
救いを得るためには精力的に働くことが必要か？		
「さて、ある人が彼に言った、『主よ、救われつつある者は少ないのですか。』[イエス]は彼らにこう言	「すると、『主よ。救われる者は少ないのですか。』と言う人があった。イエスは人々に言われた。『努力して狭い	Then one said to Him, “Lord, are there few who are saved

われた。『狭い戸口を通して入るため、精力的に励みなさい。あなた方に言いますが、入ろうと努めながら、入れない者が多いからです。』」
(ルカ 13:23-24)

「わたしたちはそのために骨折って働き、また努力しているのです。わたしたちは生ける神に希望を託しているからです。〔神〕はあらゆる人、特に、忠実な者の救い主です。」 (1テモテ 4:10)

門からはいりなさい。なぜなら、あなたがたに言いますが、はいろいろとしても、はいれなくなる人が多いのですから。』」 (ルカ 13:23-24)

「私たちがそのために労し、また苦心しているのです。それは、すべての人々、ことに信じる人々の救い主である、生ける神に望みを置いているからです。」 (1テモテ 4:10)

?” And He said to them, “Strive to enter through the narrow gate, for many, I say to you, will seek to enter and will not be able.

(ルカ 13:23-24)

For to this end we both labor and suffer reproach, because we trust in the living God, who is the Savior of all men, especially of those who believe. (1テモテ 4:10)

ロ. 「一度の救いは終生の救い」は非聖書的か？

聖霊にあずかる者も堕落し得るか？

「一度限りの啓発を受け、天からの無償の賜物を味わい、聖霊にあずかる者となり、」
(ヘブル 6:4)

「なおも離れ落ちた者たちについては、そうした者たちを再び悔い改めに戻すことは不可能なのです。なぜなら、彼らは神の子を自分であらためて杭につけ、公の恥にさらしているからです。」
(ヘブル 6:6)

「むしろ、自分の体を打ちたたき、奴隷として引いて行くのです。それは、他の人たちに宣べ伝えておきながら、自分自身が何かのことで非とされるようなことにならないためです。」 (1コリント 9:27)

「一度光を受けて天からの賜物の味を知り、聖霊にあずかる者となり、」 (ヘブル 6:4)

「しかも堕落してしまうならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、恥辱を与える人たちだからです。」 (ヘブル 6:6)

「私は自分の、からだを打ちたたいて従わせます。それは、私がほかの人に宣べ伝えおきながら、自分自身が失格者になるようなことのないためです。」 (1コリント 9:27)

For it is impossible for those who were once enlightened, and have tasted the heavenly gift, and have become partakers of the Holy Spirit, (ヘブル 6:4) if they fall away, to renew them again to repentance, since they crucify again for themselves the Son of God, and put Him to an open shame. (ヘブル 6:6)

But I discipline my body and bring it into subjection, lest, when I have preached to others, I myself should become disqualified.

(1コリント 9:27)

エジプトから救われた多くのイスラエル人も滅びたか？

「あなた方は一度すべてのことを知りましたが、それでもわたしは、あなた方に次のことを思い出させたいのです。それは、エホバが、民をエジプトの地から救い出したにもかかわらず、後に、信仰を示さない者た

「あなたがたは、すべてのことをすっかり知っているにしても、わたしはあなたがたに思い出させたいことがあるのです。それは主が、民をエジプトの地から救い出し、次に、信じない人々を滅ぼされたということです。」

But I want to remind you, though you once knew this, that the Lord, having saved the people out of the land

ちを滅ぼされたということです。」（ユダ 5）

（ユダ 5）

of Egypt, afterward destroyed those who did not believe. (ユダ 5)

救いは即時のものではないか？

「したがって、わたしの愛する者たちよ、あなた方は常に従ってきましたが、つまり、わたしのいる時だけでなく、わたしのいない今はいよいよ進んで【従って】いますが、そのようにして、恐れとおのきをもって自分の救いを達成してゆきなさい。」

（ピリピ 2:12）

「そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であったように、私がいるときだけでなく、私のいない今はおさら、恐れおのいて自分の救いを達成してください。」（ピリピ 2:12）

Therefore, my beloved, as you have always obeyed, not as in my presence only, but now much more in my absence, work out your own salvation with fear and trembling; (ピリピ 2:12)

「わたしがそれをすでに受けたとか、自分がすでに完全にされているとかいうものではありません。わたしはただ、そのためにキリスト・イエスがわたしをとらえてくださったものを、自分がそのとおりとらえ得ないものと追い求めているのです。兄弟たち、わたしはまだ、自分が【それを】とらえたとは考えていません。それについては一つのことがあるのみです。すなわち、後ろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、キリスト・イエスによる神からの賞である上への召しのため、目標に向かってひたすら走っているのです。」（ピリピ 3:12-14）

「わたしは、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして、追求しているのです。そして、それを得るようとキリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕らえたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。」

（ピリピ 3:12-14）

Not that I have already attained, or am already perfected; but I press on, that I may lay hold of that for which Christ Jesus has also laid hold of me.

Brethren, I do not count myself to have apprehended; but one thing I do, forgetting those things which so, every good tree bears are behind and reaching forward to those things which are ahead, I press toward the goal for the prize of the upward call of God in Christ Jesus.

（ピリピ 3:12-14）

「そしてあなた方は、わたしの名のゆえにすべての人の憎しみの的となるでしょう。しかし、終わりまで耐え忍んだ人が救われる者です。」

（マタイ 10:22）

「また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人々に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。」（マタイ 10:22）

“And you will be hated by all for My name’s sake. But he who endures to the end will be saved.”

（マタイ 10:22）

退く者の状態は前よりも悪くなるか？

「確かに、主また救い主なるイエス・キリストについての正確な知識によって世の汚れから逃れた後、再びその同じ事柄に巻き込まれて打ち負かされるなら、そ

「主であり救い主であるイエス・キリストを知ることによって世の汚れからのがれ、その後再びそれに巻き込まれて征服されるなら、そのような人たちの終りの状態は、初

For if, after they have escaped the pollutions of the world through the

の人たちにとって、最終的な状態は最初より悪くなっているのです。彼らにとっては、義の道を正確に知らないでいたほうが、それを正確に知った後、自分に伝えられた聖なるおきてから離れてゆくよりは良かったのです。」（Ⅱペテロ 2:20-21）

めの状態よりもっと悪いものとなります。義の道を知っていながら、自分に伝えられたその聖なる命令にそむくよりは、それを知らなかったほうが、彼らにとってよかったです。」（Ⅱペテロ 2:20-21）

knowledge of the Lord and Savior Jesus Christ, they are again entangled in them and overcome, the latter end is worse for them than the beginning. For it would have been better for them not to have known the way of righteousness, than having known it, to turn from the holy commandment delivered to them.

（Ⅱペテロ 2:20-21）

ハ. 「万民の救い」は非聖書的か？

ある人々にとって悔い改めは不可能か？

「一度限りの啓発を受け、天からの無償の賜物を味わい、聖霊にあずかる者となり、神の優れた言葉と来たるべき事物の体制の力とを味わっておきながら、なおも離れ落ちた者たちについては、そうした者たちを再び悔い改めに戻すことは不可能なのです。なぜなら、彼らは神の子を自分であらためて杭につけ、公の恥にさらしているからです。」（ヘブル 6:4-6）

「一度光を受けて天からの賜物の味を知り、聖霊にあずかる者となり、神の素晴らしいことばと、後にやがて来る世の力とを味わったうえで、しかも墮落してしまうならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、恥辱を与える人たちだからです。」

（ヘブル 6:4-6）

For it is impossible for those who were once enlightened, and have tasted the heavenly gift, and have become partakers of the Holy Spirit, and have tasted the good word of God and the powers of the age to come, if they fall away, to renew them again to repentance, since they crucify again for themselves the Son of God, and put Him to an open shame.

（ヘブル 6:4-6）

神は邪悪な者の死を喜ばれないか？

「彼らに言え、『わたしは生きている』と、主権者なる主エホバはお告げになる、『わたしは、邪悪な者の死ではなく、邪悪なものがその道から立ち返って、実際に生きつつけることを喜ぶ。立ち返れ。あなた方の悪の道から立ち返れ。なぜなら、イスラエルの家よ、どうしてあなた方が死んでよいであろうか。』』」

「彼らにこう言え、『わたしは誓って言う。神である主の御告げ。わたしは決して悪者の死を喜ばない。かえって、悪者がその態度を悔い改めて、生きることが喜ぶ。悔い改めよ。悪の道から立ち返れ。イスラエルの家よ。なぜ、あなたがたは死のうとするのか。』」

（エゼキエル 33:11）

“Say to them: ‘As I live,’ says the Lord God, ‘I have no pleasure in the death of the wicked, but that the wicked turn from his way and live. Turn, turn

<p>(エゼキエル 33:11)</p> <p>「『わたしは死んでゆく者の死を少しも喜ばないからである』と、主権者なる主エホバはお告げになる。</p> <p>『それゆえ、あなた方は〔自分を〕立ち返らせて、生きつづけよ。』』 (エゼキエル 18:32)</p>	<p>「わたしは、だれが死ぬのも喜ばないからだ。</p> <p>神である主の御告げ。 だから、悔い改めて、生きよ。」 (エゼキエル 18:32)</p>	<p>from your evil ways! For why should you die, O house of Israel?’ (エゼキエル 33:11)</p> <p>“For I have no pleasure in the death of one who dies,” says the Lord God.</p> <p>“Therefore turn and live!”</p> <p>(エゼキエル 18:32)</p>
<p>愛は不義を許すことができないか？</p> <p>「『あなたは義を愛し、不法を憎んだ。それゆえに、神、あなたの神は、歡喜の油をあなたの仲間につけてあなたにそそがれた。』」 (ヘブル 1:9)</p>	<p>「『あなたは義を愛し、不正を憎まれます。それゆえ、神よ。あなたの神は、あふれるばかりの喜びの油を、あなたとともに立つ者にまして、あなたに注ぎなさいました。』」 (ヘブル 1:9)</p>	<p>You have loved righteousness and hated lawlessness; Therefore God, Your God, has anointed You With the oil of gladness more than Your companions.</p> <p>(ヘブル 1:9)</p>
<p>邪惡な者は滅ぼされるか？</p> <p>「というのは、真理の正確な知識を受けた後、故意に罪を習わしにするなら、罪のための犠牲はもはや何も残されておらず、むしろ、裁きに対するある種の恐ろしい予期と、逆らう者たちを焼き尽くそうとする火のようねたみとがあるからです。だれでもモーセの律法を無視した者は、二人か三人の証言に基づいて、同情を受けることなく、死にます。では、神の子を踏みつけ、自分がそれによって神聖にされた契約の血をあたりまえのものとみなし、過分のご親切の霊をないがしろにした者は、はるかに厳しい処罰にあ値すると、あなた方は考えないでしょうか。」</p> <p>(ヘブル 10-26-29)</p>	<p>「もし私たちが、真理の知識を受けて後、ことさらに罪を犯し続けるならば、罪のためのいけにえは、もはや残されていません。ただ、さばきと、逆らう人々を焼き滅ぼす激しい火とを、恐れながら待つよりほかはないのです。だれでもモーセの律法を無視する者は、二、三の証人のことに基づいて、あわれみを受けることなく、死刑に処せられます。まして、神の御子を踏みつけ、自分を聖なるものとした契約の血を汚れたものとみなし、恵みの御霊を侮る者は、どんなに重い処罰に値するか、考えてみなさい。」</p> <p>(ヘブル 10-26-29)</p>	<p>For if we sin willfully after we have received the knowledge of the truth, there no longer remains a sacrifice for sins, but a certain fearful expectation of judgment, and fiery indignation which will devour the adversaries. Anyone who has rejected Moses’ law dies without mercy on the testimony of two or three witnesses. Of how much worse punishment, do you suppose, will he be thought worthy who has trampled the Son of God underfoot, counted the blood of the covenant by which he was sanctified a common</p>

「さて、千年が終わると、サタンはすぐにその獄から解放される。彼は出て行って、地の四隅の諸国民、ゴグとマゴグを惑わし、彼らを戦争のために集めるであろう。それらの者の数は海の砂のようである。そして、彼らは地いっばいに広がって進み、聖なる者たちの宿営と愛されている都市を取り囲んだ。しかし、天から火が下って彼らをむさぼり食った。そして、彼らを惑わしていた悪魔は火と硫黄との湖に投げ込まれた。そこは野獣と偽預言者の両方が[すでにいる]ところであった。そして彼らは昼も夜も限りなく永久に責め苦に遭うのである。またわたしは、大きな白い座とそれに座っておられる方とを見た。その方の中から地と天が逃げ去り、それらのための場所は見いだされなかった。そしてわたしは、死んだ者たちが、大いなる者も小いなる者も、そのみ座の前に立っているのを見た。そして、[数々の]巻き物が開かれた。しかし、別の巻き物が開かれた。それは命の巻き物である。そして、死んだ者たちはそれらの巻き者に書かれている事柄により、その行ないにしたがって裁かれた。そして、海はその中の死者を出し、死とハデスもその中の死者を出し、彼らはそれぞれ自分の行ないにしたがって裁かれた。そして、死とハデスは火の湖に投げ込まれた。火の湖、これは第二の死を表わしている。また、だれでも、命の書に書かれていない者は、火の湖に投げ込まれた。」（黙示録 20:7-15）

「しかし千年の終わりに、サタンはその牢から解放され、地の四方にある諸国の民、すなわち、ゴグとマゴグを惑わすために出て行き、戦いのために彼らを召集する。彼らの数は海べの砂のようである。彼らは、地上の広い平地に上って来て、聖徒たちの陣営と愛された都とを取り囲んだ。すると、天から日が降って来て、彼らを焼き尽くした。そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行ないに応じてさばかれた。海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのの自分の行ないに応じてさばかれた。それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。」

（黙示録 20:7-15）

thing, and insulted the Spirit of grace?

（ヘブル 10-26-29）

Now when the thousand years have expired, Satan will be released from his prison and will go out to deceive the nations which are in the four corners of the earth, Gog and Magog, to gather them together to battle, whose number is as the sand of the sea.

They went up on the breadth of the earth and surrounded the camp of the saints and the beloved city. And fire came down from God out of heaven and devoured them.

The devil, who deceived them, was cast into the lake of fire and brimstone where the beast and the false prophet are. And they will be tormented day and night forever and ever.

Then I saw a great white throne and Him who sat on it, from whose face the earth and the heaven fled away. And there was found no place for them. And I saw the dead, small and great, standing before God, and books were opened. And another book was opened, which is the Book of Life. And the dead were judged

according to their works,
by the things which were
written in the books. The
sea gave up the dead who
were in it, and Death and
Hades delivered up the dead
who were in them. And they
were judged, each one
according to his works. Then
Death and Hades were cast
into the lake of fire. This
is the second death. And
anyone not found written in
the Book of Life was cast
into the lake of fire.

(默示录 20:7-15)

27. 聖書

新世界訳

新改訳

英語

イ. 神の言葉は靈感を受けて記されたか？

人は神の聖霊に動かされて書いたか？

「なぜなら、あなた方はまずこのことを知っているからです。つまり、聖書の預言はどれも個人的な解釈からは出ていないということです。預言はどんな時にも人間の意志によってもたらされたものではなく、人が聖霊に導かれつつ、神によって語ったものだからです。」（Ⅱペテロ 1:20-21）

「それには何よりも次のことを知っていなければいけません。すなわち、聖書の預言はみな、私的解釈を施してはならない、ということです。なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。」

（Ⅱペテロ 1:20-21）

knowing this first, that no prophecy of Scripture is of any private interpretation, for prophecy never came by the will of man, but holy men of God spoke as they were moved by the Holy Spirit.

（Ⅱペテロ 1:20-21）

預言を含んでいるか？

「そして、わたしがずっと思い巡らしていると、見よ、一頭の雄のやぎが全地の表を日の沈む方からやって来たが、それは地に触れていなかった。そして、その雄のやぎには、目の間に一本の際立った角があった。そしてそれは、二本の角を、持つ雄羊、水路の前に立っているのをわたしが見たさきの〔雄羊〕のところにやって来た。それは猛烈な怒りを抱いて〔雄羊〕のところに走って来た。」（ダニエル 8:5-6）

「私が注意して見ていると、見よ、一頭の雄やぎが、地には触れずに、全土を飛び回って、西からやって来た。その雄やぎには、目と目の間に、著しく目だつ一本の角があった。この雄やぎは、川岸に立っているのを私がみたあの二本の角を持つ雄羊に向かって来て、勢い激しく、これに走り寄った。」（ダニエル 8:5-6）

And as I was considering, suddenly a male goat came from the west, across the surface of the whole earth, without touching the ground; and the goat had a notable horn between his eyes. Then he came to the ram that had two horns, which I had seen standing beside the river, and ran at him with furious power. (ダニエル 8:5-6)

「『あなたが見た二本の角のある雄羊はメディアとペルシャの王を表わしている』。また、毛深い雄やぎはギリシャの王を表わしている。その目の間にあった大いなる角、それはその第一の王である。また、それが折れて、その代わりについに四本の〔角〕が立ち上がったが、〔彼の〕国から四つの王国が立つことになる。しかし、彼ほどの力はない。』」

（ダニエル 8:20-22）

「あなたが見た雄羊の持つあの二本の角は、メディアとペルシャの王である。毛深い雄やぎはギリシャの王であって、その目と目の間にある大きな角は、その第一の王である。その角が折れて、代わりに四本の角が生えたが、それは、その国から四つの国が起こることである。しかし、第一の王のような勢力はない。」

（ダニエル 8:20-22）

“The ram which you saw, having the two horns—they are the kings of Media and Persia. And the male goat is the kingdom of Greece. The large horn that is between its eyes is the first king. As for the broken horn and the four that stood up in its place, four kingdoms shall arise out of that nation, but

「後に、ある者たちが、神殿に関し、それがりっぱな石や献納物で飾られていることについて話していたところ、[イエス]はこう言われた。『あなた方が見入っているこれらの物について言えば、石が一つとしてこのまま石の上に残らず、[すべてが]崩されてしまう日が来ます。』」 (ルカ 21:5-6)

「『また、エルサレムが野営を張った軍隊に囲まれるのを見たなら、その時、その荒廃が近づいたことを知りなさい。その時、ユダヤにいる者は山に逃げはじめなさい。[都]の中にいる者はそこを出なさい。田舎にいる者は[都]の中に入ってはなりません。なぜなら、これは処断の日であり、それによって、書かれていることのすべてが成就するのです。』」 (ルカ 21:20-22)

「エホバは、その油そそがれた者キロスにこのように言われた。わたしはその右手を取った。それは、彼の前に二枚扉を開いて、門が閉じられないようにするためである。『わたし自らあなたの前を行き、地盤の高みをまっすぐにする。わたしは銅の扉を粉々に碎き、鉄のかんぬきを切り落とす。そして、わたしは闇の中野財宝と、隠れ場所の隠された財宝とをあなたに与える。それは、わたしが[あなたを]あなたの名によって呼ぶ者、イスラエルの神、エホバであることをあなたが知るためである。わたしの僕ヤコブとわたしの選んだ道イスラエルのために、わたしはあなたをあなたの名によって呼ぶようになった。あなたはわたしを知らなかったが、わたしはあなたに誉れある名を与

「宮がすばらしい石や奉納物で飾ってあると話していた人々があった。するとイエスはこう言われた。『あなたがたのしているこれらの物について言えば、石がくずされずに積まれたまま残ることのない日がやって来ます。』」 (ルカ 21:5-6)

「しかし、エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、そのときには、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。そのとき、ユダヤにいる人々は、そこから立ちのきなさい。いなかにいる者たちは、都にはいつてはいけません。これは、書かれているすべてのことが成就する報復の日だからです。』」 (ルカ 21:20-22)

「主は、油注がれた者クロスに、こう仰せられた。『わたしは彼の右手を握り、彼の前に諸国を下らせ、王たちの腰の帯を解き、彼の前にとびらを開いて、その門を閉じさせないようにする。わたしはあなたの前に進んで、陰い地を平らにし、青銅のとびらを打ち碎き、鉄のかんぬきをへし折る。わたしは秘められている財宝と、ひそかな所の隠された宝をあなたに与える。それは、わたしが主であり、あなたの名を呼ぶ者、イスラエルの神であることをあなたが知るためだ。わたしのしもべヤコブ、わたしを選んだイスラエルのために、わたしはあなたをあなたの名で呼ぶ。あなたはわたしを知らないが、わたしはあなたに肩書を与える。』」 (イザヤ 45:1-4)

not with its power.”

(ダニエル 8:20-22)

Then, as some spoke of the temple, how it was adorned with beautiful stones and donations, He said, “These things which you see—the days will come in which not one stone shall be left upon another that shall not be thrown down.”

(ルカ 21:5-6)

“But when you see Jerusalem surrounded by armies, then know that its desolation is near. Then let those who are in Judea flee to the mountains, let those who are in the midst of her depart, and let not those who are in the country enter her. For these are the days of vengeance, that all things which are written may be fulfilled. (ルカ 21:20-22)

“Thus says the Lord to His anointed, To Cyrus, whose right hand I have held—To subdue nations before him the double doors, So that the gates will not be shut: ‘I will go before you And make the crooked places straight ;I will break in pieces the gates of bronze And cut the bars of iron. I will give you the treasures of darkness And hidden riches

えるようになった。』」（イザヤ 45:1-4）

of secret places, That you
may know that I, the Lord,
Who call you by your name,
Am the God of Israel. For
Jacob My servant's sake, And
Israel My elect, I have even
called you by your name;
I have name; I have named
you, though you have not
known Me. (イザヤ 45:1-4)

聖書全体は神の靈感を受けたもので有益か？

「聖書全体は神の靈感を受けたもので、教え、戒め、物事を正し、義にそって訓育するのに有益です。それは、神の人が十分な能力を備え、あらゆる良い業に対して全く整えられた者となるためです。」

(Ⅱテモテ 3:16-17)

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」（Ⅱテモテ 3:16-17）

All Scripture is given by
inspiration of God, and is
profitable for doctrine,
for reproof, for correction,
for instruction in
righteousness, that the man
of God may be complete,
thoroughly equipped for
are behind and reaching
every good work.

(Ⅱテモテ 3:16-17)

「以前に書かれた事柄は皆わたしたちの教えのために書かれたのであり、それは、わたしたちが忍耐と聖書からの慰めとによって希望を持つためです。」

(ローマ 15:4)

「昔書かれたものは、すべて私たちに教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える忍耐と励ましによって、希望を持たせるためなのです。」（ローマ 15:4）

For whatever things were
written before were written
for our learning, that we
through the patience and
comfort of the Scriptures
might have hope.

(ローマ 15:4)

ロ. 今の時代に役立つ導きは？

聖書の原則を無視すると致命的な結果になるか？

「そして、ちょうど彼らが正確な知識をもって神を奉ずることをよしとはしなかったように、神も彼らを非とされた精神状態に渡して 不適当な事柄を行なうにまかされました。彼らがあらゆる不義・邪悪・強欲・悪に満たされ、ねたみ・殺人・闘争・欺まん・悪念に満ち、ささやく者、陰口をさく者、神を憎む者で不遜、ごう慢、またうぬぼれが強く、有害な事柄を考え出

「また、彼らが神を知ろうとしがらないので、神は彼らを良くない思いに引き渡され、そのため彼らは、してはならないことをするようになりました。彼らは、あらゆる不義と悪とむさぼりと悪意に満ちた者、ねたみと殺意と争いと欺きと悪だくみとでいっぱいになった者、陰口を言う者、そして、神を憎む者、人を人と思わぬ者、高ぶる者、大言壮語する者、悪事をたくらむ者、親に逆らう者、わき

And even as they did not
like to retain God in their
knowledge, God gave them
over to a debased mind, to
do those things which are
not fitting; being filled
with all unrighteousness,

す者、親に不従順な者であり、理解力がなく、合意したことに不誠実で、自然の情愛を持たず、憐れみのない者であったからです。こうした事を習わしにする者は死に価するという、神の義なる定めを十分に知りながら、彼らはそれを行ないつづけるだけでなく、それを習わしにする者たちに同意を与えてもいるのです。」（ローマ 1:28-32）

まえない者、約束を破る者、情け知らずの者、慈愛のない者です。彼らは、そのようなことを行なえば、死罪に当たるという神の定めを知っていながら、それを行なっているだけでなく、それを行なう者に心から同意しているのです。」（ローマ 1:28-32）

sexual immorality, wickedness, covetousness, maliciousness; full of envy, murder, strife, deceit, evil-mindedness; they are whisperers, backbiters, haters of God, violent, proud, boasters, inventors of evil things, disobedient to parents, undiscerning, untrustworthy, unloving, unforgiving, unmerciful; who, knowing the righteous judgment of God, that those who practice such things are deserving of death, not only do the same but also approve of those who practice them.

（ローマ 1:28-32）

人間の知恵は聖書に代わるものではないか？

「神の知恵によることでしたが、世はその知恵を通して神を知るに至らなかったため、神は宣べ伝えられる事柄の愚かさを通して、信じる者を救うことをよしとされたのです。」（1コリント 1:21）

「事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。」（1コリント 1:21）

For since, in the wisdom of God, the world through wisdom did not know God, it pleased God through the foolishness of the message preached to save those who believe. (1コリント 1:21)

「神の愚かな事柄は人間より賢く、神の弱い事柄は人間より強いからです。」（1コリント 1:25）

「なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強い強いからです。」（1コリント 1:25）

Because the foolishness of God is wiser than men, and the weakness of God is stronger than men.

（1コリント 1:25）

「テモテよ、あなたに託されているものを守り、聖なる事柄を汚すむだ話や、誤って『知識』となえられているものによる反対論から離れなさい。」

（1テモテ 6:20）

「テモテよ。ゆだねられたものを守りなさい。そして、俗悪なむだ話、また、まちがって、『霊知』と呼ばれる反対論を避けなさい。」（1テモテ 6:20）

O Timothy! Guard what was committed to your trust, avoiding the profane and idle babblings and contradictions of what is

		falsely called knowledge-	(Iテモテ 6:20)
どんなに強い敵に対しても身の守りか？			
「悪魔の策略にしっかり立ち向かえるように、完全にそろった、神からの武具を身に着けなさい。わたしたちのする格闘は、血肉に対するものではなく、もろもろの政府と権威、またこの世の支配者たちと、天の場所にある邪悪な霊の勢力に対するものだからです。」 (エペソ 6:11-12)	「悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身に着けなさい。私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。」 (エペソ 6:11-12)	Put on the whole armor of God, that you may be able to stand against the wiles of the devil. For we do not wrestle against flesh and blood, but against principalities, against powers, against the rulers of the darkness of this age, against spiritual hosts of wickedness in the heavenly places. (エペソ 6:11-12)	
「また、救いのかぶと、それに霊の剣、すなわち神の言葉を受け取りなさい。」 (エペソ 6:17)	「救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。」 (エペソ 6:17)	And take the helmet of salvation, and the sword of the Spirit, which is the word of God; (エペソ 6:17)	
人間を正しい道に導くか？			
「あなたのみ言葉はわたしの足のともしび、わたしの通り道の光です。」 (詩篇 119:105)	「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」 (詩篇 119:105)	Your word is a lamp to my feet And a light to my path.	(詩篇 119:105)
「したがって、わたしたちにとって預言の言葉はいつも確かなものとなりました。そしてあなた方が、夜があけて明けの明星が上るまで、暗い所に輝くともしびのように、心の中でそれに注意を払っているのはよいことです。」 (IIペテロ 1:19)	「また、私たちは、さらに確かな予言のみことばを持っています。夜明けとなって、明けの明星があなたがたの心の中に上るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。」 (IIペテロ 1:19)	And so we have the prophetic word confirmed, which you do well to heed as a light that shines in a dark place, until the day dawns and the morning star rises in your hearts;	(IIペテロ 1:19)
「心をつくしてエホバに依り頼め。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において[神]を認めよ。そうすれば、[神]ご自身があなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」 (箴言 3:5-6)	「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」 (箴言 3:5-6)	Trust in the Lord with all your heart, And lean not on your own understanding; In all your ways acknowledge Him, And He shall direct your paths. (箴言 3:5-6)	

ハ. あらゆる国や人種の人のために書かれたか？

聖書は東洋で書き始められたか？

「その時エホバはモーセに言われた、『これを記録として書の中に記し、またヨシュアの耳にも説き聞かせよ。『わたしはアマレクに関する記憶を天の下から全くぬぐい去る』と。』」

(出エジプト 17:14)

「次いでエホバはモーセにこう言われた。『山の中のわたしのもとに上って来て、そこにとどまりなさい。わたしは石の書き板と律法とおきてとをあなたに与えたいのである。それは、彼らを教えるためにわたしが書き記さねばならないものである。』」

(出エジプト 24:12)

「そして、エホバの栄光がずっとシナイ山の上にとどまり、雲は六日の間そこを覆ったままであった。ついに七日目になって、[神]は雲の中からモーセに呼びかけられた。」 (出エジプト 24:6)

「エホバは続いてモーセに言われた、『あなたのためにこれらの言葉を書き記しなさい。これらの言葉のとおり、わたしはあなたおよびイスラエルと契約を結ぶからである。』」 (出エジプト 34:27)

「主はモーセに仰せられた。『このことを記録として、書き物に書きしるし、ヨシュアに読んで聞かせよ。わたしはアマレクの記憶を天の下から完全に消し去ってしまう。』」 (出エジプト 17:14)

「主はモーセに仰せられた。『山へ行き、わたしのところの上り、そこにおれ。彼らを教えるために、わたしが書きしるしたおしえと命令の板をあなたに授けよう。』」

(出エジプト 24:12)

「主の栄光はシナイ山の上にとどまり、雲は六日間、山をおおっていた。七日目に主は雲の中からモーセを呼ばれた。」 (出エジプト 24:6)

「主はモーセに仰せられた。『これらのことばを書きしるせ。わたしはこれらのことばによって、あなたと、またイスラエルと契約を結んだのである。』」

(出エジプト 34:27)

Then the Lord said to Moses, "Write this for a memorial in the book and recount it in the hearing of Joshua, that I will utterly blot out the remembrance of Amalek from under heaven."

(出エジプト 17:14)

Then the Lord said to Moses, "Come up to Me on the mountain and be there; and I will give you tablets of stone, and the law and commandments which I have written, that you may teach them." (出エジプト 24:12)

Now the glory of the Lord rested on Mount Sinai, and the cloud covered it six days. And on the seventh day He called to Moses out of the midst of the cloud.

(出エジプト 24:6)

Then the Lord said to Moses, "Write these words, for according to the tenor of these words I have made a covenant with you and with Israel."

(出エジプト 34:27)

神のご準備はヨーロッパ人のためだけではないか？

「聖書は、『彼に信仰を置く者はだれも失望させられない』と言っています。ユダヤ人とギリシャ人の間に差別はないからです。すべての者に対して豊かなのです。『エホバの名を呼び求める者はみな救われる』のです。」 (ローマ 10:11-13)

「聖書はこう言っています。『彼に信頼する者は、失望させられることがない。』ユダヤ人とギリシャ人との区別はありません。同じ主が、すべての人の主であり、主を呼び求めるすべての人に対して恵み深くあらわれるからです。『主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。』のです。」 (ローマ 10:11-13)

For the Scripture says, "Whoever believes on Him will not be put to shame." For there is no distinction between Jew and Greek, for the same Lord over all is

「ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男性も女性もありません。あなた方は皆キリスト・イエスと結ばれて一人の〔人〕となっているからです。」（ガラテヤ 3:28）

「ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。」（ガラテヤ 3:28）

rich to all who call upon Him. For “whoever calls on the name of the Lord shall be saved.”（ローマ 10:11-13）
There is neither Jew nor Greek, there is neither slave nor free, there is neither male nor female; for you are all one in Christ Jesus.（ガラテヤ 3:28）

神はあらゆる種類の人を受け入れるか？

「そこでペテロは口を開いてこう言った。『わたしは、神が不公平な方ではなく、どの国民でも、〔神〕を恐れ、義を行なう人は〔神〕に受け入れられるのだということがはっきり分かります。』」（使徒 10:34-35）

「そこでペテロは、口を開いてこう言った。『これで私は、はっきりわかりました。神はかたよったことをなさらず、どの国の人であっても、神を恐れかしこみ、正義を行なう人なら、神に受け入れられるのです。』」（使徒 10:34-35）

Then Peter opened his mouth and said: “In truth I perceive that God shows no partiality. “But in every nation whoever fears Him and works righteousness is accepted by Him.

（使徒 10:34-35）

「そして、霊と花嫁は、『来なさい!』と言いつける。そして、だれでも聞く者は、『来なさい!』と言いなさい。そして、だれでも渴いている者は、来なさい。だれでも望む者は命の水を価なくして受けなさい。」（黙示録 22:17）

「御霊も花嫁も言う。『来てください。』これを聞く者は、『来てください。』と言いなさい。渴く者は来なさい。いのちの水がほしい者は、それをただで受けなさい。」（黙示録 22:17）

And the Spirit and the bride say, “Come!” And let him who hears say, “Come!” And let him who thirsts come. Whoever desires, let him take the water of life freely.（黙示録 22:17）

「これらのことの後、わたしが見ると、見よ、すべての国民と部族と民と国語の中から来た、だれも数えつくすことのできない大群衆が、白くて長い衣を着て、み座の前と子羊の前に立っていた。彼らの手には、やしの枝があった。そして大声でこう叫びつづける。『救いは、み座に座っておられるわたしたちの神と、子羊とに〔よります〕。』」（黙示録 7:9-10）

「その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立っていた。彼らは、大声で叫んで言った。『救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある。』」（黙示録 7:9-10）

After these things I looked, and behold, a great multitude which no one could number, of all nations, tribes, peoples and tongues, standing before the throne and before the Lamb, clothed with white robes, with palm branches in their hands, and crying out with a loud voice, saying, “Salvation belongs to our

God who sits on the throne,
and to the Lamb!"

(默示录 7:9-10)

28. 先祖崇拜

新世界訳	新改訳	英語
イ. 先祖崇拜は空しいか？		
先祖は死んで無意識か？		
「生きている者は自分が死ぬことを知っている。しかし、死んだ者には何の意識もなく、彼らはもはや報いを受けることもない。なぜなら、彼らの記憶は忘れ去られたからである。」（伝道者の書 9:5）	「生きている者は自分が死ぬことを知っているが、死んだ者は何も知らない。彼らには、もはや何の報いもなく、彼らの呼び名も忘れられる。」（伝道者の書 9:5）	For the living know that they will die; But the dead know nothing, And they have no more reward, For the memory of them is forgotten. (伝道者の書 9:5)
「あなたの手のなし得るすべてのことを力の限り尽くして行なえ。シェオル、すなわちあなたの行こうとしている場所には、業も企ても知識も知恵もないからである。」（伝道者の書 9:10）	「あなたの手元にあるなすべきことはみな、自分の力でなさい。あなたが行こうとしているよみには、働きも企ても知識も知恵もないからだ。」 (伝道者の書 9:10)	Whatever your hand finds to do, do it with your might; for there is no work or device or knowledge or wisdom in the grave where you are going. (伝道者の書 9:10)
最初の先祖は崇拜に値しないか？		
「それゆえ、一人の人を通して罪が世に入り、罪を通して死が[入り]、こうして死が、すべて[の人]が罪をおかしたがゆえにすべての人に広がったのと同じように。」（ローマ 5:12）	「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、それというのも全人類が罪を犯したからです。」（ローマ 5:12）	Therefore, just as through one man sin entered the world, and death through sin, and thus death spread to all men, because all sinned- (ローマ 5:12)
「それにもかかわらず、死はアダムからモーセに至るまで、アダムの違反と同様の罪をおかさなかった者に対しても王として支配しました。[アダム]は来たるべき方と類似していました。」 (ローマ 5:14)	「ところが死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じように罪は犯さなかった人々をさえ支配しました。アダムはきたるべき方のひな型です。」 (ローマ 5:14)	Nevertheless death reigned from Adam to Moses, even over those who had not sinned according to the likeness of the transgression of Adam, who is a type of Him who was to come. (ローマ 5:14)
「また、アダムは欺かれませんでした。女は全く欺かれて違反に至ったのです。」 (1テモテ 2:14)	「また、アダムは惑わされなかったが、女は惑わされてしまい、あやまちを犯しました。」 (1テモテ 2:14)	The name of the third river is Hiddekel; it is the one which goes toward the east of Assyria. The fourth river is the Euphrates. (1テモテ 2:14)

神は先祖崇拜を禁じているか？

「あなたはほかの神に平伏してはならないからである。エホバは、その名をねたむといひ、ねたむ神だからである。」（出エジプト 34:14）

「あなたはほかの神を拝んではならないからである。その名がねたみである主は、ねたむ神であるから。」（出エジプト 34:14）

’ (for you shall worship no other god, for the Lord, whose name is Jealous, is a jealous God),’

（出エジプト 34:14）

「その時、イエスは彼に言われた、『サタンよ、離れ去れ！ 『あなたの神エホバをあなたは崇拜しなければならず、この方だけに神聖な奉仕をささげなければならない』と書いてあるのです。』」

（マタイ 4:10）

「イエスは言われた、『引き下がれ、サタン。『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ。』と書いてある。』」（マタイ 4:10）

Then Jesus said to him, “Away with you, Satan! For it is written, ’You shall worship the Lord your God, and Him only you shall serve.’ ”（マタイ 4:10）

ロ．人を敬うことは良いが、崇拜は神に対してのみか？

若い人は年長の人を敬うべきか？

「年長の男子を厳しく批判してはなりません。むしろ、父親に対するように懇願し、若い男子には兄弟に対するように、年長の婦人には母親に対するように、若い婦人には姉妹に対するように貞潔をつくして[当たり]なさい。」（1テモテ 5:1-2）

（ルカ 21:20-22）

「年寄りをしかってはいけません。むしろ、父親に対するように勧めなさい。若い人たちには兄弟に対するように、年とった婦人たちには母親に対するように、若い女たちには真に混じりけのない心で姉妹に対するように勧めなさい。」（1テモテ 5:1-2）

This is the book of the genealogy of Adam. In the day that God created man, He made him in the likeness of God. He created them male and female, and blessed them and called them Mankind in the day they were created.（1テモテ 5:1-2）

「りっぱに主宰の任を果たす年長者たち、とりわけ、話すことや教えることに骨折っている人たちを、二倍の誉れに値するものとみなしなさい。」

（1テモテ 5:17）

「よく指導の任に当たっている長老は、二重に尊敬を受けるにふさわしいとしなさい。みことばと教えのためにほおっている長老は特にそうです。」

（1テモテ 5:17）

So all the days of Mahalalel were eight hundred and ninety-five years; and he died.（1テモテ 5:17）

「子供たちよ主と結ばれたあなたの方の親に従順でありなさい。これは義にかなったことなのです。『あなたの父と母を敬いなさい』とあり、これは約束を伴った最初の命令です。すなわち、『それはあなたがたにとって物事が良く運び、あなたが地上で生き永らえるためである。』」（エペソ 6:1-3）

「子どもたちよ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。『あなたの父と母を敬え。』これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。すなわち、『そうしたら、あなたはしあわせになり、地上で長生きする。』という約束です。」（エペソ 6:1-3）

Children, obey your parents in the Lord, for this is right. “Honor your father and mother,” which is the first commandment with promise: “that it may be well with you and you may live long on the earth.”

（エペソ 6:1-3）

神だけが崇拜されるべきか？

「ペテロが入ると、コルネリオは彼を出迎え、その足

「ペテロが着くと、コルネリオは出迎えて、彼の足もとに

As Peter was coming in,

もとにひれ伏して敬意をささげた。しかし、ペテロは彼の身を起こして言った、『立ちなさい。私も人間です。』」（使徒 10:25-26）

「さて、わたしヨハネはこれらのことを聞き、また見た者である。そしてわたしは、聞いたり見たりすることを〔終えた〕時、これらのことをわたしに示してくれたみ使いの足もとにひれ伏して崇拜しようとした。しかし、彼はわたしに言う、『気をつけなさい！ そうしてはなりません！ わたしは、あなた、また預言者であるあなたの兄弟たち、そしてこの巻き物の言葉を守り行っている者たちの仲間の奴隷にすぎません。神を崇拜しなさい。』」

（黙示録 22:8-9）

ひれ伏して拜んだ。するとペテロは彼を起こして、『お立ちなさい。私もひとりの人間です。』と言った。」（使徒 10:25-26）

「これらのことを聞き、また見たのは私ヨハネである。私が聞き、また見たとき、それらのことを示してくれた御使いの足もとに、ひれ伏して拜もうとした。すると、彼は私に言った。『やめなさい。私は、あなたや、あなたの兄弟である預言者たちや、この書のことばを堅く守る人々と同じしもべです。神を拜みなさい。』」（黙示録 22:8-9）

Cornelius met him and fell down at his feet and worshiped him. But Peter lifted him up, saying, “stand up; I myself am also a man.”（使徒 10:25-26）
Now I, John, saw and heard these things. And when I heard and saw, I fell down to worship before the feet of the angel who showed me these things. Then he said to me, “See that you do not do that. For I am your fellow servant, and of your brethren the prophets, and of those who keep the words of this book. Worship God.”

（黙示録 22:8-9）

29. 像

新世界訳	新改訳	英語
イ. 崇拝に像を使用するのは神の誉れをそぐことか？		
神の像を作ることは不可能か？		
「いまだれも神を見たことはありません。わたしたちがこれからも互いに愛し合ってゆくなら、神はわたしたちのうちにとどまってくださり、その愛はわたしたちのうちに全うされるのです。」 (イヨハネ 4:12)	「いまだかつて、だれも神を見た者はありません。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにおられ、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。」 (イヨハネ 4:12)	No one has seen God at any time. If we love one another, God abides in us, and His love has been perfected in us. (イヨハネ 4:12)
「それで、あなた方は神をだれに例えることができるのか。どんな似た様をそのすぐそばに置くことができるのか。」 (イザヤ 40:18)	「あなたがたは、神をだれになぞらえ、神をどんな似姿に似せようとするのか。」 (イザヤ 40:18)	To whom then will you liken God? Or what likeness will you compare to Him? (イザヤ 40:18)
「『あなた方はわたしをだれに例え、[だれに] たぐえ、[だれに] 比べて、我々は互いに似ているというのか。』 (イザヤ 46:5)	「わたしをだれになぞらえて比べ、わたしをだれと並べて、なぞらえるのか。」 (イザヤ 46:5)	“To whom will you liken Me, and make Me equal And compare Me, that we should be alike?” (イザヤ 46:5)
「『したがって、わたしたちは神の子孫のですから、神たる者を金や銀や石、人間の技巧や考案によって彫刻されたもののように思ふべきではありません。』 (使徒 17:29)	「そのように私たちは神の子孫ですから、神を、人間の技術や工夫で造った金や銀や石などの像と同じものと考えてはいけません。」 (使徒 17:29)	“Therefore, since we are the offspring of God, we ought not to think that the Divine Nature is like gold or silver or stone, something shaped by art and man’s devising.” (使徒 17:29)
クリスチャンは偶像を避けるよう警告されているか？		
「ですから、わたしの愛する人たち、偶像礼拝から逃げ去りなさい。」 (イコリント 10:14)	「ですから、私の愛する者たちよ。偶像礼拝を避けなさい。」 (イコリント 10:14)	Therefore, my beloved, flee from idolatry. (イコリント 10:14)
「子供らよ、自分を偶像から守りなさい。」 (イヨハネ 5:21)	「子どもたちよ。偶像を警戒しなさい。」 (イヨハネ 5:21)	Little children, keep yourselves from idols. Amen. (イヨハネ 5:21)
霊と真理をもって神を崇拝しなければならないか？		
「『神は霊であられるので、[神]を崇拝する者も霊と真理をもって崇拝しなければなりません。』」 (ヨハネ 4:24)	「『神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。』」 (ヨハネ 4:24)	“God is Spirit, and those who worship Him must worship in spirit and truth.” (ヨハネ 4:24)

ロ．像を用いる崇拜はイスラエル国民の滅びを招いたか？

像の崇拜はユダヤ人に禁じられたか？

「『あなたは自分のために、上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水の中にあるものに似せたいかなる彫刻像や形も作ってはならない。それに身をかがめてはならず、さそわれてそれに仕えてもならない。あなたの神であるわたしエホバは全き専心を要求する神であり、わたしを憎む者については父のとがに対する処罰を子にもたらして三代、四代に及ぼし、』（出エジプト 20:4-5）

「あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形も造ってはならない。それらを拝んではならないそれらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、」

（出エジプト 20:4-5）

“You shall not make for yourself a carved image, or any likeness of anything that is in heaven above, or that is in the earth beneath, or that is in the water under the earth; you shall not bow down to them nor serve them. For I, the Lord your God, am a jealous God, visiting the iniquity of the fathers on the children to the third and fourth generations of those who hate Me,

（出エジプト 20:4-5）

聞くことも話すこともできなく、作る者もそれに等しいか？

「彼らの偶像は銀や金であり地の人の手の業である。口はあっても、話すことはできない。目はあっても、見ることはできない。耳はあっても、聞くことはできない。鼻はあっても、かぐことはできない。手を持つてはいても、触ることはできない。足を持つてはいても、歩くことはできない。のどを使って声を出すわけでもない。これを作る者たちはまさしくこれと同じようになる。すべてこれに依り頼んでいる者たちは、」（詩篇 115:4-8）

「彼らの偶像は銀や金で、人の手のわざである。口があっても語れず、目があっても見えない。耳があっても聞こえず、鼻があってもかぎえない。手があってもさわれず、足があっても歩けない。のどがあっても声をたてることもできない。これを造る者も、これに信頼する者もみな、これと同じである。」（詩篇 115:4-8）

Their idols are silver and gold, The work of men's hands. They have mouths, but they do not speak; Eyes they have, but they do not see; They have ears, but they do not hear; Noses they have, but they do not smell; They have hands, but they do not handle; Feet they have, but they do not walk; Nor do they mutter through their throat. Those who make them are like them; So is everyone who trusts in them. （詩篇 115:4-8）

わなとなり、滅びをもたらしただけか？

「また、その偶像に仕えつづけ、それらは彼らにとつてわなとなりました。」（詩篇 106:36）

「その偶像に仕えた。それが彼らに、わなであった。」

（詩篇 106:36）

They served their idols, Which became a snare to

「それで、エホバの怒りがその民に対して燃え上がり、〔神〕はご自分の相続物を忌むようになりました。そして、彼らを繰り返して諸国民の手に渡されました。彼らを憎む者たちが彼らを支配し、敵が彼らを虐げ、彼らがその者たちの手の下に従えられるためでした。」（詩篇 106:40-42）

「それゆえ、主の怒りは御民に向かって燃え上がり、ご自分のものである民を忌みきらわれた。それで彼らを国々の手に渡し、彼らを憎む者たちが彼らを支配した。敵どもは彼らをしいたげ、その力のもとに彼らは征服された。」（詩篇 106:40-42）

them. (詩篇 106:36)
Therefore the wrath of the Lord was kindled against His people, So that He abhorred His own inheritance . And He gave them into the hand of the Gentiles, And those who hated them ruled over them. Their enemies also oppressed them, And they were brought into subjection under their hand.

(詩篇 106:40-42)

「『そして、多くの国の民は実際にこの都市のそばを通って、互いに言うであろう。『エホバはなぜこの大いなる都市にこのようになさったのだろう。』そして彼らはこう言わざるを得なくなる。『彼らが自分たちの神エホバの契約を捨てて、ほかの神々に身をかがめ、これに仕えるようになったからだ。』』」（エレミヤ 22:8-9）

「『多くの国々の民がこの町のそばを過ぎ、彼らが互いに、『なぜ、主はこの大きな町をこのようにしたのだろう。』と言うと、人々は、『彼らが彼らの神、主の契約を捨て、ほかの神々を拝み、これに仕えたからだ。』と言おう。』」（エレミヤ 22:8-9）

“And many nations will pass by this city; and everyone will say to his neighbor, ‘Why has the Lord done so to this great city?’ Then they will answer, ‘Because they have forsaken the covenant of the Lord their God, and worshiped other gods and served them.’ ”

(エレミヤ 22:8-9)

ハ。「相対的な」崇拜も許されないか？

神はご自身に対する「相対的な」崇拜を許されなかったか？

「『わたしはエホバである。それがわたしの名である。わたしはわたしの栄光をほかのだれにも与えず、わたしの賛美を彫像に〔与える〕こともしない。』」（イザヤ 42:8）

「わたしは主、これがわたしの名。わたしの栄光を他の者に、わたしの栄光を刻んだ像どもに与えはしない。」（イザヤ 42:8）

I am the Lord, that is My name; And My glory I will not give to another, Nor My praise to carved images.

(イザヤ 42:8)

神だけが「祈りを聞かれる方」か？

「神よ、あなたのために賛美が——沈黙が——シオンにあります。誓約はあなたに対して果たされます。祈りを聞かれる方よ、あなたのもとに、すべての肉なる者は来るのです。」（詩篇 65:1-2）

「神よ。あなたの御前には静けさがあり、シオンには賛美があります。あなたに地階が果たされますように。祈りを聞かれる方よ。みもとにすべての肉なる者が参ります。」（詩篇 65:1-2）

Praise is awaiting You, O God, in Zion; And to You the vow shall be performed. O You who hear prayer, To You all flesh will come.

(詩篇 65:1-2)

30. 倉り造

新世界訳

新改訳

英語

イ. 立証された科学と一致するか？ 進化論の誤りを証明するか？

創造の順序は科学と一致するか？

「次いで神は言われた、『地は草を、種を結ぶ草木を、種が中にある果実をその種類にしたがって産する果実の木を、地の上に生え出させるように。』するとそのようになった。そして地は草を、その種類にしたがって種が中にあるものを出すようになった。それから神は、[それを]良いとご覧になった。」
(創世記 1:11-12)

「神が、『地は植物、種を生じる草、種類にしたがって、その中に種のある実を結ぶ果樹を地の上に芽生えさせよ。』と仰せられると、そのようになった。それで、地は植物、おのおのその種類にしたがって、その中に種のある実を結ぶ木を生じた。神は見て、それをよしとされた。」
(創世記 1:11-12)

Then God said, "Let the earth bring forth grass, the herb that yields seed, and the fruit tree that yields fruit according to its kind, whose seed is in itself, on the earth"; and it was so. And the earth brought forth grass, the herb that yields seed according to its kind, and the tree that yields fruit, whose seed is in itself according to its kind. And God saw that it was good.

(創世記 1:11-12)

「そうして神は大きな海の巨獣と動き回るあらゆる生きた魂、すなわち水がその種類にしたがって群がり出せるもの、また翼のあらゆる飛ぶ生き物をその種類にしたがって創造してゆかれた。そして神は[それを]良いとご覧になった。」 (創世記 1:21)

「それで神は、海の巨獣と、その種類にしたがって、水に群がりうごめくすべての生き物と、その種類にしたがって、翼のあるすべての鳥を創造された。神は見て、それをよしとされた。」 (創世記 1:21)

And the Lord God caused a deep sleep to fall on Adam, and he slept; and He took one of his ribs, and closed up the flesh in its place.

(創世記 1:21)

「次いで神は言われた、『地は生きた魂をその種類にしたがい、家畜と動く生き物と地の野獣をその種類にしたがって出すように。』するとそのようになった。そして神は、地の野獣をその種類にしたがい、家畜をその種類にしたがい、地面のあらゆる動く生き物をその種類にしたがって造ってゆかれた。そして神は[それを]良いとご覧になった。」
(創世記 1:24-25)

「ついで神は『地は、その種類にしたがって、生き物、家畜や、はうもの、その種類にしたがって野の獣を生ぜよ。』と仰せられた。するとそのようになった。神は、その種類にしたがって野の獣、その種類にしたがって家畜、その種類にしたがって地のすべてのはうものを造られた。神は見て、それをよしとされた。」
(創世記 1:24-25)

Therefore a man shall leave his father and mother and be joined to his wife, and they shall become one flesh. And they were both naked, the man and his wife, and were not ashamed.

(創世記 1:24-25)

「種類」について神が定めた法則は真実であるか？

「次いで神は言われた、『地は草を、種を結ぶ草木を、種が中にある果実をその種類にしたがって産する果実の木を、地の上に生え出させるように。』するとそ

「神が、『地は植物、種を生じる草、種類にしたがって、その中に種のある実を結ぶ果樹を地の上に芽生えさせよ。』と仰せられると、そのようになった。それで、地は植物

Then God said, "Let the earth bring forth grass, the herb that yields seed,

<p>のようになった。そして地は草を、その種類にしたがって種が中にあるものを出すようになった。それから神は、[それを] 良いとご覧になった。」</p> <p>(創世記 1:11-12)</p>	<p>、おのおのその種類にしたがって、その中に種のある実を結ぶ木を生じた。神は見て、それをよしとされた。」</p> <p>(創世記 1:11-12)</p>	<p>and the fruit tree that yields fruit according to its kind, whose seed is in itself, on the earth”;</p> <p>and it was so. And the earth brought forth grass, the herb that yields seed according to its kind, and the tree that yields fruit, whose seed is in itself according to its kind. And God saw that it was good.</p> <p>(創世記 1:11-12)</p>
<p>「わたしの兄弟たち、いちじくの木がオリーブを、ぶどうの木がいちじくを生じさせることは出来ないではありませんか。塩水が甘い水を生じさせることもできません。」 (ヤコブ 3:12)</p>	<p>「私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりするようなことは、できることでしょうか。塩水が甘い水を出すこともできないことです。」 (ヤコブ 3:12)</p>	<p>Can a fig tree, my brethren, bear olives, or a grapevine bear figs? Thus no spring yields both salt water and fresh. (ヤコブ 3:12)</p>

ロ．創造の日は24時間の一日ではないか？

「日」は単に期間を意味するか？

<p>「これは、天と地が創造されたとき、エホバ神が地と天を造られた日におけるその歴史である。」</p> <p>(創世記 2:4)</p>	<p>「これは天と地が創造されたときの経緯である。神である主が地と天を造られたとき、」 (創世記 2:4)</p>	<p>This is the history of the heavens and the earth when they were created, in the day that the Lord God made the earth and the heavens.</p> <p>(創世記 2:4)</p>
--	---	---

神にとって一日はずっと長い期間でもあるか？

<p>「あなたの目には千年もまるで過ぎ去った昨日のようにあり、夜の間の一区切りのようなものだからです。」</p> <p>(詩篇 90:4)</p>	<p>「まことに、あなたの目には、千年も、きのうのように過ぎ去り、夜回りのひとときのようです。」</p> <p>(詩篇 90:4)</p>	<p>For a thousand years in Your sight Are like yesterday when it is past, And like a watch in the night.</p> <p>(詩篇 90:4)</p>
<p>「しかし、愛する者たちよ、この一時を見過ごしてはなりません。エホバにあっては、一日は千年のようであり、千年は一日のようであるということです。」</p> <p>(Ⅱペテロ 3:8)</p>	<p>「しかし、愛する人たち。あなたがたは、この一時を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。」</p> <p>(Ⅱペテロ 3:8)</p>	<p>But, beloved, do not forget this one thing, that with the Lord one day is as a thousand years, and a thousand years as one day.</p> <p>(Ⅱペテロ 3:8)</p>

31. 魂

新世界訳	新改訳	英語
イ. 魂とは何か？		
人間は魂であるか？		
「それからエホバ神は地面の塵で人を形造り、その鼻孔に命の息を吹き入れられた。すると人は生きた魂になった。」（創世記 2:7）	「その後、神である主は、土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。」（創世記 2:7）	And the Lord God formed man of the dust of the ground, and breathed into his nostrils the breath of life; and man became a living being. (創世記 2:7)
「まさにそう書かれています。『最初の人アダムは生きた魂になった。』最後のアダムは命を与える霊になったのです。」（1コリント 15:45）	「聖書に、『最初の人アダムは、生きた者となった。』と書いてありますが、最後のアダムは、生かす御霊となりました。」（1コリント 15:45）	And so it is written, “The first man Adam became a living being.” The last, Adam became a life-giving spirit. (1コリント 15:45)
「そして彼らはそこにいたすべての魂を剣の刃で討ち、[これを]滅びのためにささげていった。息あるものは何ひとつ残されなかった。そして彼はハツォルを火で焼いた。」（ヨシュア 11:11）	「彼らは、その中のすべての者を剣の刃で打ち、彼らを聖絶した。息のあるものは、何も残さなかった。彼らはハツォルを火で焼いた。」（ヨシュア 11:11）	And they struck all the people who were in it with the edge of the sword, utterly destroying them. There was none left breathing. Then he burned Hazor with fire.
「ところで、私たち船の中にいた魂は、全部で二百七十六人であった。」（使徒 27:37）	「船にいた私たちは全部で二百七十六人であった。」 (使徒 27:37)	(ヨシュア 11:11) And in all we were two hundred and seventy-six persons on the ship. (使徒 27:37)
動物も魂と呼ばれているか？		
「そして、エホバのための税として、遠征に出かけた戦人たちからは、人、牛、ろば、羊について、五百ごとに一つの魂を取るように。」 (民数記 31:28)	「いくさに出た戦士たちからは、人や牛やろばや羊を、それぞれ五百に対して一つ、主のためにみつぎとして徴収せよ。」（民数記 31:28）	“And levy a tribute for the Lord on the man of war who went out to battle: one of every five hundred of the persons, the cattle, the donkeys, and the sheep;
「また、第二の者がその鉢の中なら海に注ぎ出した。すると、それは死人の血のようになり、すべての生きた魂が、[しかり、]海にあるものが死んだ」	「第二の御使いが鉢を海にぶちまけた。すると、海は死者の血のような血になった。海の中のいのちのあるものは、みな死んだ。」（黙示録 16:3）	(民数記 31:28) Then the second angel poured out his bowl on the sea, and it became blood as of a

<p>(黙示録 16:3)</p> <p>「また、家畜の魂を打って死に至らせた場合は、その償いをすべきである。魂には魂である。」</p> <p>(レビ 24:18)</p>		<p>dead man; and every living creature in the sea died.</p> <p>(黙示録 16:3)</p> <p>’Whoever kills an animal shall make it good, animal for animal.’ (レビ 24:18)</p>
<p>魂には血がある、食べる、死ぬか？</p> <p>「また、あなたのすそには罪のない貧しい者たちの魂の血こんが見いだされた。わたしは押し入る行為にそれを見いだしたのではないが、[それは]これらすべての上に[ある]。」 (エレミヤ 2:34)</p> <p>「そして、もし自分の供与の犠牲の肉を三日目にも食べるようなことがあれば、それをささげた者は是認をもって受け入れられることはない。それはその人のものとはみなされない。それは汚らわしいものとなる。それを食べる魂は自分のとがに対する責めを負う。」</p> <p>(レビ 7:18)</p> <p>「見よ、すべての魂 それはわたしのものである。父の魂がそうであるように、子の魂も同様にそれらはわたしのものである。罪を犯している魂それが死ぬのである。」 (エゼキエル 18:4)</p>	<p>「あなたのすそには、罪のない貧しい人たちの、いのちの血が見える。彼らの押し入るのを、あなたが見つけたわけでもないのに。しかも、これらのことがあるにもかかわらず、」 (エレミヤ 2:34)</p> <p>「もし三日目にその和解のいけにえの肉を食べるようなことがあれば、それは受け入れられず、またそれをささげる人のものとは認められない。これは、汚れたものであり、そのいくらかでも食べる者はその咎を負わなければいけない。」 (レビ 7:18)</p> <p>「見よ、すべてのいのちはわたしのもの。父のいのちも、子のいのちもわたしのもの。罪を犯した者は、その者が死ぬ。」 (エゼキエル 18:4)</p>	<p>Also on your skirts is found The blood of the lives of the poor innocents. I have not found it by secret search, But plainly on all these things. (エレミヤ 2:34)</p> <p>’And if any of the flesh of the sacrifice of his peace offering is eaten at all on the third day, it it shall not be accepted; nor shall it be imputed to him; it shall be an abomination to him who offers it, and the person who eats of it shall bear guilt.’ (レビ 7:18)</p> <p>“Behold, all souls are Mine; The soul of the father As well as the soul of the son is Mine; The soul who sins shall die. (エゼキエル 18:4)</p>
<p>人間は、命があるという意味で魂を持つと言われるか？</p> <p>「人が全世界を勝ち得ても、それによって自分の魂を失うなら、いったい何の益があるでしょうか。」</p> <p>(マルコ 8:36)</p> <p>「ちょうど父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じです。そしてわたしは羊のために自分の魂をなげうちます。」</p> <p>(ヨハネ 10:15)</p>	<p>「人は、たとえ全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありません。」 (マルコ 8:36)</p> <p>「それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同様です。また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます。」 (ヨハネ 10:15)</p>	<p>“For what will it profit a man if he gains the whole world, and loses his own soul?” (マルコ 8:36)</p> <p>“As the Father knows Me, even so I know the Father; and I lay down My life for the sheep.” (ヨハネ 10:15)</p>

ロ．魂と霊との相違は？

人間また生き物としての命は魂であるか？

「ちょうど父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じです。そしてわたしは羊のために自分の魂をなげうちます。」

(ヨハネ 10:15)

「肉の魂は血にあるからであり、わたしは、あなた方が自分の魂のために贖罪を行なうようにとそれを祭壇の上に置いたのである。血が、[その内にある]魂によって贖罪を行なうからである。」

(レビ 17:11)

「それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同様です。また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます。」 (ヨハネ 10:15)

「なぜなら、肉のいのちは地の中にあるからである。わたしはあなたがたのいのちを祭壇の上で贖うために、これをあなたがたに与えた。いのちとして贖いをするのは血である。」 (レビ 17:11)

“As the Father knows Me, even so I know the Father; and I lay down My life for the sheep.” (ヨハネ 10:15)
'For the life of the flesh is in the blood, and I have given it to you upon the altar to make atonement for your souls; for it is the blood that makes atonement for the soul.'

(レビ 17:11)

魂を生かす生命力は「霊」と呼ばれるか？

「その霊は出て行き、彼は自分の地面に帰るその日に彼の考えは滅びうせる。」 (詩篇 146:4)

(詩篇 146:4)

「あなたがみ顔を覆い隠されるなら、彼らはかき乱されます。あなたがその霊を取り去られるなら、彼らは息絶え、その塵に戻って行きます。」

(詩篇 104:29)

「その息が絶えると、その者はおのれの土に帰り、その日のうちに彼のもろもろの計画は滅びうせる。」

「あなたが御顔を隠されると、彼らはおじ惑い、彼らの息を取り去られると、彼らは死に、おのれのちに帰ります。」 (詩篇 104:29)

His spirit departs, he returns to his earth; In that very day his plans perish. (詩篇 146:4)
You hide Your face, they are troubled; You take away their breath, they die and return to their dust.

(詩篇 104:29)

人が死ぬ時、生命力の管理は神に帰するか？

「そのとき、塵はかつてそうであったように地に帰り、霊もこれをお与えになった[まこと]の神のもとに帰る。」 (伝道者の書 12:7)

「ちりはもとあつた地に帰り、霊はこれを下さつた神に帰る。」 (伝道者の書 12:7)

Then the dust will return to the earth as it was, And the spirit will return to God who gave it.

(伝道者の書 12:7)

生命力を働かせ得るのは神だけか？

「それゆえ、預言せよ。あなたは彼らに言わなければならない、『主権者なる主エホバはこのように言われた。『わたしの民よ、いまわたしはあなた方の埋葬所を開き、あなた方をその埋葬所から連れ出すとき、わたしの民よ、あなた方はわたしがエホバであることを知らなければならなくなる。』』『また、わたしはあなた方のうちにわたしの霊を置くので、あなた方は必

「『それゆえ、預言して彼らに言え。神である主はこう仰せられる。わたしの民よ。見よ。わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く。わたしの民よ。わたしあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げるとき、あなたがたは、わたしが主であることを知ろう。わたしがまた、わたしの霊をあなたがたのうちに入れると、あなたがたは生き

“Therefore prophesy and say to them, 'Thus says the Lord God: "Behold, O My people, I will open your graves and cause you to come up from your graves, and bring you into the land

ず生き返り、わたしはあなた方をあなた方の土地の上に
住まわせる。あなた方はわたしが、エホバが語り、
〔それを〕行なったことを知らなければならなくなる
』と、エホバはお告げになる。』」
(エゼキエル 37:12-14)

返る。わたしは、あなたがたをあなたがたの地に住みつか
せる。このとき、あなたがたは、主であるわたしがこれを
語り、これを成し遂げたことを知ろう。——主の御告
げ。——』」
(エゼキエル 37:12-14)

of Israel. Then you shall
know that I am the Lord,
when I have opened your
graves, O My people, and
brought you up from your
graves. I will put My Spirit
in you, and you shall live,
and I will place you in
your own land. Then you
shall know that I, the Lord
, have spoken it and
performed it," says the Lord
. ' " (エゼキエル 37:12-14)

イ．輸血は血の神聖さを犯すか？

血が神聖であり、命であることはノアに告げられたか？

「ただし、その魂つまりその血を伴う肉を食べてはならない。」（創世記 9:4）

「『それで、虹が雲の中に生じることになる。わたしは必ず、わたしとあなた方およびすべての肉なるものうちのあらゆる生きた魂との間の、定めのない時に至る契約を思い出すであろう。』」

（創世記 9:16）

「しかし、肉は、そのいのちである血のあるまま食べてはならない。」（創世記 9:4）

「『虹が雲の中にあるとき、わたしはそれを見て、神とすべての生き物、地上のすべて肉なるものとの間の永遠の契約を思い出そう。』」（創世記 9:16）

“But you shall not eat flesh with its life, that is, its blood.”（創世記 9:4）

“The rainbow shall be in the cloud, and I will look on it to remember the everlasting covenant between God and every living creature of all flesh that is on the earth.”

（創世記 9:16）

律法契約は血を食べることを禁じたか？

「あらゆる肉なるものの魂はその血であり、魂がその内にあるからである。そのためわたしはイスラエルの子らにこう言った。『あなた方はいかなる肉なるものの魂はその血だからである。すべてそれを食べる者は断たれる。』」（レビ 17:14）

「『またあなた方は、自分の住むいずれの場所においても、鳥のものであれ獣のものであれいっさい血を食べてはならない。どんな「血」にせよ血を食べる魂すべて、その魂は民の中から断たれねばならない。』」

（レビ 7:26-27）

「すべての肉のいのちは、その血が、そのいのちそのものである。それゆえ、わたしはイスラエル人に言っている。『あなたがたは、どんな肉の血も食べてはならない。すべての肉のいのちは、その血そのものであるからだ。それを食べる者はだれでも断ち切れなければならない。』」

（レビ 17:14）

「『また、あなたがたのどこの居住地においても、鳥でも動物でも、その血をいっさい食べてはならない。どんな血でもこれを食べる者はだれでも、その者はその民から断ち切られる。』」（レビ 7:26-27）

“for it is the life of all flesh. its blood sustains its life. Therefore I said to the children of Israel, ‘You shall not eat the blood, of any flesh, for the life of all flesh is its blood. Whoever eats it shall be cut off.’”（レビ 17:14）

’Moreover you shall not eat any blood in any of your dwellings, whether of bird or beast. ‘Whoever eats any blood, that person shall be cut off from his people.’

（レビ 7:26-27）

禁令はクリスチャンに再び与えられたか？

「『というのは、聖霊とわたしたちとは、次の必要な事柄のほかは、あなた方にそのうえ何の重荷も加えないことがよいと考えたからです。すなわち、偶像に犠牲としてささげられた物と血と絞め殺されたものと淫行を避けていることです。これらのものから注意深く

「『聖霊と私たちは、次のぜひ必要な事のほかは、あなたがたにその上、どんな重荷も負わせないことを決めました。すなわち、偶像に供えた物と、血と、絞め殺した物と、不品行とを避けることです。これらのことを注意深く避けなければ、それで結構です。以上。』」

For it seemed good to the Holy Spirit, and to us, to lay upon you no greater burden than these necessary things: that you abstain

身を守っていれば、あなた方は榮えるでしょう。健やかに過ごしてください。』」
(使徒 15:28-29)

「『諸国民の信者たちについては、偶像に犠牲としてささげられた物、ならびに血と絞め殺されたもの、また淫行から身を守っているべきであるとの決定を下して、使いの者を送ってあるのです。』」
(使徒 21:25)

(使徒 15:28-29)

「『信仰にはいった異邦人に関しては、偶像の神に供えた肉と、血と、絞め殺した物と、不品行とを避けるべきであると決定しましたので、私たちはすでに手紙を書きました。』」 (使徒 21:25)

from things offered to idols , from blood, from things strangled, and from sexual immorality. If you keep yourselves from these, you will do well. Farewell.
(使徒 15:28-29)

“But concerning the Gentiles who believe, we have written and decided that they should observe no such thing, except that they should keep themselves from things offered to idols, from blood, from things strangled, and from sexual immorality.” (使徒 21:25)

ロ. 命を救うからといって神の律法を破ることは正当化されないか？

従順は犠牲に勝るか？

「するとサムエルは言った、『エホバは、エホバの声に従うことほどに焼燔の捧げ物を喜ばれるでしょうか。ご覧なさい。従うことは犠牲に勝り、注意を払うことは雄羊の脂肪に〔勝り〕ます。』」
(1サムエル 15:22)

「『そして、この、心をこめ、理解力をこめ、力をこめて〔神〕を愛すること、また、隣人を自分自身のように愛することは、全焼燔の捧げ物と犠牲全部よりはるかに価値があります。』」
(マルコ 12:33)

「するとサムエルは言った。『主は主の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。』」
(1サムエル 15:22)

「また『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして主を愛し、また隣人をあなた自身のように愛する。』ことは、どんな全焼のいけにえや供え物よりも、ずっとすぐれています。』」 (マルコ 12:33)

Then Samuel said: “Has the Lord as great delight in burnt offerings and sacrifices, As in obeying the voice of the Lord? Behold, to obey is better than sacrifice, And to heed than the fat of rams.
(1サムエル 15:22)

“And to love Him with all the heart, with all the understanding, with all the soul, and with all the strength, and to love one’s neighbor as oneself, is more than all the whole burnt offerings and sacrifices.” (マルコ 12:33)

神の律法より自分の命を大切にするのはゆゆしいことか？

「だれでも自分の魂を救おうと思う者はそれを失うからです。しかし、だれでもわたしと良いたよりのために自分の魂を失う者はそれを救うのです。人が全世界をかち得ても、それによって自分の魂を失うなら、いったい何の益があるでしょうか。」

(マルコ 8:35-36)

「いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音のためにいのちを失う者はそれを救うのです。人は、たとえ全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありました。」 (マルコ 8:35-36)

“For whoever desires to save his life will lose it, but whoever loses his life for My sake and the gospel’s will save it. For what will it profit a man if he gains the whole world, and loses his own soul?

(マルコ 8:35-36)

		<p>around the whole land of Cush. The name of the third river is Hiddekel; it is the one which goes toward the east of Assyria. The fourth river is the Euphrates. Then the Lord God took the man and put him in the garden of Eden to tend and keep it. (創世記 2:8-15)</p>
<p>神の目的は必ず成し遂げられるか？</p>		
<p>「わたしの口から出て行くわたしの言葉も、それと全く同じようになる。それは成果を収めずにわたしのもとに帰って来ることはない。それは必ずわたしの喜びとしたことを行ない、わたしがそれを送り出したことに関して確かな成功を収める。」</p> <p>(イザヤ 55:11)</p>	<p>「そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。」 (イザヤ 55:11)</p>	<p>So shall My word be that goes forth from My mouth; It shall not return to Me void, But it shall accomplish what I please, And it shall prosper in the thing for which I sent it.</p> <p>(イザヤ 55:11)</p>
<p>「終わりのことを初めから、また、まだ行なわれていなかったことを昔から告げる者。『わたしの計り事は立ち、わたしは自分の喜びとすることをみな行なう』と言う者。猛き人を日の昇る方から、わたしの計り事を遂行する人を遠い地から呼ぶ者。わたしは[それを]話したのである。わたしはまた、それをもたらすであらう。わたしは[それを]形造ったのであり、また、それを行なうであらう。」</p> <p>(イザヤ 46:10-11)</p>	<p>「わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる。』と言う。わたしは東から猛禽を、遠い地から、わたしのはかりごとを行なう者を呼ぶ。わたしが語ると、すぐそれを行ない、わたしが計ると、すぐそれをする。」</p> <p>(イザヤ 46:10-11)</p>	<p>Declaring the end from the beginning, And from ancient times things that are not yet done, Saying, 'My counsel shall stand, And I will do all My pleasure,' Calling a bird of prey from the east, The man who executes My counsel, from a far country. Indeed I have spoken it; I will also bring it to pass. I have purposed it; I will also do it.</p> <p>(イザヤ 46:10-11)</p>
<p>地は平和を愛する完全な人間で満ちるか？</p>		
<p>「その日には義なる者が芽生え、豊かな平和が月のなくなる時まで[続くことでしょう]。」</p> <p>(詩篇 72:7)</p>	<p>「彼の代に正しい者が栄え、月のなくなるときまで、豊かな平和がありますように。」 (詩篇 72:7)</p>	<p>In His days the righteous shall flourish, And abundance of peace, Until the moon is no more. (詩篇 72:7)</p>

「わたしたちのためにひとりの子供が生まれ、わたしたちにひとりの子が与えられたからである。君としての支配がその肩に置かれる。そして彼の名は、“くすしい助言者”、“力ある神”、“とこしえの父”、“平和の君”と呼ばれるであろう。ダビデの王座とその王国の上であって、君としてのその豊かな支配と平和に終わりは無い。それは、今より定めのない時に至るまで、公正と義によってこれを堅く立て、支えるためである。実に万軍のエホバの熱心がこれを行なう。」（イザヤ 9:6-7）

「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は『不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君』と呼ばれる。その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。今より、とこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。』」（イザヤ 9:6-7）

For unto us a Child is born,
Unto us a Son is given; And
the government will be upon
His shoulder. And His name
will be called Wonderful,
Counselor, Mighty God,
Everlasting Father, Prince
of Peace. Of the increase
of His government and peace
There will be no end, Upon
the throne of David and
over His kingdom, To order
it and establish it with
judgment and justice From
that time forward, even
forever. The zeal of the Lord
of hosts will perform this.

（イザヤ 9:6-7）

パラダイスは王国によって復興されるか？

「『そこで、あなた方はこのように祈らなければなりません。『天におられるわたしたちの父よ、あなたのお名前が神聖なものとされますように。あなたの王国が来ますように。あなたのご意志が天におけると同じように、地上においてもなされますように。』』（マタイ 6:9-10）

「それと共に、わたしはみ座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ！ 神の天幕が人と共にあり、[神]は彼らと共に住み、彼らはその民となるであろう。そして神みずから彼らと共におられるであろう。また[神]は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださり、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛もはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』そして、み座に座しておられる方がこう言われた。『見よ！ わたしはすべてのものを新しくする。』また、こう言われる。『書きなさい。これらの言葉は信頼できる真実なものだからである。』」（黙示録 21:3-5）

「だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。』」（マタイ 6:9-10）

「そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』すると、御座に着いておられる方が言われた。『見よ。わたしは、すべてを新しくする。』また言われた。『書きしるせ。これらのことは、信ずべきものであり、真実である。』」（黙示録 21:3-5）

“In this manner, therefore,
pray: Our Father in heaven,
Hallowed be Your name. Your
kingdom come. Your will be
done On earth as it is in
heaven.” (マタイ 6:9-10)
And I heard a loud voice
from heaven saying, “Behold,
the tabernacle of God is
with men, and He will dwell
with them, and they shall
be His people. God Himself
will be with them and be
their God. And God will wipe
away every tear from their
eyes; there shall be no
more death, nor sorrow, nor
crying. There shall be no
more pain, for the former

		<p>things have passed away.”</p> <p>Then He who sat on the throne said, “Behold, I make all things new.” And He said to me, “ Write, for these words are true and faithful.” (黙示録 21:3-5)</p>
<p>ロ．二度と破壊されず、人の絶えることもないか？</p> <p>文字通りの地は永久のものか？</p>		
<p>「代は去り、代は来る。しかし、地は定めのない時に至るまで立ちつづける。」 (伝道者の書 1:4)</p>	<p>「一つの時代は去り、次の世代が来る。しかし地はいつまでも変わらない。」 (伝道者の書 1:4)</p>	<p>One generation passes away, and another generation comes;But the earth abides forever. (伝道者の書 1:4)</p>
<p>「〔神〕は地の基をその定まった場所に置かれました。それは定めのない時に至るまで、まさに永久によろめかされることがありません。」</p> <p>(詩篇 104:5)</p>	<p>「また地をその基の上に据えられました。地はそれゆえ、とこしえにゆるぎません。」 (詩篇 104:5)</p>	<p>You who laid the foundations of the earth,So that it should not be moved forever,</p> <p>(詩篇 104:5)</p>
<p>ノアの時代の人間は滅びたが地球は滅びなかった？</p>		
<p>「それは、彼らの望みのままに、このことが見過ごされているからです。つまり、神の言葉によって、昔から天があり、地は水の中から、そして水の中に引き締まったかたちで立っていました。そして、それによってその時の世は、大洪水に覆われた時に滅びを被ったのです。しかし、その同じ言葉によって、今ある天と地は火のために蓄え置かれており、不敬虔な人々の裁きと滅びの日まで留め置かれているのです。」</p> <p>(Ⅱペテロ 3:5-7)</p>	<p>「こう言い張る彼らは、次のことを見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって自ら出て、水によって成ったのであって、当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。しかし、今の天と地は、同じことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているのです。」 (Ⅱペテロ 3:5-7)</p>	<p>For this they willfully forget: that by the word of God the heavens were of old, and the earth standing out of water and in the water, by which the world that then existed perished, being flooded with water.</p> <p>But the heavens and the earth which are now reserved by the same word, are reserved for fire until the day of judgment and perdition of ungodly men.</p> <p>(Ⅱペテロ 3:5-7)</p>
<p>「こうして〔神〕は、地の表に存在していたすべてのものを、人から獣、動く生き物、天の飛ぶ生き物にいたるまでぬぐい去られ、それらは地からぬぐい去られた。ただノア、および彼と共に箱船の中にいたものだけがそのまま生き残った。」 (創世記 7:23)</p>	<p>「こうして、主は地上のすべての生き物を、人をはじめ、動物、はうもの、空の鳥に至るまで消し去った。それらは、地から消し去られた。ただノアと、彼といっしょに箱船にいたものたちだけが残った。」 (創世記 7:23)</p>	<p>So He destroyed all living things which were on the face of the ground: both man and cattle, creeping thing and bird of the air.</p>

		They were destroyed from the earth. Only Noah and those who were with him in the ark remained alive.	(創世記 7:23)
昔の例から見て現在も生き残る希望があるか？			
「あなた方に真実に言いますが、これらのすべてのことが起こるまで、この世代は決して過ぎ去りません。」 (マタイ 24:34)	「まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。」 (マタイ 24:34)	“Assuredly, I say to you, this generation will by no means pass away till all these things take place.”	(マタイ 24:34)
「人の子の臨在はちょうどノアの日のようだからです。洪水前のそれらの日、ノアが箱船に入る日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていました。そして、洪水が来て彼らすべてを流し去るまで注意しませんでした。人の子の臨在[の時]もそのようになるのです。」 (マタイ 24:37-39)	「人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようだからです。洪水前の日々は、ノアが箱舟にはいるその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついたりしていました。そして、洪水が来てすべての物をさらってしまうまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりです。」 (マタイ 24:37-39)	“But as the days of Noah were, so also will the coming of the Son of Man be. For as in the days before the flood, they were eating and drinking, marrying and giving in marriage, until the day that Noah entered the ark, ”and did not know until the flood came and took them all away, so also will the coming of the Son of Man be. (マタイ 24:37-39)	
邪悪な者は滅び、「大群衆」は生き残るか？			
「これは、あなた方に患難をもたらす者に患難をもつて報い、一方患難を忍ぶあなた方には、主イエスがその強力なみ使いたちを伴い、燃える火のうちに天から表わし示される時、わたしたちと共に安らぎをもって[報いる]ことこそ、神にとって義にかなったことであるとと言えるからです。その際[イエス]は、神を知らない者と、わたしたちの主イエスについての良いたよりに従わない者に報復をします。実にこれらの者たちは、主のみ前から、またその力の栄光から[離れて]永遠の滅びという司法上の処罰を受けます。」 (Ⅱテサロニケ 1:6-9)	「つまり、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださることは、神にとって正しいことなのです。そのことは、主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現われるときに起こります。そのとき主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に報復されます。そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。」 (Ⅱテサロニケ 1:6-9)	since it is a righteous thing with God to repay with tribulation those who trouble you, and to give you who are troubled rest with us when the Lord Jesus is revealed from heaven with His mighty angels, in flaming fire taking vengeance on those who do not know God, and on those who do not obey the gospel of our Lord Jesus Christ.	

33. 地

新世界訳

新改訳

英語

イ. 地に対する神のお目的は？

完全な人間の住む地上のパラダイスか？

「さらに、神は彼らを祝福し、神は彼らに言われた、『子を生んで多くなり、地に満ちて、それを従わせよ。そして、海の魚と天の飛ぶ生き物と地の上を動くあらゆる生き物を服従させよ。』」

(創世記 1:28)

「神はまた、彼らを祝福し、このように神は彼らに仰せられた。『生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。』」

(創世記 1:28)

Then God blessed them, and God said to them, "Be fruitful and multiply; fill the earth and subdue it; have dominion over the fish of the sea, over the birds of the air, and over every living thing that moves on the earth. (創世記 1:28)

「さらに、エホバ神はエデンに、その東のほうに園を設け、ご自分が形造った人をそこに置かれた。そうしてエホバ神は、見て好ましく、食物として良いあらゆる木を地面から生えさせ、また園の真ん中に命の木を、そして善悪の知識の木を[生えさせた]。さて、川がエデンから発して園を潤し、そこから分かれ出て、いわば四つの頭となった。第一のものの名はピションという。それはハビラの全土を巡るもので、そこには金がある。そしてその地の金は良質である。そこにはブデリウム樹脂やしまめのうもある。また第二の川の名はギホンという。それはクシュの全土を巡るものである。また、第三の川の名はヒデケルという。それはアッシリアの東を行くものである。そして、第四の川はユーフラテスである。それからエホバ神は人を取ってエデンの園に住ませ、それを耕させ、またその世話をさせた。」 (創世記 2:8-15)

「神である主は、東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた。神である主は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに良いすべての木を生えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木とを生えさせた。一つの川が、この園を潤すため、エデンから出ており、そこから分かれて、四つの源となっていた。第一のものの名はピションで、それはハビラの全土を巡って流れ、そこには金があった。その地の金は、良質で、また、そこには、ブドラフとしまめのうもある。第二の川の名はギホンで、クシュの全土を巡って流れる。第三の川の名はヒデケルで、それはアシュルの東を流れる。第四の川、それはユーフラテスである。神である主は、人に命じて仰せられた。『あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。』」 (創世記 2:8-15)

The Lord God planted a garden eastward in Eden, and there He put the man whom He had formed. And out of the ground the Lord God made every tree grow that is pleasant to the sight and good for food. The tree of life was also in the midst of the garden, and the tree of the knowledge of good and evil. Now a river went out of Eden to water the garden, and from there it parted and became four riverheads. The name of the first is Pishon; it is the one which skirts the whole land of Havilah, where there is gold. And the gold of that land is good. Bdellium and the onyx stone are there. The name of the second river is Gihon; it is the one which goes

「これらのことの後、わたしが見ると、見よ、すべての国民と部族と民と国語の中から来た、だれも数えつくことのできない大群衆が、白くて長い衣を着て、み座の前と子羊の前に立っていた。彼らの手には、やしの枝があった。」（黙示録 7:9）

「それでわたしはすぐ彼に言った、『これは大患難から出て来る者たちで、彼らは自分の長い衣を子羊の血で洗って白くした。』」（黙示録 7:14）

「その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手にとって、御座と小羊との前に立っていた。」（黙示録 7:9）

「そこで、私は、『主よ。あなたこそ、ご存じです。』と言った。すると、彼は私にこう言った。『彼らは、大きな患難から抜け出て来た者たちで、その衣を小羊の血で洗って、白くしたのです。』」（黙示録 7:14）

These shall be punished
with everlasting destruction
from the presence of the
Lord and from the glory of
His power, (Ⅱテサロニケ 1:6-9)
After these things I looked,
and behold, a great
multitude which no one could
number, of all nations,
tribes, peoples, and tongues
, standing before the throne
and before the Lamb,
clothed with white robes,
with palm branches in their
hands, (黙示録 7:9)
And I said to him, "Sir,
you know." So he said to me,
"These are the ones who
come out of the great
tribulation, and washed
their robes and made them
white in the blood of the
Lamb." (黙示録 7:14)

34. 罪

新世界訳	新改訳	英語
イ. 罪とは何か？		
神の完全な規範であるその律法を破ることか？		
「すべて罪を習わしにする者は、不法をも習わしにしています。それで、罪は不法です。」 (Iヨハネ 3:4)	「罪を犯している者はみな、不法を行なっているのです。罪とは律法に逆らうことなのです。」 (Iヨハネ 3:4)	Whoever commits sin also commits lawlessness, and sin is lawlessness. (Iヨハネ 3:4)
「不義はすべて罪です。しかし、死を来たさない罪もあるのです。」 (Iヨハネ 5:17)	「不正はみな罪ですが、死に至らない罪があります。」 (Iヨハネ 5:17)	All unrighteousness is sin, and there is sin not leading to death. (Iヨハネ 5:17)
神の被造物として人間は神の前に責任を持つか？		
「それですから、わたしたちは各々、神に対して自分の言い開きをすることになるのです。」 (ローマ 14:12)	「こういうわけですから、私たちは、おのれの自分のことを神の御前に申し開きすることになります。」 (ローマ 14:12)	So then each of us shall give account of himself to God. (ローマ 14:12)
「例えば、律法なしに罪をおかした者は皆、やはり律法なしに滅びます。しかし、律法のもとにあつて罪をおかした者はみな律法によって裁かれます。律法を聞く者が神のみ前で義なる者ではなく、律法を行なう者が義なる者と宣せられるからです。律法を持たない諸国民の者たちが生まれながらに律法にある事柄を行なう場合、その人たちは律法を持ってはいなくても、自分自身が律法なのです。彼らこそ、律法の内容がその心に書かれていることを証明する者であり、その良心が彼らと共に証しをし、自らの考えの間で、あるいはとがめられ、あるいは釈明されさえているのです。」 (ローマ 2:12-15)	「律法なしに罪を犯した者はすべて、律法によってさばかれます。それは、律法を聞く者が神の前に正しいのではなく、律法の命じる行ないを者が正しいと認められるからです。律法を持たない異邦人が、生まれつきのままで律法の命じる行ないをするばあいは、律法を持たなくても、自分自身が自分に対する律法なのです。彼らはこのようにして、律法の命じる行ないが彼らの心に書かれていることを示しています。彼らの良心もいっしょになってあかしし、また、彼らの思いは互いに責め合ったり、また、弁明し合ったりしています。」 (ローマ 2:12-15)	For as many as have sinned without law will also perish without law, and as many as have sinned in the law will be judged by the law (for not the hearers of the law are just in the sight of God, but the doers of the law will be justified; for when Gentiles, who do not have the law, by nature do the things in the law, these, although not having the law, are a law to themselves, who show the work of the law written in their hearts, their conscience also bearing witness, and between themselves their thoughts accusing or else excusing them) (ローマ 2:12-15)

律法は罪の何たるかを示し、人に罪を悟らせたか？

「では、律法はなぜ[与えられたの]ですか。それは違反を明らかにするために付け加えられたのであり、約束のなされた嵐が到来する時にまで及ぶのです。そして、それはみ使いたちを通して、仲介者の手によって伝えられました。」（ガラテヤ 3:19）

「では、律法とは何でしょうか。それは約束をお受けになった、この子孫が来られるときまで、違反を示すために付け加えられたもので、御使いたちを通して仲介者の手で定められたのです。」（ガラテヤ 3:19）

What purpose then does the law serve? It was added because of transgressions, till the Seed should come to whom the promise was made; and it was appointed through angels by the hand of a mediator.

（ガラテヤ 3:19）

「したがって、律法の業によって肉なる者が[神]のみ前で義と宣せられることはありません。律法によって罪についての正確な知識が生じるのです。」
（ローマ 3:20）

「なぜなら、律法を行なうことによっては、だれひとり神の前に義と認められないからです。律法によっては、かえって罪の意識が生じるのです。」（ローマ 3:20）

Therefore by the deeds of the law no flesh will be justified in His sight, for by the law is the knowledge of sin. （ローマ 3:20）

すべての人は罪の中にあり、神の完全な基準に達しないか？

「というのは、すべての者は罪をおかしたので神の栄光に達しないからであり、」（ローマ 3:23）

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、」（ローマ 3:23）

for all have sinned and fall short of the glory of God,

（ローマ 3:23）

「ご覧ください、わたしはとがと共に、産みの苦しみをもって産み出され、わたしの母は罪のうちにわたしを宿しました。」（詩篇 51:5）

「ああ、私は咎ある者として生まれ、罪ある者として母は私をみごもりました。」（詩篇 51:5）

Behold, I was brought forth in iniquity, And in sin my mother conceived me.

（詩篇 51:5）

ロ．なぜすべての人はアダムの罪のゆえに苦しみを受けたか？

アダムは不完全さと罪をすべての人に伝えたか？

「それゆえ、一人の人を通して罪が世に入り、罪を通して死が[入り]、こうして死が、すべて[の人]が罪をおかしたがゆえにすべての人に広がったのと同じように。」（ローマ 5:12）

「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、それというのも全人類が罪を犯したからです。」（ローマ 5:12）

Therefore, just as through one man sin entered the world, and death through sin, and thus death spread to all men, because all sinned- （ローマ 5:12）

「こうして、一つの罪過を通してあらゆる人に及んだ結果が有罪宣告であったのと同じように、正しさを立証する一つの行為を通してあらゆる人に及ぶ結果もまた、命のために彼らを義と宣することなのです。」
（ローマ 5:18）

「こういうわけで、ちょうど一つの違反によってすべての人が罪に定められたのと同様に、一つの義の行為によってすべての人が義と認められて、いのちを与えられるのです。」（ローマ 5:18）

Therefore, as through one man's offense judgment came to all men, resulting in condemnation, even so through one Man's righteous act the free gift came to all men, resulting in

		justification of life. (ローマ 5:18)
神は人間の存続を許してあわれみを示されたか？		
「エホバは憐れみと慈しみに富み、怒ることに遅く、愛ある親切に満ちておられる。」(詩篇 103:8)	「主は、あわれみ深く、情け深い。怒るのおそく、恵み豊かである。」(詩篇 103:8)	The Lord is merciful and gracious, Slow to anger, and abounding in mercy. (詩篇 103:8)
「[神]はわたしたちの罪に応じてわたしたちを扱うことをされなかった。わたしたちのとがに応じて、当然受けるべきものをわたしたちにもたらすこともされなかった。」(詩篇 103:10)	「私たちの罪にしたがって私たちを扱うことをせず、私たちの咎にしたがって私たちに報いることもない。」(詩篇 103:10)	He has not dealt with us according to our sins, Nor punished us according to our iniquities. (詩篇 103:10)
「[神]ご自身がわたしたちの造りをよくご存じであり、わたしたちが塵であることを覚えておられるからだ。」(詩篇 103:14)	「主は、私たちの成り立ちを知り、私たちがちりにすぎないことを心に留めておられる。」(詩篇 103:14)	For He knows our frame; He remembers that we are dust. (詩篇 103:14)
「しかしエホバの愛ある親切は、定めのない時から定めのない時に至るまで、[神]を恐れる者たちに向けられ、その義は、子らの子らに、」(詩篇 103:17)	「しかし、主の恵みは、とこしえから、とこしえまで、主を恐れる者の上にある。主の義はその子らの子に及び、」(詩篇 103:17)	But the mercy of the Lord is from everlasting to everlasting On those who fear Him, And His righteousness to children's children, (詩篇 103:17)
キリストの犠牲は罪を贖うか？		
「そして彼はわたしたちの罪のためのなだめの犠牲です。ただし、わたしたちの[罪]のためだけではなく、全世界の[罪]のためでもあります。」(イヨハネ 2:2)	「この方こそ、私たちの罪のための 私たちの罪だけでなく全世界のための、——なだめの供え物なのです。」(イヨハネ 2:2)	And He Himself is the propitiation for our sins, and not for ours only but also for the whole world. (イヨハネ 2:2)
罪と他のすべての悪魔の業は取り除かれるか？		
「罪を行ないつづける者は悪魔から出ています。悪魔は初めから罪をおかしてきたからです。神の子が現わされたのはこのためです。すなわち、悪魔の業を打ち壊すためです。」(イヨハネ 3:8)	「罪のうちに歩む者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。」(イヨハネ 3:8)	He who sins is of the devil, for the devil has sinned from the beginning. For this purpose the Son of God was manifested, that He might destroy the works of the devil. (イヨハネ 3:8)
ハ. 禁じられた実は不従順か？ 性行為ではないか？		
木に関する禁令はエバの創造の前に与えられたか？		
「『しかし、善悪の知識の木については、あなたはそれから食べてはならない。それから食べる日にあなた	「『しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。』そ	“but of the tree of the knowledge of good and evil

は必ず死ぬからである。』次いでエホバ神は言われた、『人が独りのままでいるのは良くない。わたしは彼のために彼を補うものとなる助け手を造ろう。』」
(創世記 2:17-18)

の後、神である主は仰せられた。『人がひとりているのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を造ろう。』」 (創世記 2:17-18)

you shall not eat, for in the day that you eat of it you shall surely die.” And the Lord God said, “It is not good that man should be alone; I will make him a helper comparable to him.”

(創世記 2:17-18)

アダムとエバは子供を持つように命令されたか？

「さらに、神は彼らを祝福し、神は彼らに言われた、『子を生んで多くなり、地に満ちて、それを従わせよ。そして、海の魚と天の飛ぶ生き物と地の上を動くあらゆる生き物を服従させよ』」
(創世記 1:28)

「神はまた、彼らを祝福し、このように神は彼らに仰せられた。『生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。』」
(創世記 1:28)

Then God blessed them, and God said to them, “Be fruitful and multiply; fill the earth and subdue it; have dominion over the fish of the sea, over the birds of the air, and over every living thing that moves on the earth.”

(創世記 1:28)

子供は罪の結果ではなく神の祝福の結果か？

「見よ、子らはエホバからの相続物であり、腹の実は報いである。若い時の子らは、力ある者の手にある矢のようだ。自分の矢筒をそれで満たした強健な者は幸いである。彼らが恥をかくことはない。彼らは門で敵と話すからである。」 (詩篇 127:3-5)

「見よ。子どもたちは主の賜物、胎の実は報酬である。若い時の子らはまさに勇士の手にある矢のようだ。幸いなことよ。矢筒をその矢で満たしている人は。彼らは、門で敵と語る時にも、恥を見ることがない。」
(詩篇 127:3-5)

Behold, children are a heritage from the Lord, The fruit of the womb is a reward. Like arrows in the hand of a warrior, So are the children of one's youth. Happy is the man who has his quiver full of them; They shall not be ashamed, But shall speak with their enemies in the gate.

(詩篇 127:3-5)

エバは夫のいないとき罪を犯して先走ったか？

「そこで女は見て、その木が食物として良く、目に慕わしいものであるのを知った。たしかに、その木は眺めて好ましいものであった。それで彼女は実を取って食べはじめた。その後、共にいたときに夫にも与え、彼もそれを食べはじめた。」

「そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。」
(創世記 3:6)

So when the woman saw that the tree was good for food, that it was pleasant to the eyes, and a tree desirable to make one wise, she took

<p>(創世記 3:6)</p> <p>「女は全き従順を、もって静かに学びなさい。わたしは、女が教えたり、男の上に権威を振るったりすることを許しません。むしろ、静かにしていなさい。アダムが最初に形造られ、その後エバが「形造られた」からです。また、アダムは欺かれませんでした、女は全く欺かれて違反に至ったのです。」</p> <p>(1テモテ 2:11-14)</p>	<p>「女は静かにして、よく従う心をもって教えを受けなさい。私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。ただ、静かにしていなさい。アダムが初めに造られ、次にエバが造られたからです。また、アダムは惑わされなかったが、女は惑わされてしまい、あやまちを犯しました。」 (1テモテ 2:11-14)</p>	<p>of its fruit and ate. She also gave to her husband with her, and he ate.</p> <p>(創世記 3:6)</p> <p>Let a woman learn in silence with all submission. And I do not permit a woman to teach or to have authority over a man, but to be in silence. For Adam was formed first, then Eve. And Adam was not deceived, but the woman being deceived, fell into transgression.</p> <p>(1テモテ 2:11-14)</p>
<p>アダムは頭として神の律法に背いたか？</p> <p>「それゆえ、一人の人を通して罪が世に入り、罪を通して死が[入り]、こうして死が、すべて[の人]が罪をおかしたがゆえにすべての人に広がったのと同じように。」 (ローマ 5:12)</p> <p>「一人の人の不従順を通して多くの者が罪人とされたのと同じように、一人[の方]の従順を通して多くの者が義とされるのです。」 (ローマ 5:19)</p>	<p>「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、それというのも全人類が罪を犯したからです。」 (ローマ 5:12)</p> <p>「すなわち、ちょうどひとりの人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、ひとりの従順によって多くの人が義人とされるのです。」 (ローマ 5:19)</p>	<p>Therefore, just as through one man sin entered the world, and death through sin, and thus death spread to all men, because all sinned- (ローマ 5:12)</p> <p>For as by one man's disobedience many were made sinners, so also by one Man's obedience many will be made righteous. (ローマ 5:19)</p>
<p>二. 聖霊に対する罪とは何か？</p> <p>「たとえば、人の子に逆らう言葉を語るのがだれであっても、その者は許されるでしょう。しかし、聖霊に言い逆らうのがだれであっても、その者は許されません。この事物の体制においても、また来たるべき[体制]においてもです。」</p> <p>(マタイ 12:32)</p> <p>「『あなた方に真実に言いますが、人の子らは、冒とく的な仕方です。どんな罪また冒とくを犯したとしても、</p>	<p>「また、人の子に逆らうことばを口にする者でも、赦されます。しかし、聖霊に逆らうことを言う者は、だれであっても、この世であろうと次に来る世であろうと、赦されません。」 (マタイ 12:32)</p> <p>「『まことに、あなたがたに告げます。人はその犯すどんな罪も赦していただけます。また、神をけがすことを言っ</p>	<p>“anyone who speaks a word against the Son of Man, it will be forgiven him; but whoever speaks against the Holy Spirit, it will not be forgiven him, either in this age or in the age to come.” (マタイ 12:32)</p> <p>“Assuredly, I say to you, all sins will be forgiven</p>

すべてのことは赦されます。しかし、だれでも聖霊を冒とくする者には永久に許しがなく、その者は永遠の罪を負うのです。』」（マルコ 3:28-29）

でも、それはみな赦していただけます。しかし、聖霊をけがす者はだれでも、永遠に赦されず、とこしえの罪に定められます。』」（マルコ 3:28-29）

the sons of men, and whatever blasphemies they may utter; but he who blasphemes against the Holy Spirit never has forgiveness, but is subject to eternal condemnation”-

(マルコ 3:28-29)

相続した罪はこの種の罪ではないか？

「ところが神は、わたしたちがまだ罪人であった間にキリストがわたしたちのために死んでくださったことにおいて、ご自身の愛をわたしたちに示しておられるのです。」（ローマ 5:8）

「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに對するご自身の愛を明らかにしておられます。」（ローマ 5:8）

But God demonstrates His own love toward us, in that while we were still sinners, Christ died for us.

(ローマ 5:8)

「それゆえ、一人の人を通して罪が世に入り、罪を通して死が[入り]、こうして死が、すべて[の人]が罪をおかしたがゆえにすべての人に広がったのと同じように。」（ローマ 5:12）

「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、それというのも全人類が罪を犯したからです。」（ローマ 5:12）

Therefore, just as through one man sin entered the world, and death through sin, and thus death spread to all men, because all sinned- (ローマ 5:12)

「こうして、一つの罪過を通してあらゆる人に及んだ結果が有罪宣告であったのと同じように、正しさを立証する一つの行為を通してあらゆる人に及ぶ結果もまた、命のために彼らを義と宣することなのです。」（ローマ 5:18）

「こういうわけで、ちょうど一つの違反によってすべての人が罪に定められたのと同様に、一つの義の行為によってすべての人が義と認められて、いのちを与えられるのです。」（ローマ 5:18）

Therefore, as through one man's offense judgment came to all men, resulting in condemnation, even so through one Man's righteous act the free gift came to all men, resulting in justification of life.

(ローマ 5:18)

「不義はすべて罪です。しかし、死を来たさない罪もあるのです。」（1ヨハネ 5:17）

「不正はみな罪ですが、死に至らない罪があります。」（1ヨハネ 5:17）

All unrighteousness is sin, and there is sin not leading to death.

(1ヨハネ 5:17)

人は聖霊を憂えさせても、立ち返ることができるか？

「また、神の聖霊を悲しませることのないよになさい。贖いによる釈放の日のために、あなた方はそれをもって証印を押されたのです。」（エペソ 4:30）

「神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。」（エペソ 4:30）

And do not grieve the Holy Spirit of God, by whom you were sealed for the day of redemption. (エペソ 4:30)

「わたしの兄弟たち、もしあなた方の中のだれかが惑わされて真理からそれ、別の人がこれを立ち返らせるなら、罪人をその道の誤りから立ち返らせる人は、その人の魂を死から救い、多くの罪を贖う、ということを知りなさい。」（ヤコブ 5:19-20）

「私の兄弟たち。あなたがたのうちに、真理から迷い出た者がいて、だれかがその人を連れ戻すようなことがあれば、罪人を迷いの道から引き戻す者は、罪人のたまいを死から救い出し、また、多くの罪をおおうのだということを、あなたがたは知っていないさい。」

（ヤコブ 5:19-20）

Brethren, if anyone among you wanders from the truth, and someone turns him back, let him know that he who turns a sinner from the error of his way will save a soul from death and cover a multitude of sins.

（ヤコブ 5:19-20）

罪を意識的に習わしにするなら死に至るか？

「彼と結ばれたままにいる者はだれも罪を習わしにしません。罪を習わしにする者はだれも、彼を見たことも、知ようになったことも、ありません。子供らよ、だれにも惑わされてはなりません。義を行ないつづける者は、かの方が義にかなっておられるのと同じように、義にかなっているのです。罪を行ないつづける者は悪魔から出ています。悪魔は初めから罪をおかしてきたからです。神の子が現わされたのはこのためです。すなわち、悪魔の業を打ち壊すためです。神から生まれた者はだれも罪を行ないつづけません。〔神〕の〔再生する〕種がその人のうちにとどまっているからです。そしてその人は罪を習わしにすることができません。神から生まれているからです。」

（1ヨハネ 3:6-9）

「だれでもキリストのうちにとどまる者は、罪のうちは歩みません。罪のうちは歩む者はだれも、キリストを見ていないし、知ってもいないのです。子どもたちよ。だれにも惑わされてはいけません。義を行なう者は、キリストが正しくあられるのと同じように正しいのです。罪のうちは歩む者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。だれでも神から生まれた者は、罪のうちは歩みません。なぜなら、神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪のうちは歩むことができないのです。」

（1ヨハネ 3:6-9）

Whoever abides in Him does not sin. whoever sins has sins has neither seen Him nor known Him. Little children, let no one deceive you. He who practices righteousness is righteous, just as He is righteous. He who sins is of the devil, for the devil has sinned from the beginning. For this purpose the Son of God was manifested, that He might destroy the works of the devil. Whoever has been born of God does not sin, for His seed remains in him; and he cannot sin, because he has been born of God.

（1ヨハネ 3:6-9）

神はそのような人を裁き、聖霊を取り去るか？

「一度かざりの啓発を受け、天からの無償の賜物を味わい、聖霊にあずかる者となり、神の優れた言葉と来たるべき事物の体制の力とを味わっておきながら、なおも離れ落ちた者たちについては、そうした者たちを再び悔い改めに戻すことは不可能なものです。なぜなら、彼らは神の子を自分であらためて抗いにつけ、公の恥にさらしているからです。たとえば、その上に、しば

「一度光を受けて天からの賜物の味を知り、聖霊にあずかる者となり、神のすばらしいみことばと、後にやがて来る世の力とを味わったうえで、しかも墮落してしまうならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、恥辱を与える人たちだからです。土地は、その上にしばしば降る雨を吸い込んで、これを耕す人たちのために有

For it is impossible for those who were once enlightened, and have tasted the heavenly gift, and have become partakers of the Holy Spirit, and have tasted the good word of God and

しは降る雨を吸い込み、その耕作の目的となっている人々に適する草木を生み出す地面は、報いとして神から祝福を受けます。しかし、いばらやあざみを生じるなら、それは退けられ、のろわれたも同然になり、ついに焼かれてしまいます。」

(ヘブル 6:4-8)

用な作物を生じるなら、神の祝福にあずかります。しかし、いばらやあざみなどを生えさせるなら、無用なものであって、やがてのろいを受け、ついに焼かれてしまいます。」 (ヘブル 6:4-8)

the powers of the age to come, if they fall away, to renew them again to repentance, since they crucify again for themselves the Son of God, and put Him to an open shame. For the earth which drinks in the rain that often comes upon it, and bears herbs useful for those by whom it is cultivated, receives blessing from God; but if it bears thorns and briars, it is rejected and near to being cursed, whose end is to be burned. (ヘブル 6:4-8)

悔い改めないそのような者のために祈るべきではないか？

「自分の兄弟が死を来たさない罪を犯しているのを目にするなら、その人は[その兄弟のために] 求めるでしょう。そうすれば、[神]はその人に、そうです、死を来たすような罪を犯していない者たちに命をお与えになるでしょう。死を来たす罪があります。この罪については、願うようにとは言いません。不義はすべて罪です。しかし、死を来たさない罪もあるのです。」 (1ヨハネ 5:16-17)

「だれでも兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見たなら、神に求めなさい。そうすれば神はその人のために、死に至らない罪を犯している人々に、いのちをお与えになります。死に至る罪があります。この罪については、願うようにとは言いません。不正はみな罪ですが、死に至らない罪があります。」 (1ヨハネ 5:16-17)

If anyone sees his brother sinning a sin which does not lead to death, he will ask, and He will give him him life for those who commit sin not leading to death. There is sin leading to death. I do not say that he should pray about that. All unrighteousness is sin, and there is sin not leading to death.

(1ヨハネ 5:16-17)

イ. 14万 4,000人だけが天に行くか？

限られた人数か？ キリストと共に王となるか？

「そして彼らは新しい歌を歌って言う、『あなたは巻
き物を受け取ってその封印を開くにふさわしい方です
。あなたはほふられ、自分の血をもって、あらゆる部
族と国語と民と国民の中から神のために人々を買い取
ったからです。そして、彼らをわたしたちの神に対し
て王国また祭司とし、彼らは地に対し王として支配す
るのです。』」（黙示録 5:9-10）

「彼らは、新しい歌を歌って言った。『あなたは、巻き物
を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。あ
なたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、国語
、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、私たちの
神のために、この人々を王国とし、祭司とされました。彼
らは地上を治めるのです。』」

(黙示録 5:9-10)

And they sang a new song,
saying: "You are worthy to
take the scroll, And to open
its seals; For You were
slain, And have redeemed us
to God by Your blood Out
every tribe and tongue and
people and nation, And have
made us kings and priests
to our God; And we shall
reign on the earth."

(黙示録 5:9-10)

「またわたしは、[数々の]座を見た。それに座して
いる者たちがあり、裁きをする力が彼らに与えられた
。実に、イエスについて行なった証しのため、また神
について語ったために斧で処刑された者たち、また、
野獣もその像をも崇拝せず、額と手に印を受けなかつ
た者たちの魂を見たのである。そして彼らは生き返り
、キリストと共に千年のあいだ王として支配した。」

(黙示録 20:4)

「また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。
そしてさばきを行なう権威が彼らに与えられた。また私は
、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた
人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に
獣の刻印を押されなかつた人たちを見た。彼らは生き返つ
て、キリストとともに、千年の間王となった。」

(黙示録 20:4)

And I saw thrones, and they
sat on them, and judgment
was committed to them. Then
I saw the souls of those
who had been beheaded for
their witness to Jesus and
for the word of God, who
had not worshiped the beast
or his image, and had not
received his mark on their
foreheads or on their hands
. And they lived and reigned
with Christ for a thousand
years. (黙示録 20:4)

イエスはその先がけか？ 他の人々はそれ以後に選ばれたか？

「そして彼は体である会衆の頭です。彼は初めてあり
、死人の中からの初子です。それは、彼がすべての事
において最初の者となるためでした。」

(コロサイ 1:18)

「また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子
は初めてあり、死者の中から最初に生まれた方です。こう
して、ご自身がすべてのことにおいて、第一のものとなら
れたのです。」 (コロサイ 1:18)

And He is the head of the
body, the church, who is the
beginning, the first born
from the dead, that in all
things He may have the
preeminence. (コロサイ 1:18)

「事実、あなた方はこうした[道]に召されたのです

「あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キリス

For to this you were called,

。キリストでさえあなたのために苦しみを受け、あなた方がその歩みにしっかり付いて来るよう手本を残されたからです。」（1ペテロ 2:21）

トも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を渡されました。」（1ペテロ 2:21）

because Christ also suffered for us, leaving us an example, that you should follow His steps:

（1ペテロ 2:21）

他の大勢の人は地上に住むか？

「そして、彼は海から海に至るまで、川から地の果てに至るまで臣民を持つことになります。」（詩篇 72:8）

「彼は海から海に至るまで、また、川から地の果て果てに至るまで統べ治めますように。」（詩篇 72:8）

He shall have dominion also from sea to sea, And from the River to the ends of the earth. （詩篇 72:8）

「それと共に、わたしはみ座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ！ 神の天幕が人と共にあり、[神]は彼らと共に住み、彼らはその民となるであろう。そして神みずから彼らと共におられるであろう。また[神]は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってください、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』」（黙示録 21:3-4）

「そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってください。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』」（黙示録 21:3-4）

And I heard a loud voice from heaven saying, “Behold, the tabernacle of God is with men, and He will dwell with them, and they shall be His people. God Himself will be with them and be their God. And God will wipe away every tear from their eyes; there shall be no more death, nor sorrow, nor crying. There shall be no more pain, for the former things have passed away.” （黙示録 21:3-4）

14万 4,000人は他の人の持たない特別の地位を得るか？

「またわたしが見ると、見よ、子羊がシオンの山に立っており、彼と共に、十四万四千人の者が、彼の名と彼の父の名をその額に書かれて[立っていた]。」（黙示録 14:1）

「また私は見た。見よ。小羊がシオンの山の上に立っていた。また小羊とともに十四万四千人の人たちがいて、その額には小羊の名と、小羊の父の名とがしるしてあった。」（黙示録 14:1）

Then I looked, and behold, a Lamb standing on Mount Zion, and with Him one hundred and forty-four thousand, having His Father's name written on their foreheads.

（黙示録 14:1）

「そして彼らは、み座の前および四つの生き物と長老たちの前で、新しい歌であるかのような「歌」を歌っている。地から買い取られた十四万四千人の者でなければ、だれもその歌を学び取ることができなかった。」（黙示録 14:3）

「彼らは、御座の前と、四つの生き物および長老たちの前で、新しい歌を歌った。しかし地上から贖われた十四万四千人のほかには、だれもこの歌を学ぶことができなかった。」（黙示録 14:3）

They sang as it were a new song before the throne, before the four living creatures, and the elders;

」 (黙示録 14:3)

「そしてわたしは、証印を押された者たちの数を聞いたが、それは十四万四千であり、イスラエルの子らのすべての部族の者たちが証印を押された。」

(黙示録 7:4)

「これらのことの後、わたしが見ると、見よ、すべての国民と部族と民と国語の中から来た、だれも数えつくことのできない大群衆が、白くて長い衣を着て、み座の前と子羊の前に立っていた。彼らの手には、やしの枝があった。」 (黙示録 7:9)

「それから私が、印を押された人々の数を聞くと、イスラエルの子孫のあらゆる部族の者が印を押されていて、十四万四千人であった。」 (黙示録 7:4)

「その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立っていた。」 (黙示録 7:9)

and no one could learn that song except the hundred and forty-four thousand who were redeemed from the earth. (黙示録 14:3)

And I heard the number of those who were sealed. One hundred and forty-four thousand of all the tribes of the children of Israel were sealed: (黙示録 7:4)

After these things I looked, and behold a great multitude which no one could number, of all nations, tribes, peoples, and tongues, standing before the throne and before the Lamb, clothed with white robes, with palm branches in their hands, (黙示録 7:9)

36. 偽預言者

新世界訳

新改訳

英語

イ. 偽預言者は予告されたか？ 使徒時代以来、存在したか？

偽預言者を見分ける方法は？

「『しかし、話すようにわたしに命じたのではない言葉をあえてわたしの名において話し、あるいは他の神々の名において話す預言者、その預言者は死ななければならない。そして、あなたが心の中で、『エホバが話されたのではない言葉をどのようにして知るか』と言う場合であるが、もし預言者がエホバの名において話しても、その言葉が実現せず、そのとおりにならなければ、それはエホバが話されなかった言葉である。その預言者はせん越にそれを話したのである。あなたはそ者に恐れ驚いてはならない。』」

(申命記 18:20-22)

「『災いです！ すべての人があなたの方のことを良く言うときには、そのようなことは、彼らの父祖が偽りの預言者たちに対して行なったことなのです。』」

(ルカ 6:26)

「『ただし、わたしが告げよと命じていないことを、不遜にもわたしの名によって告げたり、あるいは、ほかの神々の名によって告げたりする預言者があるなら、その預言者は死ななければならない。』あなたが心の中で、『私たちは、主が言われたのではないことばを、どうして見分けることができるか。』と言うような場合は、預言者が主の名によって語っても、そのことが起こらず、実現しないなら、それは主が語られたことばではない。その預言者が不遜にもそれを語ったのである。彼を恐れてはならない。』」

(申命記 18:20-22)

「みなの人にほめられるときは、あなたがたは哀れな者です。彼らの先祖は、にせ預言者たちをそのように扱ったからです。」 (ルカ 6:26)

'But the prophet who presumes to speak a word in My name, which I have not commanded him to speak, or who speaks in the name of other gods, that prophet shall die.' "And if you say in your heart, 'How shall we know the word which the Lord has not spoken?' - " when a prophet speaks in the name of the Lord, if the thing does not happen or come to pass, that is the thing which the Lord has not spoken; the prophet has spoken it presumptuously; you shall not be afraid of him. (申命記 18:20-22)

Woe to you when all men speak well of you, For so did their fathers to the false prophets. (ルカ 6:26)

予告されていたか？ 実によって見分けられるか？

「『その時、『見よ、ここにキリストがいる』とか、あそこ！』とか言う者がいても、それを信じてはなりません。偽キリストや偽預言者が起こり、できれば選ばれた者たちをさえ惑わそうとして、大きなしるしや不思議を行なうからです。ご覧なさい、わたしはあなた方にあらかじめ警告しました。それゆえ、人々が、『見よ、彼は荒野にいる』と言っても、出て行ってはなりません。『見よ、奥の間にいる』[と言っても]、それを信じてはなりません。」

(マタイ 24:23-26)

「そのとき、『そら、キリストがここにいる。』とか、『そこにいる。』とか言う者があっても、信じてはいけません。にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。さあ、わたしは、あなたがたに前もって話しました。だから、たとい、『そら、荒野にいらっしゃる。』と言っても、飛び出して行ってはいけません。『そら、へやにいらっしゃる。』と聞いても、信じてはいけません。」 (マタイ 24:23-26)

"Then if anyone says to you, 'Look, here is the Christ!' or 'There!' do not believe it. For false christs and false prophets will rise and show great signs and wonders to deceive, if possible, even the elect. See, I have told you beforehand. Therefore if

「『羊の覆いを付けてあなたの方のもとに来る偽預言者たちに警戒していなさい。内側では、彼らはむさぼり食うおおかみです。あなた方は、その実によって彼らを見分けるでしょう。いばらからぶどうを、あざみからいちじくを集めることなどないではありませんか。同じように、良い木はみなりっぱな実を生み出し、腐った木はみな無価値な実を生み出すのです。良い木は無価値な実を結ぶことができず、腐った木がりっぱな実を生み出すこともできません。りっぱな実を生み出していない木はみな切り倒されて火の中に投げ込まれます。それでほんとうに、あなた方はその実によってそれら[の人々]を見分けるのです。わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の王国に入るのではなく、天におられるわたしの父のご意志を行なう者が[入る]のです。その日には、多くの者がわたしに向かって、『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊たちを追い出し、あなたの名において強力な業を数多く成し遂げなかったでしょうか』と言うでしょう。しかしその時、わたしは彼らにはっきり言います。わたしは決してあなた方を知らない、不法を働く者たちよ、わたしから離れ去れ、と。』」

(マタイ 7:15-23)

「にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。あなたがたは、実によって彼らを見分けることができますぶどうは、いばらからは取れないし、いちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。同様に、良い木はみな良い実を結ぶが、悪い木は悪い実を結びます。良い木が悪い実をならせることはできないし、また、悪い木が良い実をならせることもできません。良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がはいるのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』」 (マタイ 7:15-23)

they say to you, 'Look, He is in the desert!' do not go out; or 'Look, He is in the inner rooms!' do not believe it. (マタイ 24:23-26)

"Beware of false prophets, who come to you in sheep's clothing, but inwardly they are ravenous wolves. You will know them by their fruits. Do men gather grapes from thornbushes or figs from thistles? Even so, every good tree bears good fruit, but a bad tree bears bad fruit. A good tree cannot bear bad fruit, nor can a bad tree bear good fruit. Every tree that does not bear good fruit is cut down and thrown into the fire. Therefore by their fruits you will know them.

Not everyone who says to Me, 'Lord, Lord,' shall enter the kingdom of heaven, but he who does the will of My Father in heaven. Many will say to Me in that day, 'Lord, Lord, have we not prophesied in Your name, cast out demons in Your name, and done many wonders in Your name?' And then I will declare to them, 'I never knew you; depart from Me, you who practice lawlessness!'

(マタイ 7:15-23)

37. 年代

新世界訳

新改訳

英語

イ. (西暦) 1914年に諸国民の時は終わるか?

王国支配者の王統は西暦 607年に中断されたか?

「『そして、致命的な傷を負ったイスラエルの邪悪な長よ、その日が終わりのとがの時に来たあなたについて、主権者なる主エホバはこのような言われた。『ターバンを取り除き、冠を取り外せ。これは同じではなくなるであろう。低いものを高くし、高い者を低くせよ。わたしはそれを破滅、破滅、破滅とする。これについてまた、それは法的権利を持つ者が来るまで、決して[だれのものにも]ならない。わたしはその者に[これを]必ず与える。』」

(エゼキエル 21:25-27)

「悪に汚れたイスラエルの君主よ。あなたの日、最後の刑罰の時が来た。神である主はこう仰せられる。かぶり者は脱がされ、冠は取り去られる。すべてがすっかり変わり、低い者は高くされ、高い者は低くされる。廃墟だ。廃墟だ。わたしはこの国を廃墟にする。このようなことは、わたしが授ける権威を持つ者が来るまでは、かつてなかったことだ。」 (エゼキエル 21:25-27)

'Now to you, O profane, wicked prince of Israel, whose day has come, whose iniquity shall end, ' thus says the Lord God: "Remove the turban, and take off the crown; Nothing shall remain the same. Exalt the humble, and humble the exalted. Overthrown, overt overthrown, I will make it overthrown! It shall be no longer, Until He comes whose right it is, And I will give it to Him." '

(エゼキエル 21:27)

支配が復興されるまで「七つの時」を経るか?

「『あなたは人の中から追われ、あなたの住みかは野の獣と共になる。彼らはあなたに草木を与えて雄牛のように食べさせ、七つの時があなたの上に過ぎ、ついにあなたは、志高者が人間の王国の支配者であり、ご自分の望む者にそれを与える、ということを知るであろう。』」 (ダニエル 4:32)

「『あなたは人間の中から追い出され、野の獣とともに住み、牛のように草を食べ、こうして七つの時があなたの上を過ぎ、ついに、あなたは、いと高き方が人間の国を支配し、その国をみどころにかなう者にお与えになることを知るようにになる。』」 (ダニエル 4:32)

"And they shall drive you from men, and your dwelling shall be with the beasts of the field. They shall make you eat grass like oxen; and seven times shall pass over you, until you know now that the Most High rules in the kingdom of men, and gives it to whomever He chooses." (ダニエル 4:32)

「『その心を人の[心]から変わらせ、獣の心をそれに与えて、七つの時をその上に過ぎさせよ。この事は見張りの者たちの定めにより、その要請は聖なる者たちのことは[による]。これは、志高者が人間の王国の支配者であり、ご自分の望む者にそれを与え、人のうち最も立場の低い者をささその上に立てるといふこ

「『その心を、人間の心から変えて、獣の心をそれと与え、七つの時をその上に過ぎさせよ。この宣言は見張りの者たちの布告によるもの、この決定は聖なる者たちの命令によるものだ。それは、いと高き方が人間の国を支配し、これをみどころにかなう者に与え、また人間の中の最もへりくだった者をその上に立てることを、生ける者が知るため

Let his heart be changed from that of a man, Let him be given the heart of a beast, And let seven times pass over him. ' This decision is by the decree of

とを、生ける者が知るためである。』」
(ダニエル 4:16-17)

である。』」 (ダニエル 4:16-17)

the watchers, And the sentence by the word of the holy ones, In order that the living may know That the Most High rules in the kingdom of men, Gives it to whomever He will, And sets And sets over it the lowest of men.'

(ダニエル 4:16-17)

七つ = $2 \times 3^{1/2}$ 時、あるいは $2 \times 1,260$ 日か？

「それから女は、神によって備えられた自分の場所があるように、良い木はみな荒野に逃げた。それは、彼が千二百六十日の間そこで彼女を養うためであった。」
(黙示録 12:6)

「女は荒野に逃げた。そこには、千二百六十日の間彼女を養うために、神によって備えられた場所があった。」
(黙示録 12:6)

Then the woman fled into the wilderness, where she has a place prepared by God, that they should feed her there one thousand two hundred and sixty days.

(黙示録 12:6)

「しかし、大きな鷲の二つの翼が女に与えられた。荒野の中の自分の場所に飛んで行くためであった。そこは、一時と〔二〕時と半時のあいだ彼女が蛇の頭から離れて養われるところである。」
(黙示録 12:14)

「しかし、女は大わしの翼を二つ与えられた。自分の場所である荒野に飛んで行って、そこで一時と二時と半時の間、蛇の前をのがれて養われるためであった。」
(黙示録 12:14)

But the woman was given two wings of a great eagle, that she might fly into the wilderness to her place, where she is nourished for a time and times and half a time, from the presence of the serpent.

(黙示録 12:14)

「『しかし、神殿〔の聖なる所〕の外側にある中庭は、これをまったくほって置き、そこを測ってはいらない。それは諸国民に与えられているからである。彼らは聖なる都市を四十二か月のあいだ踏みしめるであろう。そしてわたしは、わたしの二人の証人に、粗布を来て千二百六十日のあいだ預言させる。』」
(黙示録 11:2-3)

「『聖所の外の庭は、異邦人に与えられているゆえ、そのままに差し置きなさい。測ってはいけません。彼らは聖なる都を四十二か月の間踏みしめる。それから、わたしがわたしのふたりの証人に許すと、彼らは荒布を着て千二百六十日の間預言する。』」 (黙示録 11:2-3)

"But leave out the court which is outside the temple, and do not measure it, for it has been given to the Gentiles. And they will tread the holy city underfoot for forty-two months. And I will give power to my two witnesses, and they will prophesy one thousand two hundred and

一日は一年 [2,520年となる] か？

「そしてそれを完了しなければならない。『また、二度目には、あなたは右を下にして横たわり、四十日の間ユダの家のとがを負わなければならない。わたしはあなたに一年に対して一日、一年に対して一日を与えたのである。』 (エゼキエル 4:6)

「あなたがその地を探るのにかけた日数、それが四十日であったので、一年に対して一日、一年に対して一日として、あなた方は四十年のあいだ自分のとがに対する責めを負う。あなた方は、わたしから離されていることがどういうことを必ず知るであろう。」
(民数記 14:34)

王国の設立の時まで続くか？

「そして人々は剣の刃に倒れ、捕らわれとなってあらゆる国民の中へ引かれてゆくでしょう。そしてエルサレムは、諸国民の定められた時が満ちるまで、諸国民に踏みじられるのです。」 (ルカ 21:24)

「『わたしが夜の幻の中でずっと見ていると、見よ、天の雲と共に人の子のような者が来るのであった。その者は日を経た方に近づき、彼らはこれをその方のすぐ前に連れて来た。そして、その者には、支配権と尊厳と王国とが与えられた。もろもろの民、国たみ、もろもろの言語の者が皆これに仕えるためであった。その支配権は、過ぎ行くことのない、定めなく、続く支配権、その王国は滅びに至ることのないものである。』」 (ダニエル 7:13-14)

「あなたがその日数を終えたら、次にまた、あなたの右わきを下にして横たわり、ユダの家の咎を四十日間、負わなければならない。わたしは、あなたのために一年に対して一日とした。」 (エゼキエル 4:6)

「あなたがたが、かの地を探った日数は四十日であった。その一日を一年と数えて、四十年の間あなたがたは自分の咎を負わなければならない。こうしてわたしへの反抗が何かを思い知ろう。」 (民数記 14:34)

「人々は、剣の刃に倒れ、捕虜となってあらゆる国に連れて行かれ、異邦人の時の終わるまで、エルサレムは異邦人に踏み荒らされます。」 (ルカ 21:24)

「私がまた、夜の幻を見てみると、見よ、人の子のような方が天の雲に乗って来られ、年を経た方のもとに進み、その前に導かれた。この方に、主権と栄光と国が与えられ、諸民、諸国、諸言語の者たちがことごとく、彼に仕えることになった。その主権は永遠の主権で、過ぎ去ることがなく、その国は滅びることがない。」
(ダニエル 7:13-14)

sixty days, clothed in sackcloth.” (黙示録 11:2-3)

“And when you have completed them, lie again on your right side; then you shall bear the iniquity of the house of Judah forty days. I have laid on you a day for each year. (エゼキエル 4:6)

’According to the number of the days in which you spied out the land, forty days, for each day you shall bear your guilt one year, namely forty years, and you shall know My rejection.’

(民数記 14:34)

“And they will fall by the edge of the sword, and be led away captive into all nations. And Jerusalem will be trampled by Gentiles until the times of the Gentiles are fulfilled.”

(ルカ 21:24)

“I was watching in the night visions, And behold, One like the Son of Man, Coming with the clouds of heaven! He came to the Ancient of Days, And they brought Him near before Him. Then to Him was given dominion and glory and a kingdom, That all peoples, nations, and languages should serve Him.

His dominion is an
everlasting dominion, Which
shall not pass away, And His
kingdom the one Which shall
not be destroyed.

(ダニエル 7:13-14)

38. バプテスマ

新世界訳

新改訳

英語

イ. クリスマンに対する要求か？

イエスは手本を示されたか？

「『その時、イエスはガリラヤからヨルダンに、ヨハネのところに來られたが、彼からバプテスマを受けるためであった。しかし[ヨハネ]は彼をとどめようとして言った、『私こそあなたからバプテスマを受ける必要のある者なのに、あなたが私のもとにおいでになるのですか。』イエスは答えて言われた、『この度はそうさせてもらいたい。このようにしてわたしたちが義にかなったことをすべて果たすのはふさわしいことなのです。』そこで[ヨハネ]はとどめるのをやめた。」 (マタイ 3:13-15)

「そこでわたしは言った、『ご覧ください、わたしは参りました(書の巻き物にわたしについて書いてあります)、神よ、あなたのご意志を行なうために。』」 (ヘブル 10:7)

「さて、イエスは、ヨハネからバプテスマを受けるために、ガリラヤからヨルダンにお着きになり、ヨハネのところに來られた。しかし、ヨハネはイエスにそうさせまいとして、言った。『私こそ、あなたからバプテスマを受けるはずなのに、あなたが、私のところにおいでになるのですか。』ところが、イエスは答えて言われた。『今はそうさせてもらいたい。このようにして、すべての正しいことを実行するのは、わたしたちにふさわしいのです。』そこで、ヨハネは承知した。」 (マタイ 3:13-15)

「そこでわたしは言いました。『さあ、わたしは來ました。聖書のある巻に、わたしについているとされており、神よ、あなたのみこころを行なうために。』」 (ヘブル 10:7)

Then Jesus came from Galilee to John at the Jordan to be baptized by him. And John tried to prevent Him, saying, "I need to be baptized by You, and are You coming to me?" But Jesus answered and said to him, "Permit it to be so now, for thus it is fitting for us to fulfill all righteousness." Then he allowed Him. (マタイ 3:13-15)
Then I said, 'Behold, I have come-In the volume of the book it is written of Me-To do Your will, O God.' "

(ヘブル 10:7)

献身または自分を捨てたことの象徴か？

「それからイエスは弟子たちに言われた、『だれでもわたしに付いて來たいと思うなら、その人は自分を捨て、自分の苦しみの杭を取り上げて、絶えずわたしのあとに従いなさい。』」 (マタイ 16:24)

「これに相当するもの、すなわちバプテスマ(肉の汚れを除くことではなく、神に対して正しい良心を願い求めること)がまた、イエス・キリストの復活を通して今あなた方を救っているのです。」 (1ペテロ 3:21)

「それから、イエスは弟子たちに言われた。『だれでもわたしについて來たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて來なさい。』」 (マタイ 16:24)

「そのことは、今あなたがたを救うバプテスマをあらかじめ示した型なのです。バプテスマは肉体の汚れを取り除くものではなく、正しい良心の神への地踏であり、イエス・キリストの復活によるものです。」 (1ペテロ 3:21)

Then Jesus said to His disciples, "If anyone desires to come after Me, let him deny himself, and take up his cross, and follow Me. (マタイ 16:24)
There is also an antitype which now saves us-baptism (not the removal of the filth of the flesh, but the answer of a good conscience toward God). through the resurrection of Jesus Christ , (1ペテロ 3:21)

教えを受けられる年齢に達した者だけが受けるか？

「『それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子とし、父と子と聖霊との名において彼らにバプテスマを施し、わたしがあなた方に命令した事柄すべてを守り行なうように教えなさい。そして、見よ、わたしは事物の体制の終結の時までいつの日もあなた方と共にいるのです。』」（マタイ 28:19-20）

「そのため、彼のことばを心から受け入れた者たちはバプテスマを受け、その日におよそ三千人の魂が加えられた。」（使徒 2:41）

「『それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。』」（マタイ 28:19-20）

「そこで、彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。」（使徒 2:41）

“Go therefore and make disciples of all the nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, teaching them to observe all things that I have commanded you; and lo, I am with you always, even to the end of the age.” Amen.

（マタイ 28:19-20）

Then those who gladly received his word were baptized; and that day about three thousand souls were added to them.（使徒 2:41）

水に浸されるのが正しい方法か？

「そして彼は、兵車に、止まるように命令し、ふたりは共に、フィリポも宦官も水の中に下りて行った。そして[フィリポ]は彼にバプテスマを施した。彼らが水から上がって来ると、エホバの霊がフィリポを急いで連れ去り、宦官はもう彼を見なかったが、歎びながら、自分の道を進んで行った。」（使徒 8:38-39）

「しかしヨハネも、サリムに近いアイノンでバプテスマを施していた。そこには多量の水があったからであり、人々は次々にやって来てバプテスマを受けていた。」（ヨハネ 3:23）

「そして馬車を止めさせ、ピリポも宦官も水の中へ降りて行き、ピリポは宦官にバプテスマを授けた。水から上がって来たとき、主の霊がピリポを連れ去られたので、宦官はそれから後彼を見なかったが、喜びながら帰って行った。」（使徒 8:38-39）

「一方ヨハネもサリムに近いアイノンでバプテスマを授けていた。そこには水が多かったからである。人々は次々にやって来て、バプテスマを受けていた。」（ヨハネ 3:23）

So he commanded the chariot to stand still. And both Philip and the eunuch went down into the water, and he baptized him. Now when they came up out of the water, the Spirit of the Lord caught Philip away, so that the eunuch saw him no more; and he went on his way rejoicing.（使徒 8:38-39）

Now John also was baptizing in Aenon near Salim, because there was much water there. And they came and were baptized.（ヨハネ 3:23）

ロ．罪を洗い去るものではないか？

イエスは罪を洗い去るためバプテスマを受けたのではないか？

「彼は罪を犯さず、またその口に欺きは見いだされませんでした。」（1ペテロ 2:22）

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。」（1ペテロ 2:22）

“Who committed no sin, Nor was deceit found in His mouth”;（1ペテロ 2:22）

「キリストでさえ、罪に関して一度かぎり死なれました。義なる方が不義の者たちのためにです。それはあなた方を神に導くためでした。彼は肉において死に渡され、霊において生かされたのです。」

(Iペテロ 3:18)

「キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、私たちを神のみもとに導くためでした。」 (Iペテロ 3:18)

For Christ also suffered once for sins, the just for the unjust, that He might bring us to God, being put to death in the flesh but made alive by the Spirit,

(Iペテロ 3:18)

イエスの血が罪を洗い去るか？

「しかし、[神]ご自身が光の中におられるのと同じように光の中を歩んでいるなら、確かにわたしたちは互いに分け合う者となっているのであり、み子イエスの血がわたしたちをすべての罪から清めるのです。」

(Iヨハネ 1:7)

「しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。」

(Iヨハネ 1:7)

But if we walk in the light as He is in the light, we have fellowship with one another, and the blood of Jesus Christ His Son cleanses us from all sin.

(Iヨハネ 1:7)

39. ハルマゲドン

新世界訳

新改訳

英語

イ. 悪を終わらせる神の戦争？

諸国民はハルマゲドンに集められるか？

「それらは実は悪霊の霊感による表現であってしるしを行ない、また人の住む全地の王たちのもとに出て行く。全能者なる神の大いなる日の戦争に彼らを集めるためである。」（黙示録 16:14）

「彼らはしるしを行なう悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。」（黙示録 16:14）

For they are spirits of demons, performing signs, which go out to the kings of the earth and of the whole world, to gather the to the battle of that great day of God Almighty.

（黙示録 16:14）

「そして、それらは[王たち]を、ヘブライ語でハルマゲドンと呼ばれる場所に集めた。」（黙示録 16:16）

「こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。」（黙示録 16:16）

And they gathered them together to the place called in Hebrew, Armageddon.

（黙示録 16:16）

み子とみ使いを用いて神が戦うか？

「これは、あなた方に患難をもたらす者に患難をもつて報い、一方患難を忍ぶあなた方には、主イエスがその強力なみ使いたちを伴い、燃える火のうちに天から表わし示される時、わたしたちと共に安らぎをもって[報いる]ことこそ、神にとって義にかなったことであるとと言えるからです。その際[イエス]は、神を知らない者と、わたしたちの主イエスについての良いたよりに従わない者に報復をします。実にこれらの者たちは、主の面前から、またその力の栄光から[離れて]永遠の滅びという司法上の処罰を受けます。」（Ⅱテサロニケ 1:6-9）

「つまり、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださることは、神にとって正しいことなのです。そのことは、主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現われるときに起こります。そのとき主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に報復されます。そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。」（Ⅱテサロニケ 1:6-9）

since it is a righteous thing with God to repay with tribulation those who trouble you, and to give you who are troubled rest with us when the Lord Jesus is revealed from heaven with His mighty angels, in flaming fire taking vengeance on those who do not know God, and on those who do not obey the gospel of our Lord Jesus Christ. These shall be punished with everlasting destruction from the presence of the Lord and from the glory of His power, (Ⅱテサロニケ 1:6-9)

「また、わたしは天が開かれているのを見た。すると、見よ、白い馬が[いた]。そして、それに乗っている者は忠実また真実となえられ、その者は義をもつ

「また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、『忠実また真実。』と呼ばれる方であり、義をもってさばきをし、戦いをされる。その目は燃える

Now I saw heaven opened, and behold, a white horse. And He who sat on him was

て裁き、また戦う。彼の目は炎であり、頭には多くの王冠がある。彼には記された名があるが、彼自身のほかはだれもそれを知らない。そして、彼は血の振り掛かった外衣で身を装っており、そのとなえられる名は神の言葉である。また、天にある軍勢が白い馬に乗って彼の後に従っていたが、彼らは白くて清い上等の亜麻布をまとっていた。そして、彼の口からは鋭くて長い剣が突き出ている。それによって諸国民を討つためである。また彼は、鉄の杖で彼らを牧する。また、全能者なる神の憤りの怒りのぶどう搾り場も踏む。そして、彼の外衣に、実にその股[のところに]、王の王また主の主と書かれた名がある。」

(黙示録 19:11-16)

炎であり、その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。その方は血に染まった衣を着ていて、その名は『神のことば』と呼ばれた。天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを牧される。この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。その着物にも、ももにも、『王の王、主の主。』という名が書かれていた。」

(黙示録 19:11-16)

called Faithful and True, and in righteousness He judges and makes war. His eyes were like a flame of fire, and on his head were many crowns. He had a name written that no one knew except Himself. He was clothed with a robe dipped in blood, and His name is called The Word of God. And the armies in heaven, clothed in fine linen, white and clean, followed Him on white horses. Now out of His mouth goes a sharp sword, that with it He should strike the nations. And He Himself will rule them with a rod of iron. He Himself treads the winepress of the fierceness and wrath of Almighty God. And He has on His robe and on His thigh a name written : KING OF KINGS AND LORD OF LORDS. (黙示録 19:11-16)

どのように生き残り得るか？

「法令が[何も]産み出さないうち、[その]日ともみがらのように過ぎ去ら[ないうち]、エホバの燃える怒りがあなた方に臨まないうちに、地の柔和な者たち、[神]の司法上の定めを守り行なってきたすべての者たちよ、エホバを求めよ、義を求め、柔和を求めよ。恐らくあなた方はエホバの怒りの日に隠されるであらう。」 (ゼパニヤ 2:2-3)

「屋間、吹き散らされるもみがらのように、あなたがたがならないうちに。主の燃える怒りが、まだあなたがたを襲わないうちに。主の怒りの日が、まだあなたがたを襲わないうちに。種の定めを行なうこの国のすべてのへりくだる者よ。主を尋ね求めよ。義を求めよ。柔和を求めよ。そうすれば、主の怒りの日にかくまわれるかもしれない。」

(ゼパニヤ 2:2-3)

Before the decree is issued, Or the day passes like chaff, Before the Lord's fierce anger comes upon you, Before the day of the Lord's anger comes upon you! Seek the Lord, all you meek of the earth, Who have upheld His justice. Seek righteousness, seek humility

「それでわたしはすぐ彼に言った、『わたしの主よ、あなたが知っておられます。』すると彼はわたしに言った、『これは大患難から出て来る者たちで、彼らは自分の長い衣を子羊の血で洗って白くした。』」

(黙示録 7:14)

「そこで、私は、『主よ。あなたこそ、ご存じます。』と言った。すると、彼は私にこう言った。『彼らは、大きな患難から抜け出て来た者たちで、その衣を小羊の血で洗って、白くしたのです。』」 (黙示録 7:14)

. It may be that you will be hidden In the day of the Lord's anger. (ゼバニヤ 2:2-3) And I said to him, "Sir, you know." So he said to me, "These are the ones who come out of the great tribulation, and washed their robes and made them white in the blood of the Lamb." (黙示録 7:14)

ロ. 神の愛に背くものではないか？

世は極度に腐敗しているか？

「しかし、このことを知っておきなさい。すなわち、終わりの日には、対処しにくい危機の時代が来ます。というのは、人々は自分を愛する者、金を愛する者、うぬぼれる者、ごう慢な者、冒とくする者、親に不従順な者、感謝しない者、忠節でない者、自然の情愛を持たない者、容易に合意しない者、中傷する者、自制心のない者、粗暴な者、善良さを愛さない者、裏切る者、片意地な者、[誇りのために]思い上がる者、神を愛するより快楽を愛する者、敬虔な専心という形を取りながら、その力において実質のない者となるからです。こうした人々からは離れなさい。」

(Ⅱテモテ 3:1-5)

「終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり、情け知らずの者、和解しない者、そしめる者、節制のない者、粗暴な者、善を好まない者になり、裏切る者、向こう見ずな者、慢心する者、神よりも快楽を愛する者になり、見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。」

(Ⅱテモテ 3:1-5)

But know this, that in the last days perilous times will come: For men will be lovers of themselves, lovers of money, boasters, proud, blasphemers, disobedient to parents, unthankful, unholy, unloving, unforgiving, slanderers, without self-control, brutal, despisers of good, traitors, headstrong, haughty, lovers of pleasure rather than lovers of God, having a form of godliness but denying its power. And from such people turn away!

(Ⅱテモテ 3:1-5)

神は辛抱しておられる？ が、公義は行動を求める？

「エホバはご自分の約束に関し、ある人々が遅さについて考えるような意味で遅いものではありません。むしろ、ひとりが減ばされることなく、すべての者が悔い改めに至ることを望まれるので、あなた方に対して辛抱しておられるのです。」 (Ⅱペテロ 3:9)

「主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも減ばることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」 (Ⅱペテロ 3:9)

The Lord is not slack concerning His promise, as some count slackness, but is longsuffering toward us, not willing that any should perish but that all should

「さらに、わたしたちの主、の辛抱を救いと考えなさい。それはわたしたちの主の辛抱を救いと考えなさい。それはわたしたちの愛する兄弟パウロも、自分に与えられた知恵にしたがってあなた方に書いたとおりです。」（Ⅱペテロ 3:15）

「『では、神は、日夜ご自分に向かって叫ぶその選ばれた者たちのためには、たとえ彼らに対して長く忍んでおられるとしても、必ず公正が行なわれるようにしてくださらないでしょうか。あなた方に言いますが、彼らのため速やかに公正が行なわれるようにしてくださるのです。とはいえ、人の子が到来する時、地上にほんとうに信仰を見いだすでしょうか。』」（ルカ 18:7-8）

正しい者が栄えるために邪悪な者を除くことが必要か？

「邪悪な者は義なる者のための贖いである。不実な行ないをしている者は廉直な者たちの代わりとなる。」（箴言 21:18）

「『しかし、諸国民は憤り、あなたご自身の憤りも到来しました。また、死んだ者たちを裁き、預言者なるあなたの奴隷たちと聖なる者たちに、そして、あなたのみ名を恐れる者たち、小なる者にも大なる者にも〔その〕報いを与え、地を破滅させている者たちを破滅に至らせる定められた時が〔到来しました。〕』」（黙示録 11:18）

「また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。それは、私たちの愛する兄弟パウロも、その与えられた知恵に従って、あなたがたに書き送ったとおりです。」（Ⅱペテロ 3:15）

「『まして神は、夜昼神を呼び求めている選民のためにさばきをつけないで、いつまでもそのことを放っておかれることがあるでしょうか。あなたがたに言いますが、神は、すみやかに彼らのために正しいさばきをしてくださいます。しかし、人の子が来たとき、はたして地上に信仰が見られるでしょうか。』」（ルカ 18:7-8）

「悪者が正しい人のための身代金となり、裏切り者が直ぐな人の身代わりとなる。」（箴言 21:18）

「『諸国の民は怒りました。しかし、あなたの御怒りの日が来ました。死者のさばかれる時、あなたのしもべである預言者たち、聖徒たち、また小さい者も大きい者もすべてあなたの御名を恐れかしこむ者たちに報いの与えられる時、地を滅ぼす者どもの滅ぼされる時です。』」（黙示録 11:18）

come to repentance.

（Ⅱペテロ 3:9）

and consider that the long suffering of our Lord is salvation-as also our beloved brother Paul, according to the wisdom given to him, has written to you.（Ⅱペテロ 3:15）

“And shall God not avenge His own elect who cry out day and night to Him, though He bears long with them? I tell you that He will avenge them speedily. Nevertheless, when the Son of Man comes, will He really find faith on the earth?”

（ルカ 18:7-8）

The wicked shall be a ransom for the righteous, And the unfaithful for the upright.

（箴言 21:18）

“The nations were angry, and Your wrath has come, And the time of the dead, that they should be judged, And that You should reward Your servants the prophets and the saints, And those who fear Your name, small and great, And should destroy those who destroy the earth.”（黙示録 11:18）

40. 反対、迫害

新世界訳

新改訳

英語

Ⅰ. クリスマンが反対される理由は？

イエスは憎まれたか？ 反対を予告したか？

「もし世があなた方を憎むなら、あなた方を憎むより前にわたしを憎んだのだ、ということをあなた方は知ります。あなた方が世のものであったなら、世は自らのものを好むことでしょう。ところが、あなた方は世のものではなく、わたしが世から選び出したので、そのために世はあなた方を憎むのです。奴隷はその主人より偉くはないと、わたしがあなた方に言った言葉を覚えておきなさい。彼らがわたしを迫害したのであれば、あなた方をも迫害するでしょう。彼らがわたしの言葉を守り行なったのであれば、あなた方の〔言葉〕をも守り行なうでしょう。」

(ヨハネ 15:18-20)

「そしてあなた方は、わたしの名のゆえにすべての人の憎しみの的となるでしょう。しかし、終わりまで耐え忍んだ人が救われる者です。」

(マタイ 10:22)

「もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりもわたしを先に憎んだことを知っておきなさい。もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、かえってわたしが世からあなたがたを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎むのです。しもべはその主人にまさるものではない、とわたしがあなたがたに言ったことばを覚えておきなさい。もし人々がわたしを迫害したなら、あなたがたをも迫害します。もし彼らがわたしのことばを守ったなら、あなたがたのことばをも守ります。」

(ヨハネ 15:18-20)

「また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人々に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。」 (マタイ 10:22)

“If the world hates you, you know that is hated Me before it hated you. If you were of the world, the world would love its own. Yet because you are not of the world, but I chose you out of the world, therefore the world hates you.

Remember the word that I said to you, ‘A servant is not greater than his master.’ If they persecuted Me, they will also persecute you. If they kept My word, they will keep yours also.”

(ヨハネ 15:18-20)

“And you will be hated by all for My name’s sake. But he who endures to the end will be saved.

(マタイ 10:22)

正しい原則に付き従うことは世を罪に定めるか？

「したがって、キリストは肉体において苦しみを受けられたのですから、あなた方も同じ精神の意向をもって身を固めなさい。肉体において苦しみを受けた者は罪をやめているからです。」 (Ⅰペテロ 4:1)

「彼らは、あなた方がこうした道を自分たちと共に放とうの同じ下劣などみにまで走り続けないので、当惑してあなた方のことをいよいよあしざまに言います。」 (Ⅰペテロ 4:4)

「このように、キリストは肉体において苦しみを受けられたのですから、あなたがたも同じ心構えで自分自身を武装しなさい。肉体において苦しみを受けた人は、罪とのかかわりを断ちました。」 (Ⅰペテロ 4:1)

「彼らは、あなたがたが自分たちといっしょに度を過ごした放蕩に走らないので不思議に思い、また悪口を言います。」 (Ⅰペテロ 4:4)

Therefore, since Christ suffered for us in the flesh, arm yourselves also with the same mind, for he who has suffered in the flesh has ceased from sin,

(Ⅰペテロ 4:1)

In regard to these, they think it strange that you do not run with them in the same flood of dissipation,

「愛する者たちよ、あなた方の間の燃えさかる火は、試練としてあなた方に起きているのであり、何か異常なことが身に降り懸かっているかのように当惑してはなりません。かえって、キリストの苦しみにあずかる者となっていることを喜びとしてゆきなさい。それは、彼の栄光の表わし示される時にも、あなた方が喜び、また喜びにあふれるためです。」

(Iペテロ 4:12-13)

「愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間に燃えさかる火の試練を、何か思いがけないことが起こったかのように驚き怪しむことなくむしろ、キリストの苦しみにあずかれるのですから、喜んでいなさい。それは、キリストの栄光が現われるときにも、喜びおどる者となるためです。」 (Iペテロ 4:12-13)

speaking evil of you.

(Iペテロ 4:4)

Beloved, do not think it strange concerning the fiery trial which is to try you, as though some strange thing happened to you; but rejoice to the extent that you partake of Christ's sufferings, that when His glory is revealed, you may also be glad with exceeding joy. (Iペテロ 4:12-13)

この体制の神サタンは王国に反対しているか？

「その人たちの間にあって、この事物の体制の神が不信者の思いをくらまし、神の像であるキリストについての栄光ある良いよりの光明が輝きわたらないようにしているのです。」 (IIコリント 4:4)

「そのばあい、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。」

(IIコリント 4:4)

whose minds the god of this age has blinded, who do not believe, lest the light of the gospel of the glory of Christ, who is the image of God, should shine on them. (IIコリント 4:4)

「冷静さを保ち、油断なく見張っていなさい。あなた方の敵対者である悪魔がほえるライオンのように歩き回って、[だれかを]むさぼり食おうとしています。」 (Iペテロ 5:8)

「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのうに、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。」

(Iペテロ 5:8)

Be sober, be vigilant; because your adversary the devil walks about like a roaring lion, seeking whom he may devour. (Iペテロ 5:8)

クリスチャンは恐れないか？ 神は支えてくださるか？

「死も、生も、み使いも政府も、今あるものも、来たるべきものも、力も、高さも、深さも、またほかのどんな創造物も、わたしたちの主キリスト・イエスにおける神の愛からわたしたちを引き離しえないことを、わたしは確信しているからです。」

(ローマ 8:38-39)

「私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。」 (ローマ 8:38-39)

For I am persuaded that neither death nor life, nor angels nor principalities nor powers, nor things present nor things to come, nor height nor depth, nor any other created thing, shall be able to separate us from the love of God which is in Christ Jesus our Lord. (ローマ 8:38-39)

「神に近づきなさい。そうすれば、〔神〕はあなた方に近づいてくださいます。あなた方の手を清くしなさい。罪人たちよ。また、あなた方の心を清めなさい、優柔不断の者たちよ。」（ヤコブ 4:8）

「神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪ある人たち。手を洗いきよめなさい。二心の人たち。心を清くしなさい。」

（ヤコブ 4:8）

Draw near to God and He will draw near to you. Cleanse your hands, you sinners; and purify your hearts, you double-minded.

（ヤコブ 4:8）

ロ．夫が何をしようと妻は神から離れてはならないか？

警告されていたか？ 夫は他の人の言葉で誤解しているのかもしれないか？

「わたしが地上に平和を投ずるために来たと考えてはなりません。平和ではなく、剣を投ずるために来たのです。わたしは分裂を生じさせるため、男をその父に、娘をその母に、若妻をそのしゅうとめに敵対〔させるために〕来たからです。実際、人の敵は自分の家の者たちでしょう。わたしに対するより父や母に対して愛情を抱く者はわたしにふさわしくありません。また、わたしに対するより息子や娘に対して愛情を抱く者はわたしにふさわしくありません。そして、だれでも自分の苦しみの杭を受け入れてわたしのあとに従わな

（マタイ 10:34-38）

「わたしが来たのは地に平和をもたらすためだと思てはなりません。わたしは、平和をもたらすために来たのではなく、剣をもたらすために来たのです。なぜなら、わたしは人をその父に、娘をその母に、嫁をそのしゅうとめに逆らわせるために来たからです。さらに、家族の者がその人の敵となります。わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。また、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。」

（マタイ 10:34-38）

“Do not think that I came to bring peace on earth. I did not come to bring peace but a sword. For I have come to ‘set a man against his father, a daughter against her mother, and a daughter-in-law against her mother-in-law’; and ‘a man’s enemies will be those of his own household.’ He who loves father or mother more than Me is not worthy of Me. And he who loves son or daughter more than Me is not worthy of Me. “And he who does not take his cross and follow after Me is not worthy of Me.”

（マタイ 10:34-38）

「『しかしわたしたちは、あなたの考えがどういふものか、あなたから聞くのがよいと思います。実際この派について、いたるところで反対が唱えられていることは、わたしたちの知るところからです。』」

（使徒 28:22）

「『私たちは、あなたが考えておられることを、直接あなたから聞くのがよいと思っています。この宗派については、至る所で非難があることを私たちは知っているからです。』」（使徒 28:22）

“But we desire to hear from you what you think; for concerning this sect, we know that it is spoken against everywhere.”

（使徒 28:22）

神とキリストに付き従わねばならないか？

「シモン・ペテロが彼に答えた、『主よ、わたしたちはだれのところに行けばよいのでしょうか。あな

「すると、シモン・ペテロが答えた。『主よ、私たちがだれのところに行きましょう。あなたは、永遠のいのちのこ

But Simon Peter answered Him, “Lord, to whom shall

たこそ永遠の命のことばを持っておられます。』」
(ヨハネ 6:68)

「彼らが、唯一まことの神であるあなたと、あなたがお遣わしになったイエス・キリストについての知識を取り入れること、これが永遠の命を意味しています。」
(ヨハネ 17:3)

とばを持っておられます。』」 (ヨハネ 6:68)

「その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。」 (ヨハネ 17:3)

we go? You have the words of eternal life.”

(ヨハネ 6:68)

“And this is eternal life, that they may know You, the only true God, and Jesus Christ whom You have sent.”

(ヨハネ 17:3)

忠実さによって夫を救い得るかもしれないか？

「というのは、妻よ、あなたは夫を救えないとどうして分かるのですか。また、夫よ、あなたは妻を救えないとどうして分かるのですか。」
(1コリント 7:16)

「同じように、妻たちよ、自分の夫に服しなさい。それは、み言葉に従順でない者がいるとしても、言葉によらず、妻の行状によって、つまり、深い敬意のこもったあなた方の貞潔な行状を実際に見て引き寄せられるためです。そして、あなた方の飾りは、髪を編んだり、金の装飾を身に着けたり、外衣を着たりする外面のものであってはなりません。むしろ、もの静かで温和な霊という朽ちない【装い】をした、心の中の秘められた人を【飾り】としなさい。それは神の目に大いに価値のあるものです。神に望みを置いた聖なる女たちも、先にはそのようにして身を飾り、自分の夫に服していたからです。サラがアブラハムを【主】と呼んでこれに従っていたとおりです。そしてあなた方は彼女の子供となったのです。もっともそれは、あなた方がいつも善を行ない、どんな怖ろしい事をも恐れずにいるならばのことです。」
(1ペテロ 3:1-6)

「なぜなら、妻よ。あなたが夫を救えるかどうか、どうしてわかりますか。また、夫よ。あなたが妻を救えるかどうか、どうしてわかりますか。」
(1コリント 7:16)

「同じように、妻たちよ。自分の夫に服従しなさい。たとえ、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまによって、神のものとされるようになるためです。それは、あなたがたの、神を恐れかしこむ清い生き方を彼らが見るからです。あなたがたは、髪を編んだり、金の飾りをつけたり、着物を着飾るような外面的なものではなく、むしろ、柔和で穏やかな霊という朽ちることのないものを持つ、心の中の隠れた人がらを飾りにしなさい。これこそ、神の御前に価値あるものです。むかし神に望みを置いた敬虔な婦人たちも、このように自分を飾って、夫に従ったのです。たとえばサラも、アブラハムを主と呼んで彼に従いました。あなたがたも、どんなことをも恐れないうで善を行なえば、サラの子となるのです。」
(1ペテロ 3:1-6)

For how do you know, O wife, whether you will save your husband? Or how do you know, O husband, whether you will save your wife?

(1コリント 7:16)

Wives, likewise, be submissive to your own husbands, that even if some do not obey the word, they without a word, may be won by the conduct of their wives, when they observe your chaste conduct accompanied by fear. Do not let your adornment be merely outward—arranging the hair, wearing gold, or putting on fine apparel—rather let it be the hidden person of the heart, with the incorruptible beauty of a gentle and quiet spirit, which is very precious in the sight of God. For in this manner, in former times, the holy women who trusted in God also adorned themselves, being submissive

		to their own husbands, as Sarah obeyed Abraham, calling him lord, whose daughters you are if you do good and are not afraid with any terror.	(1ペテロ 3:1-6)
夫は頭、しかし崇拝を左右することはできないか？			
「しかし、あなた方に次のことを知って欲しいと思います。すべての男の頭はキリストであり、女の頭は男であり、キリストの頭は神です。」 (1コリント 11:3)	「しかし、あなたがたに次のことを知っていただきたいのです。すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。」 (1コリント 11:3)	But I want you to know that the head of every man is Christ, the head of woman is man, and the head of Christ is God.	(1コリント 11:3)
「それに答えてペテロと【ほかの】使徒たちは言った、『わたしたちは、【自分たちの】支配者として人間より神に従わねばなりません。』」 (使徒 5:29)	「ペテロをはじめ使徒たちは答えて言った。『人に従うより、神に従うべきです。』」 (使徒 5:29)	But Peter and the other apostles answered and said: “We ought to obey God rather than men.” (使徒 5:29)	
ハ、夫は妻のゆえに神への奉仕をやめるべきではないか？			
妻と家族を愛し、彼らが命を得るように願わなければならないか？			
「というのは、妻よ、あなたは夫を救えないとどうして分かるのですか。また、夫よ、あなたは妻を救えないとどうして分かるのですか。」 (1コリント 7:16)	「なぜなら、妻よ。あなたが夫を救えるかどうか、どうしてわかりますか。また、夫よ。あなたが妻を救えるかどうか、どうしてわかりますか。」 (1コリント 7:16)	For how do you know, O wife, whether you will save your husband? Or how do you know, O husband, whether you will save your wife?	(1コリント 7:16)
決定を下す責任と養う責任があるか？			
「しかし、あなた方に次のことを知って欲しいと思います。すべての男の頭はキリストであり、女の頭は男であり、キリストの頭は神です。」 (1コリント 11:3)	「しかし、あなたがたに次のことを知っていただきたいのです。すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。」 (1コリント 11:3)	But I want you to know that the head of every man is Christ, the head of woman is man, and the head of Christ is God.	(1コリント 11:3)
「当然のことですが、自分に属する人々、ことに自分の家の者に必要な者を備えない人がいるなら、その人は信仰を否認していることになり、信仰のない人より悪いのです。」 (1テモテ 5:8)	「もしも親族、ことに自分の家族を顧みない人がいるなら、その人は信仰を捨てているのであって、不信者よりも悪いのです。」 (1テモテ 5:8)	But if anyone does not provide for his own, and especially for those of his household, he has denied the faith and is worse	

神は真理の側に立つ人を愛されるか？

「試練に耐えてゆく人は幸いです。なぜなら、その人は是認されるとき、エホバがご自分を愛し続ける者たちに約束されたもの、すなわち命の冠を受けるからです。」（ヤコブ 1:12）

「兄弟たち、苦しみを忍び、辛抱する点で、エホバの名によって語った預言者たちを模範としなさい。ご覧なさい、忍耐した人たちは幸福である、とわたしたちは言います。あなた方はヨブの忍耐について聞き、エホバがお与えになった結末を見ました。エホバは優しい愛情に富まれ、憐れみ深い方なのです。」

（ヤコブ 5:10-11）

「試練に耐える人は幸いです。耐え抜いて良しと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。」（ヤコブ 1:12）

「苦難と忍耐については、兄弟たち、主の御名によって語った預言者たちを模範にしなさい。見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いであると、私たちは考えます。あなたがたは、ヨブの忍耐のことを聞いています。また、主が彼になされたことの結末を見たのです。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられる方だということです。」

（ヤコブ 5:10-11）

than an unbeliever.

（1テモテ 5:8）

Blessed is the man who endures temptation; for when he has been approved, he will receive the crown of life which the Lord has promised to those who love Him. (ヤコブ 1:12)

My brethren, take the prophets, who spoke in the name of the Lord, as an example of suffering and patience. Indeed we count them blessed who endure.

You have heard of the perseverance of Job and seen the end intended by the Lord—that the Lord is very compassionate and merciful.

（ヤコブ 5:10-11）

平和のために妥協すれば神の不興を受けるか？

「『しかし、わたしの義人は信仰のゆえに生きる』、そして、『もししりごみするなら、わたしの魂はその者を喜ばない』とあります。」

（ヘブル 10:38）

「『わたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのところは彼を喜ばない。』」

（ヘブル 10:38）

“Now the just shall live by faith; But if anyone draws back, My soul has no pleasure in him.” (ヘブル 10:38)

家族を新秩序の幸福へ導かなければならないか？

「それと共に、わたしはみ座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ！ 神の天幕が人と共にあり、[神]は彼らと共に住み、彼らはその民となるであろう。そして神みずから彼らと共におられるであろう。また[神]は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださり、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』」

（黙示録 21:3-4）

「そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』」

（黙示録 21:3-4）

And I heard a loud voice from heaven saying, “Behold, the tabernacle of God is with men, and He will dwell with them, and they shall be His people. God Himself will be with them and be their God. And God will wipe away every tear from their eyes; there shall be

no more death, nor sorrow,
nor crying. There shall be
no more pain, for the
former things have passed
away.” (黙示録 21:3-4)

41. 復活

新世界訳

新改訳

英語

イ. 死者に対する希望は？

墓にいるすべての人はよみがえるか？

「このことを驚き怪しんではなりません。記念の墓の中にいる者がみな、彼の声を聞いて出て来る時が来ようとしているのです。良いことを行なった者は命の復活へ、いとうべきことを習わしにした者は裁きの復活へと〔出て来るのです〕。」

(ヨハネ 5:28-29)

「このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞いて出て来る時が来ます。善を行なった者は、よみがえっていのちを受け、悪を行なった者は、よみがえってさばきを受けるのです。」

(ヨハネ 5:28-29)

“Do not marvel at this; for the hour is coming in which all who are in the graves will hear His voice and come forth—those who have done good, to the resurrection of life, and those who have done evil, to the resurrection of condemnation. (ヨハネ 5:28-29)

イエスの復活は保証を与えるか？

「しかしながら、今やキリストは死人の中からよみがえらせ、〔死の〕眠りにについている者たちの初穂となられたのです。死がひとりの人を通して来たので、死人の復活もまたひとりの人を通して来るのです。アダムのあつてすべての人が死んでゆくと同じように、キリストにあつてすべての人が生かされるのです。」 (Iコリント 15:20-22)

「しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。というのは、死がひとりの人を通して来たように、死者の復活もひとりの人を通して来たからです。すなわち、アダムにあつてすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるからです。」 (Iコリント 15:20-22)

But now Christ is risen from the dead, and has become the firstfruits of those who have fallen asleep. For since by man came death, by Man also came the resurrection of the dead. For as in Adam all die, even so in Christ all shall be made alive.

(Iコリント 15:20-22)

「『なぜなら、ご自分が任命したひとりの人によって人の住む地を義をもって裁くために日を定め、彼を死人の中から復活させてすべての人に保証をお与えになったからです。』」 (使徒 17:31)

「『なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため、日を決めておられるからです。そして、その方を死者の中からよみがえらせることによって、このことの確証をすべての人にお与えになったのです。』」 (使徒 17:31)

“because He has appointed a day on which He will judge the world in righteousness by the Man whom He has ordained. He has given assurance of this to all by raising Him from the dead.”

(使徒 17:31)

聖霊に逆らう罪人はよみがえらないか？

「『このようなわけであなた方に言いますが、人はあらゆる種類の罪や冒とくを許されますが、霊に対する冒とくは許されません。たとえば、人の子に逆らう言

「だから、わたしはあなたがたに言います。人はどんな罪も冒瀆も赦していただけます。しかし、聖霊に逆らう冒瀆は赦されません。また、人の子に逆らうことばを口にする

“Therefore I say to you, every sin and blasphemy will be forgiven men, but the

<p>葉を語るのがだれであっても、その者は許されるでしょう。しかし、聖霊に言い逆らうのがだれであっても、その者は許されないのです。この事物の体制においても、また来たるべき【体制】においてもです。」</p> <p>(マタイ 12:31-32)</p>	<p>者でも、赦されます。しかし、聖霊に逆らうことを言う者は、だれであっても、この世であろうと次に来る世であろうと次に来る世であろうと、赦されません。」</p> <p>(マタイ 12:31-32)</p>	<p>blasphemy against the Spirit will not be forgiven men. Anyone who speaks a word against the Son of Man, it will be forgiven him; but whoever speaks against the Holy Spirit, it will not be forgiven him, either in this age or in the age to come. (マタイ 12:31-32)</p>
<p>信仰を示す人々は必ずよみがえりを受けるか？</p> <p>「イエスは彼女に言われた、『わたしは復活であり、命です。わたしに信仰を働かせる者は、たとえ死んでも、生き返るのです。』」 (ヨハネ 11:25)</p>	<p>「イエスは言われた。『わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。』」 (ヨハネ 11:25)</p>	<p>Jesus said to her, "I am the resurrection and the life. He who believes in Me, though he may die, he shall live." (ヨハネ 11:25)</p>
<p>ロ。天または地上の命への復活は？</p>		
<p>すべての人はアダムにあって死に、イエスにあって命を受けるか？</p> <p>「しかしながら、今やキリストは死人の中からよみがえらせ、【死の】眠りにについている者たちの初穂となられたのです。死がひとりの人を通して来たので、死人の復活もまたひとりの人を通して来るのです。アダムにあってすべての人が死んでゆくと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるのです。」 (1コリント 15:20-22)</p>	<p>「しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。というのは、死がひとりの人を通して来たように、死者の復活もひとりの人を通して来たからです。すなわち、アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるからです。」 (1コリント 15:20-22)</p>	<p>But now Christ is risen from the dead, and has become the firstfruits of those who have fallen asleep. For since by man came death, by Man also came the resurrection of the dead. For as in Adam all die, even so in Christ all shall be made alive.</p> <p>(1コリント 15:20-22)</p>
<p>「一人の人の不従順を通して多くの者が罪人とされたのと同じように、一人【の方】の従順を通して多くの者が義とされるのです。」 (ローマ 5:19)</p>	<p>「すなわち、ちょうどひとりの方の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、ひとりの従順によって多くの人が義人とされるのです。」 (ローマ 5:19)</p>	<p>For as by one man's disobedience many were made sinners, so also by one Man's obedience many will be made righteous. (ローマ 5:19)</p>
<p>よみがえる体の相違は？</p> <p>「そして、天的な体と地的な体があります。しかし、天的な体の栄光は一つの種類であり、地的な体の【栄光】は別の種類です。」</p>	<p>「また、天上のからだもあり、地上のからだもあり、天上のからだの栄光と地上のからだの栄光とは異なっており、」 (1コリント 15:40)</p>	<p>There are also celestial bodies and terrestrial bodies; but the glory of the</p>

<p>(1コリント 15:40)</p> <p>「死人の復活についてもこれと同じです。朽ちる様までまかれ、朽ちない様でよみがえらされます。」</p>		<p>celestial is one, and the glory of the terrestrial is another. (1コリント 15:40)</p> <p>So also is the resurrection of the dead. The body is sown in corruption, it is raised in incorruption.</p>
<p>(1コリント 15:42)</p>	<p>(1コリント 15:42)</p>	<p>(1コリント 15:42)</p>
<p>「物質の体でまかれ、霊的な体でよみがえらされます。物質の体があるなら、霊的な[体]もあります。」</p> <p>(1コリント 15:44)</p>	<p>「血肉のからだで蒔かれ、御霊に属するからだによみがえらされるのです。血肉のからだがあるのですから、御霊のからだもあるのです。」 (1コリント 15:44)</p>	<p>It is sown a natural body, it is raised a spiritual body. There is a natural body, and there is a spiritual body.</p> <p>(1コリント 15:44)</p>
<p>イエスと共にいる者はイエスと同様になるか？</p>		
<p>「そして、わたしたちは、塵で造られた者の像を帯びてきたように、また天的な者の像を帯びるのです。」</p> <p>(1コリント 15:49)</p>	<p>「私たちは土で造られた者のかたちを持っていたように、天上のかたちをも持つのです。」</p> <p>(1コリント 15:49)</p>	<p>And as we have borne the image of the man of dust, we shall also bear the image of the heavenly Man.</p> <p>(1コリント 15:49)</p>
<p>「しかしわたしたちについて言えば、わたしたちの市民権は天にあり、わたしたちはまた、そこから救い主、主イエス・キリスト[が来られるの]を切に待っています。彼はその持つ力、すなわち一切のものをご自分に服させるほどの[力]の働きにより、わたしたちの辱められた体を作り替えて、ご自分の栄光ある体になうものとしてくださるのです。」</p> <p>(ピリピ 3:20-21)</p>	<p>「けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。」 (ピリピ 3:20-21)</p>	<p>For our citizenship is in heaven, from which we also eagerly wait for the Savior, the Lord Jesus Christ, who will transform our lowly body that it may be conformed to His glorious body, according to the working by which He is able even to subdue all things to Himself. (ピリピ 3:20-21)</p>
<p>支配しない人々は地上に住むか？</p>		
<p>「そして彼らは生き返り、キリストと共に千年のあいだ王として支配した。(残りの死人は千年が終わるまで生き返らなかった。)これは第一の復活である。」</p> <p>(黙示録 20:4後半-5)</p>	<p>彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。」</p> <p>(黙示録 20:4後半-5)</p>	<p>And they lived and reigned with Christ for a thousand years. But the rest of the dead did not live again until the thousand years were finished. This is the</p>

「そして、海はその中の死者を出し、死とハデスもその中の死者を出し、彼らはそれぞれ自分の行ないにしたがって裁かれた。」（黙示録 20:13）

「それと共に、わたしはみ座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ！ 神の天幕が人と共にあり、〔神〕は彼らと共に住み、彼らはその民となるであろう。そして神みずから彼らと共におられるであろう。また〔神〕は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってください、もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである。』」（黙示録 21:3-4）

「海はそこにいる死者を出し、死もハデスも、そこにいる死者を出した。そして人々はおのの自分の行ないに応じてさばかれた。」（黙示録 20:13）

「そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。『見よ。神の天幕が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの涙をすっかりぬぐい取ってください。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』」（黙示録 21:3-4）

first resurrection.

（黙示録 20:4後半-5）

The sea gave up the dead who were in it, and Death and Hades delivered up the dead who were in them. And they were judged, each one according to his works.

（黙示録 20:13）

And I heard a loud voice from heaven saying, "Behold, the tabernacle of God is with men, and He will dwell with them, and they shall be His people. God Himself will be with them and be their God. And God will wipe away every tear from their eyes; there shall be no more death, nor sorrow, nor crying. There shall be no more pain, for the former things have passed away."（黙示録 21:3-4）

42. 奉仕者

新世界訳

新改訳

英語

イ. クリスマンはすべて奉仕者とならなければならないか？

イエスは神の奉仕者であったか？

「わたしは言いますが、キリストはまさに、神の真実さのために、割れを受けた者たちの奉仕者となり、こうして、〔神〕が彼らの父祖になされた約束の確かさを証拠だて、諸国民がその憐れみのゆえに神の栄光をたたえるようにされたからです。『それゆえにわたしは諸国民の中であなたを公に認め、あなたのみ名に向かって讃を奏でる』と書かれていますとおりです。」
(ローマ 15:8-9)

「『ちょうど人の子が、仕えてもらうためではなく、むしろ仕え、自分の魂を、多くの人と引き換える贖いとして与えるために来たのと同じです。』」
(マタイ 20:28)

「わたしは言います。キリストは、神の真理を現わすために、割れのあるもののしもべとなりました。それは先祖たちに与えられた約束を保証するためであり、また異邦人も、あわれみのゆえに、神をあがめるようになるためです。こう書かれていますとおりです。『それゆえ、私は異邦人の中で、あなたをほめたたえ、あなたの御名をほめ歌おう。』」 (ローマ 15:8-9)

「『人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。』」 (マタイ 20:28)

Now I say that Jesus Christ has become a servant to the circumcision for the truth of God, to confirm the promises made to the fathers, and that the Gentiles might glorify God for His mercy, as it is written: "For this reason, I will confess to You among the Gentiles, And sing to Your name."

(ローマ 15:8-9)

"just as the Son of Man did not come to be served, but to serve, and to give His life a ransom for many."

(マタイ 20:28)

クリスマンはイエスの模範に従うか？

「事実、あなた方はこうした〔道〕に召されたのです。キリストでさえあなた方のために苦しみを受け、あなた方がその歩みにしっかり付いて来るよう手本を残されたからです。」 (1ペテロ 2:21)

「わたしがキリストに〔見倣う者〕であるように、わたしに見倣う者とならない。」
(1コリント 11:1)

「あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残されました。」
(1ペテロ 2:21)

「私がキリストを見ならっているように、あなたがたも私を見ならってください。」 (1コリント 11:1)

For to this you were called, because Christ also suffered for us, leaving us an example, that you should follow His steps:

(1ペテロ 2:21)

Imitate me, just as I also imitate Christ.

(1コリント 11:1)

奉仕の務めを果たすために宣べ伝えなければならないか？

「み言葉を宣べ伝え、順調な時期にも難しい時期にもひたすらそれに携わり、辛抱強さと教え〔の術〕とを尽くして戒め、けん責し、説き進めなさい。」
(Ⅱテモテ 4:2)

「しかし、あなたはすべての事に冷静さを保ち、苦し

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしつかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」 (Ⅱテモテ 4:2)

「しかし、あなたは、どのようなばあいにも慎み、困難に

Preach the word! Be ready in season and out of season. Convince, rebuke, exhort, with all longsuffering and teaching. (Ⅱテモテ 4:2)

But you be watchful in all

みを忍び、福音宣明者の業をなし、自分の奉仕の務めを十分に果たしなさい。」（Ⅱテモテ 4:5）

「わたしが良いたよりを宣明しているとしても、それがわたしの誇る理由ではないのです。わたしにはその必要が課せられているからです。実際、もし良いたよりを宣明しなかったとすれば、わたしにとっては災いとなるのです！」（Ⅰコリント 9:16）

耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。」（Ⅱテモテ 4:5）

「というのは、私が福音を宣べ伝えても、それは私の誇りにはなりません。そのことは、わたしがどうしても、しなければならぬことだからです。もし福音を宣べ伝えなかつたら、私はわざわざに会います。」（Ⅰコリント 9:16）

things, endure afflictions, do the work of an evangelist, fulfill your ministry. (Ⅱテモテ 4:5)
For if I preach the gospel, I have nothing to boast of, for necessity is laid upon me; yes, woe is me if I do not preach the gospel!

(Ⅰコリント 9:16)

ロ．奉仕者のための資格は？

神の霊、およびみ言葉についての知識か？

「自分自身を、是認された者、また真理の言葉を正しく扱う、何ら恥ずべきところのない働き人として神に差し出すため、力を尽くして励みなさい。」（Ⅱテモテ 2:15）

「主権者なるエホバの霊がわたしの上にある。それは、エホバがわたしに油をそそぎ、柔和な者たちに良いたよりを告げるようにされたからである。〔神〕はわたしを遣わして、心の打ち砕かれた者を〔包帯で〕包み、とりこにされた者たちに自由を、捕らわれた人たちには〔目が〕大きく開かれることをおれ告げ、エホバの側の善意の年とわたしたちの神の側の復しゅうの日とをおれ告げ、嘆き悲しむすべての者を慰め、シオンについて嘆き悲しむ者たちに割り当て、彼らに灰の代わりに頭飾りを、悲しみの代わりに歓喜の油を、落胆した霊の代わりに賛美のマントを与えるようにされた。彼らは必ず義の大木、エホバの植えたものと呼ばれる。それは〔神〕が美しくされるためである。」（イザヤ 61:1-3）

「あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、務め励みなさい。」（Ⅱテモテ 2:15）

「神である主の霊が、わたしの上にある。主はわたしに油をそそぎ、貧しい者に良い知らせを伝え、心の傷ついた者をいやすために、わたしを遣わされた。捕われ人には解放を、四人には釈放を告げ、主の恵みの年と、われわれの神の復讐の日を告げ、すべての悲しむ者を慰め、シオンの悲しむ者たちに、灰の代わりに頭の飾りを、悲しみの代わりに喜びの油を、憂いの心の代わりに賛美の外套を着けさせるためである。彼らは、義の樹の木、栄光を現わす主の植木と呼ばれよう。」（イザヤ 61:1-3）

Be diligent to present yourself approved to God, a worker who does not need to be ashamed, rightly dividing the word of truth.

(Ⅱテモテ 2:15)

“The Spirit of the Lord God is upon Me, Because the Lord has anointed Me To preach good tidings to the poor; He has sent Me to heal the brokenhearted, To proclaim liberty to the captives, And the opening of the prison to those who are bound; To proclaim the acceptable year of the Lord, And the day of vengeance of our God; To comfort all who mourn, To console those who mourn in Zion, To give them beauty for ashes, The oil of joy for mourning, The garment of praise for the spirit of heaviness; That they may be called trees of

		righteousness, The planting of the Lord, that He may be glorified.” (イザヤ 61:1-3)
宣べ伝える業の面でキリストの型に従うか？		
「事実、あなた方はこうした[道]に召されたのです。キリストでさえあなた方のために苦しみを受け、あなた方がその歩みにしっかり付いて来るよう手本を残されたからです。」 (Iペテロ 2:21)	「あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残されました。」 (Iペテロ 2:21)	For to this you were called, because Christ also suffered for us, leaving us an example, that you should follow His steps: (Iペテロ 2:21)
「み言葉を宣べ伝え、順調な時期にも難しい時期にもひたすらそれに携わり、辛抱強さと教え[の術]とを尽くして戒め、けん責し、説き進めなさい。」 (IIテモテ 4:2)	「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」 (IIテモテ 4:2)	Preach the word! Be ready in season and out of season. Convince, rebuke, exhort, with all longsuffering and teaching. (IIテモテ 4:2)
「しかし、あなたはすべての事に冷静さを保ち、苦しみを忍び、福音宣明者の業をなし、自分の奉仕の務めを十分に果たしなさい。」 (IIテモテ 4:5)	「しかし、あなたは、どのようなばあいにも慎み、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。」 (IIテモテ 4:5)	But you be watchful in all things, endure afflictions, do the work of an evangelist, fulfill your ministry. (IIテモテ 4:5)
神は霊と組織を用いて試練を施されるか？		
「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け手、つまり聖霊のことですが、その者はあなた方にすべてのことを教え、わたしが告げたすべての事柄を思い起こさせるでしょう。」 (ヨハネ 14:26)	「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。」 (ヨハネ 14:26)	“But the Helper, the Holy Spirit, whom the Father will send in My name, He will teach you all things, and bring to your remembrance all things that I said to you.” (ヨハネ 14:26)
「わたしたちは再び自分を推薦し始めているのでしょうか。それとも、ある人々のように、あなた方への、またはあなた方からの推薦の手紙が必要なのでしょうか。あなた方自身が、わたしらちの心に書き込まれ、すべての人に知られ、また読まれている、わたしたちの手紙なのです。あなた方は、奉仕者であるわたしたちによって書かれ、インクによらず生ける神の霊によって、石の書き板ではなく肉の書き板に、すなわち心に書き込まれた、キリストの手紙として示されているからです。」 (IIコリント 3:1-3)	「私たちはまたもや自分を推薦しようとしているのでしょうか。それとも、ある人々のように、あなたがたにあって推薦状とか、あなたがたの推薦状とか、私たちに必要なのでしょうか。私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちが心に生かされていて、すべての人に知られ、また読まれているのです。あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御霊によって書かれ、石の板にではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。」 (IIコリント 3:1-3)	Do we begin again to commend ourselves? Or do we need, as some others, epistles of commendation to you or letters of commendation from you? You are our epistle written in our hearts, known and read by all men; clearly you are an epistle of Christ, ministered by

us, written not with ink but
by the Spirit of the living
God, not on tablets of
stone but on tablets of
flesh, that is, of the heart
. (Ⅱコリント 3:1-3)

43. マリア崇拜

新世界訳

新改訳

英語

イ. マリアはイエスの母であって「神の母」ではないか？

神には初めがないか？

「山々が生まれる前から、あなたが地と世界とを生み出す前から、まことに、とこしえからとこしえまで、あなたは神です。」（詩篇 90:2）

「では、朽ちることがなく、[人が]見ることできかないとこしえの王、唯一の神に、誉れと栄光が限りなく永久にありますように。アーメン。」
(1テモテ 1:17)

「山々が生まれる前から、また、あなたが地と産出的な土地を産みの苦しみによるかのように生み出される[前から]、実に、定めのない時から定めのない時に至るまで、あなたは神です。」（詩篇 90:2）

「どうか、代々の王、すなわち、滅びることなく目に見えない唯一の神に、誉れと栄えとが代々限りなくあちますように。アーメン。」（1テモテ 1:17）

Before the mountains were brought forth, Or ever You had formed the earth and the world, Even from everlasting to everlasting, You are God. (詩篇 90:2)
Now to the King eternal, immortal, invisible, to God who alone is wise, be honor and glory forever and ever. Amen. (1テモテ 1:17)

マリアは神の子が地に来た時の母であったか？

「み使いは答えて言った、『聖霊があなたに臨み、至高者の力があなたを覆うのです。そのゆえにも、生まれるものは聖なる者、神の子と呼ばれます。』」
(ルカ 1:35)

「御使いは答えて言った、『聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。』」
(ルカ 1:35)

And the angel answered and said to her, "The Holy Spirit will come upon you, and the power of the Highest will overshadow you; therefore, also, that Holy One who is to be born will be called the Son of God.

(ルカ 1:35)

ロ. マリアは「永遠の処女」ではないか？

ヨセフと結婚したか？

「しかし、その夫ヨセフは義になかった人であり、また彼女をさらし者にするのを望まなかったので、ひそかに離婚しようと思った。しかし、彼がこれらのことをよく考えたのち、見よ、エホバのみ使いが夢の中で彼に現われて、こう言った。『ダビデの子ヨセフよ、あなたの妻マリアを迎え入れることを恐れてはならない。彼女のうちに宿されているものは聖霊によるのである。』」（マタイ 1:19-20）

「夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現われて言った。『ダビデのヨセフ。恐れないであなたの妻マリアを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。』」（マタイ 1:19-20）

Then Joseph her husband, being a just man, and not wanting to make her a public example, was minded to put her away secretly. But while he thought about these things, behold, an angel of the Lord appeared to him in a dream, saying, "Joseph, son of David, do not be afraid to take to you Mary

「そこでヨセフは眠りから覚め、エホバのみ使いが指示したとおりに行ない、自分の妻を迎え入れた。しかし、彼女が子を産むまでは、彼女と交わりを持たなかった。そして彼はその〔子〕の名をイエスと呼んだ。」 (マタイ 1:24-25)

「ヨセフは眠りからさめ、主の使いに命じられたとおりにして、その妻を迎え入れ、そして、子どもが生まれるまで彼女を知ることがなく、その子どもの名をイエスとつけた。」 (マタイ 1:24-25)

your wife, for that which is conceived in her is of the the Holy Spirit.”

(マタイ 1:19-20)

Then Joseph, being aroused from sleep, did as the angel of the Lord commanded him and took to him his wife, and did not know her till she had brought forth her firstborn Son. And he called His name Jesus.

(マタイ 1:24-25)

イエスのほかに子供たちがいたか？

「『これはあの大工の息子ではないか。彼の母はマリヤと呼ばれ、兄弟たちはヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。そして彼の姉妹たちも、みんなわたしたちと共にいるではないか。では、この人はどこでこれらのすべてのことを得たのだろうか。』」 (マタイ 13:55-56)

「『この人は大工の息子ではありませんか。彼の母親はマリヤで、彼の兄弟は、ヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではありませんか。妹たちもみな私たちといっしょにいるではありませんか。とすると、いったいこの人は、これらのものをどこから得たのでしょうか。』」 (マタイ 13:55-56)

“Is this not the carpenter’s son? Is not His mother called Mary? And His brothers James, Joses, Simon, and Judas? And His sisters, are they not all with us? Where then did this Man get all these things?”

(マタイ 13:55-56)

「さて、彼の母と兄弟たちが彼のところにやって来たが、群衆のためにそばに行けなかった。けれども、『あなたのお母さんと兄弟たちが外に立って、あなたに会おうとしています』ということが彼に伝えられた。〔イエス〕は答えて彼らに言われた、『わたしの母、そしてわたしの兄弟たちとは、神の言葉を聞いて、それを行なうこれらの人たちのことです。』」 (ルカ 8:19-21)

「イエスのところに母と兄弟たちが来たが、群衆のためにそばへ近寄れなかった。それでイエスに、『あなたのおかあさんと兄弟たちが、あなたに会おうとして、外に立っています。』という知らせがあった。ところが、イエスは人々にこう答えられた。『わたしの母、わたしの兄弟たちとは、神のことばを聞いて行なう人たちです。』」 (ルカ 8:19-21)

Then His mother and brothers came to Him, and could not approach Him because of the crowd. And it was told Him by some, who said, “Your mother and Your brothers are standing outside, desiring to see You.” But He answered and said to them, “My mother and My brothers are these who hear the word of God and do it.”

(ルカ 8:19-21)

彼らはその時、イエスの「霊的な兄弟」ではなかったか？

「それで、その兄弟たちは彼にこう言った、『ここか

「そこで、イエスの兄弟たちはイエスに向かって言った。

His brothers therefore said

ら進んで行ってユダヤに入りなさい。あなたの弟子たちも、あなたの行なう業を見るようにするためです。』」（ヨハネ 7:3）

「実のところ、その兄弟たちは彼に信仰を働かせていなかったのである。」（ヨハネ 7:5）

『あなたの弟子たちもあなたがしているわざを見ることができるよう、ここを去ってユダヤに行きなさい。』」

（ヨハネ 7:3）

「兄弟たちもイエスを信じていなかったのである。」

（ヨハネ 7:5）

to Him, “Depart from here and go into Judea, that Your disciples also may see the works that You are doing.”（ヨハネ 7:3）

For even His brothers did not believe in Him.

（ヨハネ 7:5）

44. 霊、心霊術

新世界訳

新改訳

英語

イ. 聖霊とは何か？

神の活動力か？ 人格的なものではないか？

「すると突然、激しい風の吹きつけるような物音が天から起こり、彼らの座っている家全体を満たした。そして、さながら火のような舌が彼らに見えるようになってあちらこちらに配られ、彼ら各々の上に一つずつとどまり、」（使徒 2:2-3）

「それで、この方は神の右に高められ、約束の聖霊を父から受けたので、この、あなたの方の見聞きするものを注ぎ出されたのです。」（使徒 2:33）

「それは真理の霊であり、世はそれを受けることができませんそれを見ず、また知らないからです。あなた方はそれを知っています。それはあなた方のもとにとどまり、あなた方のうちにあるからです。」
(ヨハネ 14:17)

「すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。」（使徒 2:2-3）

「ですから、神の右に上げられたイエスが、御父から約束された聖霊を受けて、今あなたがたが見聞きしているこの聖霊をお注ぎになったのです。」（使徒 2:33）

その方は、真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです。」（ヨハネ 14:17）

And suddenly there came a sound from heaven, as of a rushing mighty wind, and it filled the whole house where they were sitting. Then there appeared to them divided tongues, as of fire, and one sat upon each of them. (使徒 2:2-3)
“Therefore being exalted to the right hand of God, and having received from the Father the promise of the Holy Spirit, He poured out this which you now see and hear.” (使徒 2:33)
“the Spirit of truth, whom the world cannot receive, because it neither sees Him nor knows Him; but you know Him, for He dwells with you and will be in you.” (ヨハネ 14:17)

創造、聖書の靈感などの際に用いられたか？

「さて、地は形がなく、荒漠としていて、闇が水の深みの表にあった。そして神の活動する力が水の表を行きめぐっていた。」（創世記 1:2）

「そこで、エホバの霊がわたしの上に下り、その方はさらにわたしに言われた、『言え、『エホバはこのように言われた。『イスラエルの家よ、あなた方は正しいことを言った。あなた方の霊に上って来る事柄につ

「地は形がなく、何もなかった。やみが大いなる水の上にあり、神の霊は水の上を動いていた。」
(創世記 1:2)

「ついで主の霊が私に下り、私に仰せられた。『主はこう仰せられる、と言え。イスラエルの家よ。あなたがたはあのように言ったが、わたしは、あなたがたの心に浮かぶことどもをよく知っている。』」

The earth was without form, and void; and darkness was on the face of the deep. And the Spirit of God was hovering over the face of the waters. (創世記 1:2)
Then the Spirit of the Lord fell upon me, and said to me, "Speak!" Thus says the Lord: Thus you have said,

いては、わたし自身それを知っていた。』『』』」
(エゼキエル 11:5)

(エゼキエル 11:5)

O house of Israel; for I know the things that come into your mind.'”

(エゼキエル 11:5)

キリストの体の成員を生み出し、油そそぐか？

「イエスは答えて言われた、『きわめて真実にあなたに言いますが、再び生まれなければ、だれも神の王国を見ることはできません。』ニコデモは彼に言った、『どうして人は年を取ってから生まれることができるでしょうか。自分の母の胎にもう一度入って生まれてくることなどできないではありませんか。』イエスは答えられた、『きわめて真実にあなたに言いますが、水と霊から生まれなければ、だれも神の王国に入ることとはできないのです。肉から生まれたものは肉であり、霊から生まれたものは霊です。わたしがあなたに、あなた方は再び生まれなければならないと言ったからといって、驚いてはなりません。風はその望む所に吹き、あなたはその音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのかを知りません。霊から生まれた者も皆そのようです。』」 (ヨハネ 3:5-8)

「イエスは答えて言われた、『まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません』ニコデモは言った。『人は、老年になっていて、どのようにして生まれることができるのですか。もう一度、母の胎にはいつて生まれることができましようか。』イエスは答えられた。『まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国にはいることができません。肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。』」 (ヨハネ 3:5-8)

Jesus answered, “Most assuredly, I say to you, unless one is born of water and the Spirit, he cannot enter the kingdom of God. That which is born of the flesh is flesh, and that which is born of the Spirit is spirit. Do not marvel that I said to you, ‘You must be born again.’ The wind blows where it wishes, and you hear the sound of it, but cannot tell where it comes from and where it goes. So is everyone who is born of the Spirit.”

(ヨハネ 3:5-8)

「しかし、あなた方とわたしたちがキリストに属することを保証してくださる方、そしてわたしたちに油をそそいでくださった方は神です。[神]はまたわたしたちにご自分の証印を押し、来たるべきものの印、つまり霊をわたしたちの心の中に与えてくださったのです。」 (Ⅱコリント 1:21-22)

「私たちがあなたがたといっしょにキリストのうちに堅く保ち、私たちに油を注がれた方は神です。神はまた、確認の印を私たちに押し、保証として、御霊を私たちの心に与えてくださいました。」

(Ⅱコリント 1:21-22)

Now He who establishes us with you in Christ and has anointed us is God, who also has sealed us and given us the Spirit in our hearts as a guarantee.

(Ⅱコリント 1:21-22)

今日神の民に力を与え、導くか？

「むしろわたしは言います。霊によって歩んでゆきなさい。そうすれば、肉の欲望を遂げることは決してありません。」 (ガラテヤ 5:16)

「私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。」 (ガラテヤ 5:16)

I say then: Walk in the Spirit, and you shall not fulfill the lust of the flesh. (ガラテヤ 5:16)

「さらに、霊に導かれているのであれば、あなた方は律法のもとにはいないのです。」

(ガラテヤ 5:18)

「しかし、御霊によって導かれるなら、あなたがたは律法の下にはいません。」 (ガラテヤ 5:18)

But if you are led by the Spirit, you are not under the law. (ガラテヤ 5:18)

ロ．生命力も霊と呼ばれるか？

命の本質か？ 呼吸によって支えられるか？

「実際に、霊のない体が死んだものであるように、業のない信仰も死んだものなのです。」

(ヤコブ 2:26)

「たましいを離れたからだは、死んだものであるのと同様に、行ないのない信仰は、死んでいるのです。」

(ヤコブ 2:26)

For as the body without the spirit is dead, so faith without works is dead also.

(ヤコブ 2:26)

「わたしの息がなおそのままわたしの内にあり、神の霊がわたしの鼻にある限り、」 (ヨブ 27:3)

「私の息が私のうちにあり、神の霊が私の鼻にあるかぎり、」 (ヨブ 27:3)

As long as my breath is in me, And the breath of God the breath of God in my nostrils, (ヨブ 27:3)

生命力をつかさどる力は神に宿るか？

「宣告：『イスラエルに関するエホバの言葉』と、エホバはお告げになる。すなわち、天を差し広げ、地の基を据え、人の内にその霊を形造っておられる方が〔言われる〕。」 (ゼカリヤ 12:1)

「宣告。イスラエルについての主のことは、天を張り、地の基を定め、人の霊をその中に造られた方、主の御告げ。」

(ゼカリヤ 12:1)

The burden of the word of the Lord against Israel. Thus says the Lord, who stretches out the heavens, lays the foundation of the earth, and forms the spirit of man within him:

(ゼカリヤ 12:1)

「霊をとどめる力を霊に対して待っている人はだれもいない。また、死の日には何の支配の力もありえない。また、その戦いには放免もない。そして、邪悪さもこれにふける者たちを逃れさせはしない。」

(伝道者の書 8:8)

「風を支配し、風を止めることのできる人はいない。死の日も支配することはできない。この戦いから放免される者はいない。悪は悪の所有者を救えない。」

(伝道者の書 8:8)

No one has power over the spirit to retain the spirit, And no one has power in the day of death. There is no release from that war, And wickedness will not deliver those who are given to it. (伝道者の書 8:8)

人も獣もその生命力は神に属するか？

「人間の子らに關しても終局があり、獸に關しても終局があり、これらは同じ終局を迎えるからである。一方が死ぬように、他方も死ぬ。皆ただ一つの霊を持っており、したがって人が獸に勝るところは何もない。すべてはむなしいからである。皆一つの場所へ行く。それはみな塵から出たものであって、みな塵に帰ってゆく。人間の子らの霊は上に上って行くのか、また獸の霊は地に下って行くのか、一体だれがこれを知っているであろうか。」

(伝道者の書 3:19-21)

「人の子の結末と獸の結末とは同じ結末だ。これも死ぬば、あれも死ぬ。両方とも同じ息を持っている。人は何も獸にまさっていない。すべてはむなしいからだ。みな同じ所に行く。すべてのものはちりから出て、すべてのものはちに帰る。だれが知っているだろうか。人の子らの霊は上に上り、獸の霊は地の下に降りて行くのを。」

(伝道者の書 3:19-21)

For what happens to the sons of men also happens to animals; one thing befalls them: as one dies, so dies the other. Surely, they all have one breath; man has no advantage over animals, for all is vanity. All go to one place: all are from the dust, and all return to

		dust. Who knows the spirit of the sons of men, which goes upward, and the spirit of the animal, which goes down to the earth?	(伝道者の書 3:19-21)
復活の希望のもとに霊を神にゆだねるか？			
「そしてイエスは大声で呼ばわって言われた、『父よ、わたしの霊をみ手に託します。』こう言ってから〔イエス〕は息を引き取られた。」 (ルカ 23:46)	「イエスは大声で叫んで、言われた。『父よ。わが霊を御手にゆだねます。』こう言って、息を引き取られた。」 (ルカ 23:46)	And when Jesus had cried out with a loud voice, He said, "Father, 'into Your hands I commit My spirit.'" Having said this, He breathed His last.	(ルカ 23:46)
ハ．心霊術は悪霊の業であり避けなければならないか？			
神の言葉は禁じているか？			
「そして、もし人々があなた方に、『霊媒に、または、さえずったり低い声でものを言ったりする予言の霊を持つ者たちに問い合わせよ』と言うのであれば、どの民もその神に問い合わせるべきではないか。生きている者たちのために死者に〔問い合わせる〕ことがあってよいだろうか。律法と証しに〔問え〕！ 確かに、彼らは夜明けの光を持たないこの言葉にしたがって語りつづける。」 (イザヤ 8:19-20)	「人々があなたがたに、『霊媒や、さえずり、ささやく口寄せに尋ねよ。』と言うとき、民は自分の神に尋ねなければならない。生きている者のために、死人に伺いを立てなければならないのか。おしえとあかしに尋ねなければならない。もし、このことばに従って語らなければ、その人には夜明けがない。」 (イザヤ 8:19-20)	And when they say to you, "Seek those who are mediums and wizards, who whisper and mutter," should not a people seek their God? Should they seek the dead on behalf of the living? To the law and to the testimony! If they do not speak according to this word, it is because there is no light in them.	(イザヤ 8:19-20)
「『あなたは霊媒に身を寄せてはいけない。出来事の職業的予告者に相談してはいけない。それらによって汚れることのないためである。わたしはあなた方の神エホバである。』」 (レビ 19:31)	「あなたがたは霊媒や口寄せに心を移してはならない。彼らを求めて、彼らに汚されてはならない。わたしはあなたがたの神、主である。」 (レビ 19:31)	'Give no regard to mediums and familiar spirits; do not seek after them, to be defiled by them: I am the Lord your God.' (レビ 19:31)	
「『霊媒や出来事の職業的予告者に身を寄せてこれを不倫な交わりを持つ魂、わたしは自分の顔を必ずその魂に適して向け、これを民の中から断つであらう。』」 (レビ 20:6)	「霊媒や口寄せのところにおもむき、彼らを慕って淫行を行なう者があれば、わたしはその者から顔をそむけ、その者をその民の間から断つ。」 (レビ 20:6)	'And the person who turns to mediums and familiar spirits, to prostitute himself with them, I will	

「また、男や女でその内に霊媒の霊や予言の霊が宿る者、その者は必ず死に処せられるべきである。その者を石撃ちにして殺すべきである。その血はその者自身の上にある。」（レビ 20:27）

「『男か女で、霊媒や口寄せがいるなら、その者は必ず殺されなければならない。彼らは石で打ち殺されなければならない。彼らの血の責任は彼らにある。』」（レビ 20:27）

set My face against that person and cut him off from his people. ’（レビ 20:6）
“ ’A man or a woman who is a medium, or who has familiar spirits, shall surely be put to death; they shall stone them with stones. Their blood shall be upon them. ’ ”（レビ 20:27）

占いは悪霊崇拝か？ 非とされているか？

「また、わたしたちがその祈りの場所に行く時であったが、霊、つまり占いの悪霊につかれたある下女がわたしたちと出会った。彼女は予言を業として、自分の主人たちに多くの利益を得させていた。この[女]がパウロとわたしたちのあとにずっと付いて来て、『この人たちは志高の神の奴隷で、あなた方に救いの道を広めているのです。』と叫びつづけるのであった。彼女はこれを何日も続けた。ついにパウロはそれにうんざりし、振り向いてその霊に言った、『彼女から出るよう、イエス・キリストの名においてあなたに命じる。』すると、その時、すぐそれは出て行った。」（使徒 16:16-18）

「私たちが祈り場に行く途中、占いの霊につかれた若い女奴隷に出会った。この女は占いをし、主人たちに多くの利益を得させている者であった。彼女はパウロと私たちのあとについて来て、『この人たちは、いと高き神のしもべたちで、救いの道をあなたがたに宣べ伝えている人たちです。』と叫び続けた。幾日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り返って、その霊に、『イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け。』と言った。すると即座に、霊は出て行った。」（使徒 16:16-18）

Now it happened, as we went to prayer, that a certain slave girl possessed with a spirit of divination met us, who brought her masters much profit by fortune-telling. This girl followed Paul and us, and cried out, saying, “These men are the servants of the Most High God, who proclaim to us the way of salvation.” And this she did for many days. But Paul, greatly annoyed, turned and said to the spirit, “I command you in the name of Jesus Christ to come out of her.” And he came out that very hour.

（使徒 16:16-18）

滅びに導くか？

「さて、肉の業は明かです。それは、淫行、汚れ、みだらな行ない、敵意、闘争、ねたみ、激発的な怒り、口論、分裂、分派、そねみ、酔酒、浮かれ騒ぎ、およびこれに類する事柄です。こうした事柄についてわたしはあなた方にあらかじめ警告しましたが、なおまた警告しておきます。そのような事柄を習わしにする

「肉の行ないは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、醜態、遊興、そういった類のものです。前にもあらかじめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじめ言っておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。

Now the works of the flesh are evident, which are: adultery, fornication, uncleanness, lewdness, idolatry, sorcery, hatred, contentions, jealousies,

者が神の王国を受け継ぐことはありません。」
(ガラテヤ 5:19-21)

「『しかし、臆病な者、信仰のない者、不潔で嫌悪すべき者、殺人をする者、淫行の者、心霊術を行なう者、偶像を礼拝する者、またすべての偽りについては、その分は火と硫黄で燃える湖の中にあるであろう。これは第二の死を表わしている。』」
(黙示録 21:8)

「『その外にいるのは、犬、心霊術を行なう者、淫行の者、殺人をする者、偶像を礼拝する者、また、すべて偽りを好んでそれを行ないつづける者である。』」
(黙示録 22:15)

占星術は禁じられているか？

「あなたの中に、自分の息子や娘に火の中を通らせる者、占いに頼る者、魔術を行なう者、[吉凶の]兆しを求める者、呪術を行なう者、また、まじないで他の人を縛る者、霊媒に相談する者、出来事の職業的予告者、死者に問い尋ねる者などがいてはいけない。すべてこうした事を行なう者はエホバにとって忌むべきものであり、これら忌むべき事柄のゆえにあなたの神エホバは彼らをあなたの前から打ち払われるのである。」
(申命記 18:10-12)

」 (ガラテヤ 5:19-21)

「『しかし、おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行なう者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。』」
(黙示録 21:8)

「犬ども、魔術を行なう者、不品行の者、人殺し、偶像を拝む者、好んで偽りを行なう者はみな、外に出される。」
(黙示録 22:15)

「あなたのうちに自分の息子、娘に火の中を通らせる者があつてはならない。占いをする者、卜者、まじない師、呪術者、呪文を唱える者、霊媒をする者、口寄せ、死人に伺いを立てる者があつてはならない。これらのことを行なう者はみな、主が忌みきらわれるからである。これらの忌みきらうべきことのために、あなたの神、主は、あなたの前から、彼らを追い払われる。」
(申命記 18:10-12)

outbursts of wrath, selfish ambitions, dissensions, heresies, envy, murders, drunkenness, revelries, and the like; of which I tell you be forehand, just as I also told you in time past, that those who practice such things will not inherit the kingdom of God. (ガラテヤ 5:19-21)

“But the cowardly, unbelieving, abominable, murderers, sexually immoral, sorcerers, idolaters, and all liars shall have their part in the lake which burns with fire and brimstone, which is the second death.” (黙示録 21:8)

But outside are dogs and sorcerers and sexually immoral and murderers and idolaters, and whoever loves and practices a lie.

(黙示録 22:15)

「エホバはこうに言われた。『決して諸国民の道を学んではならない。天のしるしによって恐怖の念を抱いてはならない。諸国民がそれによって恐怖の念を抱くからといって。』」（エレミヤ 10:2）

「主はこう仰せられる。『異邦人の道を見習うな。天のしるしにおののくな。異邦人がそれらにおののいても。』」

（エレミヤ 10:2）

For all who do these things
are an abomination to the
Lord, and because of these
abominations the Lord your
God drives them out from
before you.”

（申命記 18:10-12）

Their heart is divided; Now
they are held guilty. He
will break down their altars
; He will ruin their sacred
pillars. （エレミヤ 10:2）